ザ・カセットテープ・ミュージックの本

the cassette tape music no hon

〜つい誰かにしゃべりたくなる80年代名曲のコードとかメロディの話〜

マキタスポーツ × スージー鈴木

RittorMusic

CamScannerでスキャン

特別企画

本書の編集者が追った

実録！『ザ・カセットテープ・ミュージック』的

シティ・ポップとアーバン・ミュージックの境界線

本書の巻頭特別企画として、「シティ・ポップとアーバン・ミュージックの境界線」と題したドキュメンタリーをお届けしよう。2019年12月、番組ゲストとして訪れたGLAYのTAKUROが「シティ・ポップとアーバン・ミュージックは違う」と提起。宿題を持ち帰ったマキタスポーツとスージー鈴木は、その後にもこの話題に触れ、約半年後にはラジオ番組で、シティとアーバンの交錯に大きな役目を果たした作曲家、林哲司との共演に至った。だが、筆者が改めて検証してみると、論争以前にも番組ではシティとアーバンという言葉を使用していたし、無意識下で違いも感じていたようである。その流れを紹介するとともに、TAKURO、林哲司との共演についても取り上げて行くことにしたい。

構成・文：藤井徹（リットーミュージック）

1 『ザ・カセットテープ・ミュージック』とシティ・ポップ

シティ・ポップとは、1970年代の後期から80年代にかけて日本でリリースされ流行した、ニューミュージックの中でも特に都会的に洗練され、洋楽志向のメロディや歌詞を持つ音楽（ウィキペディアより）。

昨今、日本のシティ・ポップが海外から注目されており、それにともない国内でも再評価の機運が高まっている。とはいえ、2017年から放送をスタートした『ザ・カセットテープ・ミュージック』で最初にシティ・ポップという言葉が使われたのは、第17回『80年代　山下達郎』特集（2018年6月1日放送）まで待たねばならなかった。

代表曲「RIDE ON TIME」の冒頭から使われるGメジャー・セブンスの響きに対して、スージーは「いわゆるシティ・ポップと言われるんですが、都会的なセンスって、やっぱりメジャー・セブンス」と発言。当初からシティ・ポップを抽象的なものではなく、コードネームという数学的な記号と結びつけていることが興味深い。

次に彼らの前にシティ・ポップという言葉が現われるのは、その約半年後、第30回『第二回 輝く！日本カセットテープ大賞』（2018年12月9日放送）だった。「最優秀アウトロ賞」に輝いた、松原みき「真夜中のドア〜Stay With Me」について、マキタが熱弁をふるったのである。

フェードアウトしながら奏でられる松原正樹のギター・ソロを絶賛し、「永遠性みたいなものとかが、ちゃんと演出されているので、終わってほしくないぶん、この物語はずっとそのまま進行していくのかなという感じがする」と解説。その後、スージーを交えてシティ・ポップ論が続く。そのやり取りを紹介しよう。

CamScannerでスキャン

マキタ　当時（1979年）、僕は小学生だったんで、お茶の間でシティ・ポップを享受するしかなかった。（この曲で）初めてテレビから観るシティ・ポップみたいなものを感じたわけですよ。その作者が林哲司さんだったんですね。だから僕は、**お茶の間レベルで、こういうシティ・ポップを届けせしめたのは、林哲司さんじゃないかなと思うわけですよ。**

スージー　**「September」（竹内まりや）と同時期で、林哲司の作曲家としての実質的なデビュー作ですね。**

マキタ　詞は、わりと女性のやるせなさみたいなものをテーマにしているんですよ。仕様としてはすごくシティ・ポップな感じがするんですが、基本的にはサッド・ソングなんです。日本人が昔から好きなサッド・ソングって演歌的なものなんだけど、演歌っていうのは、わりと悲しい内容を悲しいまま表現し、悲しいメロディで表わすんです。でも、これのどこがシティ・ポップ的かというと、表側はニコニコして「全然気にしてないし〜」みたいな感じだけど、心の中は「stay with meなの……」みたいな。そういうとこなんですよ。面従腹背ならぬですね、腹従面背と言いましょうか。ちょっと二律背反的というか、実は「悲しいことを悲しいまま歌わないぞ」っていう気位の高さみたいなものが、わりとシティ派の女性のセンスとかにも相通じていたんじゃないかと。

スージー　サビで見事なのは、「真夜中のドアをたたき帰らないでと泣いた」というフレーズは悲しい部分なんです。ただ、その次に「あの季節が 今 目の前」っていうことは、1回季節が回っているんですよ。過去のことを客観視しているという話があるからドライになる。ウエットとドライのバランスがいいですね。

マキタ　僕ね、女の人って「弱き存在」みたいなステレオタイプなものが昔はあったと思うんです。では、何がシティ・ポップの女性像として一番あったかというと、**メンタリティの部分で「女のやせ我慢」みたいなものをテーマにしてるところ。**それが(この曲の作詞家である)三浦徳子さんのセンスとしてあったんじゃないかなと思うんですよ。

スージー　確かにそうだ、三浦徳子さんの歌詞はみんな女性が強いわ。八神純子も松田聖子もみんな強い（笑）。

シティ・ポップの定義として「女のやせ我慢」というキーワードが登場した。ただ、「男のやせ我慢」は、のちにアーバンの代名詞にもなるのだから、実に興味深い。

続く第31回『あけまして、おメジャーセブンス』（2019年1月6日放送）で、さらにシティ・ポップの定義に関する考察が一気に進むこととなる。まず俎上にのぼったのはマキタ選曲の**「初恋」（村下孝蔵）**であった。二人のやり取りについては本編（P31）に譲るとして、マキタの名言**「のど自慢センス」**が的を射ているだろう。要約すれば、全国津々浦々までシティ・ポップ的なセンスが行き渡るための、作り手側のトライと、それが享受されるかどうかの基準をこう命名したのだ。

スージーは同じ回で、**サザンオールスターズの「素顔で踊らせて」**をセレクト。**「シティ・ポップとしてメジャー・セブンスが確立したシンボリックな曲」**と語る。同曲が収録された『ステレオ太陽族』で、サザンはシティ・ポップやAORのイメージを与えることに成功したと言えそうだ。それと同時に、サザンや山下達郎、小田和正を通して「シティ・ポップの大衆化」は一気に加速していった。

これも同じ回に登場したのが、マキタが選曲した**杉山清貴＆オメガトライブの「SUMMER SUSPICION」**だ。

プロデューサー藤田浩一の「誰もが感情移入できるJ-AOR」というコンセプトと、「ドメスティックで泣きのあるメロディ」というリクエストに完璧な形で応えた作曲家＝林哲司の仕事ぶりがあまりに見事だったため、彼らの楽曲が**「シティ or アーバン」の分水嶺**としてマキタとスージーに混乱を与える萌芽となったのは皮肉な話である。さらに、スージーが**中山美穂の「You're My Only Shinin' Star」**を挙げ、ついにアイドル・ソングにまでシティ・ポップと言えそうなアレンジを施した楽曲が登場してきたと解説。

ファンの間でも“神回”と評判だった、この第31回放送を通して、番組とシティ・ポップの距離は一気に縮まったように思えた。……しかし、MC両名が何度もシティ・ポップと連呼したこの回では、すでに彼らの中で巷間囁かれている「シティ・ポップ」ではない「なにか」に興味の軸足が移っていたと考えるのは、うがった見方だろうか……。

CamScannerでスキャン

2 アーバンが来た!

それは、突然の出来事だった。2019年4月7日に放送された第37回。『大阪の人に知ってもらいたい8つの事』と題し、ロフトプラスワンWESTでの番組初となるトークライブが開催された夜のこと。宴は熱を帯び、スージーが提唱する「玉置浩二ナインス」が最終盤を迎えて「悲しみにさよなら」が大音量でかかったあとのトーク。

スージー　安全地帯のブレークっていうのは、このナインス。**「ワインレッドの心」**が何かっていうと、「♪燃えそうな」の音じゃないですか。80年中盤に日本人はナインスを飲み込んだんですよね。

マキタ　そっか〜。でも、なんかすごいアーバンな香り。アーバン。

スージー　まさにアーバン。これだけじゃなくて**「ブルシアンブルーの肖像」**とかね。

マキタ：あれも？

スージー　歌い出しが「ミラシ」です。「シ」がナインスですね。

この短いやり取りの中で、マキタが発した「アーバン」という言葉に、我が意を得たりと即座に同調するスージー。２人が記憶しているとは思えないが、おそらくこれが大河の一滴となったと見て間違いないだろう。記念すべき「アーバンの番組デビュー」は、ライブが生んだ奇跡でもあったのだ。

ナインスの音使いに「アーバン」という言葉を当てた彼らは、次なる響きを求めた。それが表出したのは、第41回『湿度じめじめ』(2019年6月2日放送）の回である。取り上げた楽曲は桑田佳祐のペンによる**中村雅俊**のヒット曲**『恋人も濡れる街角』**で、コードはマイナー・セブンス・フラット・ファイブ（以下、m7(♭5)）だった。曲がかかるなりスージーが「アーバンだな」とつぶやき、マキタが「仕様がアーバンなシティ・ポップにしてあるんですけど、わりとメロディというか雰囲気はムード歌謡みたいなものじゃないですか。それを当時のシティ・ポップ的なセンスと融合させてるわけで、その時にm7(♭5)がけっこう生きたと思うんですよ」と続ける。事ここに及んで、まだ感覚的ではあるがシティ・ポップとアーバンを分けているということになる。

進撃のアーバン

アーバンという言葉は番組内で完全に市民権を得た。そんな中、第48回『ポツンと一曲』(2020年9月8日放送）で、さらなる楽曲がマキタによって投下されている。**村田和人**というシンガーソングライターの**「See You Again」**なるナンバーだ。82年のデビュー曲「電話しても」のデモテープを聴いた山下達郎がその才能に惚れ込んだという逸材で、山下のバック・コーラスを務めていた時期もある。この「See You Again」についてもメジャー・セブンスを多用しているというのだ。それでも、マキタは彼をシティ・ポップではなく、アーバンという言葉で取り上げていく。以下は、その時の会話だ。可能であれば曲を聴きつつ、読んでいただきたい。

マキタ　「See You Again」という曲の分析に入りますけど、これでもかというぐらいアーバンなんですよ。とにかくメジャー・セブンスが出まくっていますし、メロディもいわゆる７度という音ですね。さらに追い打ちかけて言うと、コード進行が、イントロからD on E。そのあとにF#m7(11) on C#という、めちゃくちゃ複雑な音なんです。

スージー　ああ大人だ。アーバンだな。

CamScannerでスキャン

マキタ　……で、歌が始まるんですが、「こんな時が来るなんて」……。「こんな」の「な」がシの音。「こんな」が7度。「来るなんて」の「く」も7度なんですよ。このメジャー・セブンスというコードは「悲しくもあり明るくもあり」という複雑な音色で、なんとも言えない「漂う悲しみ」みたいなものを表現しているんです。やっぱり、こういう都市型のラブソングで、節度と言いましょうか……悲しみにどっぷりと行かない感じでね。メジャー・セブンスというコードと、メロディも7度の音を使いながらストイックな歌の世界を積み上げてって、最後に「See you again」で終わるんです。これで、ラスト「See you again」のところをちょっと聴きたいので……。

その時まで　さよなら My love
元気でいて　See you again

マキタ　あぁ……、ちょっとスージーさん……ちょっと水漏れ……。

スージー　来ましたか……水漏れ（笑）。

マキタ　これね、ホントにたまらないんですよ。ちなみに最後のコードはA△7 on Eですね。やっぱり不協和音的な響きなんですけど、「See you again」の音とコードが合ってるようで合ってないようで……合ってるんですけど。高いところで「See you again」じゃなく、この「See you again」で終わる最後の必殺技感。奥さん、どうでしたか！　総論を言います。村田さんはメジャー・シーンという町場から離れて活動はしていたけれども、志は高く、気高く美しい曲を歌い続けた。「See you again」ありがとう！

(注：村田和人は2016年に惜しまれつつ亡くなっている)

■ シティとアーバンのイメージ例

下記の表は、これまでの番組で交わされた発言内容を元に、編集部でまとめたシティとアーバンの対比イメージ。

シティ	項目	アーバン
	音楽	
メジャー・セブンス	コード	ナインス、m7(♭5)
16分カッティング	リズム	特になし
さわやか	声質	湿度高め
歌えない	のど自慢	歌える
歌えない	錦糸町のスナック	歌える
ターゲットを絞った「求心力重視」	広がり方	学習不要で出入り自由の「遠心力重視」
	ファッション	
ボタンダウンでズボンにイン	シャツ	サテン地の開襟
特になし	ジャケット	たっぷり肩パット
アイビー風ダッフルコート	コート	トレンチコートの襟を立てる
シュッとしたパーマ	髪型	襟足長め
なし	ヒゲ	あり
	ライフスタイル	
渋谷、湘南（第三京浜）	エリア	六本木
昼間	時間	夜
吸わない	タバコ	マールボロ、パーラメント
カクテル	酒	バーボン
フォルクス・ワーゲン・バス	クルマ	トヨタ・ソアラ
六本木プリンスホテル	ホテル	モーテル
ノンポリ	政党	なんだかんだで与党
女のやせ我慢	やせ我慢	男のやせ我慢

CamScannerでスキャン

3 TAKURO登場！　シティ／アーバン論争が勃発

特番『第3回　輝く！日本カセットテープ大賞』(2019年12月1日放送) 収録のため、GLAYのTAKUROが番組を訪れたのは11月のある日のこと。ここで彼は大胆にも『日本カセットテープ大賞』内に「TAKURO映画祭」を新設し、自ら2曲を持ち込んだのである。1曲目に「TAKURO映画祭・昼の部」として紹介したのが**松田聖子「蒼いフォトグラフ」**。ご存知、松本隆が作詞で、呉田軽穂が作曲という名曲である。ここでは「港の引き込み線」という歌詞の面を中心に盛り上がったが、最後のほうでTAKUROから、次のような発言がなされる。

TAKURO　たぶん今、シティ・ポップなんかが海外からも再評価されていて、都会の描き方って人それぞれありますが、それが函館まで届いて、かつそれを情報のない俺たちに広げさせるっていうのは、また全然別の作業なんですよ、これ。80年代の、あのきらびやかな東京だの湘南だのの風景を、そのまま写真的に切り取られても憧れまではいかない。そこにある種の**「田舎特有の情緒」**を入れてくれないと、それこそ函館だ、稚内だ、帯広だっていう、そういったところで置き換えができない。

これを受けて、マキタが**サザンオールスターズ「海」**を聴いた時、"山梨に海が見えて潮の香りがした"と感じたこと。スージーが**「勝手にシンドバッド」**から、大阪湾に烏帽子岩が見えたと発言する。実は、これらに重大なポイントが隠されていたのである。それは、地方出身の現在40代後半〜50代前半である彼らは、80年代初期に流れてきたシティ・ポップ的な世界観を、直接理解したのではなく、地元の「なにか」に置き換えたり、

CamScannerでスキャン

「妄想」しながら享受していた、ということだ。もちろん、それを想起させる腕利きが成せる技なのであるが。
地元の原風景ということで、TAKUROがもうひとつ興味深いエピソードを語ってくれたので、こちらも紹介しておこう。GLAYの代表曲「Winter, again」の制作にまつわる話だ。

TAKURO　東京に来てGLAYもデビューして5年ぐらい。これはちょっと湘南の曲、書いてみるかって。でも、まったくヒットしなかった。
マキタ　ダメ？
TAKURO　やっぱり詞には2つぐらいのジャンルがある……もっとあるのかな。自分で“今、この世に必要なものなんだ”って、“誰が何と言おうと、このことを歌わないと俺はダメなんだ”っていうタイプの詞と、“誰にとっても置き換えられる、ちゃんと整合性かつ芸術的なまでに言葉が美しい詞”。こういうのに分けられると思うんですけど、その時に“いっちょ噛みじゃダメだな”と。やっぱり俺たちは「Winter, again」なんだと。
スージー　それ説得力あるなあ。
TAKURO　それこそ「Winter, again」を作る時、譜面で書いて“こういう曲なんだ”って渡しても、なかなかまとまらずレコーディングがうまくいかない。「いや違う、ほら、11月の国道5号線の電柱の下に雪があったの。それでギター弾いたら、あの音になって、あのアレンジになって。だから譜面に書いたことってバンドではあんまり意味がなくて。それよりも共通な原風景だったり、そういったことのほうがバンドっていう特殊なグループにおいては大事なんだなと。

続いて「TAKURO映画祭　夜の部」である。ここで紹介されたのが**山本達彦**、1984年のナンバー**「ロンリー・ジャーニー」**だった。この曲を聴き終えたTAKUROがマキタとスージーに異例の“話し合い”を切り出す展開に。これこそが、2019年末に勃発した「シティ vs アーバン論争」の口火であった。長くなるが、そのやり取りの模様をお届けしよう。

TAKURO　ちょっと話し合いたいんだけどね。
スージー　話し合い……。
TAKURO　本名だから、まぁ、あれだけど（山下）達郎さんと比べられがち……。
スージー　あっ、日本“二大ヤマタツ”ね。
マキタ　山本達彦さんは「LAST GOOD-BYE」のイメージが強すぎる。
スージー　この方は、この番組初登場ですね。
TAKURO　あっ、そうですか？　そこもなぁ……もっと評価されてほしいという。
スージー　もう一人のヤマタツはね……。
TAKURO　そう。皆さん、そうなんです。でも、俺の中では“ヤマタツ”と言ったら山本達彦さん。これはもう異論は挟まない。リアルタイムで聴いたのは「Music」っていうアルバムで。「Music」は1984年……。たぶん僕もCMソングで知って。そこから掘り下げていったら、もともとムッシュかまやつさんのバック・バンドのオレンジっていうのをやってて。そこからバンド解散し、ソロ・デビューっていう形になるらしいんですが、先ほども申しましたように、彼が80年代の函館にアーバンを持ち込んだ……。
一同　（笑）！
TAKURO　達郎さんはアーバンっていう言葉では括れないじゃないですか。
スージー　シティとアーバンは違うんだ!?
TAKURO　違うんですよ。
マキタ　シティとアーバン、違うね。
TAKURO　肩幅違うよね。
マキタ　ハハハッ。入ってる肩パットの量？
スージー　アーバン……あぁ、肩パットだ。アーバン、タバコの臭いがしますね。
マキタ　細いタバコね。

CamScannerでスキャン

スージー　洋モクね。あと、シティは山下達郎でスカッとしてるんですよね。

TAKURO　(山本達彦さんの)"シティ・ポップの貴公子"っていう、誰がつけたかわからない最初のキャッチコピーが、俺としては、ちょっとズレたんじゃないかなと。むしろアーバン……、アーバン・ポップ。

マキタ　アーバン・ポップ……。

TAKURO　**アーバンの検証が、きちっとなされてないので、いまだフワフワしてるんですよ。**シティ・ポップっていうものが、これくらい市民権を得ているにもかかわらず、"アーバンな雰囲気だ……"とかっていう。アーバンって言葉自体が市民権を得ていないんじゃないかと。

スージー　シティ・ポップは、メジャー・セブンスで16分音符で、カチャカチャやる音楽ですね。山下達郎です。アーバンはマイナー・キーで、やはり「ドラマティック・レイン」(稲垣潤一)起源なんですよ。

マキタ　(メジャー・セブンスでカッティングを弾く)

スージー　これこれ、シティ、シティ。第三京浜！

マキタ　アーバンは？

スージー　あれですよ。「ドラマティック・レイン」のイレブンスですよ。

マキタ　あっ……。(ギター)ズチャチャン チャンチャチャン……。あぁ、そうね。

TAKURO　ハードボイルドな要素……。

スージー　タバコ・東京・港区・六本木……。

TAKURO　あと……**やせ我慢**。

スージー　やせ我慢！　コートの襟立てるんです。で、肩パット。

TAKURO　じゃあ寺尾聰さんは……。

スージー　この文脈で言ったら、アーバンです！

TAKURO　アーバンなんじゃないかなぁ……。バック・バンドがシティ・ポップだから、あんな……。でも、彼の歌い方はアーバンですよ！　完全に。

スージー　81年、**寺尾聰「ルビーの指環」**。82年、**稲垣潤一「ドラマティック・レイン」**。83年、**「悲しい色やね」(上田正樹)**。あと、村下孝蔵の「初恋」。あれはアーバンじゃないんですけど、音楽としてはアーバンっぽい。マイナー・キーでメジャー・セブンス。これ深いなぁ……。

マキタ　アーバンは僕が大好きなフラット・ファイブが入ってますよね。

TAKURO　1984年当時に山本達彦さんは30歳なんです。で、その詞の世界と実像がどれくらいかわかんないけど、やっぱり育ってる時は、まだ70年代じゃないですか。生まれ持ってアーバンじゃないんですもん。だから、少年時代はたぶんまだ……70年代の公害とか社会的問題とか、そういうのからの時代が良くなって、いきなり肩に力入るみたいな感じでしょ？　だから、どっか向こうでは、やせ我慢してるし、泥臭さもある。

マキタ　なるほどね。

TAKURO　僕、稲垣潤一さん大好きなんですけど、やっぱり歌詞に「膝の抜けたジーンズ」とか出てくるもんね。「西陽強いアパート」とか。

マキタ　ちょっとやっぱり日本ですね。土臭い感じがします。

TAKURO　たぶん、それってデビュー1枚目か2枚目ぐらいのアルバムだけど、どんどん、やっぱりアーバンになってくる。稲垣さんもね。

マキタ　やっぱこう、どうしようもなくある日本の風土の中に、都会的なものがウワモノとして入っているっていうだけで、そこのバランスがアーバンのほうにはあるのかな？

TAKURO　だから、アーバンが向こうから突然、時代としてやって来て。男としては、そこはもう格好もつけるんですが、どこか心許ないところもある。で、痩せ我慢をしなきゃいけない。さっきの聖子ちゃんの歌詞みたいに、女はどんどん主張を含めて強くなっていく。そこが特徴なんじゃないかと。

スージー　はい、はい、はい！

マキタ　はい、スージーくん。

スージー　一応やっぱり1個1個、番組ごとで知見を固めて結論を出していくとするとね。アーバンとシティ、今決まりつつありますわ。シティ・ポップ＝メジャー・セブンス、16分音符、チャカチャカチャカチャカ……。えーっとね、渋谷区。で、アーバンが港区六本木。マイナー・セブンス、フラット・ファイブ、夜、肩パット、タバコ、コートの襟を立てて。だからメジャー・セブンスとマイナー・セブンスの中間みたいな……。はい！　**僕が言いたいのは杉山清貴＆オメガトライブの「SUMMER SUSPICION」どっち？**

マキタ　アーバンでしょ。アーバンでしょ？

スージー　でもシティっぽいですよ？

マキタ　いや、俺アーバンだと思う。

TAKURO　アーバンだと思います。
スージー　「SUMMER SUSPICION」はアーバン。じゃあ**「ふたりの夏物語」**は？
マキタ　え～……。あれもアーバンじゃないかなぁ。
スージー　なんだ、俺のオメガトライブのシティ感は幻想か……。僕ね、考えたのは80年代半ばのスナックでかかるか、かからないか？
マキタ　そうですね。
スージー　安全地帯はめっちゃかかるじゃないですか。「ワインレッドの心」聴いてもね。ほんでアーバンの方々、スナックでかかるじゃないですか。「SUMMER SUSPICION」、錦糸町のスナック……かかるか……。
マキタ　「SUMMER SUSPICION」は、一応スナックでも歌える曲だと思うんです。あれはだからプロダクトとして、最初に林哲司さんは西海岸風のものとかを作りたくて提供したんだけど、プロデューサーの方に「もっと日本風な泣きが入ったものに変えてほしい」と言われてるんです。
スージー　シティに行きたかったけど、グーッとアーバンに……。
マキタ　ダメダメ、西海岸、ダメダメダメ！　錦糸町、錦糸町！
TAKURO　いや、そう。やっぱりファッションも同列で語らないと、この頃は特に。やっぱり杉山さんがサングラスをかけて、あのスーツ着たらアーバン。何を歌おうが、もうアーバン。

年が明けて2020年。第55回『イントロがいい曲』(2020年1月5日放送)にて、早くもマキタが**「モノクローム・ヴィーナス」(池田聡)**でTAKUROの残した「シティvsアーバン論争」を議題に上げたのだった。

マキタ　2019年内でしたけども、TAKUROさんが現われて「遠く函館に届く都会感っていうものは、一体何か？」みたいなことをおっしゃった。「最近シティ・ポップが流行ってるけど、シティとアーバンは違う」ということをですね、ポンと置いて「それでは！」って去っていったんです。
スージー　「モノクローム・ヴィーナス」もアーバンですよね？
マキタ　アーバンですね。コマーシャルソングで流行ったし、当時、杉山清貴さんきっかけぐらいだったと思うんですよね。僕は、あっちはアーバンだと思うんですよ。
スージー　**杉山清貴がシティかアーバンかは歴史的な論争になってます。**
マキタ　「いや、シティでしょ！」っていう人はいるんですけど、遠く山梨で「気が狂いそうさー」ですよ？　ちゃんと杉山清貴さんは山梨にも届けてくれたんですよ。やっぱ、この悲しみというか、なんて言うかね……悲哀。「男のやせ我慢」とかってTAKUROさんも言ってましたけど。その当時「シュガー・ベイブをわかれ」って言ったって、わかりゃしません、あーた。やっぱりね、シャツで例えるなら**シティはボタンダウン**。アーバンはサテン地の開襟シャツ。わかりますか？　**サテン地の開襟シャツはアーバンなんですよ**。襟がやけにカッコいいシャツとかを着て、肉がたっぷり入った肩パットのスーツを着こなして、こういう曲を歌っていたのが、代表的なのは池田聡さんですよ。

マキタはこの曲のコード進行にも言及し、トゥー・ファイブ・ワン(II-V-I)、いわゆる「枯葉進行」を使うことで、よりアーバンさを増していると語った。

さらに2月2日放送『アレンジャーズ／インフィニティ・ウォー』(第58回)では、スージーが**上田正樹「悲しい色やね」**でアレンジ面からアーバンを掘り下げていく。この曲のアレンジャーは星勝。スージーいわく「"井上陽水アーバン化計画"を推進し、80年代前半にアーバンの世界を形づくった重要人物」である。中盤のサックス・ソロの名演を取り上げて、**「シティはサックス出てこない、アーバンこそがサックス」**という至言を残している。そして、この曲を書いていたのも、林哲司……。いよいよマキタとスージーは、シティvsアーバン論争の鍵を握る人物との対面を果たす。

CamScannerでスキャン

4 シーバン・林哲司との共演

2020年5月30日、JFN系列のラジオ番組『ミッドナイトダイバーシティ～正気のSaturday Night』にマキタとスージーが生出演。24時台は両名によるシティ・ポップとアーバンについての定義を分析していった。

"シティ・ポップの夜明け"としてスージーがまず挙げたのは、鈴木茂の「砂の女」。この曲が大河の一滴となり、作詞家の三浦徳子、松本隆らが入ってきて、少し大きな河になってきたと分析した。次に紹介したのが、竹内まりや「September」で、この曲と松原みき「真夜中のドア～Stay With Me」の発表をもって、1979年を"シティ・ポップ元年"としていいのではないかと語る。最後は渡辺徹「約束」。この曲を含めて、当時イントロで「ミレ」という音階を使っている楽曲は、シティっぽさを感じさせるという考察を発表した。

それを受けたマキタは、アーバンの立場から発言。そのテーマは「1986年のアーバン・ポップとトヨタ・ソアラ」。いわく「爆発的な人気を博したトヨタ・ソアラのカーステから流れてきそう。あるいは曲を聴いた時に、ソアラのコクピット内に入った気になれるという曲」として、まず「ドラマティック・レイン」（稲垣潤一）がセレクトされた。続くは安全地帯の「マスカレード」。玉置浩二の温暖湿潤ヴォイスをパイオニアのカーステ、カロッツェリアから聴きたいそう。マキタはシティについてターゲットを絞った「求心力重視」、アーバンは「学習不要で誰でも出入り自由」と分析していて、これはかなりわかりやすい例えだと思われる。最後は池田聡「モノクローム・ヴィーナス」。ここから話は"もんた&ブラザーズはシティかアーバンか？"という話題、さらに"シティとアーバン大喜利"が展開されて第一部は終了。

25時台の第二部では、いよいよ林哲司がスタジオに入り、氏の手掛けた楽曲について二人がさまざまな質問をしていった。ちなみにタイトルにある、シーバンというのは、シティとアーバンを合体した造語であり、第一部でスージーが作り出した言葉だ。

CamScannerでスキャン

ブレイク前の活動期

林 どうも、シーパン林です。

マキタ 勝手なことばかり申し上げて……。

スージー 本当に申し訳ございません。

林 いえいえ。コアな番組に出させていただきまして、本当にありがとうございます。

マキタ 来たからには、我々を虜にした犯人として、自供してもらいますからね（笑）。林さんは、当時、気鋭の作曲家として日本の歌謡界の中でボーンと出てこられて、どういう心持ちで日本のポップスを「やってやろう」みたいな気分であったんですか？

林 洋楽っぽいものをもうちょっとやりたいなっていうのはありましたよね。王道として流れている歌謡曲とかアイドルの曲とかを聴いても、あんまり好きになれなかったんです。申し訳ないんだけど。村井邦彦さんだとか、浜口庫之助さんとか、やっぱり洋楽を意識して作ってこられた作曲家の方たち……あと（筒美）京平さんですかね。そういう曲は好きでしたけどね。

マキタ ご自分ではどこにチャンスがあると思っていましたか？

林 チャンスは全然なかったですよ。

マキタ なかったですか？　すごく順風満帆だったように見えるんですけど。

林 ううん。ヒットするまで10年くらい助走していた。アレンジ(仕事)を先にやっていたんですよ。以前は『ザ・ヒットパレード』とかで、けっこう洋楽に歌詞をつけて日本の歌として歌っている方たちがいたでしょ。オリジナルってことになると歌謡曲が主流で、ポップスという枠組みの中で歌う人は本当に少なくて。そのうち仲間から大橋純子さんが出て、彼女を中心として曲を提供できるような形になった。そのあとに松原みきさんとか、竹内まりやさんが登場するわけですよね。それで「やっと、曲が書ける」と。

マキタ 「俺の時代が来た」みたいな？

林 それはないですね（笑）。僕はまだ南沙織さんや布施明さんが、ややポップスっぽいものをやっていたから、そちらに作品を提供していて。少しずつアレンジャーから作曲家へ転向できた、みたいなところはありました。

スージー 今、目の前に音楽之友社の『林哲司の全仕事』という本があって、巻末に作品リストがあるんですが、79年の「真夜中のドア」とか「September」の時に「つかんだ、きた！」という感じはありました？

林 作品自体は「好きな曲を書けたな」という印象はあったんだけど、いつまでも“新進作曲家”って言われてた。ということは自分の作品がそんなに出てないってことでしょ（笑）。

マキタ 定番ではないというか……。

林 そうですね。メインストリームに入っていけないというか。でも「September」と「真夜中のドア」は、一石を投じた感じにはなっていたと思うんですよね。

スージー さすがに83年、上田正樹「悲しい色やね」まで行くと、「きた！」って感じ……？

林 これはね、よくわかんないコードで大阪の人を惑わせたいなって（笑）。

スージー ハハハ！　私だ、惑わされたのは！　DmからAに転調するんですよ。目の前に大阪の南港が見えましたもん、ブワーッと。

林 でも、あの曲を大阪の歌にしたのは僕じゃないから。

スージー さっきの本によると、康珍化さんが大阪の歌詞にした時、林さんが怒ったって書いてありますよ（笑）。

林 怒ってはいないけど（笑）。最初にソニーのディレクターの人が言わないんですよ。僕が作業しているスタジオに、「できました」ってテープを持ってきて、スタジオのロビーで聴いていたわけ。なかなか出だしはいいなと思ったんだけど、途中から「泣いたらあかん」って。ホント、あかんわって……（笑）。でもまあ、こういう作品ができるんだったら、それはそれでいいかと。しかもシングルじゃなくて、アルバムの一曲だったので。だからもう、諦めました（笑）。

マキタ 諦めたのが、あれだけすごいことになって。

スージー では、康珍化さんと林哲司さんのマスターピースを聴いてください。

「悲しい色やね」上田正樹

スージー 曲をかけている間に、爆弾発言がありましたよ。康珍化さんの歌詞が最初は違ったんですか？

林 これは曲先だから、康さんがどういう詞を書いたか知らなかったんですけど、ディレクターの話をあとから聞いて「えっ！」っと思ったんですよ。「にじむ街の灯を」っていうところが「アマガサキ

CamScannerでスキャン

の灯を」という……。

スージー　ハハハハハ。

マキタ　ちょっと待ってくださいよ。アマガサキって、あの尼崎ですか？

林　そう。

マキタ&スージー　「♪尼崎の灯を～」

マキタ　だいぶ違いますよ。

スージー　「ダウンタウンです」って（笑）。

林　大阪から、(尼崎が) 見えるんですか？

スージー　大阪湾でも、大阪市の真横ですね……。そういうことか！　こちらは大阪にいて尼崎が見えるって歌なわけですね。いやでも、**尼崎が入ったらシティでもアーバンでもないですよ。尼崎は尼崎です**（笑）。

マキタ　アーバンっていうか、アーマン。その事実はすごいね。

スージー　アーバンがスナックで映えるという話からすると、これは「ザ・アーバン・ミュージック」という感じがしますね。

マキタ　もう絶対そう。音楽的なテクニックの話をあえてしましょう。これはメジャー・セブンスとか使われていますよね？

林　これは完璧に洋楽を書くつもりだったんです。だから「泣いたらあかん」でビックリしたの。

スージー　でも、あの時の上田正樹さんはお洒落でね、細いネクタイとかして。アーバンな衣装で……。「70年代の上田正樹はどこ行ったんや！」って思いましたけどね（笑）。

マキタ　あのヒットでご本人も迷われたと思うんですけど、そうやって我々には届けられましたから、この世界観を。

林　上田正樹さんの声質って、ハスキーな声でしょ。それでキレイなバラードを歌わせたかったというのはあった。ジョー・コッカーから来てましたから。

スージー　"日本のジョー・コッカー" と呼ばれてましたからね。「♪You Are So Beatiful」。

林　あのロジックみたいなものでやりたかったんです。でも、まさか大阪ってところまでは考えてなかった（笑）。

マキタ　大阪人のスージーさんとしては、「悲しい色やね」って言葉はちょっとおかしいんでしょ？

スージー　「悲しい色やね」っていうのも、やっぱり（康珍化の出身地）静岡県人が作った関西弁って感じがします（笑）。「悲しい色やな」とか「悲しい色やで」がたぶん大阪弁の感覚だと思いますね。でも、「悲しい色やね」だから売れたんじゃないかなって話もあって。

林　たしか映画のタイトルは『悲しい色やねん』だったんですよね。

スージー　そうです。そのへんは当時、ノリにノッている康珍化さんの言語感覚が生きてるんじゃないかと思いますけどね。

マキタ　林さんの仕事をいろいろ調べている中で、やっぱりオメガトライブとかの話に行き当たる。そこで出てくるのが藤田浩一さんというプロデューサーの方で、もともとGSのアウトキャストというグループをやっていて。そのあと独立してトライアングル・プロダクションを作り、林さんとかと出会って作品を出していくわけです。そこでオメガトライブを発車するわけじゃないですか。その時の話とか、僕けっこう好きなんですよ。洋楽志向の林さんがオメガトライブのデビュー曲をウエストコースト風で作ってやろうとしたが……。

林　そうなんですよ。あまり「こういう形」という指定がなかったんですが、杉山くんたちのバンド、"きゅうてぃぱんちょす" を聴いて、"横浜のロック" ということだったんで、その当時に自分でいいなと思っていたジャーニーとかエイジアとか、そっちの方向で曲をまとめたかったんですよ。それで2曲書いたんですけど、藤田さんが「いいんだけど、ちょっと違うんだよな。もう少し日本っぽくしたい」と。**日本っぽくってどういうことかなと考えて作ったのが、「SUMMER SUSPICION」**です。

マキタ　あの曲の、どこが日本っぽく改訂した部分なん

CamScannerでスキャン

ですか？

林　ウエストコーストに行きたかったものを、もう一回「太平洋から日本のほうへ帰って来いよ」と言われたような感覚。どういうことかと言うと、やっぱり哀愁感。

スージー　具体的にはマイナー・コードを増やす……？

林　マイナーなんですけど、青じゃなくて青に白を混ぜて、もうちょっと黒みがかってブルー・グレイとか、そんな色合いが出るといいかなと。

スージー　さっきの「悲しい色やね」のテンション・コードの話とつながっているんですね。

林　そうですね。

マキタ　ちょっと複雑な音に聴こえるものをってこと。

スージー　次にかける「Rainy Saturday & Coffee Break」というのは、どういう曲なんですか？

林　僕のソロで『バックミラー』という2ndアルバムがキティ・ミュージックから出ているんですけど、その中の曲で、最近のシティ・ポップ・ブームでこの曲をリクエストしてくれたり、聴いてくださっている人たちが多くて。さらに、海外のアーティストがこのアルバムから曲を取り上げてくれたりとかしているんですね。

スージー　じゃあ、シーパンじゃなくて、シティそのものかもしれませんね。

林　そう。さっきの**シティとアーバンの違いって、僕らから受け取ると「洋楽と邦楽」みたいな違いですよね。**あと、シティ・ポップって言葉自体が僕らにはピンと来ない。シティ・ポップスと、スが付いてた。で、さらにアーバンはマールボロじゃなくてパーラメント。

スージー　ああ〜、ニューヨーク感があるなあ。

マキタ　どこの景色だか知らないけど、とにかく摩天楼って感じの。

林　そう。あのコマーシャルで向こうのアーティストが歌っているのがアーバン。

マキタ　ボビー・コールドウェルとか、アーバンのイメージがありますよね。

スージー　では、シティ・ポップの元祖とも言える、この曲を聴いてみたいと思います。

「Rainy Saturday & Coffee Break」林哲司

スージー　この曲は純粋に洋楽に近かったという気がしますね。

林　そうですね。1枚目はけっこうビートルズっぽいアルバムだったんですよ。2枚目でようやく「自分の追い求めている形はこういうことかな？」って作り始めたのが、『バックミラー』というアルバムだったんですね。

マキタ　今、シティ・ポップなる言葉が流行っている状況をどういう風に感じますか？

林　全然わからない。これは（ブームと）誤解されることが多いんだけど、2年くらい前から自分の作品をもう一回振り返ってみようと、「SONG FILE LIVE」という活動をしているんですよ。ゲストで杉山くんや稲垣潤一さんが来てくれたり。それを観に来てくれた作詞家の売野雅勇さんが、シティ・ポップ・ブームになったので、それを始めたと思っていて（笑）。“いや、そうじゃないんだよね”と。ポール・マッカートニーが、いまだにライブをやってるでしょ。そのインタビュー記事で、「ひとつはファンのため。もうひとつは自分の作品を振り返るため」という言葉が目に入ってきたんです。それで自分でふと振り返った時、本当に僕自身の作品の中の一割にも満たないんですよ、みなさんがご存知のヒット曲って。

スージー　このリストを見ると膨大な曲数ですからね。

林　過去に書いてきた作品の中でも、自分が気に入っているやつとかあるんですよ。僕の信念なんだけど、例えばアイドルが歌った曲を他の人が歌った時に、成立しなかったら作品としての力がないという解釈になるんです。それはちゃんと違う形で披露したいというのがあるんですよ。

スージー　どうですか？　最近ライブでもう一回見直してみて。

林　面白い。オリジナルの歌い手さんのイメージが強いわけで、他のシンガーが歌った時に満足してくれるかどうかが最初は不安で。ステージから見ていて気がかりだったんだけど、これが満足してくれるんですよ。結論から言うと、その曲をきちっと歌ってくれて、それなりの表現力を持っている人だったら本人じゃなくてもOKだって。もちろん本人がゲストで来てくれたら、それはそれで嬉しいだろうけど。そうじゃなくてもオーディエンスはそれなりの自分の思い出を背負いながら曲を聴いてくれるっていうのはあるみたいで。

マキタ　いや、面白いですね、その話。

スージー　そうなってくると、もうシティでもアーバン

CamScannerでスキャン

でもどっちでもいいんですよ。名曲は名曲。
マキタ　作家でありながら表現者であるという、ふたつのマインドをちゃんと持っている林さんならではだと思うんですよ。僕のほうに寄せちゃうと、お笑いでも台本が優れていれば、他の人が再現しても面白くなるはずだと僕は思っています。
林　あとは表現力をきちっと持っているんだったら、台本が変わっても、表現者がそれなりの表現をしてくれればOKだよね。
マキタ　林さんたちが頑張ってくれたおかげで、だいぶ日本人のリテラシーは上がったと思います。だって耳心地が全然違った……ですからね。
林　アイドルの曲でも、そこに音楽性があるかどうかという大きな分かれ道があるわけで。僕たちがやりたかったのは、アイドルの曲でも「あ、ここのコード進行いいな」とか、「このメロディの流れ方いいな、心地いいな」とか、技術的なことはあまりわからなくても、リスナーが聴いていて感覚的に合うというものを背負ってくれると、それは送り手としては嬉しいですよ。
スージー　ここで我々の「林哲司ベスト3」をかけて、1曲ずつに「どこが良いか」というのを、我々がプレゼンしましょうか。
マキタ　やりましょうよ。
スージー　じゃあ、私から行きましょう。一番好きな、この曲からです。

「真夜中のドア」松原みき

スージー　メロディもいいんですけど、エンディングの「♪二人の時を抱いて」の部分……。
マキタ　あそこのフェイクいいですよ！
林　あそこはね、ライブでカバーを歌ってくれている、うちのバンドの一穂も同じように歌うんですよね。やっぱり体に入っちゃってるんだと思う。
スージー　これはもちろん林さんが書き譜で……。
林　ううん、違います。松原みきさんはもともとジャズをやっていて、あそこは本当に自分でフェイクして歌ったところなんです。
スージー　いい話!!
マキタ　おーーーっ！　じゃあ、あれはヒューマンな鳴りで、エモーションがバーっと上がって出しているってことなんですね。あと、松原正樹さんのアウトロのギター・ソロ！　もう口で歌えるくらい。ずっとフェードアウトしていく時、延々にその世界がつながっている感じ。たまらないですね。捨てどころが一切ない曲ですよ。
スージー　松原正樹さんはファースト・コール？
林　今剛と松原正樹の二人はファースト・コールですね。これ、サックスはジェイク（・コンセプション）ですけど、ジェイクの場合はとにかく一回目にレコーディングしちゃう。本人は練習のつもりで吹くんだけど、大体一回目がいいの。やっていくうちにつまんなくなっちゃう(笑)。まっつぁん（松原）は本当に任せていて「好きなように弾いて」と。今くんは自分でOK出しちゃう(笑)。僕らが「もうこれでいいよ」って言ってもダメ。「もう一回やらせて」と。
スージー　もちろんソロはアドリブ？
林　アドリブですね。ちなみに、この曲のBメロでは「アルペジオにしよう」と伝えてはいたけど、ボイシングを選んだのと、ダブルにしようと言ったのは、まっつぁんです。
スージー　エエ話、聞いたなあ。では、マキタさんも1曲どうぞ。
マキタ　私はこちらの曲をお願いします。

「君のハートはマリンブルー」
杉山清貴&オメガトライブ

スージー　曲の間も話が盛り上がってましたけど、m7(♭5)がどうしました？
マキタ　僕ね、m7(♭5)というコードが大好物でございまして。一応ご存知ない方のためにギターがありますので弾いてみます。なんというか「くすみ」を帯びた悲しいだけじゃなくて苦味もあるような、ヘンなコードなんです。
林　そう、よくわかってるね（笑）。ホント、そうなんですよ。
マキタ　要所要所で日本のサッド・ソングには使われてきていて、これアーバンにも使われがちなんじゃないかと僕は思っているんです。
スージー　このm7(♭5)はどういう和音だと思ってます？

林　僕は部分転調する時に、これを使うんですよ。
スージー　部分転調!!
林　一回ちょっと振って……。戻す前の「一回こっち行くぜ」みたいな感じ。
スージー　決してこの和音じゃ落ち着かないですよね。
林　経過和音ですからね。あと、この曲は特に、セブンスのフラット・サーティーンス（♭13）とかを使っているところがあって……。
スージー　来ました13！　ちょっと我々の理解の範疇を超えてますね（笑）。
林　さっきマキタさんがm7(♭5)って言ってたでしょ？　その上に来るのがマイナー・ナインス、そしてイレブンスが来る。ナインスまではOKだったところを、「イレブンスだったら大丈夫かな？」と入れてみたら意外と気持ちよくて。リスナーの人たちが気持ちいいって感じてくれたなと思うと、「あ、許された」と思うわけ。
マキタ　これね、僕ちょっと恨みもあるんですよ。僕の先輩でIさんという人がいて、この曲をスナックで歌うと、すごいモテちゃうの。魅了されちゃうわけですよ。その中にm7(♭5)が使われているなんて、Iさんはわかりっこないしスナックにいる女性のお客さんも、わかっているわけない（笑）。
スージー　でも、m7(♭5)が響いてキュンと来るわけですよ！　では、ラスト1曲、やはりこの曲です。

「SUMMER SUSPICION」杉山清貴&オメガトライブ

スージー　シーバン話に戻しますと、シティのお洒落さとアーバンの男の切なさが混ざっている曲だと思うんです。そのへん、実際に計算して作っていらっしゃったんですか？
林　計算もあるけど、最終的には感覚ですよね。ただ、洋楽に行き過ぎちゃうと日本ではちょっとついていけないんですよ。そこをあえて哀愁感を出すために、例えばAmのキーだったら、Dmから一箇所だけE7に行くとかね。

スージー　E7という哀愁コード……ああ〜。
マキタ　これ、大好き！
林　歌謡曲でも使ってるコード進行じゃないですか。そこだけ残して、あとはもう少しテンションを入れたマイナー・セブンとかイレブンスの構成にして……。そういう計算はありましたよね。
スージー　「君のハートはマリンブルー」での「夕日を集めるツイードのジャケット」のところ……。
林　そうですね。
スージー　わかった!!　林哲司3級まで行った（笑）。
林　あとは「悲しみがとまらない」（杏里）だったら、「悲しみが、と〜ま」のコードね。
マキタ　「と〜ま」……あそこ、いいんですよ！
スージー　そういう方向に導いたのは、ご自身の判断ですか？　藤田さんのご指導もありました？
林　自分ですね。オメガのデビューとして用意した「UMIKAZE TSUSHIN（海風通信）」のデモができた時点で、自分の中で描いていたものが、藤田さんのイメージに近いかどうかわかる。「いいんだけど、もうちょっと泣いて……」みたいに具体的なものが出てくるわけ。それで持ち帰ってできたのが「SUMMER SUSPICION」だったんです。
スージー　シティとかアーバンという概念は、今回便宜的に使っている話なんですが、そういうコンセプトと言うよりは、むしろ洋楽との距離感で、ここぞ！というところでは日本人受けするコード進行を使うことによってオメガ・サウンドが作られたということですかね。
林　そうですね。だから、3枚目のシングル**「君のハートはマリンブルー」で、ある意味オメガ・サウンドが形成された**という感じですよね。

この日24時台の放送の最後でマキタとスージーが交わした会話が筆者の耳を引いた。マキタが「シティとアーバンは決して対立しているものじゃないんじゃないか?」と振り、受けたスージーも「テレビの中では"シティvsアーバン"という対決構図だと言っていたんですけど、僕もシティをもっと希釈して大きなマーケットにしたのがアーバンではないかと思いましたね」と答えている。番組収録の合間にもずっと音楽の話をしている二人のことだ、きっと納得のいく答えが出つつあるのだろう、と。

この放送から約3ヵ月後、本書の取材で「シティ・ポップとアーバン・ミュージック」について、改めてマキタとスージーに聞いてみることにした。すると、スージーから新説が。まだまだこの話題、続きそうだ。

CamScannerでスキャン

日本にシティ・ポップはなかった!?

——『シティ・ポップvsアーバン・ミュージック』論争も盛り上がりましたね。

スージー 新説を発表しますけど、「日本にはシティ・ポップってなかったんじゃないか？」と（笑）。つまり今ブームになってるのは、なんかちょっとハリボテの世界であって、**「日本の"シティっぽい音楽"っていうのは、すべてアーバンだったんじゃないか？」**と思うんです。当時、「シティ・ポップス」っていう言葉はありましたけど、いま言うシティ・ポップっていうのはあと付けのものであって……まあ山下達郎だけは特別。あれは**「山下達郎というジャンル」**ですから。それ以外のマイナー・セブンスとかメジャー・セブンスを使っているのに、錦糸町のスナックでかかって違和感がないものは、アーバンであると。そうすると、わりとほとんどアーバンなんじゃないかと（笑）。

マキタ ハハハ。

スージー もともと私は杉山清貴＆オメガトライブはシティ・ポップじゃないかと思ってたんですよ。ただ、オンエアの時にTAKUROさんとマキタさんが、「オメガトライブはアーバンじゃないか」と言ってて。ということは、全部アーバンなんじゃないのかっていう（笑）。

マキタ そうそう。僕もいまだに、オメガトライブは、アーバンなんじゃないかなと思ってるんですけどね。ただ、これもけっこう面白かったのが、ちょうど我々が、「シティだ」、「アーバンだ」なんてことを言い始めた時に「アーバン論争（※編注）」ってあったじゃないですか。

スージー はいはい、言葉遣いでね。

マキタ それとはちょっと違う使い方、感じ方なんですよ。日本はわりと全部が中流社会みたいな感じだし、80年代にそういう中間層の人たちの豊かな暮らしがあって、当時カーステで聴いてた音楽や、スナックとかで歌えるシティ・ポップみたいなものがアーバンだっていうようなことを僕は思ってはいたんですけどね。スージーさんやTAKUROさんと話していて気がついたのは、**"俺はやっぱりアーバンが好き"**ってこと（笑）。スージーさんが言ったみたいに、ひょっとしたらシティっていうのはなくて、みんなアーバンだったんじゃないかっていうこととも符合するんですよ。自分の中ではね。

スージー だから、一種の歴史の改竄（かいざん）みたいな話になってきていてね。確かに70年代前半までに東京の山手線の内側に住んでいたようなお坊ちゃんが、ギターとかドラムを始めて作った音楽っていうのは、**"ザ・シティ・ポップ"**なんですよね。それは正しいと思うんですよ。ただ、その人たちがあまりにも優秀すぎたんで、特に「70年代の日本の音楽家は全員そんな人たちで占められていたんじゃないか」っていうのが歴史の改竄であって……歴史っていうのは、やはり「勝者の歴史」ですから。そうなると今の若者が"70年代ってシティ・ポップだらけだったんじゃないか？"と思ってしまう。ただ、世の中のマーケットの大半を占めていたのは……ヤンキー成分っていうのが日本の中でだいたい2割くらいを占めてて、それに近い。喧嘩の強い順番で言うとヤンキー、アーバン、シティ。甘っちょろいシティとかっていうのは上澄みであって、例えば矢沢永吉のソロ・アルバムとか、やっぱりアーバンですよね。そっちのほうがマーケットが大きかったっていう。なんか今たくさんシティ・ポップ本とか出てきていて、そういう名盤を知ってるのが、さも音楽的な通だとかっていう若者がいるんですけど。いやまあ、そう言う前に矢沢永吉『ゴールドラッシュ』を聴いて、まずアーバンを知って（笑）。

マキタ そうだね。"シティ・ポップ"っていう言葉がひとり歩きして普及しているけど、本当は"シティ・ポップス"だよね。それは全部アーバンなんですよ。もしくはシーパンでしょ？

スージー シーパン（笑）。

——これについては、まだまだ新説が出てきそうですね。

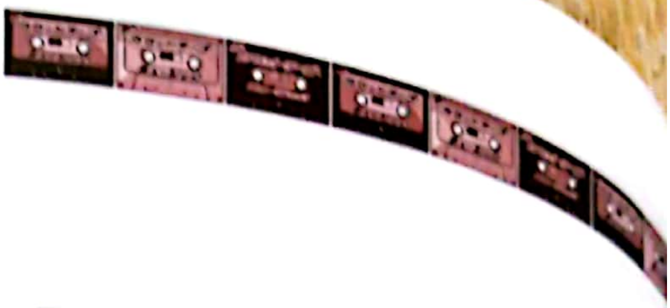
マキタ そうですね。でも、アレですよ。**『ザ・カセットテープ・ミュージック』っていうのはアーバン・ミュージック番組だと思います（笑）**。だって僕もスージーさんも東京以外の人で、マスに当てられたものが好きだったから。本当に初期ですけど、例えばスージーさんがチェッカーズを評論することで、ファンが溜飲下げて雨後のたけのこのように番組に飛びついてきたりしたことがあったけど、そういうことが我々の役目じゃないですかね。

スージー かしこまった音楽じゃなくて、酒とタバコの匂いがする、**「大衆と手を組んでいる音楽っていうのが好きだ」**っていうのは、この番組の底辺の1個かもしれませんね。

編注：2020年6月、ユニバーサル・ミュージック傘下のリパブリック・レコーズが、音楽ジャンルとしてのアーバンという言葉を今後いっさい使用しないことを発表した。

CamScannerでスキャン

CONTENTS



巻頭グラフ 002
マキタスポーツ、スージー鈴木、河村 唯、外岡えりか、酒井 瞳

特別企画
実録！シティ・ポップとアーバン・ミュージックの境界線 008

ザ・カセットテープ・ミュージックの音楽理論
PART 1 一撃必殺のコード使い

◎メジャー・セブンス
「海」サザンオールスターズ 028
「RIDE ON TIME」山下達郎 030
「あの時君は若かった」ザ・スパイダース 032
「初恋」村下孝蔵 034
「素顔で踊らせて」サザンオールスターズ 036
「SUMMER SUSPICION」杉山清貴＆オメガトライブ 038
「You're My Only Shinin' Star」中山美穂 040
「夏をあきらめて」研ナオコ 042

◎マイナー・セブンス・フラット・ファイブ
「あなた」小坂明子 044
「IMAGE DOWN」BOØWY 046
「CLOUDY HEART」BOØWY 048
「恋人も濡れる街角」中村雅俊 050
「アローン・アゲイン」ギルバート・オサリバン 052
「優しい雨」小泉今日子 054

◎ナインス
「いとしのエリー」サザンオールスターズ 056
「さよなら」オフコース 058
「悲しみにさよなら」安全地帯 060
「魅せられて～エーゲ海のテーマ」ジュディ・オング 062
「Woman "W の悲劇" より」薬師丸ひろ子 064
「ケダモノの嵐」ユニコーン 066
「パステル ラヴ」金井夕子 068

◎イレブンス
「いっそセレナーデ」井上陽水 070

◎サス・フォー
「TOKIO」沢田研二 072
「オーバーナイト・サクセス」テリー・デサリオ 074

◎ディミニッシュ
「君は薔薇より美しい」布施 明 076
「DREAMIN'」BOØWY 078

◎オーギュメント
「アン・ドゥ・トロワ」キャンディーズ 080
「エイリアンズ」キリンジ 082

◎分数コード
「卒業写真」荒井由実 084

書籍化スペシャル・トーク
ザ・カセットテープ・ミュージック進化論 086
マキタスポーツ × スージー鈴木

CamScannerでスキャン

『ザ・カセットテープ名場面集』 096

ザ・カセットテープ・ミュージックの音楽理論

PART 2 コード進行の妙技

◎3コード進行
「冬のオペラグラス」新田恵利 100
◎カノン進行
「そして僕は途方に暮れる」大澤誉志幸 102
◎ドラマティック・マイナー進行
「Runner」爆風スランプ 104
◎ビクトリー・コード（ガッチャマン）進行
「ガッチャマンの歌」子門真人 106
◎未練（後ろ髪）進行
「シーズン・イン・ザ・サン」TUBE 108
未練進行の源流を求めて 110
「世界でいちばん熱い夏」プリンセス プリンセス／「あの時君は若かった」ザ・スパイダース／「サマー・ガール」ザ・スパイダース
◎センス・オブ・ワンダー進行
「車も電話もないけれど」ユニコーン 112
◎よっこいしょ進行
「東京サリーちゃん」SOUTHERN ALL STARS and ALL STARS 114
◎ジョン・レノンのミユキ進行
「夏色のナンシー」早見 優 116
◎勾玉コード進行
「丸の内サディスティック」椎名林檎 118
◎ベース・ライン・クリシェ
「BABY ACTION」BOØWY 120
◎ダブル（複音）クリシェ
「カルアミルク」岡村靖幸 122
◎弛緩クリシェ
「Water Color」大滝詠一 124
◎上昇クリシェ
「レモネードの夏」松田聖子 126
◎ベース昇降クリシェ
「ガラスの林檎」松田聖子 128
◎転調
「My Revolution」渡辺美里 130
「Yes-No」オフコース 132
「中央フリーウェイ」荒井由実 134

ザ・カセットテープ・ミュージックの音楽理論

PART 3 珠玉のメロディ・ライン

◎ソ♯（ソシャープ）
「卒業」尾崎豊 138
「カブトムシ」aiko 140
「早すぎるソ♯」大賞 142
「Pretender」Official髭男dism／「イエスタデイ」ザ・ビートルズ
◎ミファミレド
「想い出がいっぱい」H2O 144
大阪の人に知ってもらいたいミファミレド 146
「FACES PLACES」globe／「Story」AI／「これが私の生きる道」PUFFY
◎大澤誉志幸のラ
「抱いた腰がチャチャチャ（CHA CHA CHA）」ビートたけし&たけし軍団 148
◎フィリップスのシ♭
「恋のダイヤル6700」フィンガー5 150

CamScannerでスキャン

◎ミ♭の歴史

日本ミ♭ヒストリー（前編） 152
「東京ブギウギ」笠置シヅ子（カバー：ユニコーン）／「ゲゲゲの鬼太郎」熊倉一雄／「伊勢佐木町ブルース」青江三奈

日本ミ♭ヒストリー（後編） 154
「モンスター」ピンク・レディー／「UFO」ピンク・レディー／「イケナイコトカイ」岡村靖幸

◎五音音階（ペンタトニック）

「十人十色」大江千里 156

◎小室哲哉の五音音階に割り込むシ

「WOW WAR TONIGHT ～時には起こせよムーヴメント」H Jungle with t 158

◎狭い音階のサビ 関東甲信越 小さなサビ

「Get Wild」TM NETWORK 160

◎1音サビ 関東甲信越 もっと小さなサビ

「恋のロックンロール・サーカス」浅香唯 162

◎ユーミンの跳躍メロディ

「ロッヂで待つクリスマス」松任谷由実 164

◎半音メロディ

「飾りじゃないのよ涙は」中森明菜 166

◎夏のドシソ 168

「夏の終りのハーモニー」井上陽水・安全地帯／「君のハートはマリンブルー」杉山清貴＆オメガトライブ／「ふたりの夏物語 NEVER ENDING SUMMER」杉山清貴＆オメガトライブ／「島唄」THE BOOM

カセット・ガールズ座談会 170
河村 唯、外岡えりか、酒井 瞳

『ザ・カセットテープ・ミュージック』放送 DATA 182

ザ・カセットテープ・ミュージックの音楽理論

PART 1

一撃必殺のコード使い

番組で取り上げてきた音楽理論コーナー。
そのパート1は「一撃必殺のコード使い」と題し、
おもに楽曲にさまざまな彩りを加えるテンション・コードについてまとめてみた。

楽曲解説:関口真一郎

- メジャー・セブンス
- サス・フォー
- マイナー・セブンス・フラット・ファイブ
- ディミニッシュ
- ナインス
- オーギュメント
- イレブンス
- 分数コード

本書では、ポイントの項でオリジナル・キーで解説しているところでも、
主に左ページの歌詞+コードでは、ギターで弾きやすくするために移調していることがあります。

CamScannerでスキャン

△7 メジャー・セブンス

海

サザンオールスターズ 1984年

作詞・作曲：桑田佳祐　編曲：サザンオールスターズ　管編曲：新田一郎

第1回 2017年10月6日放送分
『A面に入れたいサザンの名曲』

楽曲メモ 「海」が収録の『人気者で行こう』は1984年7月7日にリリースされた、サザンオールスターズの7枚目のオリジナル・アルバム。「海」はもともと「萎えて女も意志を持て」のB面として、桑田佳祐がジューシィ・フルーツに提供した曲で、そのセルフカバーとして収録したもの。本来は「ミス・ブランニュー・デイ」ではなく、本曲がシングルになる予定だったとか。

A△7　G♯m7　C♯7
移り気なアナタに　oh

F♯m7　F♯m7/B
抱かれてしびれた

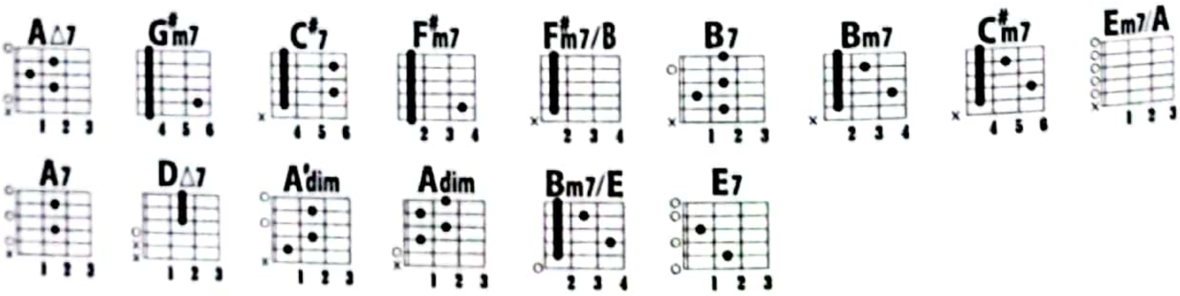
B7　Bm7
ほんのチョットだけで　oh

C♯m7　F♯m7
こんな気持ちになるなんて

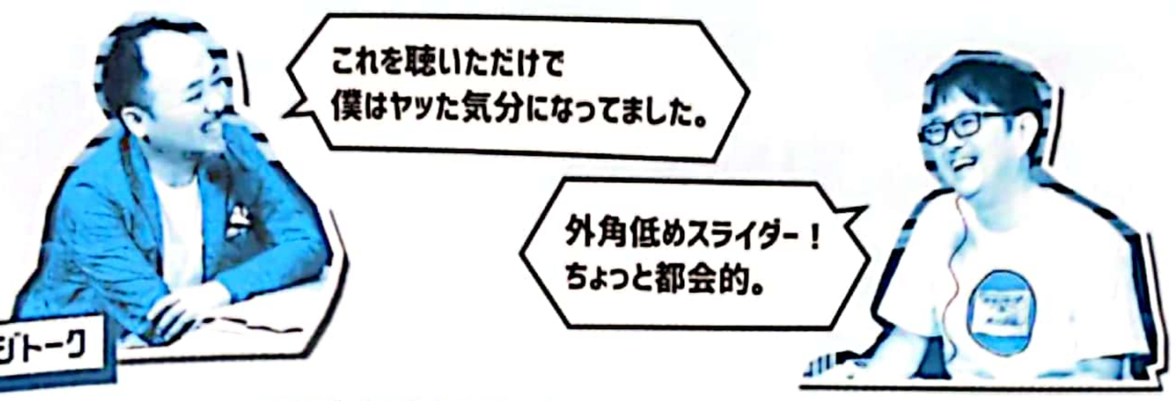
C♯m7　Em7/A　A7
悪い人だと思うけど

D△7　C♯m7
Sha, la, la　夢のように　暮らしたもの　さ

A♯dim　Adim　Bm7　Bm7/E　E7　A△7
心　から　恋　して　る



CamScannerでスキャン



マキスジトーク

マキタ：いいですね〜。この叙情感がなんとも言えませんね。

スージー：この曲の入っている『人気者で行こう』を初期サザンの私的な最高傑作アルバムとしているんですが、LPで言うところのB面の1曲目が「海」で、2曲目が「夕方Hold On Me」。もうB面界の1位、2位！　まさにジャイアント馬場、アントニオ猪木と言いましょうか、最強のツープラトンですね。そしてこの曲には何と言ってもメジャー・セブンスが使われているという。

マキタ：では、改めてメジャー・セブンスってどういうコードなのかと言うと……。

(ギター・ダイアグラム①)

これですね。この曲ではA△7。響きの違いとしては、普通のAメジャー・コードが……。

(ギター・ダイアグラム②)

スージー：あ〜、さわやか。ストレート、ど真ん中、直球。

マキタ：A△7は……。

(ギター・ダイアグラム①、鍵盤①)

スージー：外角低めスライダー、シューッ〜、ちょっと都会的。

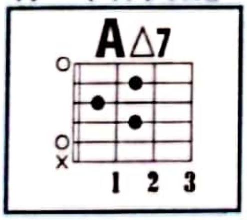
マキタ：おじさんだから、そういう野球の例えでバンバン行きましょ！（笑）　中2でギターを弾き始めたんですけど、『人気者で行こう』は持ってなかったんで、友達から貸してもらって、ダビングしたテープで聴いていたんです。僕は最初にこの曲を聴いた時、まだチェリーボーイもチェリーボーイ……Hand Job中で(笑)。でも、この「海」にはメジャー・セブンスっていう魔法がかかってるんですよ。これを聴いただけで、僕はヤッた気分になってましたね。オトナの段階にステップアップした気分になってました。もう心の中では海辺でバスローブを着てた。

スージー：アハハハッ！

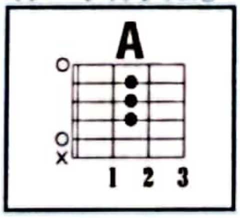
ポイント　チェリーボーイの股間も熱くする魅惑の長7度音

メジャー・セブンス・コードとは、メジャー・トライアド（3和音）にルートから長7度の音（メジャー・セブンス音）を加えたコードのこと。「海」の歌メロ冒頭の"移り気な〜♪"のバックで使われているのがA△7（Aメジャー・セブンス）で、その中に含まれるG#音が長7度音に当たる。シンプルなAコードとA△7を弾き比べてみると、長7度音を入れるだけで、淡いオトナのムードが感じられるはず。

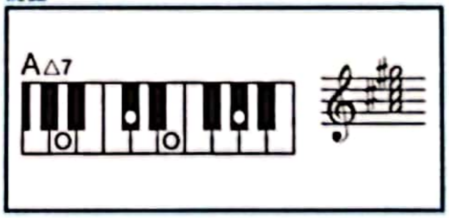
ギター・ダイアグラム①



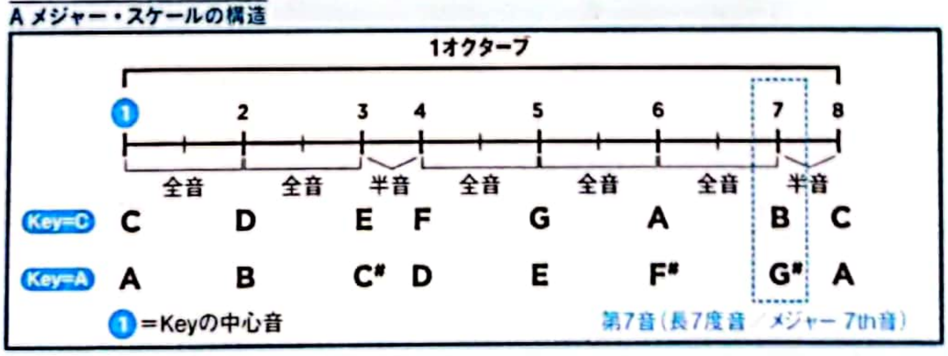
ギター・ダイアグラム②



鍵盤



Aメジャー・スケールの構造



CamScannerでスキャン

△7 メジャー・セブンス

RIDE ON TIME

山下達郎 1980年

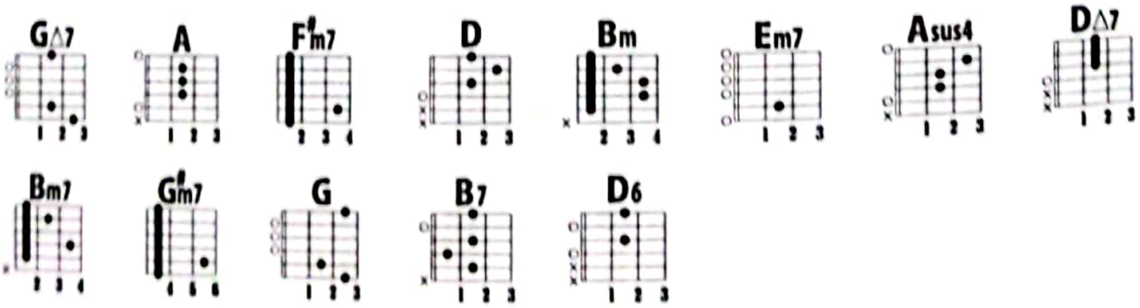
作詞・作曲・編曲：山下達郎

第17回 2018年6月1日放送分
『80年代 山下達郎』

楽曲メモ

1980年5月1日、同名アルバムからの先行シングルとしてリリースされた山下達郎の6thシングル。シティ・ポップの先駆けとも言われる曲で、アルバム収録時には再レコーディングされた。マクセル・カセットテープのCM曲として起用され、そのテレビCMには山下本人も出演。2003年にはテレビドラマの主題歌として、再びシングルカットされている。

```
  G△7  A      G△7      A          G△7
青  い 水平線を  いま駆け抜けてく
   F#m7      D       Bm   Em7   Asus4
とぎすまされた  時の流れ感じて
G△7    A        G△7     A         G△7
アア  ときめきへと  動き出す世界は
  F#m7      D       Bm   Em7  Asus4
忘れかけてた  遠い夢の  訪れ
G△7                F#m7   D△7
Ride On Time   さまよう想いなら
Bm7          G△7         D          G#m7  G  D  Bm
やさしく受け止めて  そっと包んで
B7   G△7                F#m7   D△7
Oh   Ride   On Time   心に火を点けて
Bm7        G△7
あふれる喜びに
Asus4                D       D6
拡がれ Ride   On Time
```



今、聴いても
洗練度が全然変わらないですね。

山下達郎は日本で一番
メジャー・セブンスの摂取量が多い！

マキスジトーク

スージー：1980年のシングル曲です。5月1日発売で3位まで上がりました。この曲で山下達郎はブレイクしたんですね。マクセル・カセットテープのCMタイアップ曲でもあるんですけど、曲を聴きながら私が思わず指でピストルを撃つ真似をしてしまったのは、そのテレビCMには山下達郎本人が出ているんですが、そこでサイパンの海と夕日をバックに、そういうジェスチャーをしているからなんですよね。

マキタ：当時、僕はまだ子どもでしたから、山下達郎さんってどういう人かわからないわけですよ。うちの兄貴がシングル盤を買ってきたので、ジャケットを見たんですけど、夕日をバックにしてるから、顔がよくわかんなかった。あとで顔を見てビックリしましたね。そのハイトーンとのギャップというか。しかし、この曲は何と言っても、この素敵なサウンドですよ。

スージー：やっぱりメジャー・セブンスですよね。70年代あたりからユーミンがポツポツと使い始めて、80年に入ってオフコースと山下達郎で爆発する和音。では、G△7いただいていいですか？

マキタ：行きますか？　これですね。

（ギター・ダイアグラム①）

スージー：青い～！♪　『半分、青い。』じゃなくて、『全部、青い。』ですよ（笑）。

マキタ：これ（ギター・ダイアグラム②）じゃ、その青さは伝わらない。

スージー：いわゆるシティ・ポップと言われるこの都会的な音楽センスを表すのがメジャー・セブンスですね。とにかく山下達郎は日本で一番メジャー・セブンスの摂取量が多い。"メジャー・セブンス・エンゲル係数"が高い。まぁ、ほぼメジャー・セブンスですよね（笑）。その山下達郎のブレイクが、このG△7から始まったということですね。

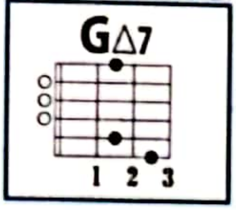
マキタ：今、聴いても洗練度が全然変わらない。

スージー：全然古臭くないですよね。

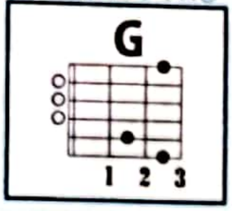
ポイント　メジャー・セブンスを鳴らせば、青もコバルトブルーの青さに！

オシャレなカタカナ言葉や英語との相性がよく、都会的なセンスを醸し出すメジャー・セブンス。山下達郎の爽やかな音楽には欠かせないアイテムだ。曲冒頭の"青い～♪"で出てくるコードがG△7(Gメジャー・セブンス）で、歌メロの"い"がコードの長7度（F♯音）に当たる（譜例）。歌メロ冒頭のコードであり、なおかつ山下達郎持ち前のハイトーンで歌われていることにより、メジャー・セブンス特有の爽快な響きがより強調されている。

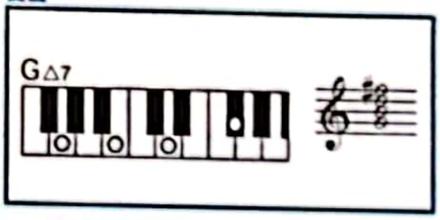
ギター・ダイアグラム①

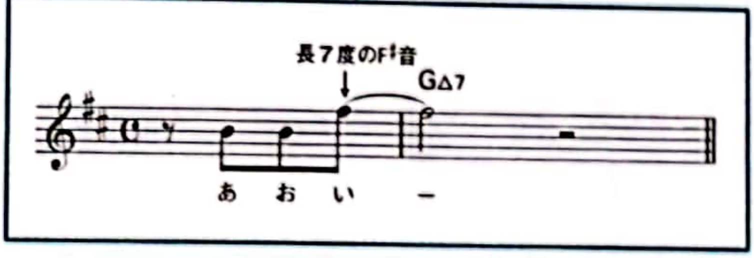


ギター・ダイアグラム②



鍵盤



譜例「RIDE ON TIME」歌い出し部分

CamScannerでスキャン

△7 メジャー・セブンス

あの時君は若かった

ザ・スパイダース 1968年

作詞：菅原芙美恵　作曲：かまやつひろし

第31回 2019年1月6日放送分

楽曲メモ

「あの時君は若かった」はGSブームをけん引したザ・スパイダースの代表曲。GSブーム真っ只中の1968年にリリースされたシングルのA面曲で、作曲はかまやつひろし。作詞は菅原芙美恵で、これは雑誌企画の当選作だったという。成人になった男性が遠い青春の過去に想いを馳せる内容の歌詞だが、当時、この詞を手がけた菅原は、なんと女子高生だったとか。

Dm7 G C△7
あの時君は 若か った

Am7 Dm7 G C△7
わかって欲しい 僕の 心

Em Dm7 G C△7
小さな 心を 苦しめた

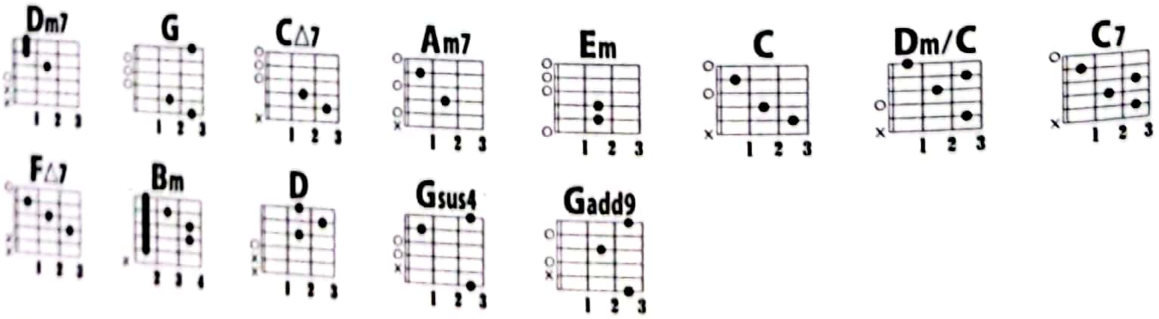
Am7 Dm7 G C△7
僕をうらまずに いておくれ

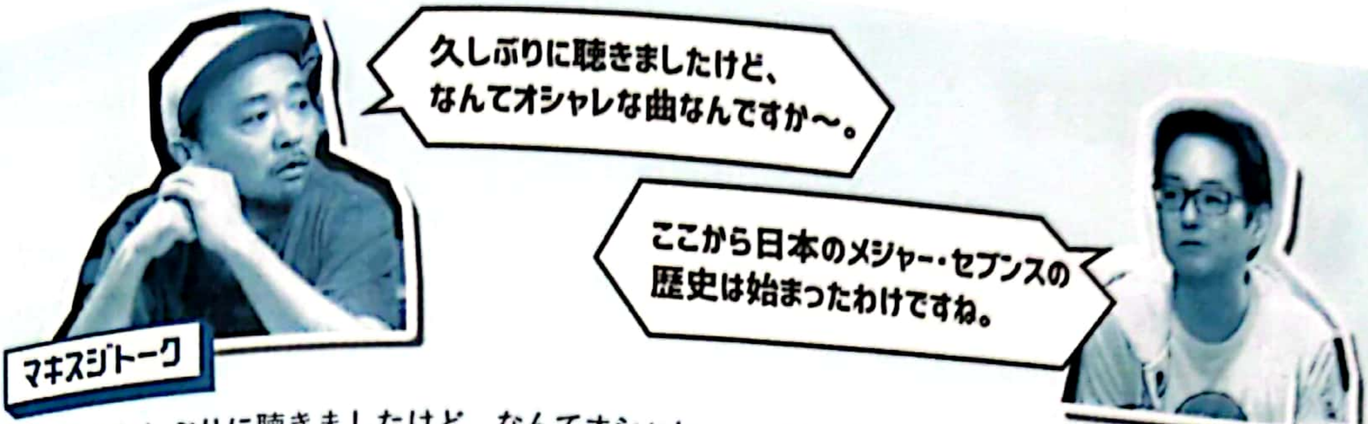
C Dm/C C7 F△7
それでも君 が 望むな ら

Bm D Gsus4 G Gadd9 G Gsus4 G
僕は待ってる いつまでも

Dm7 G C△7
きっとわかって もらえる日まで

Am7 Dm7 G C△7
僕は待ってる いつまでも





マキタ：久しぶりに聴きましたけど、なんてオシャレな曲なんですか〜。

スージー：「あの時君は若かった」は1968年にリリースされたザ・スパイダースのシングルのA面で、日本のポップス界でわりと派手にメジャー・セブンスを使ったほぼ最初期の曲でございます。作曲を手がけたムッシュこと、かまやつひろしは、晩年、コミカルなイメージもあったりしましたけど、60年代後半の当時は、日本で最もヒップな、流行の最先端を行った音楽家のひとりで、日本のポップス界でメジャー・セブンスを先駆的に使った人物だったんですね。当時、かまやつひろしにはライバルとしてトノバン——加藤和彦がいました。その加藤和彦率いるザ・フォーク・クルセダーズには「オーブル街」(1968年)という曲があるんですけど、こちらにはメジャー・セブンスだけでなく、ディミニッシュ・コードも出てくるんです。

マキタ：ディミニッシュも!?

スージー：ヒップで最先端なミュージシャンとしてしのぎを削っていたそのふたりが、メジャー・セブンスとかディミニッシュといった、それまでの日本人は聴いたことのないような和音を使って、日本の和音の世界を変えていったと。

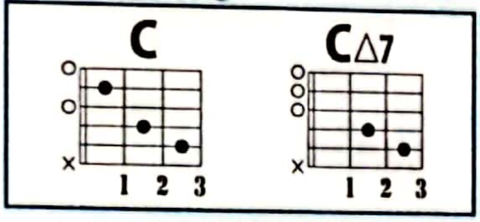
マキタ：当時、曲を聴いた人の中には、"何だ この音は！"って思った人はいたでしょうね。だってそうでしょ？　それまで菜っぱの漬けものとか、菜っぱのみそ汁しか食ったことないような人に、いきなり"これ生クリームだよ"ってペロって舐めさせたようなものだから。その衝撃たるや、ものすごかったと思うんですよ。

スージー：日本のメジャー・セブンス浸透の歴史で言えば、加藤和彦、かまやつひろしという先人たちが、60年代の後半ぐらいから恐る恐るメジャー・セブンスを使い始め、その後、ユーミンや山下達郎といった天才たちが大胆に活用していくことになるわけです。

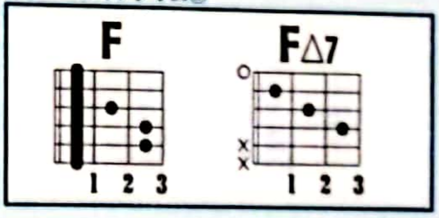
ポイント　日本メジャー・セブンス史の幕開けを飾る1曲

日本のGSはビートルズを始めとする当時最先端のブリティッシュ・ビート・バンドに大きな影響を受けていた。特にザ・スパイダースは海外ミュージシャンとの交流も多く、海外公演を行なったり、洋楽のカバーもしていたため、それまでの日本の音楽にはない新鮮なサウンド感覚を持ち合わせていたと言える。この曲は歌詞と曲調がフォーキーな感じだが、ややあか抜けた印象に仕上がっているのは、このメジャー・セブンスの存在も大きいだろう。

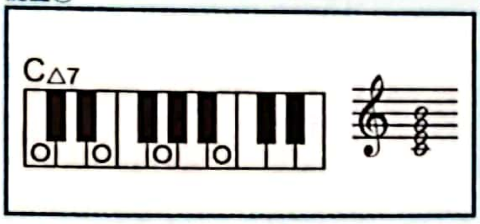
ギター・ダイアグラム①



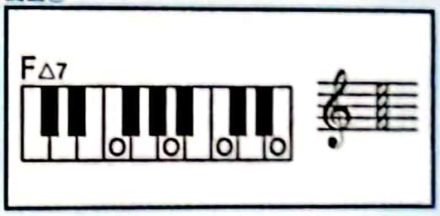
ギター・ダイアグラム②



鍵盤①



鍵盤②



CamScannerでスキャン

△7 メジャー・セブンス

第31回 2019年1月6日放送分
「あけまして、おメジャーセブンス」

初恋

村下孝蔵 1983年

作詞・作曲：村下孝蔵　編曲：水谷公生

楽曲メモ
1983年2月25日にリリースされた村下孝蔵の5thシングルで、もともとバラードとして作られたが、アレンジャーの水谷公生が当時流行りのシティ・ポップ風にアレンジ。シングルは50万枚以上の売り上げを記録し、村下にとっては最大のヒット曲となった。男性、女性アーティスト問わず、カバーも多数。歌詞は実際の村下の初恋相手がモデルとなっている。

オリジナル・キー＝B♭m　1カポ

Am　Em　F△7　Dm　G　C△7
五月　雨　は　緑　色

Dm　Em　Dm　Esus4　E
悲しくさせたよ　一人の午後は

Am　Em　F△7　Dm　G　C△7
恋をして　淋しくて

Dm　Em　Dm　D/E　E
届かぬ　想いを　暖めていた

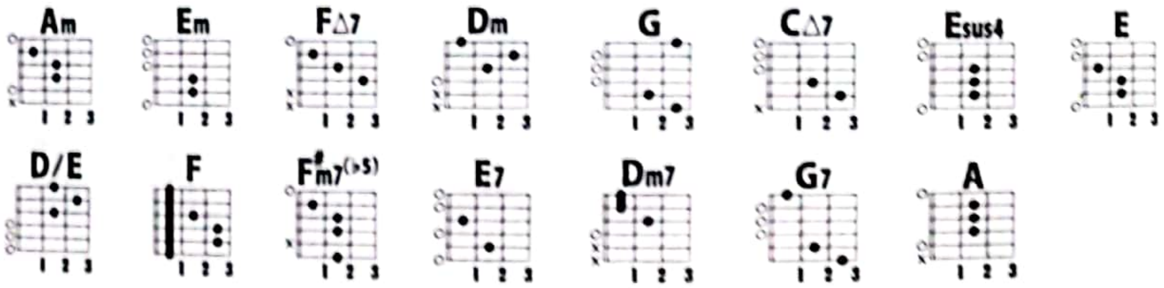
Am　G
好きだよと言えずに　初恋は

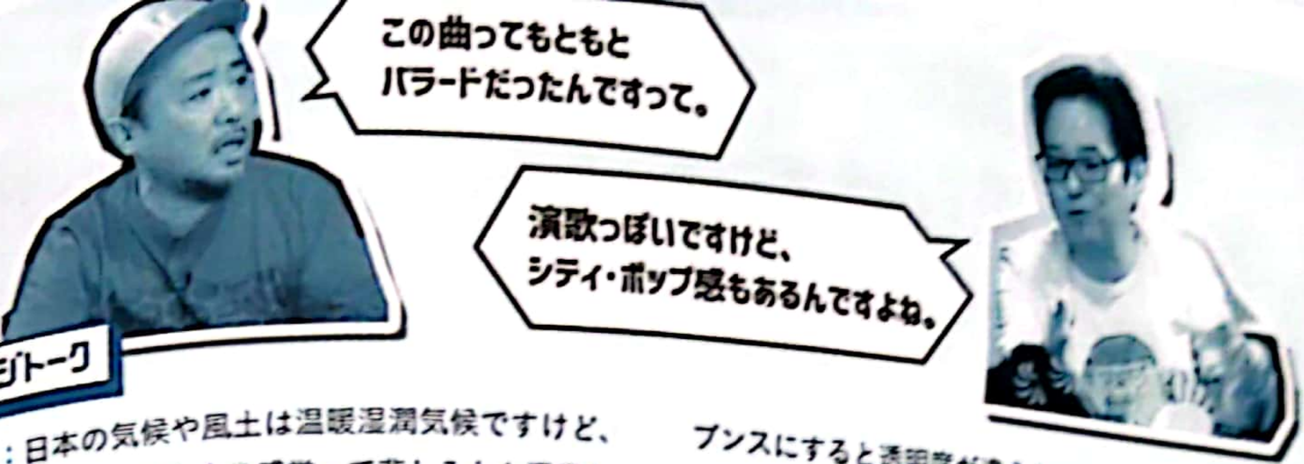
F　E　F♯m7(♭5)　E7　Am　E
ふりこ細工の心

Dm7　G7　C△7　Am　Dm7　E7　Am　A
放課後の　校　庭　を　走　る君がいた

Dm7　G7　C△7　Am　F△7　Esus4　E
遠くで僕は　いつでも　君を探してた

Am　Em　F△7　Am
浅い夢だから　胸をはなれない





マキスジトーク

マキタ：日本の気候や風土は温暖湿潤気候ですけど、それもあるのか、日本人の感覚って悲しみとか湿度とか湿気みたいなものに響きやすい感性があると思っているんですよ。それが最も顕著に表われているのが演歌ですよね。マイナー・メロディの悲しい歌詞を悲しく歌う。この「初恋」も、演歌とは言わないまでも、そうした悲しみとかが詞のテーマになっているなん曲です。この曲ってもともとバラードだったんですって。ゆったりと歌ったらそんなにヒットしなかったんじゃないでしょうかね。このポップス風のリズムとメジャー・セブンスがポイントだと思うんですけど、メジャー・セブンスで弾いてみますね。"五月雨は〜♪"

(ギター・ダイアグラム①)

スージー：ああ、もう冒頭で出てくるんですね。

マキタ：メジャー・セブンスじゃなくやってみますよ。

(ギター・ダイアグラム②)

マキタ：これでもいいんですよ。でも、メジャー・セブンスにすると透明度が違うというか。

スージー：演歌っぽいですけど、一皮剥いてみると「ドラマティック・レイン」(稲垣潤一) のようなシティ・ポップ感もありますよね。

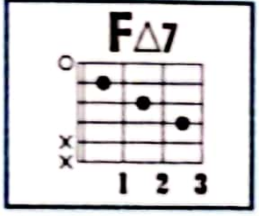
マキタ：有線とかで火がついて、ジワジワと売れていった曲で、その売れ方も演歌的なんですけど、売れたのが1983年くらい。その前あたりからシティ・ポップが都会の若者の間で享受されるようになってくるんですけど、そうは言っても、全国隅々までシティ・ポップ的なセンスが行きわたるまではそれなりの時間を要しただろうし、作り手側にもいろんなトライがあったと思うんですよ。そのセンスが全国的に享受されたかどうか、僕は"のど自慢センスと言っていますが、『NHKのど自慢』で受け入れられるかにひとつの基準があると思うんですよ。

スージー：この曲はアリです。"のど自慢メジャー・セブンス"の先駆ですね。

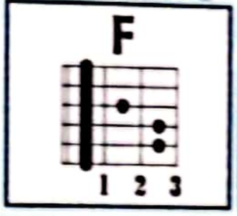
ポイント　純朴なメロディ・ラインを淡いメジャー・セブンスで包み込む

フォークやベンチャーズを好んでいたこともあってか、村下孝蔵はメロディの古さが指摘されていた。そのためアレンジャーの水谷公生は、もともとバラードだったこの曲を当時流行りのシティ・ポップ風にアレンジ、見事に生まれ変わらせた。メジャー・セブンスの長7度音はメロディには含まれていないが、このようなシンプルなメロディに柔らかなメジャー・セブンスを重ね合わせることで、純朴な淡い恋心を表現したような仕上がりになっている。

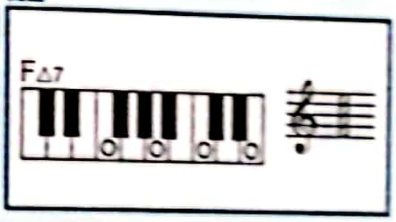
ギター・ダイアグラム①



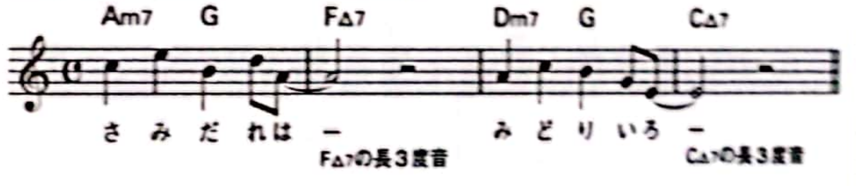
ギター・ダイアグラム②



鍵盤

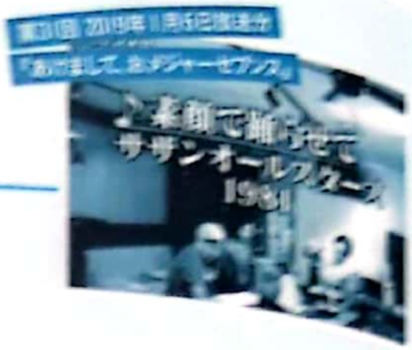


譜例

※Key=Amで表記(オリジナル・キーは$B^{\flat}m$)。

CamScannerでスキャン

△7 メジャー・セブンス

素顔で踊らせて



サザンオールスターズ 1981年

作詞・作曲：桑田佳祐　編曲：サザンオールスターズ

楽曲メモ

この曲が収録されている「ステレオ太陽族」は1981年7月21日に発売されたサザンオールスターズの4作目オリジナル・アルバム。全体的にジャズやAOR色が強いのは、アレンジャーとして参加した名ジャズ・ピアニスト八木正生の力が大きい。「素顔で踊らせて」は生理用品のCM曲で、CMには桑田が出演。男性が生理用品のCMに登場することで当時話題を呼んだようだ。

D△7
Seachin' for my honey

G△7　F#m7　B7
唇を奪いとるよりは oh

Em7　A7
一言の　ため息が混じる

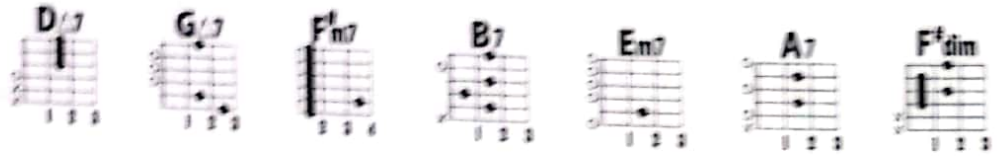
D△7　G△7
おしゃべりでいいわ

F#m7
What is your name ?

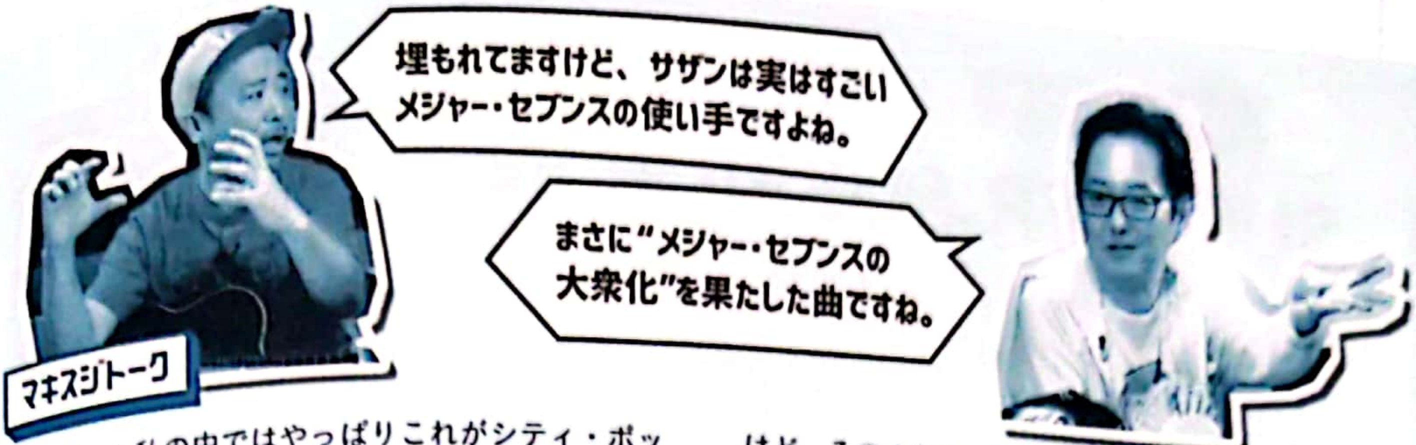
Em7　A7　F#dim
彼女のような（そのような）Lady, oh !

G△7　F#m7
Let's talk about

Em7　A7　D△7　G△7　F#m7　Em7　A7
胸元には　そっと 指 先で



CamScannerでスキャン



マキスジトーク

スージー：私の中ではやっぱりこれがシティ・ポップとしてメジャー・セブンスが確立したシンボリックな曲かなと思ってます。今、聴いたらもう"THEメジャー・セブンス"って感じがしません？　メジャー・セブンスというものが、東京のシティのポップのオシャレな和音として定着した感じで、全体的にフワッとしたオシャレ感があるなって感じが伝わってくる。これこそ私が言う"メジャー・セブンスの大衆化"。小田和正、山下達郎、桑田佳祐。この3人を"80年代メジャー・セブンス三兄弟"と呼んでます。

マキタ：ハハハハッ！ 三兄弟！

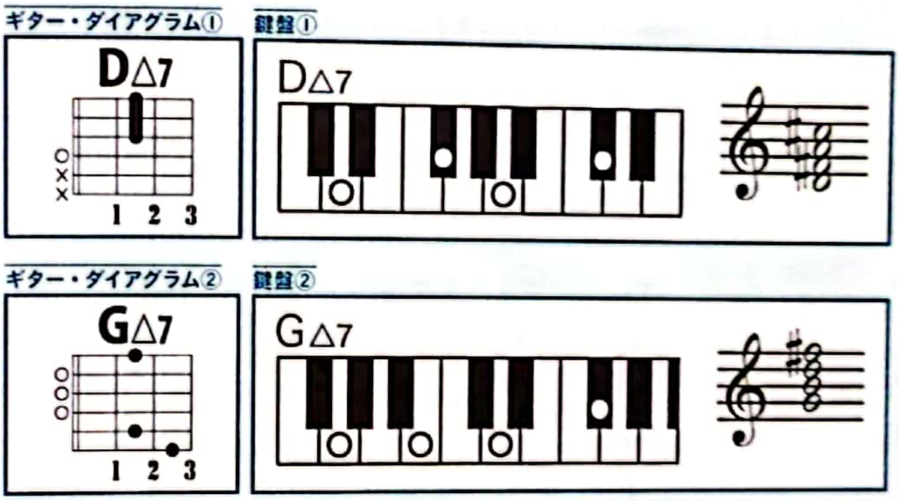
スージー：一番ふんだんに使ってるのは山下達郎ですね。ただ、サザンオールスターズもメジャー・セブンスの名曲は実は多くて、「別れ話は最後に」とか「TO YOU」とか。82年のサザンは「チャコの海岸物語」「Ya Ya (あの時代を忘れない)」があって、アルバム『NUDE MAN』があってと、めっちゃ大衆的な感じなんですけど、その1年前、81年はメジャー・セブンスな世界と言うか、『ステレオ太陽族』というシティ・ポップなアルバムをリリースしているんですよね。ここで桑田佳祐がメジャー・セブンスをふんだんに使うことによって、サザンがお笑いバンドとか、コミック・バンドというイメージだけではなく、わりとシティ・ポップとかAORのイメージも付いたのかなと思ってますね。

マキタ：でも、意外とサザンは一般的にはメジャー・セブンス的な捉えられ方はあんまりされてないですよね。サザンってオシャレっていうイメージが、ひとつだけ抜きん出てるバンドじゃなくて、他の要素がいっぱいある。エロ的な感じとか、湘南のイメージもそうだし。ちょっとコミカルな面白いこともやるという。埋もれてますけど、実はすごいメジャー・セブンスの使い手ですよね。

スージー：うまいし、オシャレ。

ポイント　日本語詞と洋楽テイストを組み合わせる桑田マジック

キャロル・キングあたりを彷彿させる70年代アメリカン・ポップス&ロック・テイスト。ブリッジの歌詞に"2月26日"と出てくるが、"need got to need you rock"と英語っぽく聞こえるから採用したそうで、やはり作曲段階から洋楽的な仕上がりを意識していたと思われる。歌メロはD△7-G△7というメジャー・セブンスの連続でスタート。英語とメジャー・セブンスの相性の良さも意識したのか、メジャー・セブンスには英語を主に乗せている。



△7 メジャー・セブンス

SUMMER SUSPICION

杉山清貴＆オメガトライブ 1983年

作詞：康 珍化　作曲・編曲：林 哲司

楽曲メモ

「SUMMER SUSPICION」は杉山清貴＆オメガトライブのデビュー・シングル曲で、1983年9月21日発売のデビュー・アルバム「AQUA CITY」の1曲目に収録されている。林哲司がデビュー用に用意しておいた曲を提出したところ、もっと大衆性を持った楽曲が欲しいということで改めて書かれた曲で、まさにシティ・ポップの名に相応しい仕上がり。

オリジナル・キー＝Bm　2カポ

Am Em　F△7　G/F　Em A7　Dm7　E
なぜ外したのさ　僕があげた　銀の指輪　いつ

Am　Em　F△7　G/F　Em　A7　F△7　Em7
Highway ハンドル持つ　細い肩 が　震えてたね

Dm7　Dm　C　B7　Esus4　E　Esus4　E
急 に　ウィークエンド ドライビ　ング

Am　G♯dim　C　D
I can't say　夏が来て　愛は乾くのさ

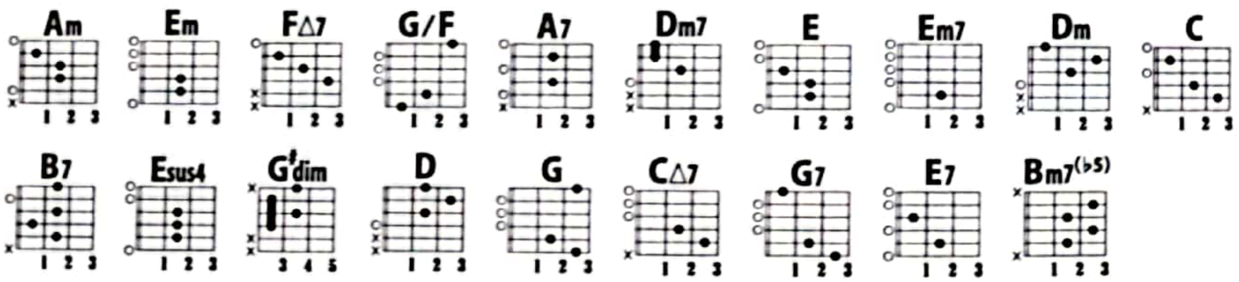
Dm7　G　C△7　F△7
僕と誰を　くらべてるの

Dm7　G7　C△7　Esus4　E7
つのるジェラシーに　灼かれて

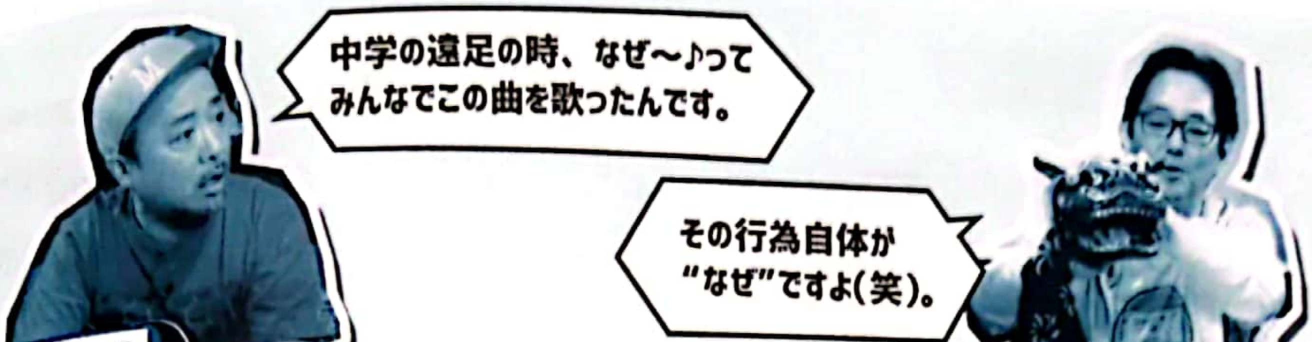
Am　G♯dim　C　D
You can't say　醒めた分　つくる優しさが

Dm7　G　C△7　F△7
もっと僕を　苦しめるよ

Bm7(♭5)　E7　F△7
My Summer　time Love Suspicion



CamScannerでスキャン



マキスジトーク

マキタ：杉山清貴＆オメガトライブは、サザンとはちょっと違うタイプの大衆的な"メジャーセブナー"。これはホントに大好きな曲なんです。1983年の曲で、僕は中学１年だったんですけど、課外授業で遠足みたいな感じでバスに乗って行くじゃないですか。その時にみんなでこの歌を歌ったんです。当時は"SUSPICION"の意味がよくわかってなかったんですけど、"疑惑"みたいな意味で。男の人が自分の好きな女の人の浮気を疑ってるような内容の歌詞なんですけど、それを課外授業の時に、中学生が"なぜ～♪"

スージー：その行為自体が"なぜ"ですよ（笑）。

マキタ：僕の大好きな林哲司さんが作った曲で、詞は康珍化さん。黄金のコンビですよね。このプロダクト自体を率いたのがプロデューサーの藤田浩一さん。藤田さんから命を受けて、林哲司さんたちはオメガトライブを結成したんですけど、ユーミンさんとか達郎さんとかのような作家性の強い楽曲よりも、誰もが感情移入できるJ-AOR的なものを作りたいということで始めたのがオメガトライブらしいですね。それがどれだけみんなに普及してたかと言えば、中１の僕らが課外授業で歌っていたくらいですからね。この曲で特に素晴らしいなと思うのは、My Summertime Love Suspicion～♪というところ。メロディの音が長７度に行くんですけど、それによって、ちょっと疑惑チックな音に聴こえるんですよ。シンプルなFコードだったら、"問題が解決しちゃってる。君のこと疑ってたけど､大丈夫だったね～"みたいな。それがF△7だと、"何だか気になる～、やっぱり疑ってる、俺～"みたいな感じになるんですよ。

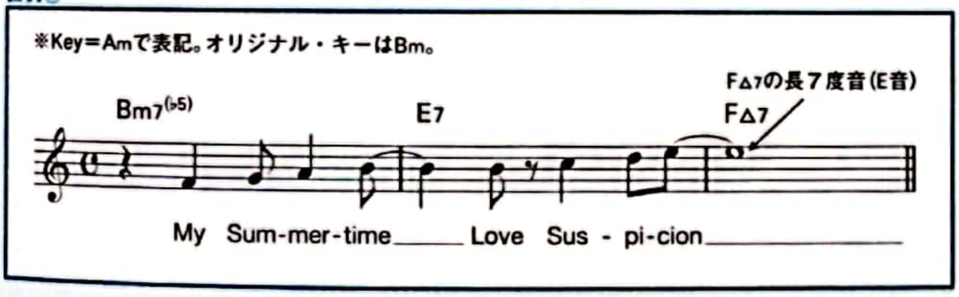
スージー：なるほど（笑）。

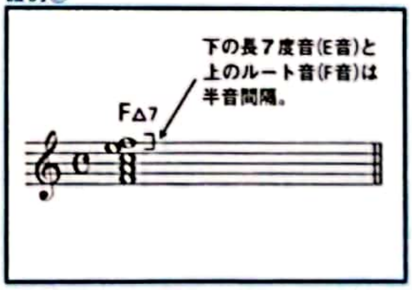
マキタ：村下孝蔵の「初恋」とかとは違った意味で、メロディをちゃんと７度に当てたりすることで、意図的に歌詞の意味とメロディをちゃんとつなげているところが素晴らしいんですよね（譜例①）。

ポイント　男女の心のすれ違いをメジャー・セブンスで表現

今でこそメジャー・セブンスは安定感のあるコードとして捉えられているが、古いジャズの時代では不協和音だった。というのも、長7度の音とオクターブ上のルート音は音のぶつかりやすい半音間隔となっているためで、音の重ね方によっては緊張感のある響きとなる。(譜例②)。この曲のメジャー・セブンスの使い方は、微妙な音のズレが内在するコード構造と、同じく微妙に心のすれ違う男女関係を重ね合わせた一例と言えるかも。

譜例①



譜例②

CamScannerでスキャン

△7 メジャー・セブンス

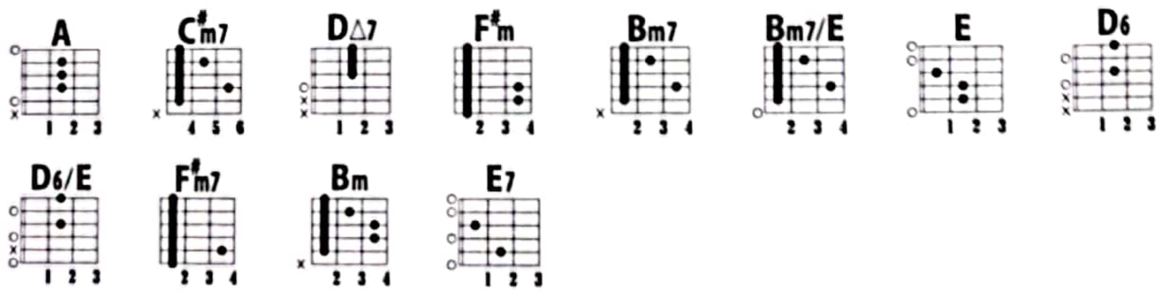
You're My Only Shinin' Star

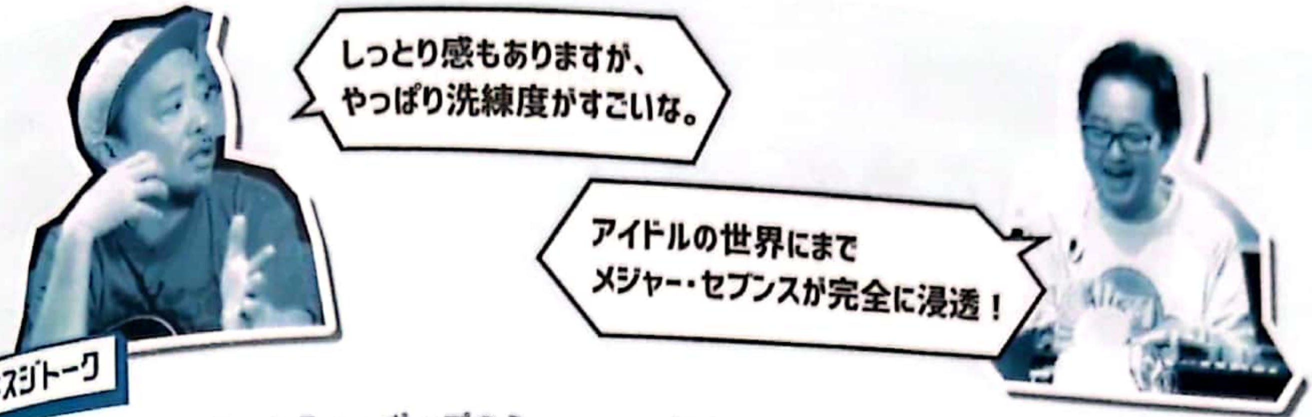
中山美穂 1988年

作詞・作曲・編曲：角松敏生

楽曲メモ 1988年にリリースされた中山美穂の12枚目シングル。角松敏生作詞・作曲による楽曲で、同じく角松が手がけた前作「CATCH ME」に続き、2作連続でオリコン1位を獲得。日本レコード大賞では金賞を受賞した。初出は86年の『SUMMER BREEZE』。本人のお気に入り曲で、なおかつ人気も高かったことから、再録されてシングルカットされた。

```
A  C#m7     D△7
月が波間に　浮かぶと
  C#m7   F#m    Bm7    Bm7/E
あたたかい夜が　忍んでくる
A  C#m7  D△7
沈む夕闇に瞳
  C#m7     F#m     Bm7     Bm7/E
わざとそらしたまま打ち明けた
D△7  C#m7 F#m  E  D6 D6/E  C#m7
星と同じ数の　巡り　合いの中で
F#m7 Bm       Bm7/E     E7 Bm7/E E7
気がつけば　あなたがいたの
D△7                 C#m7
You're my only shinin' star
Bm7     C#m7  D△7      C#m7  F#m
ずっと今まで　困らせて　ごめんね
E  D6      E7   C#m7     F#m
大切なもの　それはあなたよ
    Bm7      Bm7/E
いつまでも側にいて
 D△7       C#m7 Bm7
I Love You
```





マキスジトーク

スージー：80年代の後半、シティ・ポップのミュージシャンだけじゃなく、アイドルの世界にまでメジャー・セブンスが完全に浸透したことを示す代表曲でございます。

マキタ：いや〜、いい歌ですね。

スージー：ミポリンのアイドル・ソングで、これだけメジャー・セブンスが多用されてるというのも、全国津々浦々までメジャー・セブンスが浸透した証ですね。

マキタ：泣きのしっとりとした感じもありますが、やっぱり洗練度がすごいな。

スージー：一番洗練されていると思うのがサビですね。"You're my only shinin' star 〜♪"

マキタ：そこはDコードでもいいんだけど、D△7のほうがいいですよね。

スージー："月が波間に浮かぶと〜♪" D△7にすると月が波間に浮かぶ感じがしますよね。

マキタ：やっぱり昼間より夜のほうがうっとりとした気分ってあるじゃないですか。月が夜空にポンと浮かんで、お酒を片手に好きな人のことをぼんやり考えながら……うめ子さ、例えば、次も『ザ・カセットテープ・ミュージック』に呼ばれるかな、なんて思いながらスージーさんのことを考えている、そんなシチュエーションを思い浮かべてみて。その時のイメージで言うとDとD△7とどっち？（ふたつのコードを順に弾く）

うめ子：最初（Dコード）のほう……。

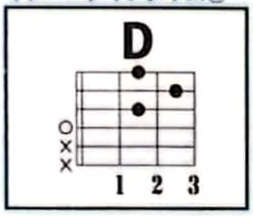
一同：（爆笑）

マキタ：シンプルなメジャー・コードとメジャー・セブンスを弾き比べてみるとよくわかりますね。蛍光灯と間接照明ぐらい違う。上からパーンって明るく照らすだけならDコードでいいわけですよ。でも、D△7だとぼんやりとした間接照明的な感じになる。蛍光灯だけでも世の中は事足りるかもしれないけど、やっぱり間接照明も欲しいじゃない？　そのほうがムードも高まると言うかね。

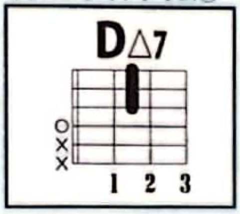
ポイント　メジャー・セブンスの大人の世界観と歌声の成長がマッチ

作詞・作曲を手がけた角松敏生は山下達郎の大ファンで、その意味では、山下達郎直系のメジャー・セブンスの使い手と言えるだろう。この曲の初出は86年の『SUMMER BREEZE』で、当時、中山美穂は16歳。その音源を聴いてみると、やや背伸びしている感も否めないが、その2年後に再録された88年のシングル盤では、グッと歌声が大人っぽく成長。曲の世界観と歌が見事にマッチしている。譜例は歌メロの冒頭部。メロディを7度音に当てている。

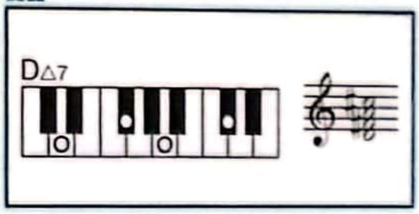
ギター・ダイアグラム①

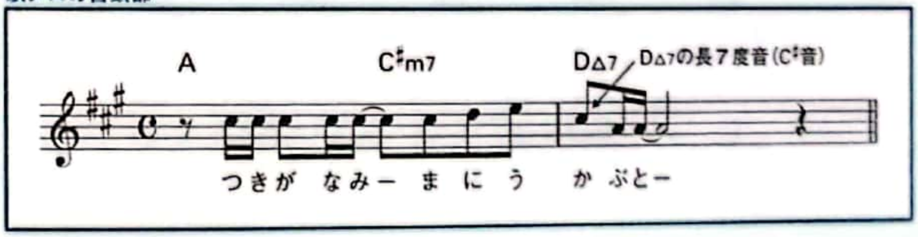


ギター・ダイアグラム②



鍵盤



歌メロの冒頭部

CamScannerでスキャン

Ⅳ7 メジャー・セブンス

夏をあきらめて

研ナオコ 1982年

作詞・作曲：桑田佳祐　編曲：若草恵

「夏をあきらめて」は1982年7月21日に発売されたサザンオールスターズの5枚目のオリジナル・アルバム『NUDE MAN』の3曲目に収録されたナンバー。しかし、この曲に関しては、研ナオコのカバー・バージョンのイメージのほうが強いだろう。研ナオコのカバー・シングルは1982年9月5日に発売。日本レコード大賞金賞を始め、数々の賞を受賞している。

※サザンオールスターズ・バージョンのKey=Amで表記。
研ナオコ・バージョンはKey=C♯m　4カポ

Am　Dm　Em　Am　Dm7　G7　C　E7
波　音が響けば　雨雲が近づく

Am　Dm　Em　Am　Dm　E7
二人で　思いきり　遊ぶはずの　on the beach

Dm7　G7　C　G　Am
きっと誰かが恋に破れ　噂のタネに邪魔する

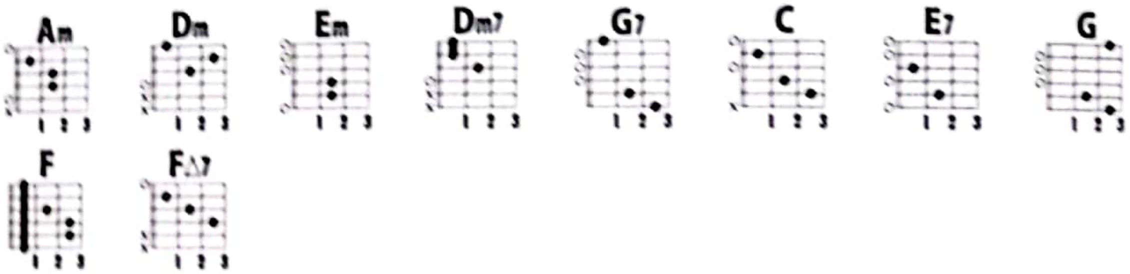
Dm7　G7　C　Am　Dm　E7
君の身体も　濡れたまま　乾く間もなくて

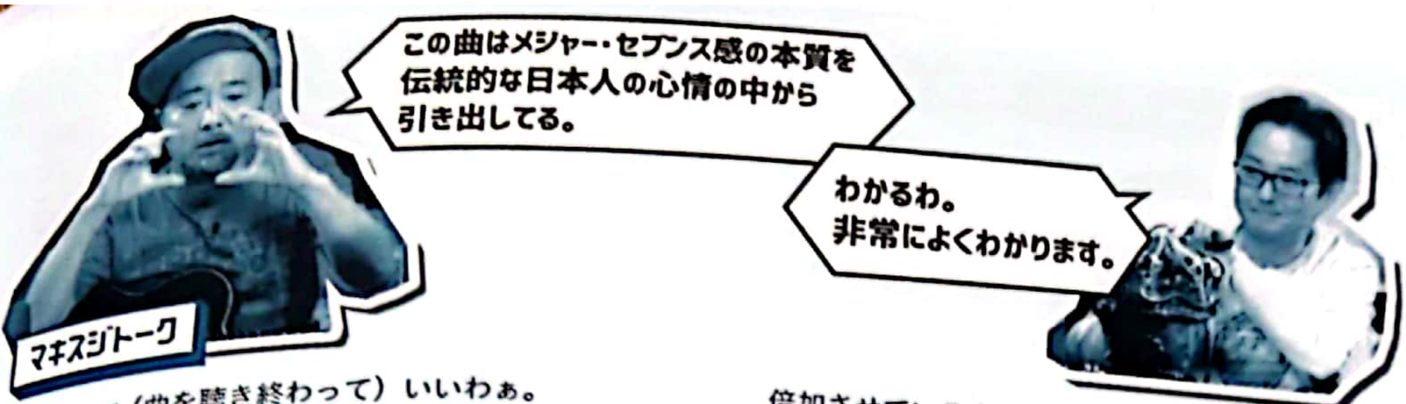
Am　Dm　Em　Am　Dm7　G7　C　E7
胸　元が揺れたら　しずくが砂に舞い

Am　Dm　Em　Am　F　Em　Am
言葉もないままに　あきらめの　夏

F△7　Em　Dm　Em　Am
Darlin' Can't you see?　I'll try to make it shine

F△7　Em　Dm　Em　Am　E7
Darlin' be with me!　Let's get to be so fine



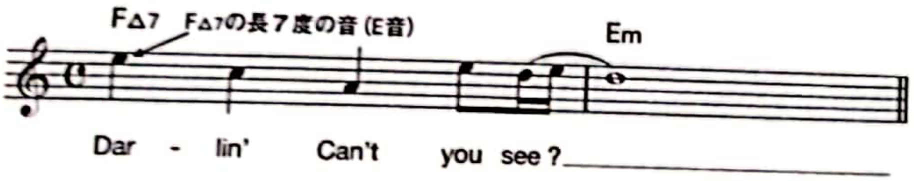


スージー：(曲を聴き終わって) いいわぁ。
マキタ：研さんのけだるい歌い方もいいですけど、この曲の素晴らしいところは日本的な無常観みたいなものとメジャー・セブンスの響きを結び付けてるところだと思うんですよ。楽曲の構成的にはあまり起伏がないんですよね。
スージー：音程的にもあまりないですね。
マキタ：ただ1ヵ所、サビのDarlin' Can't you see ?だけにメジャー・セブンスが使われていて、そこで急にフワーッと絵柄が変わるんです。基本的にこの曲は閉塞感がテーマになってるんですよね。ある男が気になる女の人を横目で見ながら、なんとか成就できねぇかなとかって思いながらも、結局、女の人は振り向いてくれない。そんな気持ちの閉塞感みたいなものを、曲のコード進行とかメロディ、曲の構成で演出してるんです。そうした無常観の反映された詞に、メジャー・セブンスの音をあてがうことによって、その気持ちを倍加させているような感じがするんですよ。この曲を作った桑田佳祐さんは洋楽にすごく影響を受けている人ですけど、サウンド的にウワモノだけ洋楽的なオシャレなものに替えるんじゃなく、ある意味、日本の土壌の中にすでにあるメジャー・セブンス感をどこかから持ってきてるんじゃないかと思うんですよ。
スージー：輸入したものではなくてね。
マキタ：そう。輸入じゃなくて、伝統的な日本人の心情の中から引き出してる。そこが他のメジャーセブナーと、ちょっと違うところじゃないかと。
スージー：わかるわ。非常によくわかります。
マキタ：まだ何も始まっちゃいないのに、勝手に無常を感じている男の切なさ。そんな当たり前の風景の中に、桑田佳祐はメジャー・セブンスを感じている。そこにさらにメジャー・セブンスの音を被せることで、より強いメジャー・セブンスの世界観を生み出している。この使い方はすごい効果的だなと思うんですよ。

ポイント メジャー・セブンスで心象風景の変化を描き出す

ナー・キーの淡々としたメロディが軸っている曲だが、サビにメジャー・セスを挿入することによって、一時的にしたような効果を生み出している。メー・セブンスに内在する内省的な響き常に無常観を見出した時の心象風景に桑田佳祐は共通性を感じ取り、そを重ね合わせることで、より歌詞のを強調しているとマキタは分析して譜例はサビの部分で、サビの頭のャー・セブンスの長7度音（E音）いる。

譜例

※Key＝Amで表記（サザンオールスターズ・バージョン）。研ナオコ・バージョンはKey＝C♯m。

m7(♭5) マイナー・セブンス・フラット・ファイブ

あなた

小坂明子 1973年

作詞・作曲：小坂明子　編曲：宮川泰

楽曲メモ

「あなた」は1973年12月21日に発売された小坂明子のデビュー・シングル。16歳にして73年のヤマハ・ポピュラーソング・コンテストに出場し、この曲をピアノで弾き語ってグランプリを獲得。同年の世界歌謡祭では最優秀賞・グランプリを受賞した。同年末にはレコードが発売されて、ミリオンセラーを記録。女性歌手を中心にカバーも多い。

オリジナル・キー＝D♭　1カポ

C　Em　Dm7　G7
もしも私が　家を建てたなら

Em7(♭5)　A7　Dm　Fm　G7　C
小さな家を　建てたでしょう

C　Em　Dm7　G7
大きな窓と　小さなドアーと

Em7(♭5)　A7　Dm　Fm　G7　C
部屋には　古い暖炉があるのよ

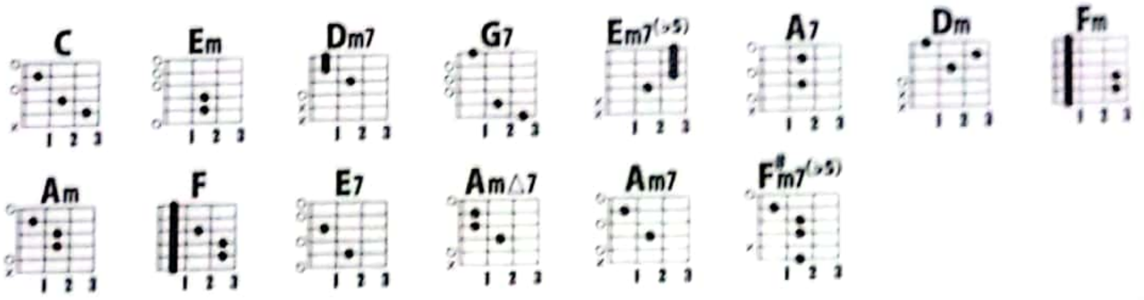
C　Em　Am
真赤なバラと　白いパンジー

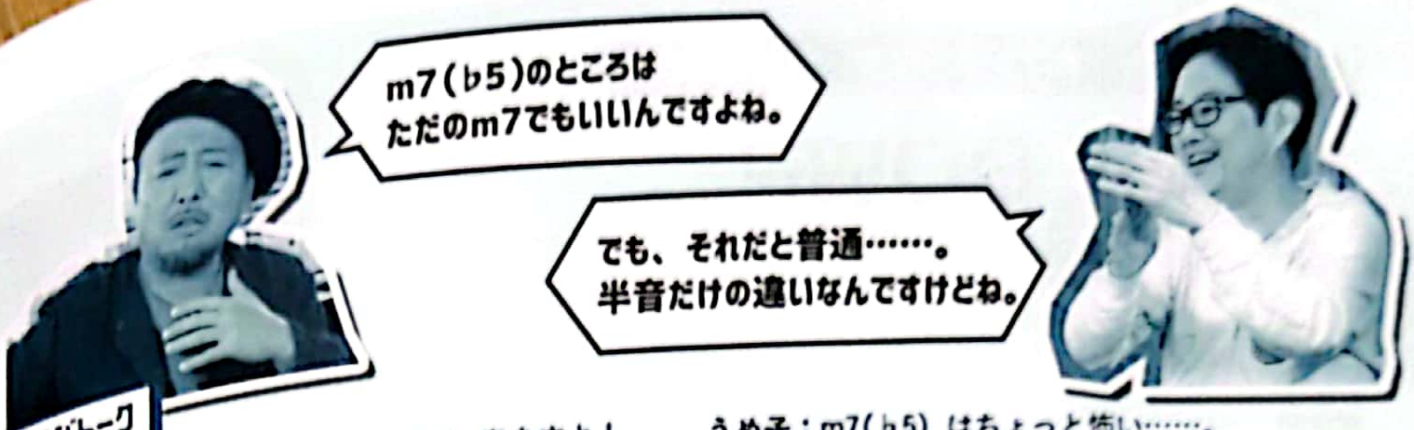
F　E7　Am　Am△7　Am7　F♯m7(♭5)　F
小犬のよこには　あなた　あなた

Dm7　G7
あなたが　いてほしい

C　Em　Dm7　G7
それが私の　夢だったのよ

Em7(♭5)　A7　Dm　Fm　G7　C
いとしい　あなたは　今どこに





マキスジトーク

マキタ：(音源を聴きながら)もう来ますよ、来ますよ！"小さな〜♪"はい、ここ！ はい、湿った！ 雨、降った！ わかりましたか？ ここは切なさをグーッと持ち上げてるポイントですね。不快指数が上がって、我慢しながらも泣き崩れているというか、そんな感じの出ているポイントなんですよ。ここはEm7(♭5)(譜例①-②)じゃなくて、ただのEm7(譜例①-①)でもいいんですよね。

スージー：でも、それだと普通……。

マキタ：じゃなくて、Em7(♭5)で弾くと。

スージー：あぁ、うぅ(泣)……。

マキタ：m7で弾いたほうと、m7(♭5)で弾いたほう、どっちの家がいい？

うめ子：どっちの"家"!? 住むならってことですか？ m7(♭5)のほうが悲しくなりますね。

マキタ：そう。なんか悲しいじゃないですか。

スージー：半音だけの違いなんですけどね。

うめ子：m7(♭5)はちょっと怖い……。

マキタ：そうそう。

うめ子：住むならEm7の家のほうがいいです。

スージー：柱がシュッ！としててね。

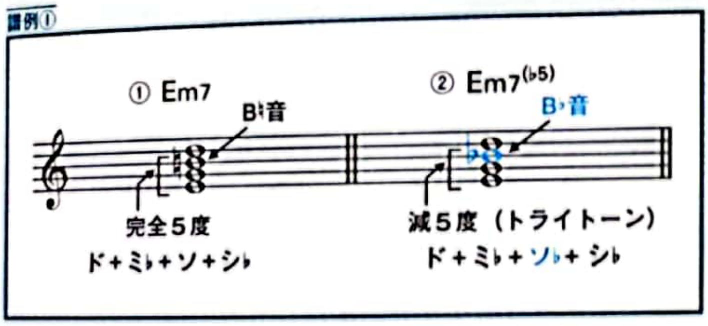
マキタ：でも、渡辺篤史さんはm7(♭5)の家がいいって言うと思う。"陰影があって、素晴らしいですね"って。

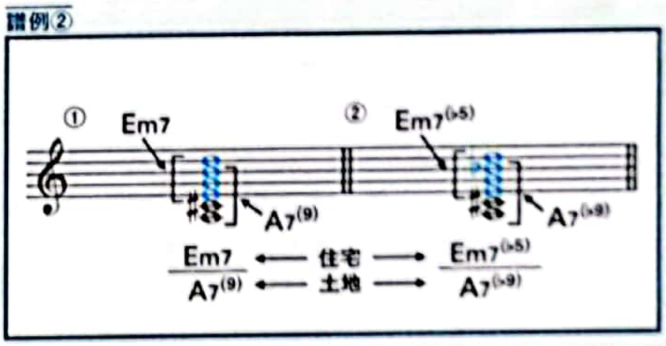
スージー：あっ、陰影だ！(笑)

マキタ：この曲は少女の夢みたいなものを歌ってるんですけど、将来に対する漠然とした不安みたいなものとか、刹那な青春期、はかなさを演出するには、こういう不穏な音が入っているほうが、より色っぽく響くと思うんですよ。このコードが入ることによって陰影感もつくし、後半では転調して明るくなるんですけど、その晴れ間がのぞく前の雨に濡れた感じを演出するには、このm7(♭5)が機能しているということなんですね。

ポイント m7(♭5)は湿った土地に建てられた陰影のある住宅

Em7の5度音を半音下げると、Em7(♭5)(Eマイナー・セブンス・フラット・ファイブ)というコードになる(譜例①)。不協和度の高い減5度音程(トライトーン)が含まれていることから怪しい響きを持っているのが特徴だ。マキタスポーツはm7(♭5)を家に例えているが、7(♭9)に音をひとつずつ乗せていくと、その上にはm7(♭5)が現われる(譜例②)。ある意味、m7(♭5)は湿り気のある7(♭9)という土地の上に建てられた、陰影のある住宅なのだ。

譜例①

譜例②



CamScannerでスキャン

m7(♭5) マイナー・セブンス・フラット・ファイブ

IMAGE DOWN

BOØWY 1982年

作詞：氷室狂介（京介）　作曲・編曲：布袋寅泰

第23回 2018年9月7日放送分

楽曲メモ

「IMAGE DOWN」は1982年3月21日にリリースされたBOØWYの1stアルバム「MORAL」に収められたナンバー。BOØWY結成直後に作曲され、解散までのほぼすべてのライブで演奏された。放送で紹介されているのは「"GIGS" JUST A HERO TOUR 1986」(1986年)のライブ・バージョン。1986年7月2日・日本武道館公演の音源だ。

A　G♯m7(♭5)　C♯　F♯m　B　E　A　E
かっこがいいよ　お前はいつでも　心も体もバラ売りしてさ！

A　G♯m7(♭5)　C♯
数をこなすのと　もててる事とは

F♯m　B　E　A
同じじゃないんだぜ　尻軽 TEENAGE GIRL

D7　A　D7　A　E
愛だ恋だを上手に　使いわけてみても　先も中身もないのさ　尻が軽いだけじゃ

A　G♯m7(♭5)　C♯　F♯m　B　E　A　E
あきれちまうぜ　まるきりタイフーン　足りない　頭　じょうぶな体

A　G♯m7(♭5)　C♯　F♯m　B　E　A
英語数学まるでダメだけど　あっちの方は　インテリジェンスかい

D7　A
ファッションの一つなんて　とんだ思いちがい

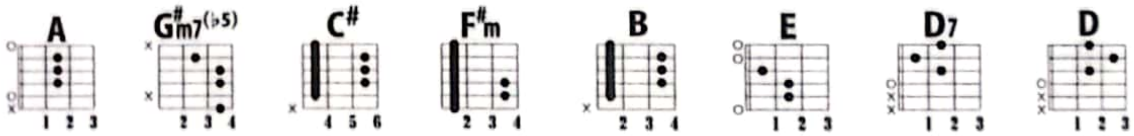
D7　A
ずっとそんなじゃ　いつかはくるぜ　しっぺ返し

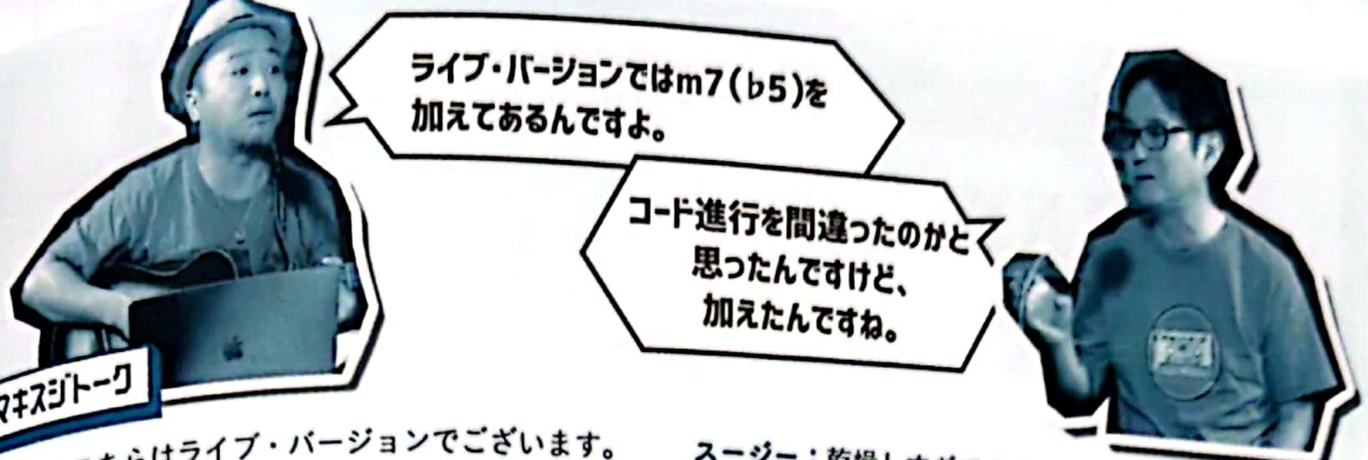
D　A
Image down, Image down, Image　down, down. down

B　D　A
Image down, Image down, Image　down, down. down

D　A
Image down, Image down, Image　down, down. down

B　D　A
Image down, Image down, Image　down, down. down





マキスジトーク

マキタ：こちらはライブ・バージョンでございます。この曲はやっぱり日本的な湿度を取り入れているのが特徴だと思うんですよ。この曲って「ジョニー・B.グッド」のような3コードによるシンプルな8ビートの速いロックンロールを元ネタにしていると思うんですよね。ところがこの曲にはG♯m7(♭5)っていうコードが入ってるんです。

スージー：どっかに入ってましたっけ？

マキタ：入ってるんです、実は。"かっこがいいよ、お前はいつでも～♪"（譜例②）

スージー：たしかにさっきライブ音源で聴いてた時に、すごく変わった和音をしてるなと。

マキタ：例えば「ジョニー・B.グッド」みたいに3コードでやってみると、かなりカラッとした……（Key＝Eで、EとAとBだけで弾く）。

スージー：乾燥しすぎですよね。

マキタ：それがG♯m7(♭5)を入れることによって湿度が上がり、そこが胸キュンのポイントになるんですよ。もともと初期のバージョンの「IMAGE DOWN」（1stアルバム『MORAL』収録）には入ってないんです（譜例①）。

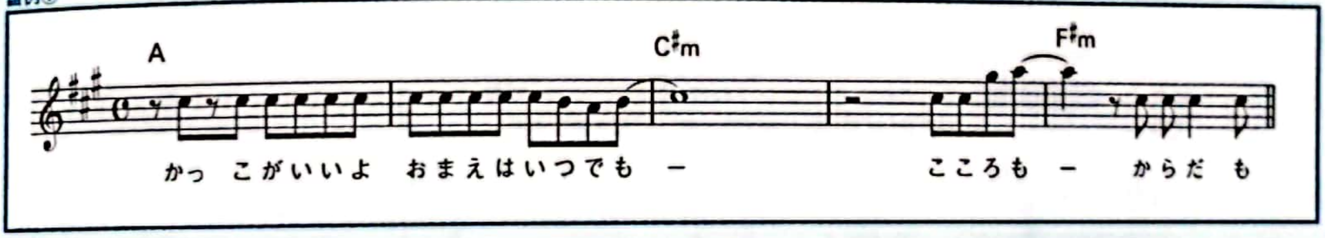
スージー：さっき音源を聴いていた時、コード進行を間違ったのかと思ったんですよ。違うんですね。加えたんですね。

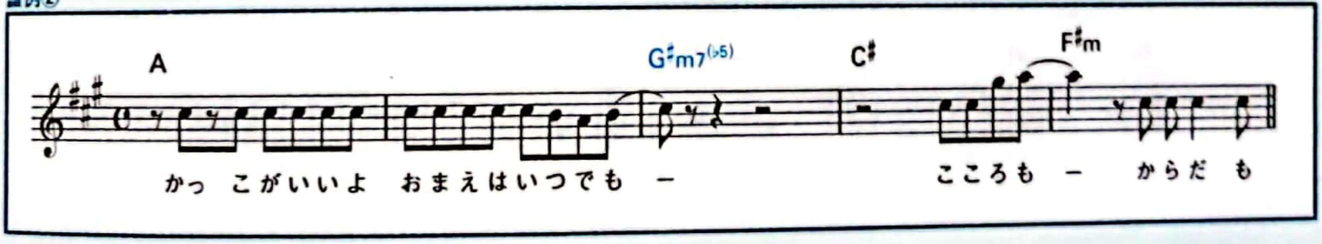
マキタ：そう。加えてあるんですよ。鍵盤奏者のアレンジとかでは、こういう和声が入ってきたりするんですけど、4人組のビート系のロック・バンドで、みんなで縦ノリのタイトなリズムで乗っていれば、それで満足っていうレベルで終わっていたら、おそらくBOØWYは天下を取れなかったんじゃないかと思うんですね。

ポイント ツー・ファイブでマイナー・コードへの勢いを加速！

5度のセブンス・コードの前に、2度のマイナー・セブンス・コードが置かれることを専門的にツー・ファイブ（進行）と呼ぶ。このようなツー・ファイブの箇所は、そのふたつのコードに結びつきが強いことから、コード進行の流れがグッと高まる。ツー・ファイブのない部分にも、コードを分解してツー・ファイブを組み入れることは可能で、譜例①、②を弾き比べてみると、譜例②のほうがF♯mへの勢いが強まっていることがわかるだろう（この曲ではC♯7ではなくC♯）。

譜例①



譜例②

CamScannerでスキャン

m7(♭5) マイナー・セブンス・フラット・ファイブ

CLOUDY HEART

BOØWY 1985年

作詞・作曲：氷室京介　編曲：布袋寅泰

第41回 2019年6月2日放送分

楽曲メモ

「CLOUDY HEART」は1985年6月21日に発売されたBOØWYの3rdアルバム『BOØWY』に収められた楽曲。作詞・作曲は氷室京介で、編曲は布袋寅泰。氷室京介が昔、同棲していた彼女について歌ったもので、ファン投票で選曲された2013年のBOØWYベスト・アルバム『BOØWY THE BEST "STORY"』では堂々の1位に選ばれた。

A　F♯m　D△7　C♯
作り笑いが歪む　長い月日が終る　胸にしみるのはイヤネ　こりゃ何？

F♯m　E　D△7　C♯　E
軽いはじまりだけど　割と長くなったし　お体だけはどうぞ大事に

A　C♯m　A/G　F♯　Bm
そうネ終りは　あたり前のようにくるものだし

A♯aug　D　E
しかたないぜ　はしゃいでた　あの日にサラバ

A　F♯m　D△7　C♯
バカバカしいけど俺　周りの奴に言われ　オマエと居るの悩んでたもの

F♯m　E　D△7　C♯　E
あんな風でつづくなら　きっと皆　そう幸せ　今頃気づいちゃって　つらいぜ

A　C♯m　A/G　F♯　Bm　A♯aug　D　E
気の向くまま　過してた二人だから　そう　終る事感じてた　割にミジメネ

A　C♯m　A/G　F♯　Bm
いつも一緒　何をするにでも　二人だった

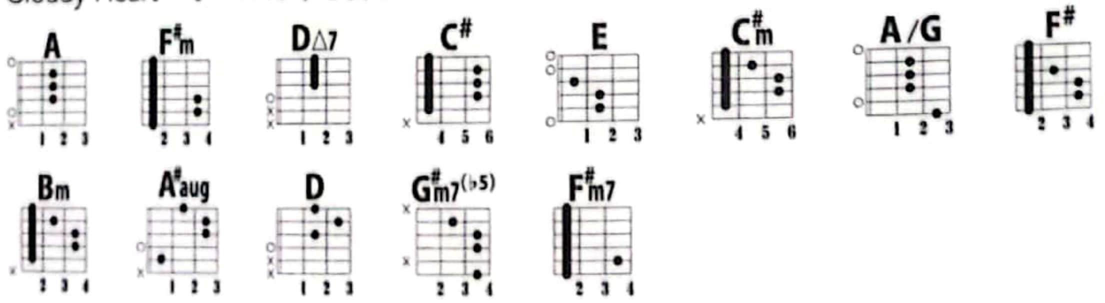
A♯aug　D　E　F♯m
あんな日は　もう二度と来ない様な気がして

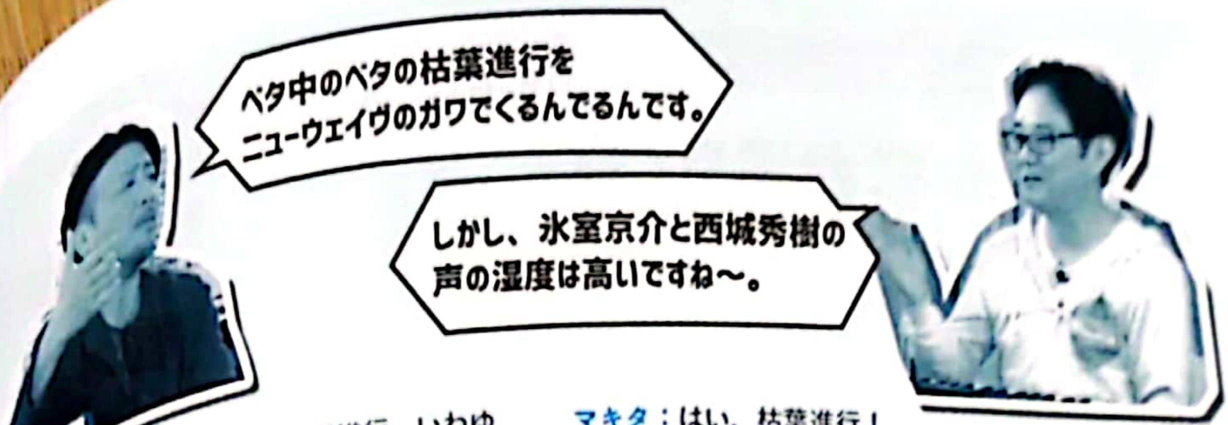
F♯m　Bm　E　A
Honest Love　傷つけてばかりだったけど

D△7　G♯m7(♭5)　C♯　F♯m
Honest Love　オマエだけを愛してた

Bm　E　A
Cloudy Heart　傷つけてばかりだったけど

D△7　G♯m7(♭5)　C♯　F♯m7
Cloudy Heart　オマエだけを愛してた





マキスジトーク

マキタ：この曲はベタ中のベタのコード進行、いわゆる"枯葉進行"（**譜例1**）を使ってるんですけど、その使い方を評価したいなということで、この番組では一度紹介していますけど（第23回放送）、あえてまた紹介したいと思います。枯葉進行はしばらく出てこないんですけど、とりあえず聴いてみてください。

スージー：どこかに出てくるんですね。

マキタ：出てきます。

うめ子：（音源を聴きながら）声の湿度も高いですね。

スージー：氷室京介は高いですよ〜。氷室京介と西城秀樹は同じ湿度80％ですね。

マキタ：そろそろ来るよ〜。はい、ここです！

CLOUDY HEART 傷つけてばかりだったけど
CLOUDY HEART オマエだけを愛してた

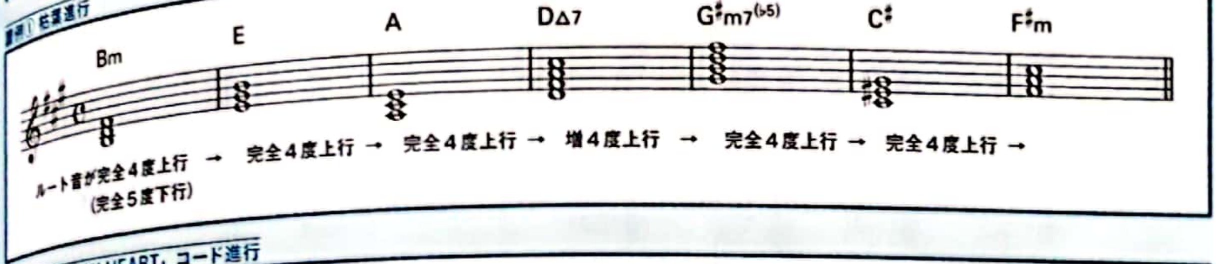
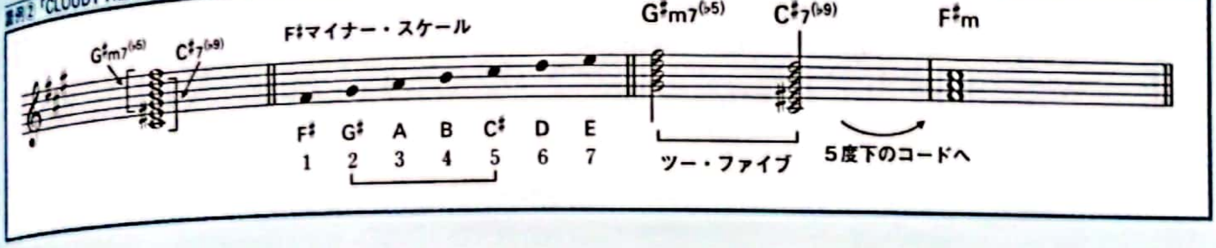
マキタ：はい、枯葉進行！

スージー：C♯のあとF♯mに落ち着く？

マキタ：はい。F♯mに落ち着きます。このコード進行自体は特に目新しさはないんですけど、この番組を通してBOØWYの革新性についてさんざん触れてきましたが、音楽的な要素としてはベタ。でも、あの人たちはガワがニューウェイヴだったんですよね。ファッションにしてもそうだし、音色とかに関してもそう。最先端のニューウェイヴな感じで、当時出てきているわけですけど、音楽的な中身としては、実は「枯葉」と変わらないことをやっていたっていうことなんですよ。そういうベタな要素をニューウェイヴなガワでくるんで、当時の若者たちを熱狂させてたわけで、そういう点はすごく評価したいなと思うんですね。

ポイント 伝統的なコード進行とニューウェイヴ・サウンドの融合

枯葉進行とはルート音が順次4度上（もしくは5度下）に向かっていく定番コード進行のこと（譜例①）。有名なジャズ・スタンダードの「枯葉」で使われていることから、そう呼ばれる。最後はG♯m7(♭5)→C♯（7）→F♯mのツー・ファイブになって冒頭へと戻る（譜例②）。華やかなステージ、アグレッシブなサウンドで若者を熱狂させていたBOØWYだが、音楽の土台はこのような耳馴染みのある伝統的なモチーフがベースになっていたのだ。

譜例① 枯葉進行

譜例2 「CLOUDY HEART」コード進行

CamScannerでスキャン

m7(♭5) マイナー・セブンス・フラット・ファイブ

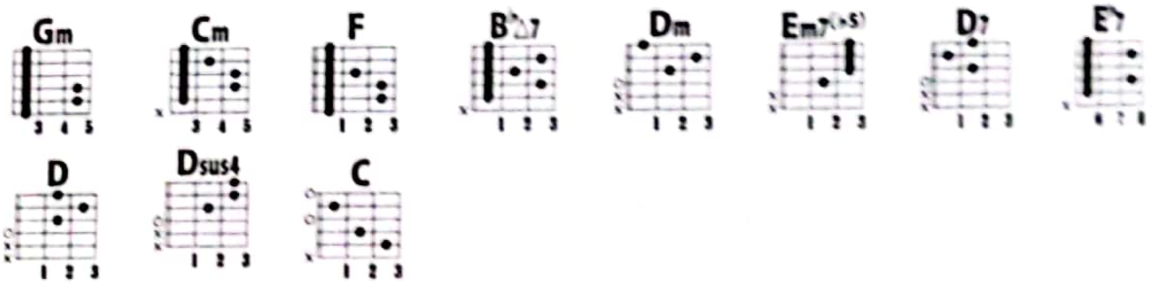
恋人も濡れる街角

中村雅俊 1982年

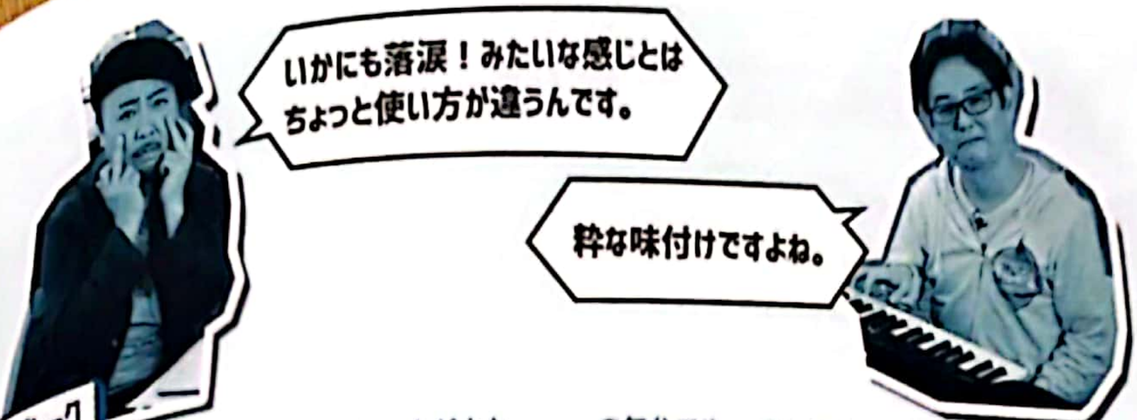
作詞・作曲：桑田佳祐　編曲：桑田佳祐、八木正生

楽曲メモ
「恋人も濡れる街角」は1982年9月1日に発売された中村雅俊の17枚目のシングル。映画「蒲田行進曲」主題歌、及び中村主演のTVドラマ「おまかせください」の挿入歌として使われた。作詞・作曲はサザンオールスターズの桑田佳祐。横浜を舞台にしたエロティックできわどい歌詞の内容で、ムード歌謡的な楽曲に仕上がっている。

```
        Gm    Cm     F      Gm
不思議な恋は　女の姿をして
   Cm          F      B♭△7
今夜あたり　おとずれるさ
Cm     Dm Gm    Em7(♭5)
間柄は 遠いけど
   Cm      D7       Gm  Dm  Gm
お前とはOK　今すぐ
                Gm  Cm        F       Gm
YOKOHAMAじゃ今　乱れた恋が揺れる
     Cm       F       B♭△7
俺とお前の　まんなかで
Cm        Dm     Gm      Em7(♭5)
触るだけで　感じちゃう
   Cm          D7             Gm  Dm  Gm
お別れの Good  night　言えず　に
Cm       F          Dm   Gm   Cm        E♭7    D
ああ　つれないそぶりさえ　よく見りゃ愛しく思えてく
Cm       F          Dm     Gm      Cm       E♭7     Dsus4 D
ただ ひと言でいいから　感じたままを　口にしてよ
Gm        C       Cm D7  Gm
愛だけが　俺を 迷わせる
Gm       C       Cm D7  Gm
恋人も　濡れる 街角
```



CamScannerでスキャン

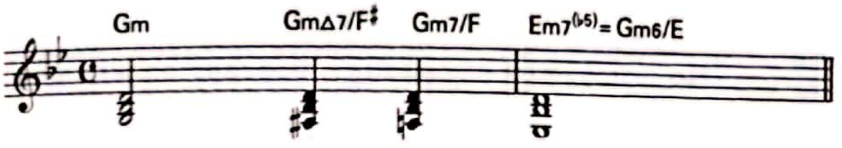


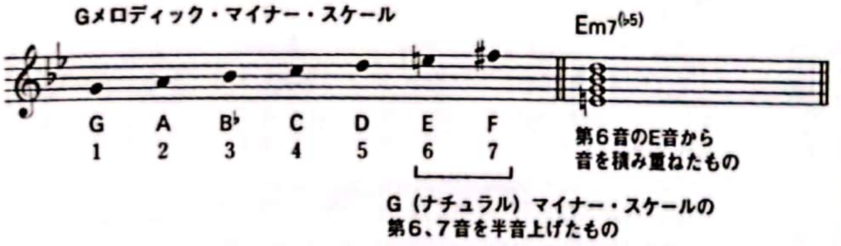
マキスジトーク

マキタ：(音源を聴きながら) この曲、好きなんだよな。
スージー：アーバンだな。
(音源から) "触るだけで感じちゃう〜♪"
マキタ：はい、来た、メジャー・セブンス・フラット・ファイブ (以下、m7(♭5)) 〜。
スージー：これはわかりやすいですね。
マキタ：曲の仕様としてはアーバンなシティ・ポップにしてあるんですけど、わりとメロディとか雰囲気はムード歌謡みたいじゃないですか。それを当時のシティ・ポップ的なセンスと融合させてるんですけど、その時にm7(♭5) が生きてると思うんですよ。
スージー：Em7(♭5) ですね。
マキタ：そうですね。
"触るだけで感じちゃう〜♪" (弾き語る)
うめ子：モノマネしか、耳に入ってこない (笑)。
スージー：今日はモノマネ大会 (笑)。
マキタ：モノマネは聴かないでくださいよ。それは僕の気分でやってるだけですから。
"触るだけで感じちゃう〜♪" (弾き語る)
スージー：いやいや、明らかにモノマネしようとしてる！
マキタ：じゃあ、モノマネは外しましょう (笑)。ここはEm7(♭5) なんですけど、直前のGmのままでもいいんですよ。でも、わざわざEm7(♭5) を入れてるんです。コードを変えなくても、メロディが変わるわけじゃないし、言いたいことも伝わるんですけど、この都会的な仕様にするために、あえてこっちにしたという。このコードを加えることで、ちょっとオシャレな雰囲気が出ると思うんですよね。だから枯葉進行のような、いかにも落涙！みたいな感じとは使い方がちょっと違うんですよ。
スージー：味付けですよね。
マキタ：そう。味付けがいいじゃないですか。この味付け、好き。

ポイント　マイナー・コードのスパイスとして機能するm7(♭5)

m7(♭5) は7(♭9) とのツー・ファイブの形でよく現われるが、特定のコードの代理和音として使われることもある。このm7(♭5) は、クリシェ (コードの一部が上行・下行すること) の音の流れ (譜例①)、もしくはメロディック・マイナー・スケールというマイナー・スケールの派生スケールから現われたもの (譜例②) と考えることができる。いずれにしてもマイナー・コードに深みを加える味なスパイスとして機能している。

譜例①

※一番下の音が半音ずつ下がっている。

譜例②

m7(♭5) マイナー・セブンス・フラット・ファイブ

アローン・アゲイン

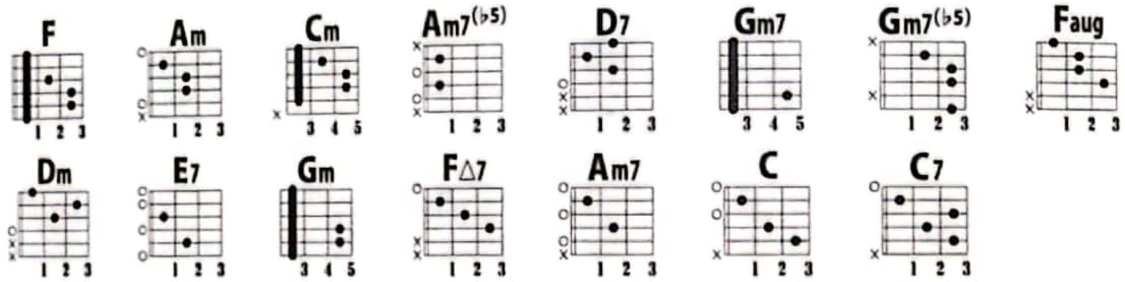
ギルバート・オサリバン 1972年

作詞・作曲：Gilbert O'Sullivan

楽曲メモ　「アローン・アゲイン」はイギリスのアイルランド系シンガーソングライター、ギルバート・オサリバンの楽曲。アメリカ、イギリスのみならず、日本でも大ヒット。邦題は原題に準じて「アローン・アゲイン（ナチュラリー）」と表記される場合もある。イージーリスニング風の柔らかなサウンドながら、自殺の企てや両親の死について語る重い歌詞となっている。

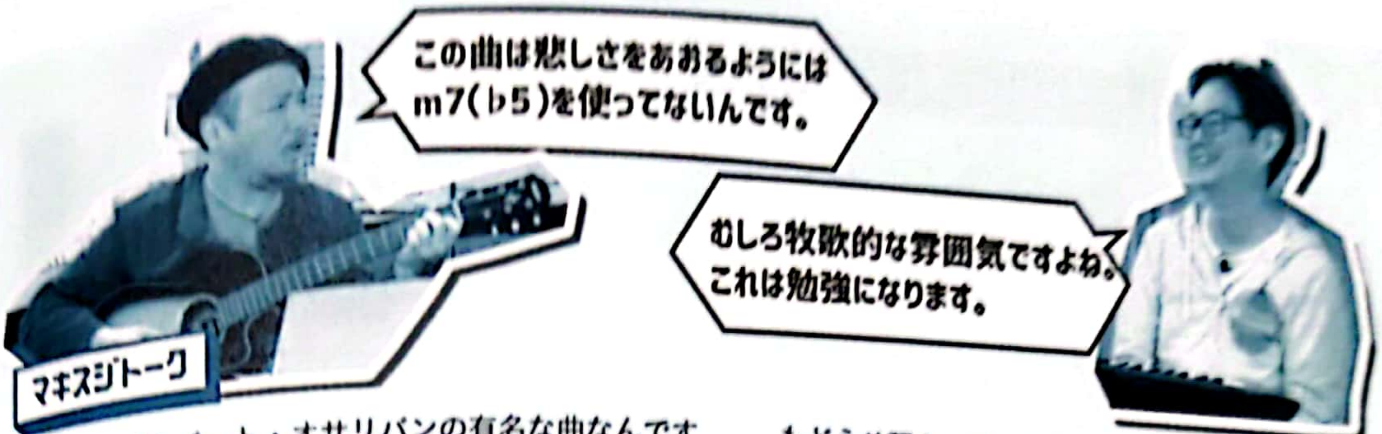
オリジナル・キー＝G♭　1カポ

F
In a little while from now
　　Am
If I'm not feeling any less sour
　Cm
I promise myself to treat myself
　　Am7(♭5)　　　　D7
And visit a nearby tower
　　Gm7　　　　　　　Gm7(♭5)
And climbing to the top will throw myself off
　　F　　　　　　Faug　　　　　Dm
In an effort to make it clear to whoever
　　　　　　　　　　E7
What It's like when you're shattered
　　Am　　　　　　　　Am7(♭5)
Left standing in the lurch at a church
　　　　　　D7
Where people saying:
　　Gm
"My　God, that's tough" "She stood him up"
　Gm7(♭5)　　　　　　　　FΔ7
"No point in us remaining" "We may as well go home"
　　Am7　　　　C　　Gm7　　　　C7 F
As I　did on my own Alone again,　naturally



「ALONE AGAIN (NATURALLY)」Words and Music by Raymond O'Sullivan
©1972 by GRAND UPRIGHT MUSIC LTD. Rights for Japan assigned to Watanabe Music Publishing Co., Ltd.

CamScannerでスキャン



マキタ：ギルバート・オサリバンの有名な曲なんですけど、この曲も「恋人も濡れる街角」のように、ただ悲しみを誘うためだけのコードとしてm7(♭5)を使ってないんですよ。不思議なメロディの曲で、何度もm7(♭5)が出てくるんですけど、泣きをあおるような感じにはなってないんです。「アローン・アゲイン」っていうぐらいだから、また独りぼっちになっちゃったっていう、そんな悲しみを歌ってる曲だと漠然と思ってたんですけど、調べてみたら想像以上で、結婚直前に花嫁さんに逃げられてしまった男が自殺するっていう歌なの。

うめ子：けっこう絶望的な歌なんですね。

マキタ：絶望も絶望。さらにお母さんが死んだ時もそうだったし、人間というのは誰しも独りぼっちで、俺もどうせ死ぬっていう風に歌ってるんだけど、そんな歌に聴こえる？

うめ子：全然聴こえないですよ。

スージー：むしろ牧歌的なね。

マキタ：でしょ？　でも、この曲は悲しさをあおるようにはm7(♭5)を使ってないんです。もう山ほど使ってるんですけど。(ギターで弾き語る)

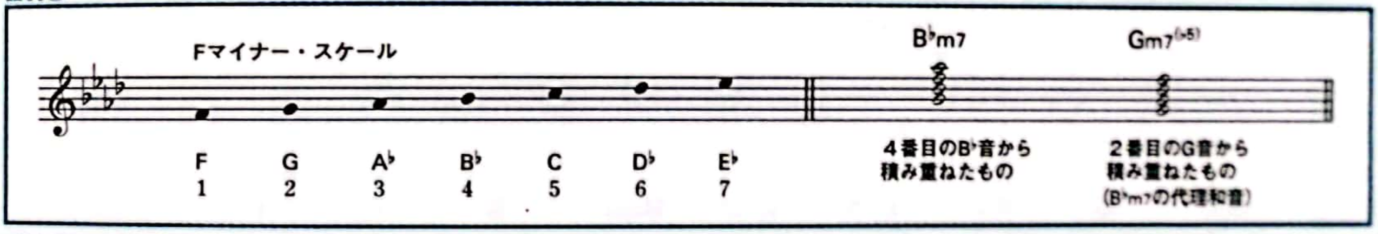
スージー：てんこ盛りなんだ。

マキタ：そう。どこかユーモラスな雰囲気を打ち出すような使い方をしてると思うんです。桑田佳祐さんの書いた中村雅俊さんの「恋人も濡れる街角」もそうですけど、ただ単に悲しみを誘うようなサッド・ソングとしてm7(♭5)を使ってるわけじゃないところも、やっぱりセンスがいいなって思うんですよ。

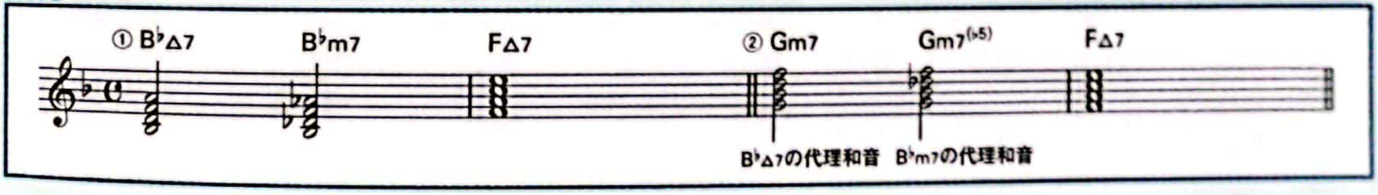
ポイント　複雑な心模様をさまざまなm7(♭5)で彩り豊かに描く

この曲にはマイナー・コードに向かうm7(♭5)と、メジャー・コードに向かうm7(♭5)が混在しているため、マイナーでもメジャーでもない、一種独特な空気感が漂っている。マイナー・コードのGm7に向かうAm7(♭5)は、これまで説明してきたようなツー・ファイブ。メジャー・コードのF△7に向かうGm7(♭5)は、同主短調（ここではFマイナー）から借りてきたB♭m7の代理和音としてとらえることができる（譜例①、②）。

譜例①



譜例②



m7(♭5) マイナー・セブンス・フラット・ファイブ

優しい雨

小泉今日子 1993年

作詞：小泉今日子　作曲：鈴木祥子　編曲：白井良明

楽曲メモ

「優しい雨」は1993年2月3日にリリースされた小泉今日子の34枚目のシングル。小泉今日子も出演したTVドラマ「愛するということ」（同年放映）の主題歌で、作詞は小泉今日子、作曲は鈴木祥子。小泉今日子にとっては「あなたに会えてよかった」に次ぐ大ヒットとなった。作曲も手がけた鈴木祥子の他、杏里や広瀬香美などもカバーしている。

オリジナル・キー＝A♭　1カポ

G△7 G Am7　C/A　C/D　G△7 G　Am7 C/A　C/D
心　の　隙　間に　優　し　い雨が降る

G△7 G　Am7　Bsus4　B　Em　C/D C△7　C　D
疲　れ　た背　中を　そっ　と　湿らせてく

Bm7　Em7　C　D/C
群れをなす魚たち

Bm7 Em7 C　D/C　Bsus4　Esus4　E　Am7　C/D
少　し楽し気に　駅　に向　かっ　て　走って　く

C　G　Am　G　Am　Bsus4　B　Esus4　Em/D
こんなに普通の毎日の中で　出会って　し　まった二人

C　G　Am　G
降りしきる雨に　すべてを流して

Am　C/D　C　G△7
しまえたらいいけれど・・・

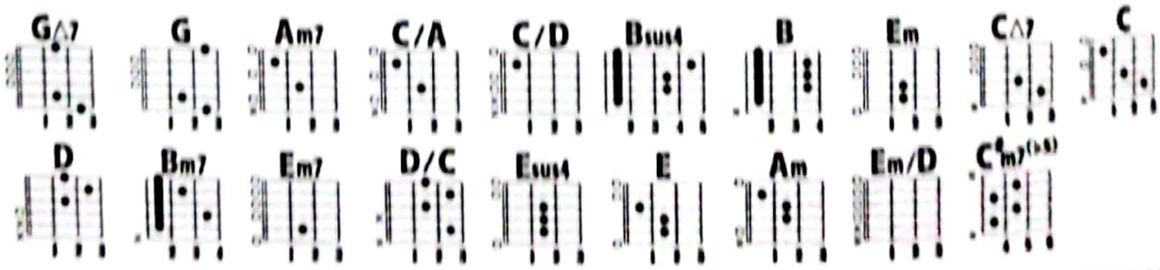
（中略）

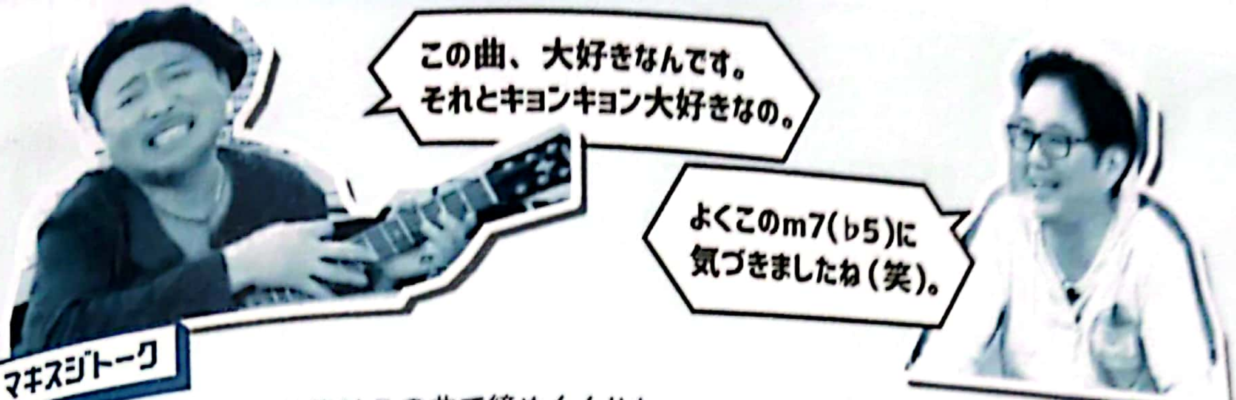
C　G　Am　G　Am　Bsus4　B　Esus4　Em/D
こんなに普通の毎日の中で　出会って　し　まった二人

C　G　Am　G
雨が止む前に　抱きしめ合えたら

Am　C/D　Em　G#m7(♭5)
あなたについてゆく

Am　C/D　G△7　G　C/D　G△7
はじまってしまったから・・・



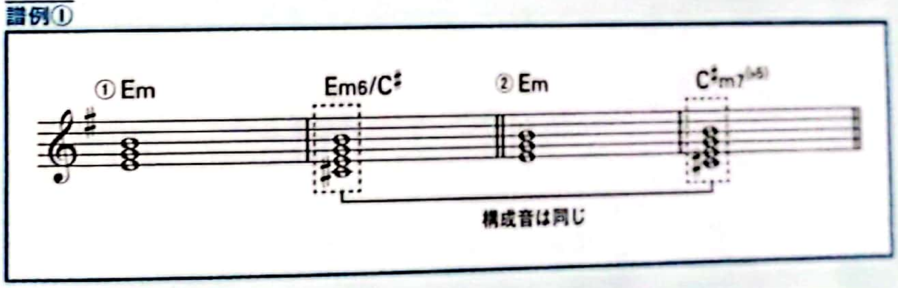
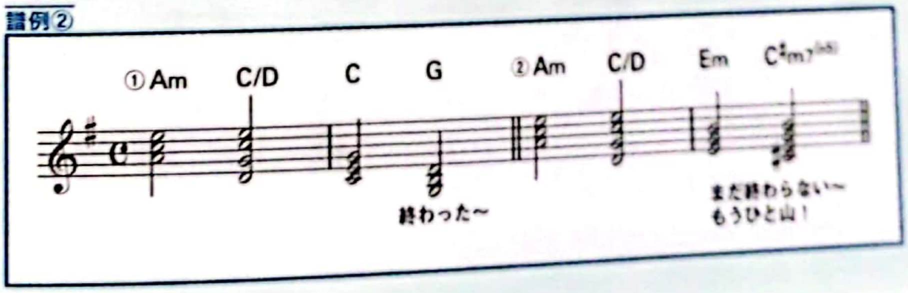


マキスジトーク

マキタ：m7(♭5) 編の最後はこの曲で締めくくりたいですね。90年代の曲ですけど。
スージー：緒形直人と小泉今日子が出演したドラマの主題歌ですね。これにもありましたっけ？
マキタ：最後に出てくるんです。ちょっと最後まで我慢して聴いていただきたい。（音源を流す）
スージー：1番終わっちゃったじゃないですか!?
マキタ：もうちょっと我慢して聴いて。すごくためて出てくるんですよ。
"ひとつずつ消えてゆく 夜の〜♪"
スージー：え？　まさかのフルコーラス!?
マキタ：（レイザーラモン）RGみたい（笑）。早く言いたい！　早く聴きたい！
"こんなに普通の毎日の中で〜♪"
マキタ：来るよ！　来るよ！ 準備して！
"あなたについてゆく〜♪"
マキタ：来たー！！！！！！！
スージー：えっ!?　ここがそうですか!?
マキタ：そうなんですよ。歌詞と合わせて聴いてほしいんですけど、気の強い女性が、別に好きじゃないっていうそぶりを見せてたのに、もうどうしようもなく好きになってしまって、ついに"あなたについてゆく"って言っちゃうんです。もう始まっちゃったんだもん。白状しますって。
スージー：ドラマもそんな感じでしたよ。
マキタ：要するに今までのパターンで言うとm7(♭5)はつなぎ的なんです。でも、ここでは必殺技として使ってるんですよ。最後までためにためて、人間の持つ奇妙にして複雑な気持ちを、この不穏なコードを使って必殺技的にバーン！とスパークさせている。そのやり方にすごく湿度を感じるし、素晴らしいと思うんですよね。
スージー：それにしても、よくこのm7(♭5) に気付きましたね（笑）。
マキタ：この曲が大好きなんです。それとキョンキョン大好きなの（笑）。

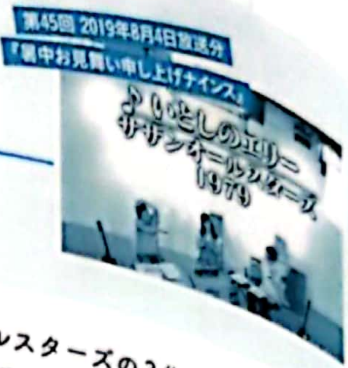
ポイント　準備して、準備して、最後に満を持して登場!

このC#m7(♭5) は「恋人も濡れる街角」に近い現われ方だが（譜例①）、特筆すべきは、入念にC#m7(♭5) のポジションを用意しながら、必殺技として使用しているところ。1、2番の最後はC→Gと締めくくっているが、大サビではGを代理和音のEmにして、もうひと山の展開にしていることに注目（譜例②）このような技法を偽終止という。そこに満を持してC#m7(♭5) を投入。最後は1、2番のように、しっとりと着地させている。

譜例①

譜例②

CamScannerでスキャン

9th ナインス

いとしのエリー

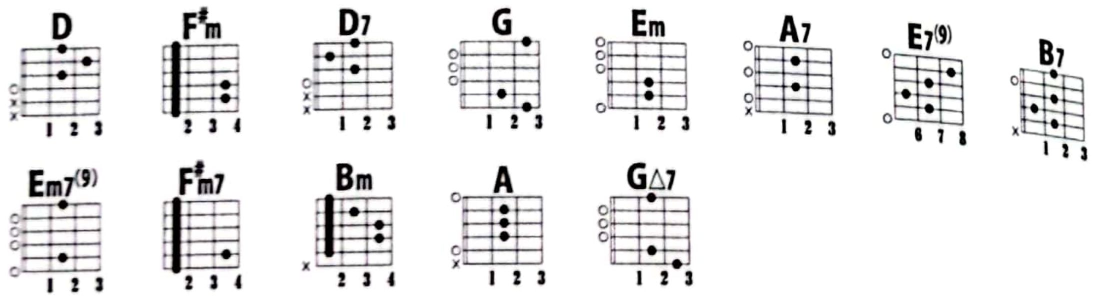


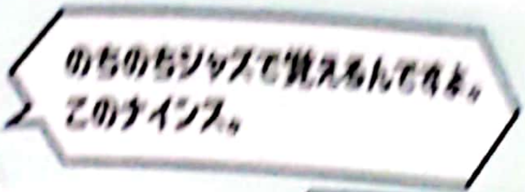
サザンオールスターズ 1979年

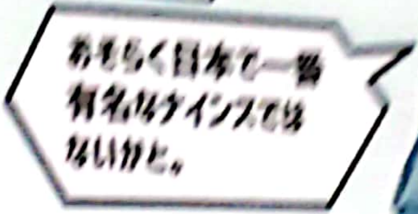
作詞・作曲：桑田佳祐　編曲：サザンオールスターズ　弦編曲：新田一郎

楽曲メモ 「いとしのエリー」は1979年3月25日に発売されたサザンオールスターズの3作目のシングル。TVドラマ『ふぞろいの林檎たち』の主題歌としてお茶の間に浸透した。国内のみならず、海外でも広くカバーされており、中でも有名なのが、レイ・チャールズ・バージョン。「Ellie My Love」として英語詞でカバーされ、ウイスキーのCM曲としても放送された。

```
     D                 F#m
泣かした事もある　冷たくしてもなお
    D7                G
よりそう気持ちがあればいいのさ
 Em       A7           D     E7(9)
俺にしてみりゃ　これで最後のLady
  G      A7       D
エリー my love, so sweet
 D                   F#m
二人がもしもさめて　目を見りゃつれなくて
 D7                  G
人に言えず思い出だけが　つのれば
 Em       A7          D      E7(9)
言葉につまるようじゃ　恋は終わりね
  G      A7       D  B7
エリー my love, so sweet
Em7(9)       A7      F#m7             Bm
笑ってもっとbaby　むじゃきにon my mind
Em7(9)       A7      F#m7           Bm
映ってもっとbaby　すてきにin your sight
G    A  A7  F#m7   B7
誘い涙　の　日が落ちる
   G△7    A7        D   E7(9) G△7   A7              D
エリー my love, so sweet　エリー my love, so sweet
```







マキタジトーク

スージー：誰もが知ってるサザンオールスターズの名曲「いとしのエリー」です。この曲のナインスがおそらく日本で一番有名なナインスではないんじゃないかと。ここではE7(9)が使われていますが、E7(9)はBmの代理和音なんですよ（譜例1）。D-Bmだとよくあるコード進行ですよね（譜例2-①）。でも、D-E7(9)とすると大人っぽいと言いましょうか、切ない感じってあるじゃないですか（譜例2-②）。ここで和音の仕組みを紹介しますと、まずはこれがC（譜例3-①）ですね。ドミソのドを1とするとミが3、ソが5。普通のメジャー・コードです。ストレートな響きですね。そこにどんどん音を積み重ねていきましょう。1・3・5と奇数で重ねていくと、次はC7になります（譜例3-②）。そのC7にナインスを加えたものがC7(9)ですね（譜例3-③）。ドミソだけのCに比べると、切なさとか大人っぽさとか、いろんな連想が広がっていく複雑な響きがあります。その響きが山田太一脚本による岩田、仲手川、西寺というふぞろいな学生たちが人生を歩んでいくドラマに……この話、どうでもいいですね。

マキタ：いやいや、重要ですよ。僕らは子ども時代にそのTVドラマ『ふぞろいの林檎たち』の主題歌として、この曲に接したわけですよ。何とも言えないインパクトがありましたよね。ナインスの響きなんて、当時はわからなかったですけど、出てくるキャラクターたちの、エリートじゃなくてデコボコしてる人たち……そのふぞろい感とその複雑な響きがマッチしてたってことでしょうね。のちのちジャズで覚えるんですよ。このナインス。

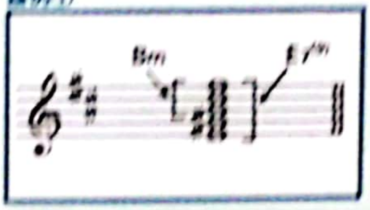
スージー：ジャズやブルースでよく使われる和音ですよね。

マキタ：そういうコードを、当時の歌謡曲のフィールドでサザンオールスターズはスパイスとして使ってたっていうことは驚きですよね。

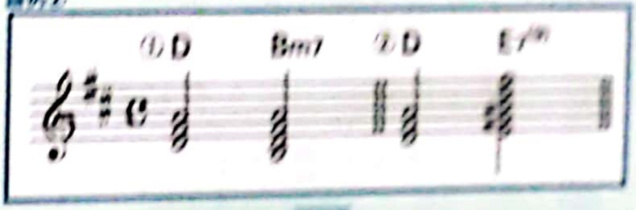
ポイント　さまざまな響きが折り重なった"ふぞろいコード"

ナインス・コードとはセブンス・コード（□m7、□△7、□7）の上に長9度（レの音）を加えたコードのこと。代理和音とは、複数の共通音、および同じ機能を持つコードのことで、両者の響きは微妙に異なるものの、取り替え可能なことから、このように呼ばれる（譜例1）。構成音が多い分、ナインス・コードには複雑な響きがあるが、その構造を見ると、ある意味、さまざまな個性の折り重なった"ふぞろいコード"と呼べるかもしれない（譜例4）。

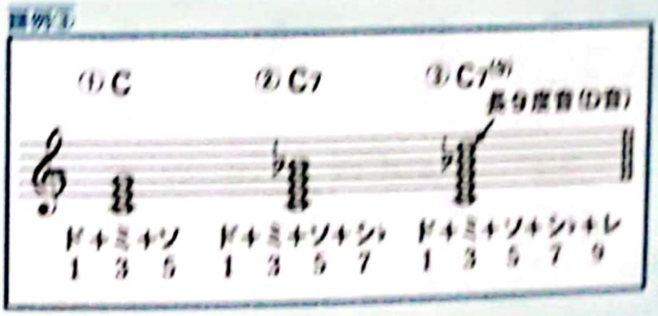
譜例1



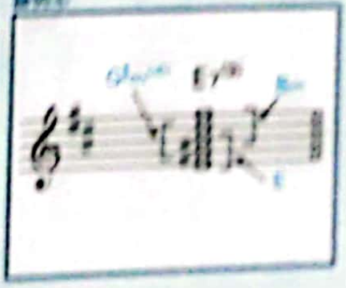
譜例2



譜例3



譜例4



CamScannerでスキャン

PART1 一撃必殺のコード使い

9th ナインス

さよなら

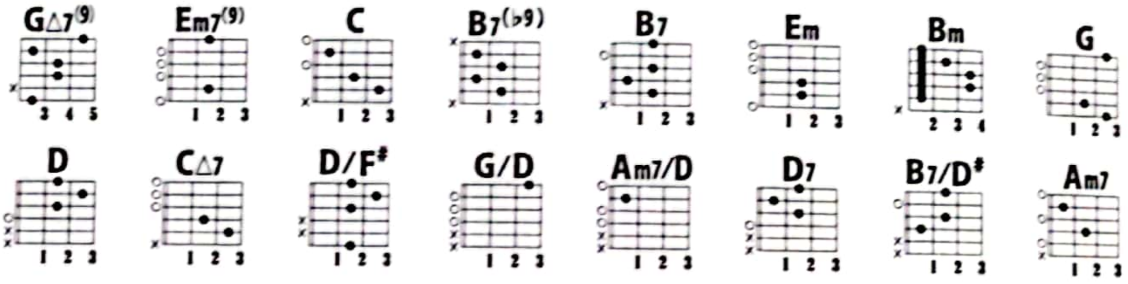
オフコース 1979年

作詞・作曲：小田和正　編曲：オフコース

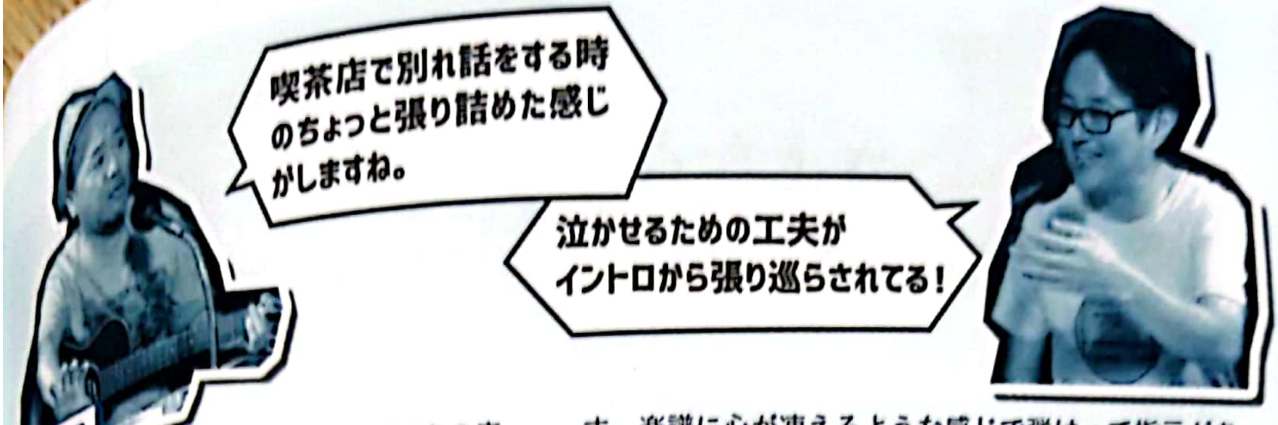
楽曲メモ

「さよなら」は1979年12月1日に発売されたオフコース通算17枚目のシングル。1970年のデビュー以来、なかなかヒット曲に恵まれなかった彼らだが、デビュー10年目にして、この曲で大ブレイク。オフコースの人気を決定づけた大ヒット・ナンバーだが、オリジナル・アルバムには収録されていない。のちに小田和正がセルフカバーをしている。

```
G△7(9)  Em7(9)  C  B7(♭9)  B7

    Em        Bm        Em        Bm
もう終りだね　君が小さく見える
C                    G   Em          D        C△7
僕は思わず君を　抱きしめたくなる
    Em        Bm             Em              Bm
私は泣かないから　このままひとりにして
C              G   D/F#  Em      D        C  D
君の頬を涙が　　流れては落ちる
  Em          Bm          Em          Bm
僕等は自由だね　いつかそう話したね
   C                   G  D/F#  Em       D          C△7
まるで今日のことなんて　　思いもしないで
     G             D/F#           Em   C△7
さよなら　さよなら　さよなら
     G/D        Am7/D  G/D  Am7/D  D7
もうすぐ外は白い冬
     G               D/F#  B7/D#   Em
愛したのは　たしかに君だけ
Am7         D7     C△7
そのままの君だけ
```



CamScannerでスキャン



マキスジトーク

スージー：いいですね〜。歌詞よりもやっぱり音の素晴らしさ。いろんな音が出てくるんですけど、まったく無駄のないアレンジなんですよね。

マキタ：その研ぎ澄まされたポイントは、どういうところにあるんですかね。

スージー：まずはイントロだと思うんですよね。そこにマキタさんも大好きなナインスが。

マキタ：ナインスが入ってますか？

スージー：この曲はキーがEmなんですけど、まずはその平行調（譜例①）のGから入ってEmに行きます。普通にGとEmを弾くとこうなりますが（譜例②）、そこにナインスの音を入れるんですね（譜例③）。

マキタ：うわぁ、いい透明度！

スージー：コードにナインスが入ることで、張り詰めた感じになりますよね。今回、楽譜を手に入れたんですけど、そこには"凍える心で"って書いてあるんです。楽譜に心が凍えるような感じで弾けって指示があるんですよ。ナインスというパクチーのようなスパイスを入れて、"泣け！　泣け！　聴いてるヤツ、泣いてみろ！"っていうための工夫がイントロから張り巡らされてる。

マキタ：別れ話をする前の沈黙とかあるじゃないですか。ちょっと張り詰めた感じ。レモンスカッシュの残った氷をかき混ぜながら、"もう終わりだね"みたいなことを言う前の張り詰めた空気。

スージー：灰皿に乗ったタバコが徐々に焦げていって、その灰がポトッって落ちた時に"もう〜♪"

マキタ：ドラマとかの別れのシーンで、灰皿からのアップでね。そこから国広富之あたりの顔にパンして。

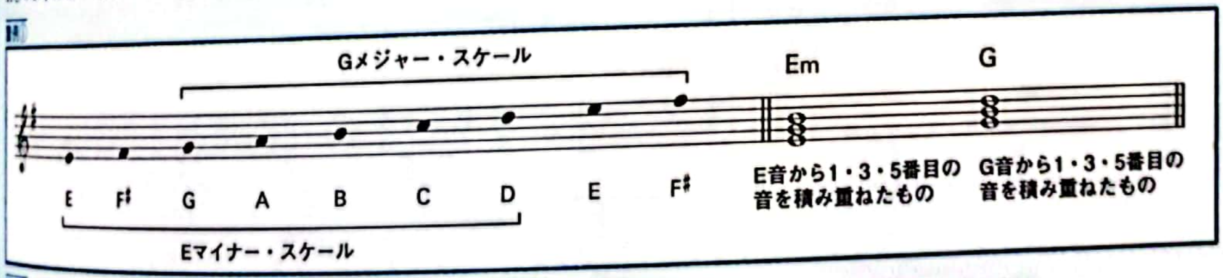
スージー：『岸辺のアルバム』！

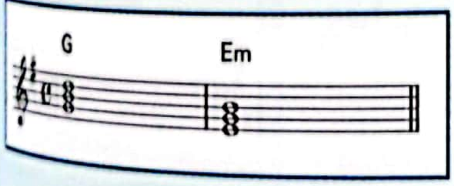
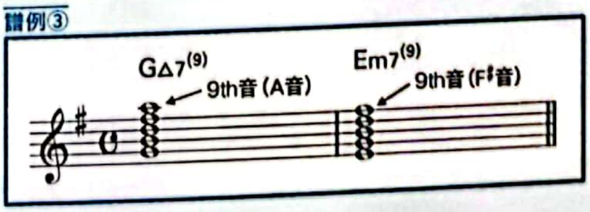
マキタ：そうそう。『岸辺のアルバム』的に顔がアップになって、"もう終わりにしよう……"みたいなやつとかね。

ポイント　イントロから"さよなら"の予感

平行調とは同じ音で構成された長調（メジャー・キー）と短調（マイナー・キー）のこと。構成音は同じだが、軸となる音がズレている（平行関係）ことから平行調と呼ばれる。譜例①のようにEマイナー・スケールを第3番目のG音からスタートするとGメジャー・スケールになる。ナインス・コードはシンプルなメジャー／マイナー・コードに比べると、長9度の効果によって拡散された響きになるためか、より別れの雰囲気が強く感じられる。

譜例①



譜例②

譜例③

CamScannerでスキャン

9th ナインス

第37回 2019年4月7日放送分
『大阪の人に知ってもらいたい8つのこと』

悲しみにさよなら

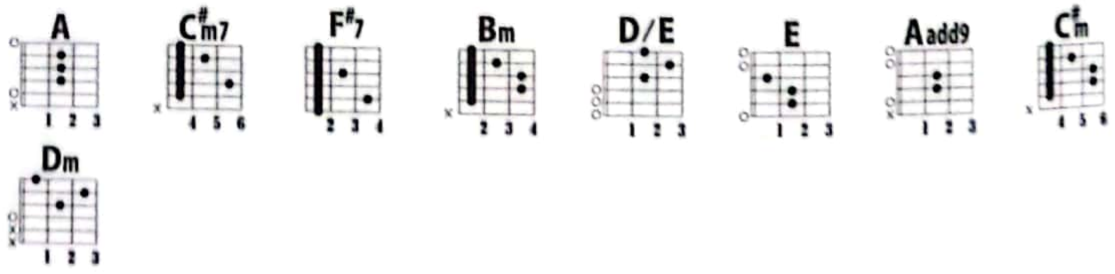
安全地帯 1985年

作詞：松井五郎　作曲：玉置浩二　編曲：安全地帯、星勝

楽曲メモ

「悲しみにさよなら」は、1985年6月25日にリリースされた安全地帯の9枚目のシングル。本曲を収めたアルバムとともに大ヒットし、安全地帯はこの曲で紅白歌合戦の初出場を果たした。この曲について玉置浩二は"自身のメロディアスな楽曲と、松井五郎の書くロマンティックな歌詞のコンビネーション・スタイルの完成形"と語っている。

```
A
泣かないで　ひとりで
C#m7          F#7
ほほえんで　みつめて
   Bm        D/E   E          Aadd9
あなたの　そばにいるから
Bm       E      C#m          F#7
夢にまで涙が　あふれるくらい
Bm   Dm    C#m     D/E   E
恋は　壊れやすくて
Bm                  C#m        F#7
抱きしめる腕のつよさでさえ　なぜか
Bm           D/E            E
ゆれる心を　とめられない
        A
でも　泣かないで　ひとりで
C#m7          F#7
ほほえんでみつめて
   Bm        D/E   E          Aadd9
あなたの　そばにいるから
```



すごいアーバンな香り。
まさに六本木！

玉置浩二はこのナインスの
使い方がとてもうまい。

マキスジトーク

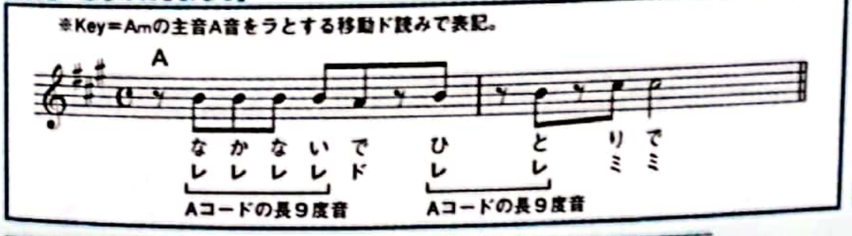
スージー：曲の歌い出しにレの音が入っております。玉置浩二はこのナインスの使い方がとてもうまい。"泣かないで〜♪"が「レレレレド」で「レ」がナインスです（**譜例①**）。この曲のキーはAで、曲の基本となるドミソだとAメジャー・コードになります（**譜例②-①**）。しかし、ここでメロディがドミソではない「レ」の音で始まるから、けっこう音の取り方が難しいんですよ。ドミソで「レ」を鳴らすと、ちょっと濁った響きになりますよね（**譜例②-②**）。だから音が取りづらいんですが、これこそがナインスの魅力ですね。音が取りづらい分だけ、一度聴くと印象に残りやすいわけです。玉置浩二が使うナインスは、やはり80年代中盤の六本木の音って感じがしますね。これはメジャーの例ですけど、マイナー・バージョンもあるんです。「ラドミ」の「シ」（**譜例③**）。例えば、安全地帯の「じれったい」（1987年）。同じような歌い出しです。（曲を流しながら）1980年の六本木。六本木通りをBMWが走っております。降り立ったのは玉置浩二。そのうしろには石原真理子がいるかいないか。"わからずやの〜♪"が「シラシラシシ」。"濡れたくちびるで〜♪"が「シラシラシドーラ」。「シ」がマイナーのナインスです。もっとあるんですよ。おそらく安全地帯の中で、一番有名なこの曲のサビがマイナーのナインスです。「ワインレッドの心」（1983年）。"燃えそうな〜♪"の「え」がシですね（**譜例④**）。

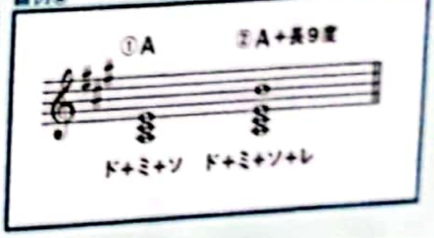
マキタ：そっか〜。でも、なんかすごいアーバンな香り。

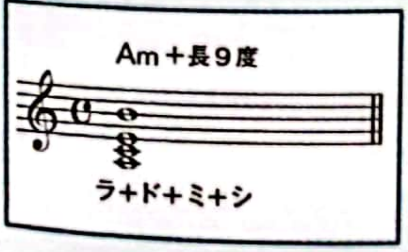
スージー：まさにアーバン。「ブルシアンブルーの肖像」（1986年）にもあります。こうして80年中盤、安全地帯のブレイクとともに、日本人はナインスの響きを飲み込んでいったんですね。

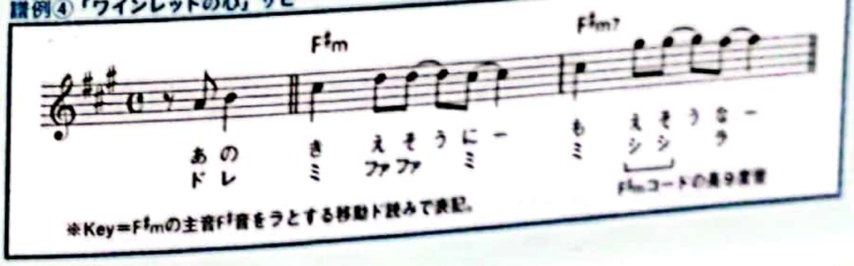
ポイント　ヘッドライトが煌めくアーバンな六本木の夜の香り

ギターやピアノなどのメロディ楽器と違い、歌で正確にレの音をとらえるのは難しい。その意味でレの箇所は歌手の技の見せどころとも言える。「悲しみにさよなら」のように、いきなりナインスのレの音から歌い始めたり、「ワインレッドの心」（譜例④）のように、歌の聴かせどころにレの音を持ってくると、その歌唱力の高さをより強くアピールすることができる。どちらも玉置の歌い方もあいまって、妖艶でアーバンな香りが感じられる。

譜例①「悲しみにさよなら」

譜例2



譜例③

譜例④「ワインレッドの心」サビ



「ワインレッドの心」作詞：井上陽水　作曲：玉置浩二

CamScannerでスキャン

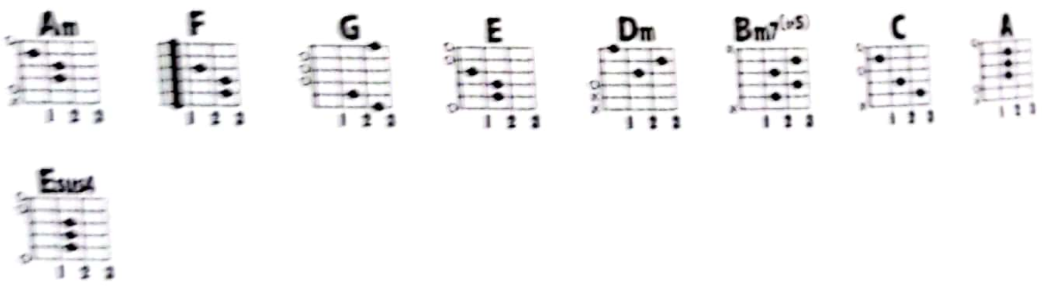
魅せられて～エーゲ海のテーマ

ジュディ・オング 1979年

作詞：阿木燿子　作曲・編曲：筒美京平

楽曲メモ

1979年2月25日に発売されたジュディ・オングの大ヒット・シングル。副題にもあるように、エーゲ海をイメージして作られた曲で、歌詞にもエーゲ海（Aegean）が登場する。この曲を歌う時は袖が扇状に広がるエレガントな白いドレスを着るのがお決まりで、歌を歌っている最中に、時折りクジャクのように両手を大きく広げるステージングは当時大きな話題となった。

Am
南にむいてる　窓をあけ
F　　　　　　　　G E
ひとりで見ている　海の色
Am
美しすぎると　こわくなる
F　　　　　　Dm Bm7(♭5) E
若さによく似た　真昼の 蜃気 楼
Am
Wind is blowing from the Aegean
Dm
女は海
G　　　　C
好きな男の　腕の中でも
A　　　　Dm
ちがう男の　夢を見る
Esus4　Bm7(♭5)　Esus4　Bm7(♭5)
Uh－　Ah－　Uh－　Ah－
E　　　Am　E　Am
私の中で　お眠りなさい
Am
Wind is blowing from the Aegean
Dm
女は恋

この曲はイントロ誘拐ですね。
緊張感をうまく利用して
作られてる。

筒美京平としても
画期的なアレンジだった
みたいです。

マキタスジトーク

マキタ：この曲を初めて聴いた時は、なんだか怖いんだけど、どこか興奮するというか。人間の根源的なところを掻き立てられるようなものがありましたよね。音が激しく上下するイントロも刺激的だし、不安があおられる感じがある。また、サビでは"Wind is blowing from the Aegean～♪"って、すごくネイティブな発音になって、ここをステージで歌う時はクジャクのように衣装の羽を広げながらアダルティな女性になるんですけど、そのあとは"好きな男の腕の中でも♪"って、急に可愛らしい女性になったりして、大人性と幼児性みたいなものが同居してるんですよ。

スージー：いろんなものが入ってますよね。"Wind is blowing from the Aegean～♪"のthe Aegeanの音はナインスですよ。

マキタ：あれはナインスですか？　テンションの音だから緊張感が増すんですよね。イントロの緊張感は独特な感じで、サビは気持ちいい緊張感。イントロとサビに共通してるのは、その緊張感だと思うんですよ。この曲は緊張感をうまく利用して作られてる。あとは異国情緒。遠くアジア諸国を望むようなロマンみたいなものが感じられますよね。

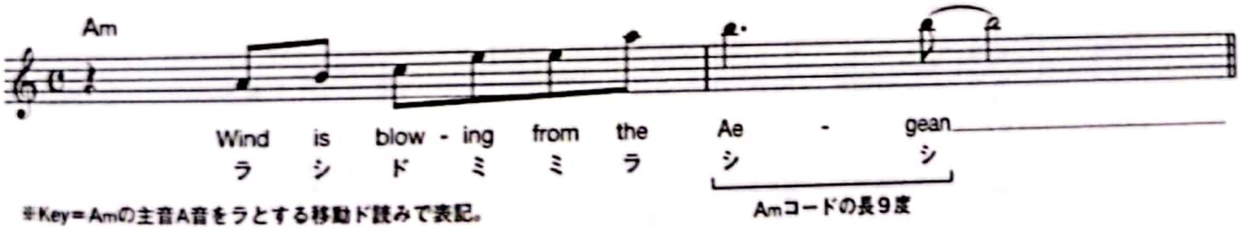
スージー：イントロでは民族楽器のブズーキという弦楽器が使われているんですが、筒美京平は庄野真代の「飛んでイスタンブール」で使った時に、これはいいなということで、この曲でも使ったらしいですね。筒美京平は80年代以降、他の人にアレンジを任せるんですが、70年代は自らアレンジを手がけているんです。この曲はその終盤の頃の作品で、この曲でアレンジを突き詰めるだけ突き詰めたという気持ちになって、あとは後進に託していこうと思ったらしいですね。自分としても画期的なアレンジだったみたいです。

マキタ：当時、この曲を聴いた時、子供心に"どこに連れて行かれるんだろう？"とかって思いました。イントロ誘拐ですよ、この曲は。

ポイント　ナインス音に向かってメロディがエレガントに上昇

「魅せられて」は曲のクライマックスにナインスを持ってきたパターン。ちなみにこの音は歌メロの最も高い音にもなっている。譜例はそのサビの場面。小節頭の4分休符でひと呼吸おいたあと、ルート音のA音（ラ）から、ナインスのB音（シ）まで滑らかに上昇し、そこでゆったりと音が伸ばされる。流ちょうな英語の発音、1オクターブ以上にわたる音域幅、サビの高揚感、ナインスの適度な緊張感が織り交ざったエレガントな旋律である。

譜例



※Key＝Amの主音A音をラとする移動ド読みで表記。

9th ナインス

Woman"Wの悲劇"より

薬師丸ひろ子 1984年

作詞：松本 隆　作曲：呉田軽穂　編曲：松任谷正隆

楽曲メモ

「Woman "Wの悲劇"より」は映画『Wの悲劇』の主題歌。主演女優の薬師丸ひろ子が歌い、薬師丸ひろ子の通算4枚目のシングルとして1984年10月24日にリリースされた。作詞は松本隆で、作曲はユーミンこと松任谷由実。ペンネームの呉田軽穂名義で作曲している。ユーミンは"他者に作品提供をした中で、最も好きな曲かもしれない"と語っている。

オリジナル・キー＝Cm　3カポ

Am　Dm7　G7
もう行かないで　そばにいて

G7/F　Em　Am
窓のそばで　腕を組んで

Am/G　D7(9)/F♯
雪のような　星が降るわ

Dm7/G
素敵ね

Am　Dm7　G7
もう愛せないと　言うのなら

G7/F　Em　E7　Am
友だちでも　かまわないわ

Am/G　F♯m7(♭5)　B7　Em
強がっても　ふるえるのよ

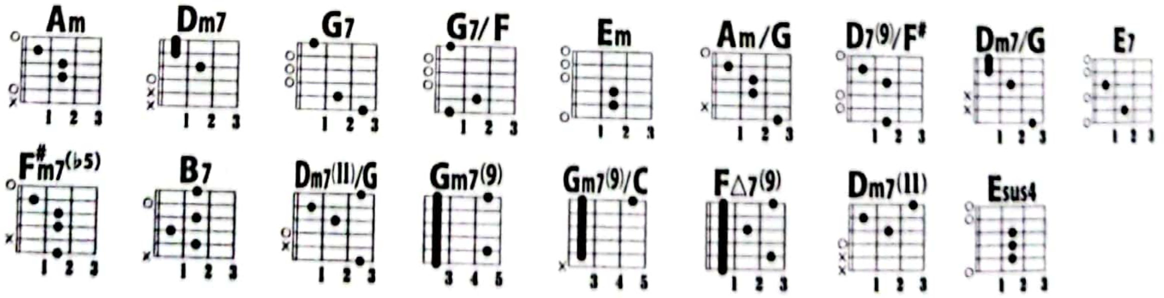
Dm7(11)/G　Dm7/G
声が……

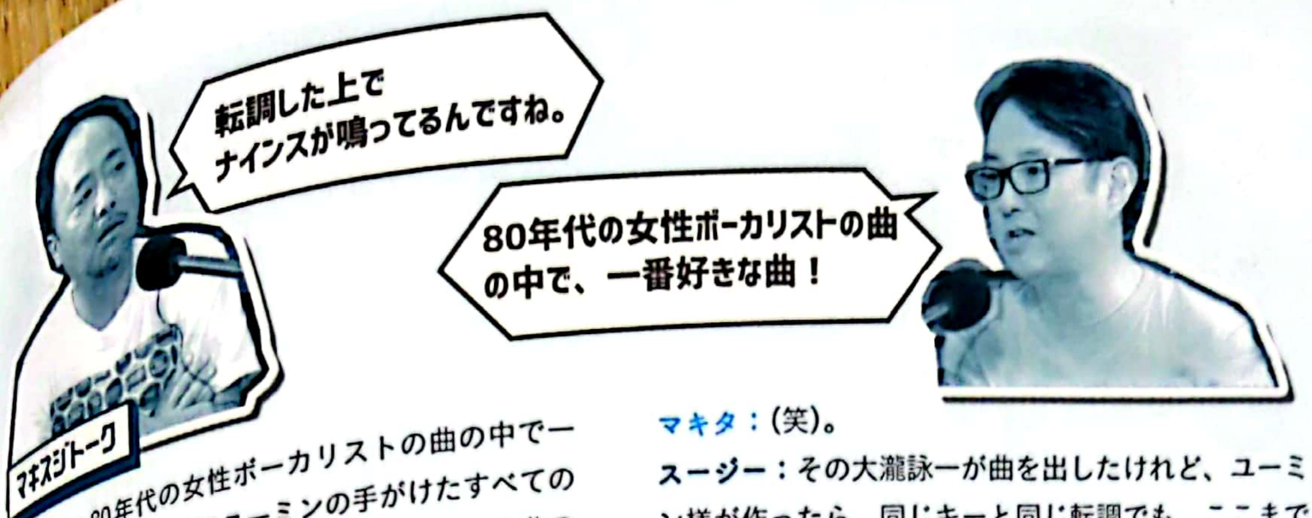
Gm7(9)　Gm7(9)/C　F△7(9)
ああ時の河を　渡る船に

Dm7(11)　Gm7(9)
オールはない　流されてく

Gm7(9)/C　F△7(9)
横たわった　髪に胸に

Esus4　E7　Am
降りつもるわ　星の破片（かけら）





スージー：80年代の女性ボーカリストの曲の中で一番好きな曲です。さらにユーミンの手がけたすべての作曲作品の中でも、最高傑作だと思うぐらいこの曲のサビが好きですね。この"ああ〜時の河を〜♪"っていう部分。

マキタ：そこはいわゆるナインスですよね。曲のキーは何ですか？

スージー：曲の冒頭はCmなんですけれども、サビではA♭に転調します。

マキタ：なるほど。A♭に転調した上で、9度の音が鳴ってるということですね。

スージー：この曲が発売された前年の1983年、薬師丸ひろ子は映画『探偵物語』に主演。同じく主題歌を歌いましたが、その「探偵物語」（作詞：松本隆）も曲のキーがCmでA♭に転調するんですよ。こちらは大瀧詠一の作曲ですね。ここからは私の深読みなんですが、大瀧詠一という、はっぴいえんど崩れの……。

マキタ：(笑)。

スージー：その大瀧詠一が曲を出したけれど、ユーミン様が作ったら、同じキーと同じ転調でも、ここまでできるんだ！っていう、80年代ソングライターの頂上決戦。どちらの曲も素晴らしいんですけど、サビに関しては、微妙な点数差ですが「探偵物語」を超えてますね。

マキタ：（アシスタントの春川桃菜に向かって）薬師丸ひろ子さんはわかるよね？

桃菜：聞いたことがあります。

マキタ：テレビ小説の『あまちゃん』わかんない？

桃菜：わかります。

マキタ：『あまちゃん』で歌ってたおばさん、知らない？

桃菜：見てない……。

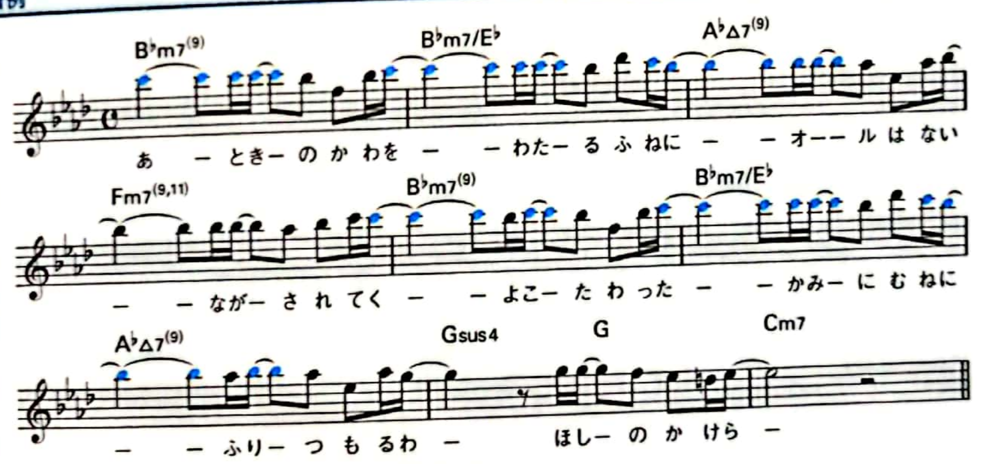
マキタ：見てねぇのか……弱っちゃったなぁ。

スージー：一種の悲劇。Wの悲劇が。

マキタ：カセットの悲劇。Cの悲劇ですね。

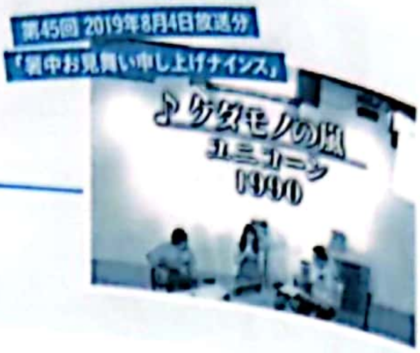
ポイント 複雑なコード進行や技法を駆使したユーミンの名作

曲はCマイナー・キーでスタート。そしてサビでその4度上のFマイナー・キーの、さらにその平行調であるA♭メジャー・キーに転調する。しかもA♭コードではなく、その2度のコードのB♭mから始まるという構成。全体のコード進行も凝っており、まさにユーミンならではという感じだ。サビはナインスの音が強調されていることもあって、独特な浮遊感が漂っている。B♭mではC音、A♭△7では、B♭音がナインスに当たる。

譜例

※色づけした音符が各コードの長9度音。

#9 シャープ・ナインス

ケダモノの嵐



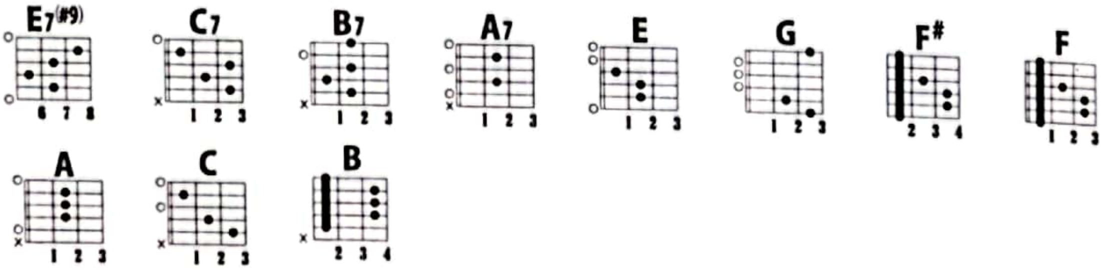
ユニコーン 1990年

作詞：川西幸一　作曲：奥田民生

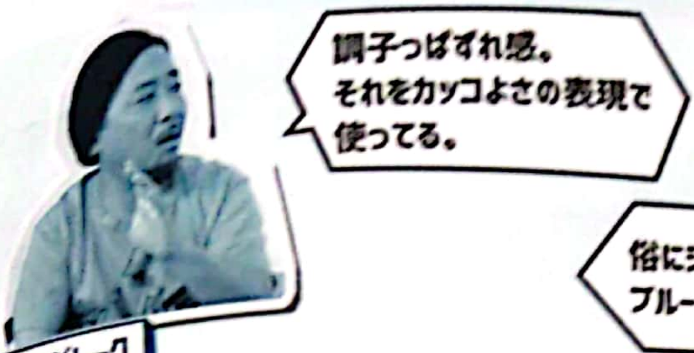
楽曲メモ

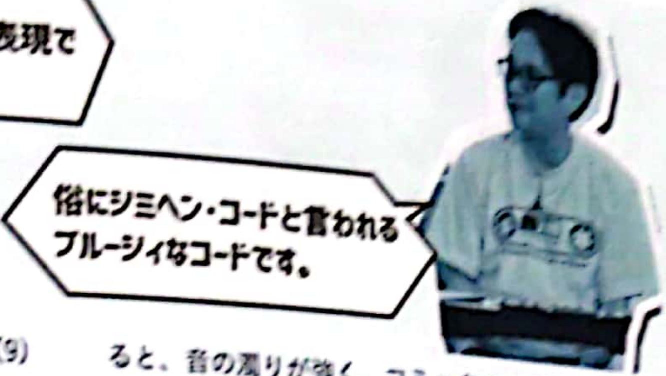
「ケダモノの嵐」は1990年10月1日に発売されたユニコーンの4枚目のアルバム。さまざまな要素を詰め込んだバラエティに富んだ作品で、日本レコード大賞ではベスト・アルバム大賞を受賞。「ケダモノの嵐」はそのタイトル曲で、ファンキーなベース・ライン、ロックなオルガン、アグレッシブなギター・ソロが印象的なパワフルなナンバーだ。

E7(#9)　C7　B7　E7(#9)
鳩尾に食い込んだ　真昼の別れ話
A7　C7　E7(#9)
言いたい事も　言えない俺を　不思議そうに眺めてる
C7　B7　E　G F# F E G F# F
誘惑するような　瞳で
E7(#9)　C7　B7　E7(#9)
6月の一目惚れ　無邪気な　罠の季節
A7　C7　E7(#9)
100万回も　愛しているって　確かめ合う蜃気楼
C7　B7　A7　B7
グラスの中で　さかさま
E　A C　G C　G
とびきりクールな笑顔を　見せてやる
E　A C　G　C7　G
震える右手が　たばこをもみ消して
E G　F# F
No No...　No No...
E　G　A　C　E G F# F
見え透いていたぜ　2人のゲーム
E　G　A　C
楽しんだのは　お互い様
B　A　G　F　E7(#9)
一天にわかに　かき曇る



CamScannerでスキャン





マキスジトーク

スージー：ナインスにもいろいろありまして、C7(9)のナインスの音を半音上げてみましょう。そうするとC7(#9)になります（譜例①-①）。かなりブルージィな響きになりますね。ただし、この中のミとミ♭だけをぶつけると……（譜例①-②）。

マキタ：うわ、気持ち悪い……。

スージー：音が濁るんですけれども、他の音を一緒に鳴らすと（譜例①-①）。

マキタ：カッコよくなっちゃうんだよね。

スージー：これはジミ・ヘンドリックスが愛用したことから、俗にジミヘン・コードなんて言われてますけど、有名な「紫のけむり」のギター・リフの和音ですね（譜例2）。このようにオクターブ離れたミとミ♭ではなく、隣同士の半音でぶつけるのは、よくコミックソングなんかで使われます。例えばザ・フォーク・クルセダーズの「帰って来たヨッパライ」のサビで出てきますが（譜例①-③）、このように半音でぶつけると、音の濁りが強く、コミックソングになっちゃうんですけど、オクターブ離すとブルージィになる。

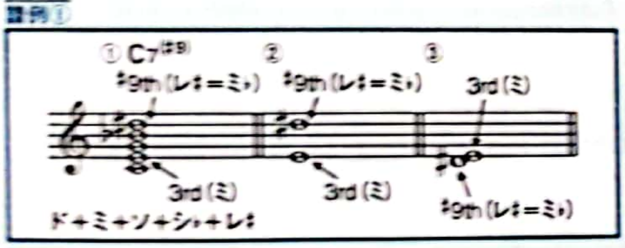
マキタ：調子っぱずれ感ですよね。この響きをどういう風に使うかということだと思うんですけど、ブラック・ミュージックとかではカッコよさの表現で使われてる。音階とかコードにしても、使いようによってはコミカルに振ることもできたと思うし。

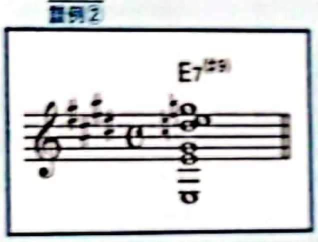
スージー：コードの面白さっていうのは、変な音を入れてもカッコよく聴こえる時もあれば、面白く聴こえる時もある。だからよくメジャーは明るい、マイナーは暗いとかって言われますけど、これにしても怪しくてね。マイナーでもめっちゃ明るい曲ありますし、メジャーでも暗い曲あるしっていう。演奏の仕方やアレンジによっても響きが全然変わってきて、同じ響きでも人間の感情に違う感情を与えるっていう。この、えも言われぬ複雑さがホント面白いんですよね。

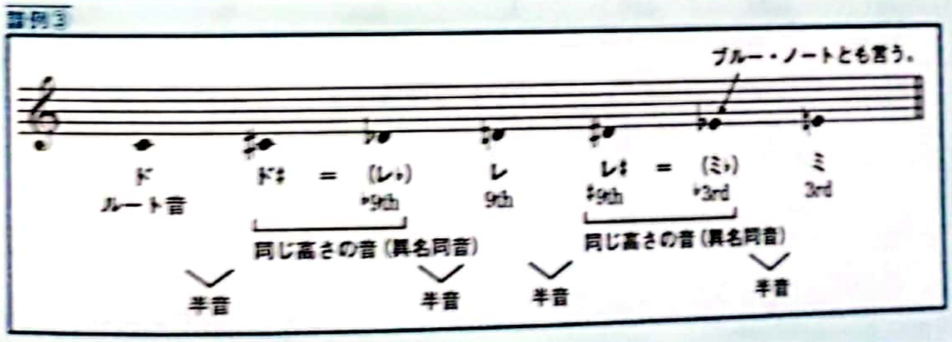
ポイント　ジミ・ヘンドリックスの愛用コードとしてお馴染み

セブンス・コードに半音上げたナインスを加えた7(#9)は、ジミ・ヘンドリックスの「紫のけむり」でお馴染みのコード。#9thは、♭3rdと同じ高さの音（異名同音）で、♭3rdはブルージィな響きを生み出す"ブルー・ノート"とも呼ばれる（譜例3）。つまり、このコードには♭3rdと♮3rdが混在しているわけだ。♭3rdと♮3rdを半音でぶつけると、かなり不協和感が高いが、ピアノではその両者をぶつけて、ブルージィな雰囲気を出すこともある。

譜例①



譜例2

譜例3



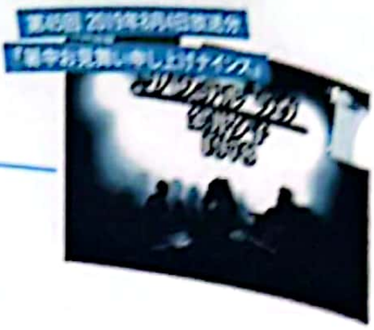
CamScannerでスキャン

♭9 フラット・ナインス

パステル ラヴ

金井夕子 1978年

作詞・作曲：尾崎亜美　編曲：船山基紀

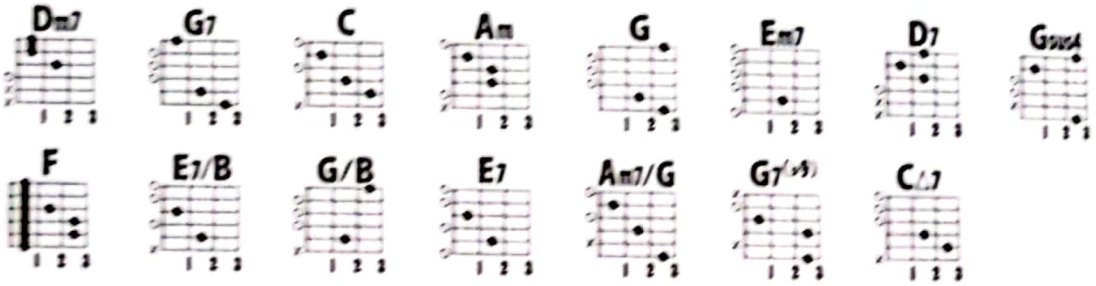


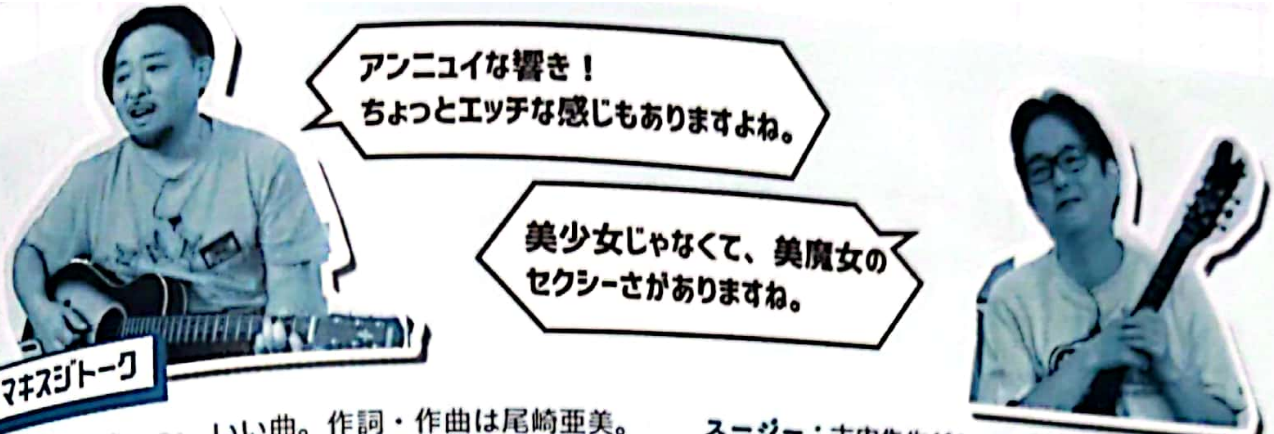
楽曲メモ

「パステル ラヴ」は1978年6月20日にリリースされた金井夕子のデビュー曲。金井夕子のデビュー曲を制作するにあたり、当時人気のあったシンガー・ソングライターに依頼することになったそうで、金井本人も好きだった尾崎亜美にオファーしてみたところ、実現する運びになったという。尾崎亜美は「POINTS」（1983年）でセルフ・カバーをしている。

オリジナル・キー=E 4カポ

```
Dm7      G7   C      Am Dm7     G7         C  Am
さよなら初恋のひと　ほほえんで言える
Dm7 G    Em7 Am D7           Gsus4 G
少　女時代　に　別れを告げる
Dm7    G7        C     Am Dm7      G7          C Am
道しるべなどいらない　もう　ふりむかない
Dm7       G   Em7  Am F        G7   C E7/B
長いこと待たせて　ごめんなさい
Am      Dm7 C  G/B         C    G/B
二度と心を　ときめかせることも
Am       Dm7        Gsus4 G
ないと思っていたのに
C            E7
愛しているの　愛しているの
Dm7      Em7     F    G7
あなたのそばを離れない
C        E7      Am       Am7/G
あなたの胸に　そっとつぶやく
F          G7(♭9)        C      C△7
パステル　ラヴ　アンド　ブルー
```





マキスジトーク

スージー：あぁ〜、いい曲。作詞・作曲は尾崎亜美。“パステル…ラヴ・アンド…ブルー〜♪” 出ました！ 7(♭9)、尾崎亜美コード！ 尾崎亜美の「マイ・ピュア・レディ」でも使われているコードですね。「マイ・ピュア・レディ」では、“風が吹いていった〜♪”の“吹いて”のところです。どういう響きかと言うとメロウ。大人的に成熟した都会的な響きですね。

マキタ：メロウって、いろんな意味が含まれてる気がしますけど、ちょっとエッチな感じもしますよね。

スージー：そう。それも美少女じゃなくて美熟女、美魔女のセクシーさ。大塚寧々、中谷美紀。

マキタ：それ、メロウの系譜なんだ（笑）。

スージー：普通の音楽の授業だとこんな感じですよね（譜例①-①）。でも、オシャレな古内東子先生がやってくると……。

マキタ：古内東子！ “やさしくされると切なくなる”の古内東子が来たわけですね！

スージー：古内先生だと（譜例①-②）。

マキタ：アンニュイですよ。“今日はもう自習。ロキソニンちょうだい”みたいな（笑）。これは何ですかね。この調子っぱずれ感と言うか、不安定感と言うか。シャキッとした健康な感じの女性もいいですけど、ちょっと不健康というか、それがスレスレな感じの女の人って、魅力的に映ったりするじゃないですか。

スージー：譜例1-①の響きは健康。血圧も体調も最高！ 譜例1-②だと、まず低血圧。あと胃下垂。

マキタ：胃下垂（笑）……そんなに影響するかな。

スージー：胃下垂って、よく知りませんけど。

マキタ：知らねぇのかい！

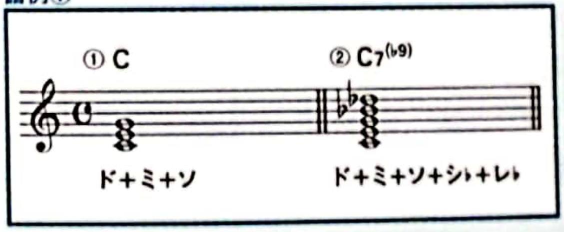
スージー：都会的で、なおかつ秋吉久美子な感じがするじゃないですか。

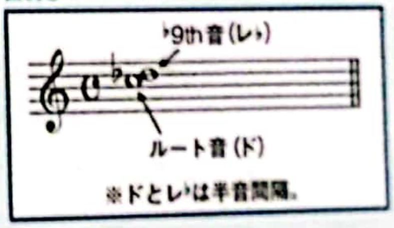
マキタ：♭9thだけで校風まで……。言っておきますけど、これは全部妄想ですからね！

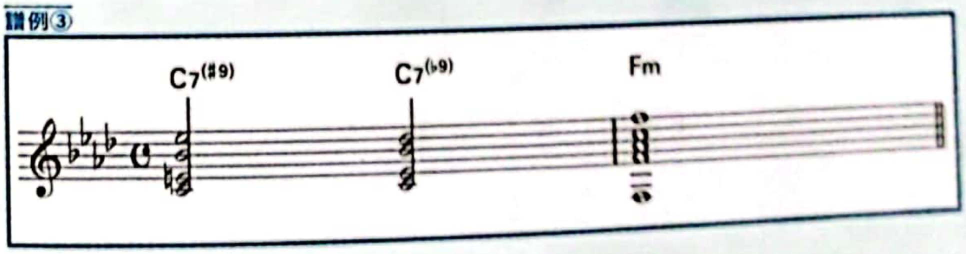
ポイント 少年を悩殺するアンニュイな美魔女の色香

セブンス・コードに半音下げたナインスを加えた7(♭9)は、ふたりの話にもあるように、かげりのあるアンニュイな響きが特徴。♭9thはオクターブ上のルート音と半音関係にあるため音の濁りは強くなるが（譜例②）、ジャズでは定番コードのひとつでもある。このコードは単独で使われるよりも、7(♯9)→7(♭9)（譜例③）や、7(9)→7(♭9)のように、他のコードと絡めてテンション・ノートのラインを作ったりすることが多い。

譜例①



譜例②

譜例③



CamScannerでスキャン

11th イレブンス

いっそセレナーデ

井上陽水 1984年

作詞・作曲：井上陽水　編曲：星勝

楽曲メモ
「いっそセレナーデ」は1984年10月24日に発売された井上陽水のシングル。安全地帯の「恋の予感」や、中森明菜の「飾りじゃないのよ涙は」など、他アーティストへの提供曲が立て続けにヒットするヒットメーカーとしての地位を確立していた頃にリリースされたムーディなナンバー。陽水本人も出演したウイスキーのイメージソングに起用された。

Am7(11)　D7　G△7　E7sus4
あまい口づけ　遠い想い出

Em　Am7　D7　D♯dim　Em7
夢のあいだに　浮かべて　泣こうか

Em　Am7(11)　D7　G△7
忘れたままの　恋のささやき

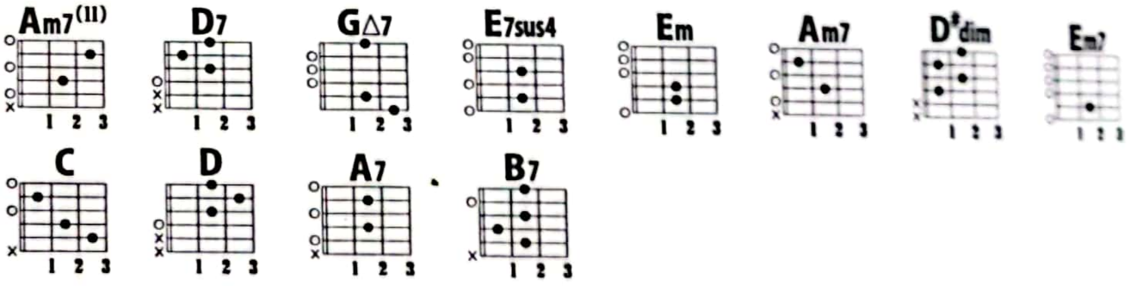
Em7　Am7　D7　D♯dim　Em7　Em
今宵ひととき　探してみようか

D7　C　Em7
恋のうたが　誘いながら　流れてくる

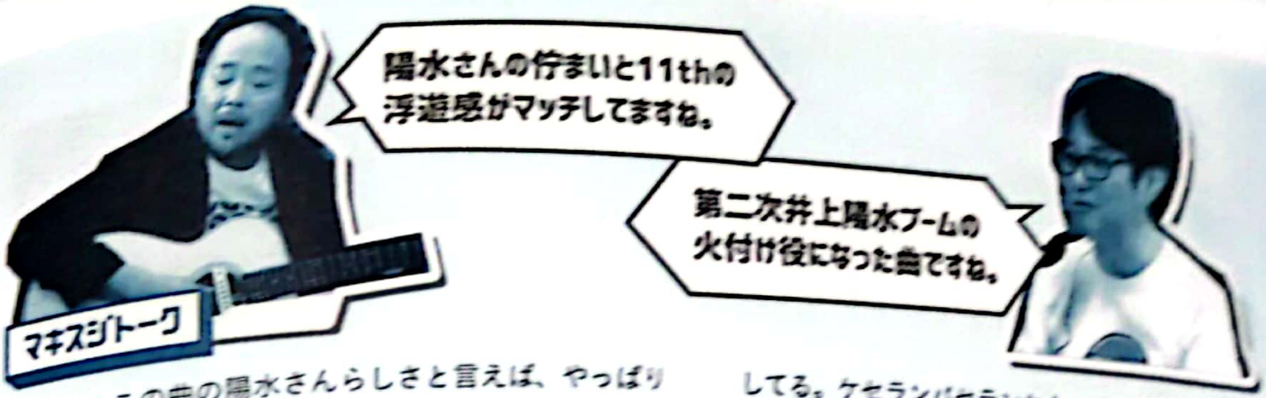
D7　C
そっと　眠りかけた　ラジオからの

Em7　A7
さみしい　そして　悲しい

D　B7　Em7
いっそ　やさしい　セレナーデ



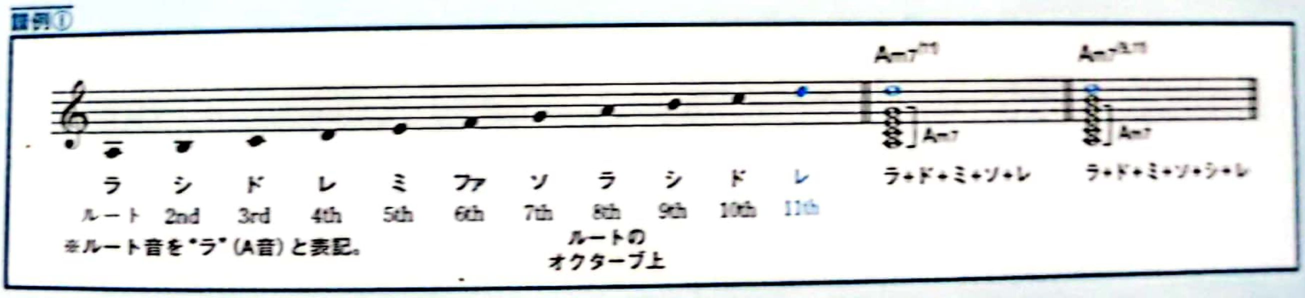
CamScannerでスキャン



マキタ：この曲の陽水さんらしさと言えば、やっぱりコードですよね。
スージー："あまいくち～づけ～"の"ち"の音ですね？
マキタ：Am7というマイナー・コードに対してレを付け加えるという。
スージー：11thですね？
マキタ：Am7(11) というコードですね。
スージー：Amの構成音のラとかド、ミじゃなくて、レを歌うんですよ。
マキタ：そう。コード・トーンからはちょっと外れちゃってるところにある音なんですよね。だから独特の浮遊感が漂っていると言うか、間違ってるのか、間違ってないのか、スレスレの変な響き。なので"あまいく「ち」～♪"って歌うと、あれ？　メロディ、どこに行ったの？みたいな。ずっと音の響きがフワフワしてる。ケセランパセランか！って（笑）。
スージー：空中に浮遊している感じという。
マキタ：陽水さん自体の存在感や歌詞の世界にもそういう浮遊感が見られますけど、音楽的な部分でも実はそういう浮遊感を演出してると。
スージー：84年に発売された「いっそセレナーデ」は第二次井上陽水ブームの火付け役になった曲ですけど、その独特なサウンドの傾向として、9thとか11thとか、そういう音で曲が形成されている感じがしますよね。
マキタ：いわゆるテンションってやつですね。こういう音楽的な仕掛けを織り混ぜることによって、なんとなく妙な心持ちにさせてくれる。そういった曲なんですよね。

ポイント　井上陽水の佇まいにも通ずる超然とした浮遊感

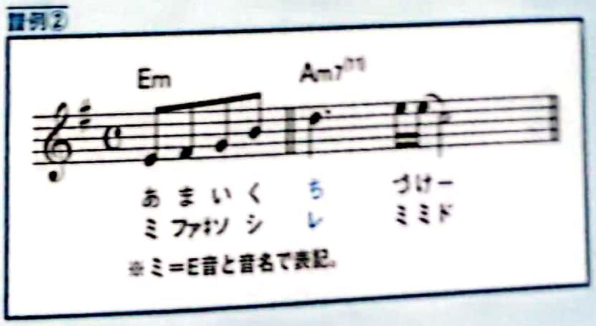
譜例①



※ルート音を"ラ"(A音)と表記。

イレブンス（11th）コードとはセブンス・コードの上に11度の音を加えたコードのこと（譜例①）。歌メロ冒頭の"あまいくち～づけ～"の"ち"がAm7(11)の11thの音に当たっている（譜例②）。11thには臨時記号の付かない♮11thと半音高い#11thがあり、♮11thはおもにマイナー・セブンスに付けられる。♮11thはとらえどころのないスペーシーな響きが特徴で、井上陽水の超然とした佇まいにも通ずる独特な浮遊感を持っている。

譜例②



※ミ＝E音と音名で表記。

sus4 サス・フォー

TOKIO

沢田研二 1979年

作詞：糸井重里　作曲：加瀬邦彦　編曲：後藤次利

楽曲メモ

「TOKIO」は1979年11月25日に発売された沢田研二のアルバム「TOKIO」のオープニング・ナンバーで、翌1980年の元旦にシングルカットされた。ベースと編曲を手がけた後藤次利はこの曲でレコード大賞の編曲賞を受賞している。電飾の付いたド派手なスーツとパラシュートを背負って、テレビなどで歌う沢田研二の姿は大きな注目を集めた。

| D Dsus4 D C D | ×3

D　C G D
空を飛ぶ　街が飛ぶ　雲を突き抜け　星になる

D C G D
火を吹いて　闇を裂き　スーパー・シティが舞い上がる

Em7 F♯m7 Bm7 G A
TOKI　O　TOKIOがふたりを　抱いたまま

Em7 F♯m7 Bm7 G A D Dsus4 D C D
TOKI　O　TOKIOが　空を飛ぶ

G Gm7 D Bm
海に浮かんだ　光の泡だと

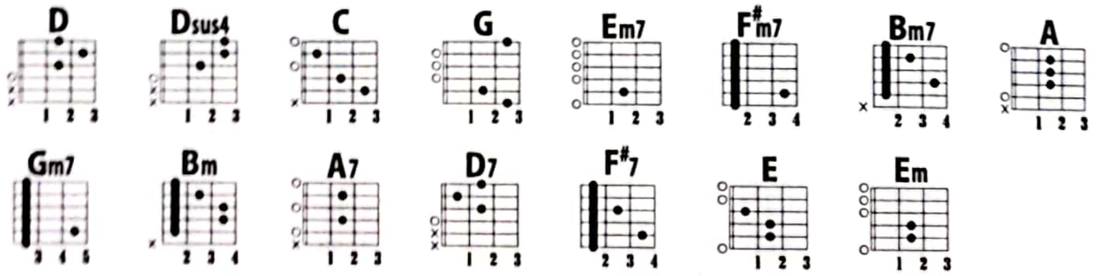
Em7 A7 D Dsus4 D D7
おまえは　言ってたね

G F♯7 Bm E
見つめていると　死にそうだと

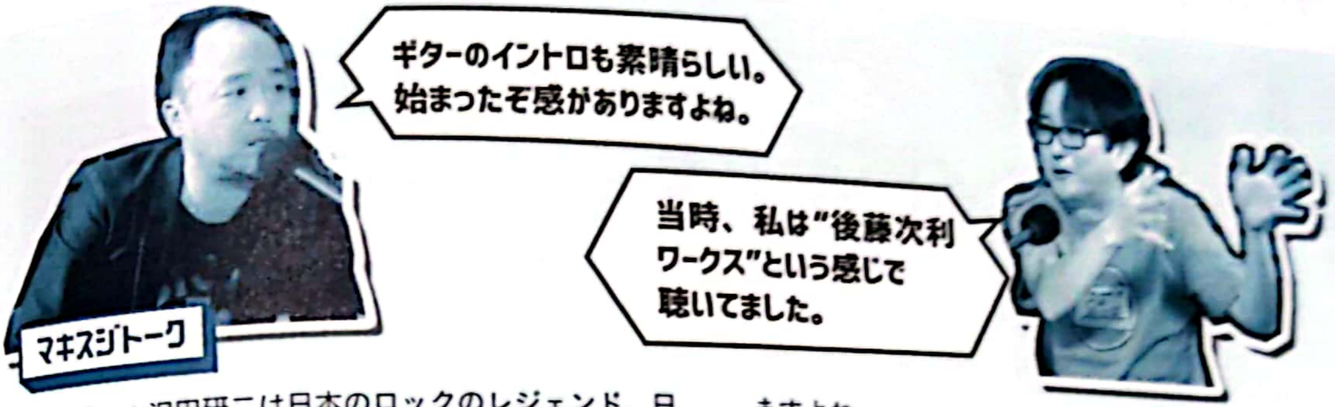
Em F♯m7 G A
くわえ煙草で　涙おとした

Em7 F♯m7 Bm7 G A
TOKI　O　やさしい女が眠る街

Em7 F♯m7 Bm7 G A D
TOKI　O　TOKIOは　夜に飛ぶ



CamScannerでスキャン



スージー：沢田研二は日本のロックのレジェンド、日本最高齢のロックンローラーと言っても過言ではないですね。今回は80年代の沢田研二特集ということで、まずはこの曲を聴いていただきたいと思います。シングルが1980年の元日に発売。日本の80年代はこの曲から始まったということですね。

マキタ：やっぱり今聴いても、ときめくね～。

スージー：沢田研二というのは、ひとつのプロジェクトでもあって、そこを通していろんな若い才能が世に出ていったわけですけど、作詞はのちに大きく活躍の幅を広げていくコピーライターの糸井重里。ベースの後藤次利はこの曲で80年のレコード大賞の編曲賞を獲ってるんです。当時、私は"後藤次利ワークス"という感じで聴いてましたね。

マキタ：イントロのベースはフレーズで遊んでますね。ギターのイントロも素晴らしい。始まったぞ感がありますよね。

スージー：sus4と音楽用語では言いますけど、すごく爽快な音使いなんですよね。

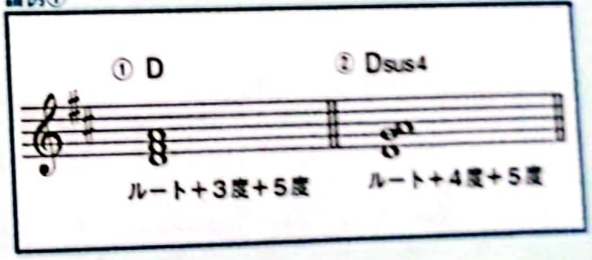
マキタ：sus4ってどんな響きかと言うと、4度の音を使うということですね。これが普通のD（譜例①-①）で、Dsus4は（譜例①-②）……。きれいな響きですよね。ギターを弾き始めた頃、このコードを弾くと嬉しかったんですよ。音楽を奏でてる気分になった。しかもこのイントロでは、そのsus4が多用されてるんですよね（譜例②）。

スージー：1980年はこの「TOKIO」に始まり、渡辺真知子の「唇よ、熱く君を語れ」とか、松田聖子の「青い珊瑚礁」のミ～ファ～ミ～ファ～ソ～とか。ミとファを使ったイントロがちょっと流行ったんですよ。この曲はその先駆けですよね。

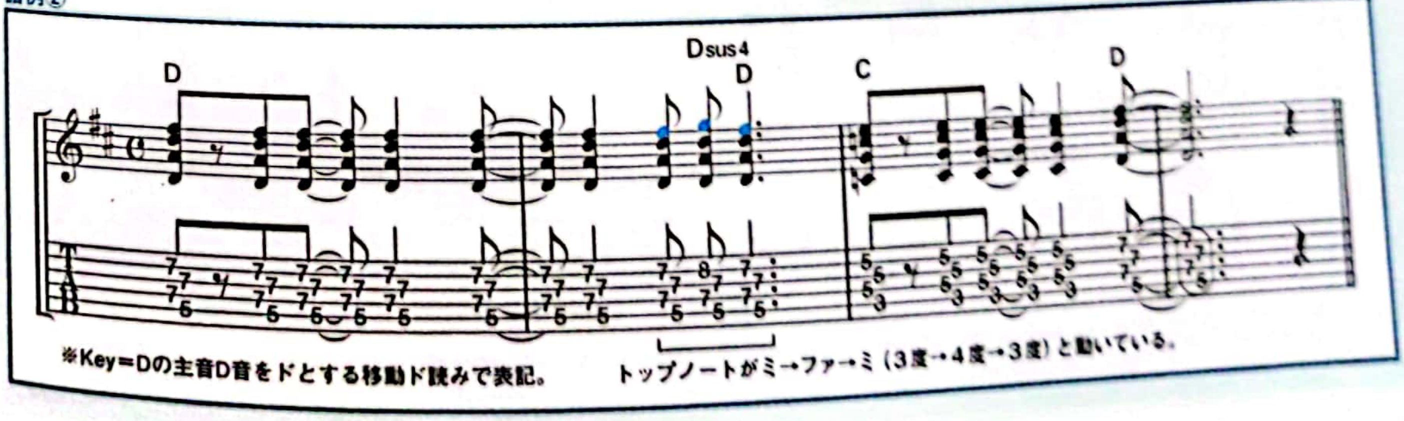
ポイント 軽快でフワフワと飛び立つような爽快感

sus4（サス・フォー）はメジャー・コードの3度を4度にしたコードのこと（譜例①）。sus4はsuspended 4thの略で、suspendedとは英語でぶら下げられたの意。4度を"ぶら下げた"コードというわけだ。コードの3度を4度にし、また3度に戻すという一連の動きの中で使われることが多く、それによって3度音がフワッと浮遊した感じになるため、sus4を使うと一段気持ちが浮き上がるような感覚になる。「TOKIO」のイントロもそのような一例（譜例②）。

譜例①



譜例②



CamScannerでスキャン

sus4 サス・フォー

オーバーナイト・サクセス

テリー・デサリオ 1984年

※アルバムは 1985 年。同名タイトル。A 面 1 曲目。

作詞・作曲：Joey Carbone、Richie Zito

楽曲メモ

「オーバーナイト・サクセス」はソニー・カセットテープのCM曲として制作されたイタリア系アメリカ人歌手、テリー・デサリオのヒット曲。この曲を手がけたアメリカ人ミュージシャンのジョーイ・カーボーンは、80年代以降、徐々に活動拠点を日本にシフト。ジャニーズ系を中心に、田村直美など、数多くの日本人ミュージシャンに楽曲を提供している。

オリジナル・キー＝F　1カポ

| E (A/E) (Esus4) B/E E | ×4

C♯m　A/C♯
If you search you can find the power within

B　C♯m
If you have the desire you surely can win

C♯m　A/C♯
If you try you can rise to the top

B　C♯m
Don't look back, no don't ever stop

E　B
The light is shining on you so bright

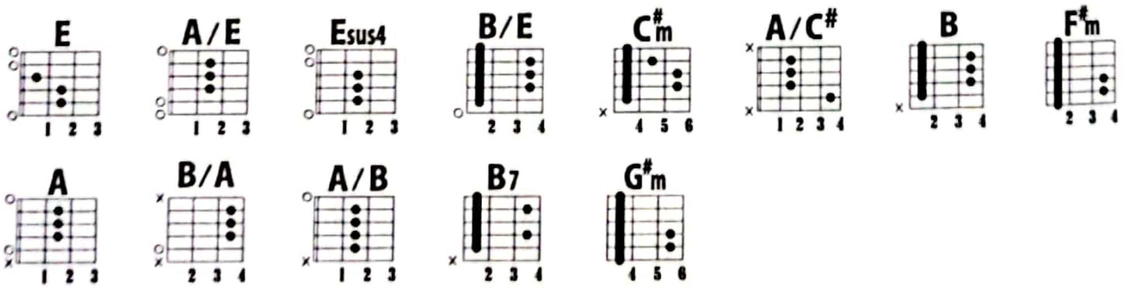
F♯m　C♯m　B
Your time is now start moving with it

E　B
Your heart is beating wild tonight You feel it

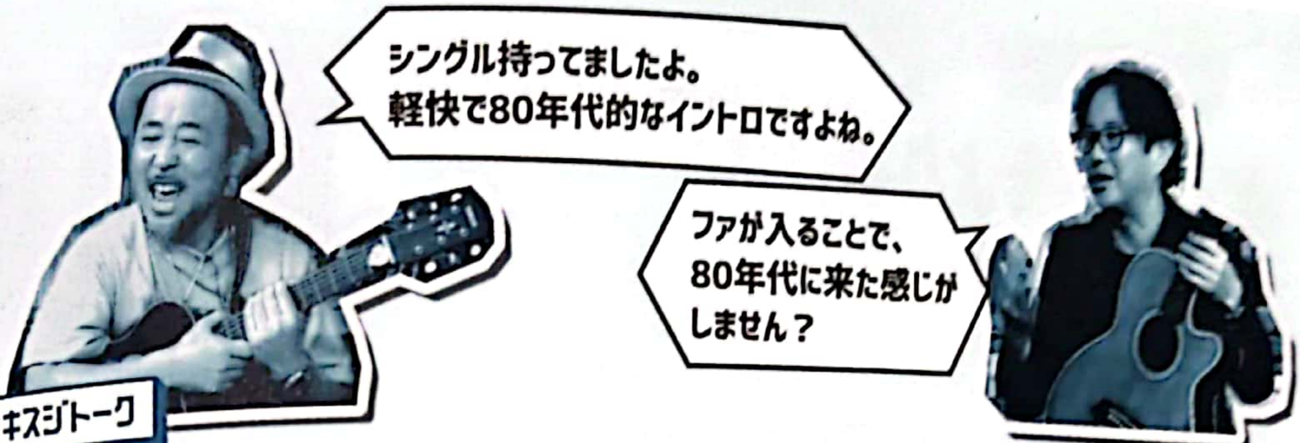
A　B/A　A　B/A　A/B　B　A/B　B7
And expectation burns like a fire　Your hope is rising higher

E　(A/E)　G♯m　C♯m　A　B
An overnight success　You hold the key to your happiness

E　(A/E)　G♯m　C♯m　A　B
An overnight success　You have the power to rise above the rest



CamScannerでスキャン



マキスジトーク

スージー：今回は『ワン・ヒット・ワンダー（一発屋）』特集と言うことで、ちょっと懐かしい曲に行ってみましょう。サビまで来ないとわかんないかもしれませんね。（曲が流れる）

マキタ：わかるよ！　スージーさん、これ！

スージー：ソニーのテープのCM曲ですね。

マキタ：そう、忘れてた！　ソニーのテープ！　シングル持ってましたよ。軽快で80年代的なイントロですよね。

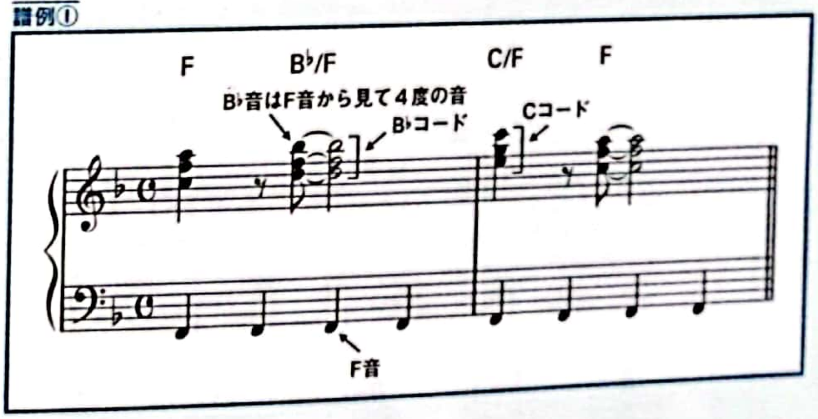
スージー：トップ・ノートの動きが"ミファレミミ～"というミとファの動きなので、sus4のサウンドに合うんですよね。サビも"ミミファファ、ソッミ～レド"とか、ファが多いんですよ。80年代sus4の世界ですね。コードにファが入ることで、80年代に来た感じがしません？　……あ、これはわかりづらいですかね？

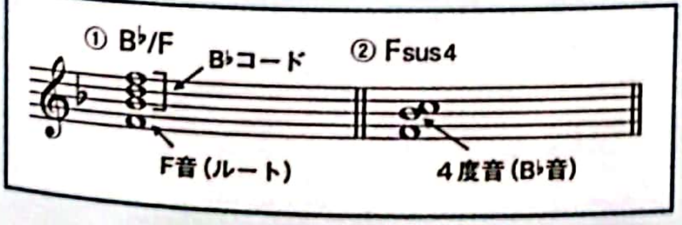
マキタ：わかりますよ、スージーさん。この曲のイントロはTOM★CATとかも思い出すんですよ。そのsus4のテイストが極めて80年代的で、それによって80年代の扉が開いたんじゃないかっていう気がするんですよ。

スージー：sus4の軽快な感じ、明るい感じ、軽い感じというのが80年代の持つ時代の空気感と合ったんじゃないかという気がしますね。この曲のメロディも日本人好みで、当然、曲を作った人は洋楽の人なんですけど、日本人好みにテイストがブレンドされている感じがしますね。

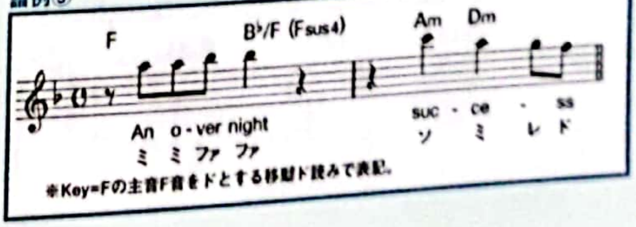
ポイント　鍵盤アレンジとsus4を組み合わせれば80年代にひとっ飛び

譜例1は「オーバーナイト・サクセス」のイントロ部分。1小節目3、4拍目はB♭音を4度音としたFsus4とも考えられるが、全体のプレイ内容から判断すると、F音をペダルに置き、その上でkey＝Fの基本コードであるF、B♭、Cを動かした鍵盤らしいアレンジに仕立てているように思われる。そのため譜面ではB♭/Fを分数コードで表記した。譜例③はサビの箇所。メロディの動きに合わせて、sus4（B♭/F）が使われている。

譜例①

譜例②



譜例③



CamScannerでスキャン

dim ディミニッシュ

君は薔薇より美しい

布施明 1979年

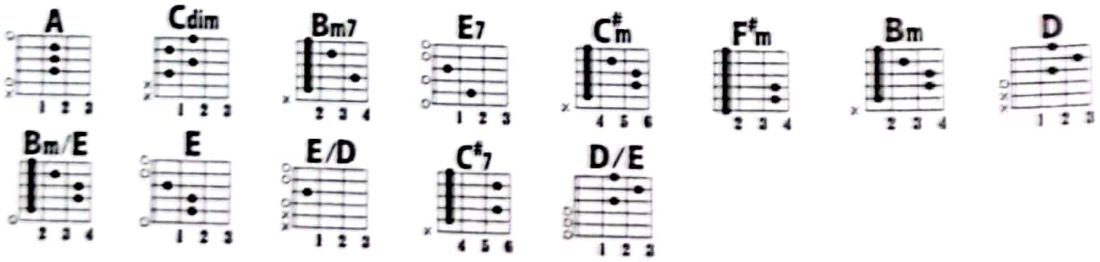
作詞：門谷憲二　作曲・編曲：ミッキー吉野

第11回 2018年3月2日放送分
『春の名曲フェア〜スージーの春〜』

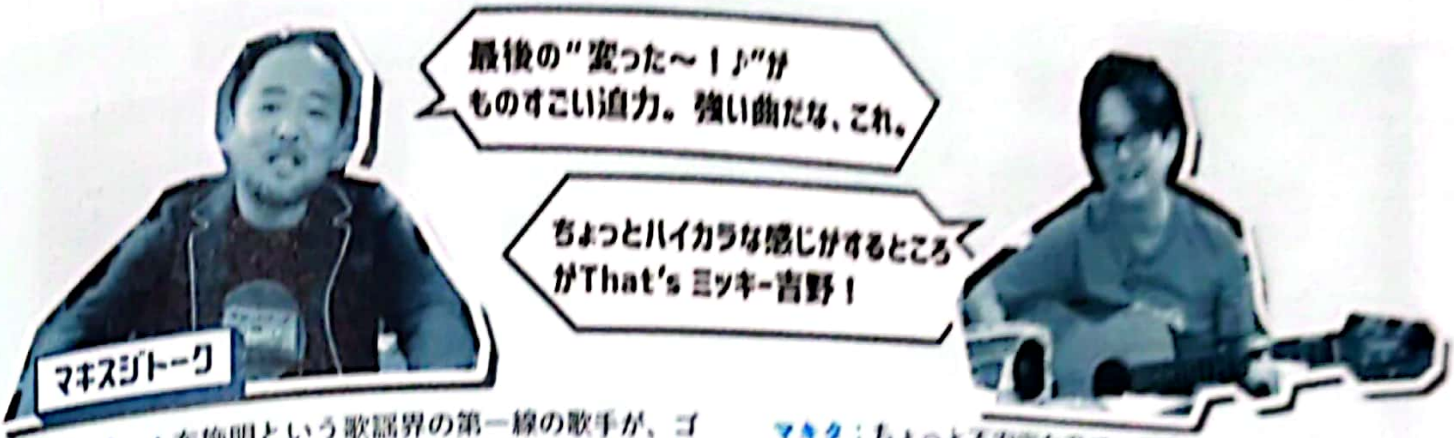
楽曲メモ

「君は薔薇より美しい」は1979年1月17日に発売された布施明のシングル曲。作詞は門谷憲二で、作曲と編曲はゴダイゴのリーダー／キーボーディストのミッキー吉野。演奏はゴダイゴだ。カネボウ化粧品のCM曲として使われ、その後は鈴木雅之を始め、さまざまなアーティストがカバーしている他、星野源は"ニセ明"としてたびたびライブで披露している。

A　Cdim　Bm7　E7
息をきらし　胸をおさえて
A　Cdim　Bm7　E7
久しぶりねと　君が笑う
C#m　F#m　C#m　F#m
ばかだね　そんなに急ぐなんて
Bm7　Cdim　Bm7　E7
うっすら汗までかいて
A　Cdim　Bm7　E7
なぜか今日は　君が欲しいよ
A　Cdim　Bm7　E7
違う女と　逢ったみたいだ
C#m　F#m　C#m　F#m
体にまとった　かげりを脱ぎすて
Bm　C#m　D　Bm/E　A
かすかに　色　づく口　唇
E　E/D　A　D　A　Bm　Bm/E　A
目にみえない翼　ひろげて　確かに君は　変った
Bm7　A　Bm7
歩くほどに　踊るほどに　ふざけながら　じらしながら
C#7　F#m　D　C#m　Bm7　Cdim　D/E　A
薔薇より美しい　あ　あ　君は　変った



CamScannerでスキャン



スージー：布施明という歌謡界の第一線の歌手が、ゴダイゴというニューミュージックの雄とコラボレーションすると、こんな曲が生まれるという曲でございます。布施明で「君は薔薇より美しい」。

マキタ：ホントにミッキー吉野さんらしい曲。

スージー：イントロからそうですね。

マキタ：完璧ですよね。最後の"変った〜！♪"がものすごい迫力。強い曲だな、これ。

スージー：作曲はゴダイゴのリーダーでキーボーディストのミッキー吉野。すごく複雑なコードを忍ばせながら、歌謡曲なんだけれども、ちょっとハイカラな感じに仕立てているところがThat's ミッキー吉野っていう感じですね。"息をきらし〜♪"のところの和音はディミニッシュと言いまして、変な響きなんですよね。

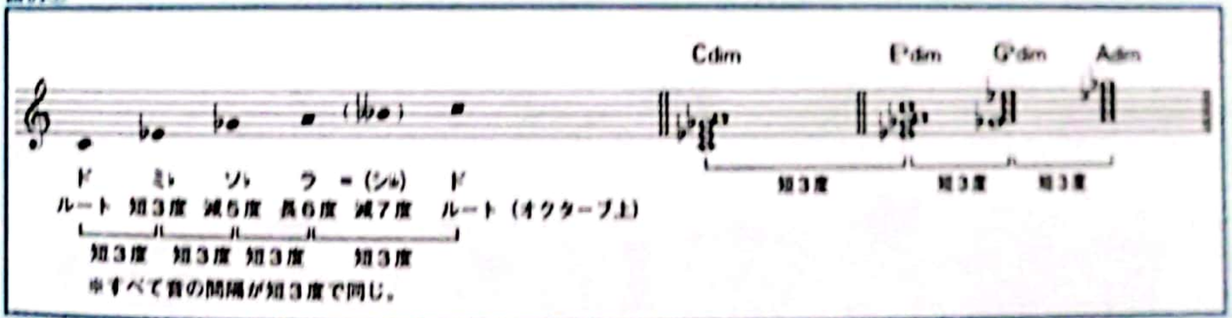
マキタ：ちょっと不安定な音で、若干の引っかかりがあるんですけど、別に変には聴こえない。最近のディミニッシュの使い手としては星野源とかですよね。わりと使うんですよ。当時の歌謡曲の領域の中で、わからない程度にうまく使ってるというところがミッキー吉野さんの腕前ですね。

スージー：1979年というとゴダイゴの全盛時代で、ディミニッシュとか転調、メジャー・セブンスといったバークリー音楽院仕込みのハイカラなコード進行を使いまくりながら、ミッキー吉野は時代の寵児になっていったわけですね。新しい響きではあったんですけども、これが布施明というザ・歌謡曲の人が、めっちゃうまい歌で歌うと、こういう仕上がりになるという。

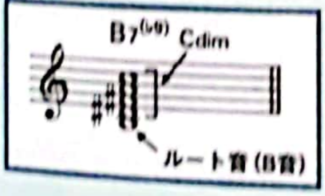
ポイント　アカデミックにディミニッシュを織り込むミッキー吉野の妙技

dim（ディミニッシュ）は、ルートから短3度ずつ音を積み重ねたコードで、そのどのコード・トーンから積み重ねていっても、すべて同じ構成音になるという構造を持っている（譜例①）。7(♭9）の3度から上は、7(♭9）の半音上のdimになるため、dimは7(♭9）の代理和音として使われることも多い（譜例②）。譜例③はAメロ冒頭のコードをアナライズしたもの。Cdimを B7(♭9）の代理で使い、その後はツー・ファイブへとつなげている。

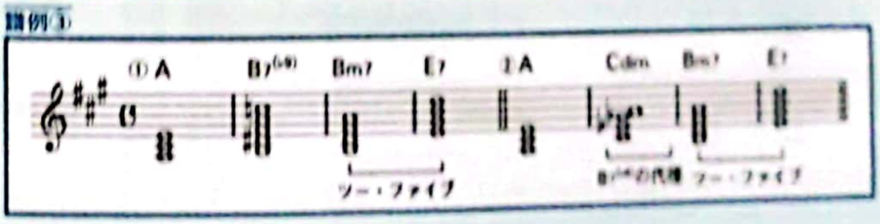
譜例①



譜例②



譜例③



CamScannerでスキャン

dim ディミニッシュ

DREAMIN'

BOØWY 1985年

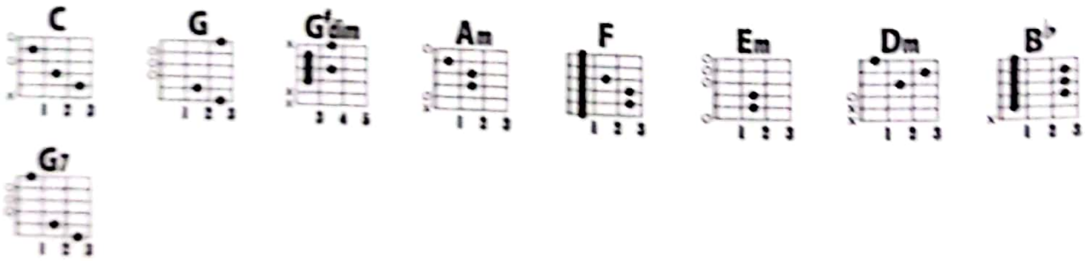
作詞：布袋寅泰、松井五郎　作曲・編曲：布袋寅泰

第23回 2018年9月7日放送分

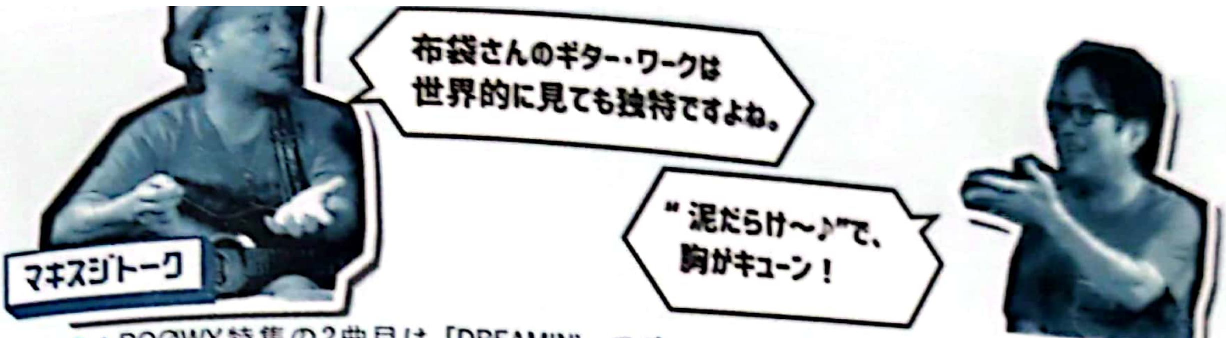
楽曲メモ

「DREAMIN'」は1985年6月21日に発売された、BOØWY の3rdアルバム「BOØWY」のオープニング・ナンバー。作詞は布袋寅泰と作詞家の松井五郎で、作曲・編曲は布袋寅泰。2019年、布袋寅泰は自身のツアーで、元バンド・メンバーの高橋まことと、松井常松のふたりをスペシャル・ゲストに招き、本曲をファンの前で演奏した。

[C]Dreamin'　アスファル[G]ト　泥[G♯dim]だらけの[Am]ク[G]ツ　あふれ[F][G]
[C]Dreamin'　[G]灰色の風か[G♯dim]ら俺[Am]達[G]は　生まれ[F][Em]
[Dm]ボルト&ナットのしくみで　[Am]組みこまれる街で
[B♭]爆弾にはなれない　oh [G]no!
[C]Dreamin'　よく[G]できた　おち[G♯dim]こぼれは[Am]す[G]ぐ　はずれ[F][G]
[C]Dreamin'　いつ[G]からか　[G♯dim]番号[Am]だけ[G]で　呼ばれ[F][Em]
[Dm]汗のにおい信じない　[Am]言葉に刺もない
[B♭]悪びれないスペアマン　[G]wow
[Dm]そんな奴らは好きじゃない　[Am]俺はそんなにバカじゃない
[B♭]ハートは今ここにある　[G]wow
[C]OH Yeah! I'm only [G]Dreamin' [G♯dim]I'm only [Am]Dreamin' [G]for [F]me [G7]
[C]OH Yeah! I'm only [G]Dreamin' [G♯dim]I'm only [Am]Dreamin' [G]for [F]me



CamScannerでスキャン



マキタ：BOØWY特集の2曲目は「DREAMIN'」でございます。最強ですよね。こんなにみんなを楽しませるロックはないですよ。

スージー："泥だらけ〜♪"で、胸がキューン！

マキタ：この曲って、ピアノの鍵盤で弾くとわかりやすいんですけど、ほとんど白鍵のところしか行かないんですよ。白鍵だけで動くと、安心・安全・安定のメロディなんですよね。黒鍵に1ヵ所だけ行くところがあって、それがスージーさんの言う"泥だらけ"の"ど"のところ。だからそこがキュンってなるんですよ。夢を見ることだけは忘れちゃいけないぜって歌っている曲なんですけど、だけど普通の生活に埋もれていってしまうんだよねっていう諦観だったり、"泥だらけ〜♪"での切ないサウンドだったり、でも、最後にはみんなで楽しもうぜ！っていう刹那な感じとかも盛り込まれてて、素晴らしい曲じゃないかと思うんですけど、もうひとつ布袋さんの伴奏楽器としてのギター・ワークとして、世界的に見ても独特だなと思う部分があるんですよ。それは"OH Yeah！ I'm only Dreamin'〜♪"のところ。ここはディミニッシュなんですけど、パッシング・ディミニッシュっていう経過音的なディミニッシュになっているんですね。ギターはE7なんですけど、ベースがG♯の音を入れてるんですよ。

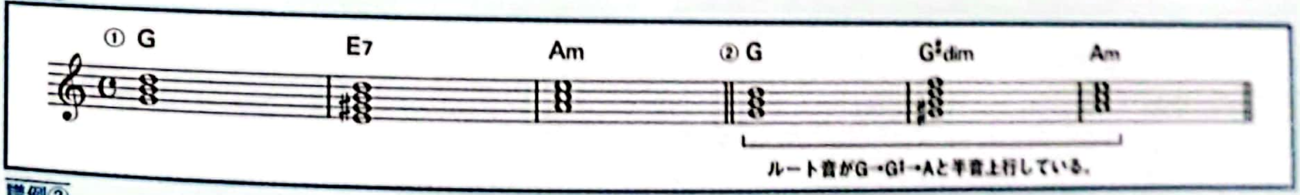
スージー：ソ♯をベースがやってるわけですね。

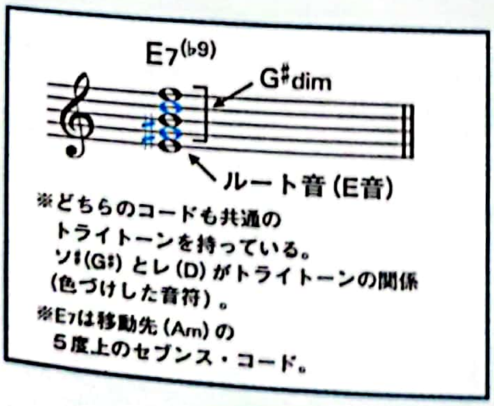
マキタ：そうなんですよ。普通のコード進行でやると、こうなんですけど（譜例①-①）、完成曲はこうなってるんですよ（譜例①-②、譜例3）。

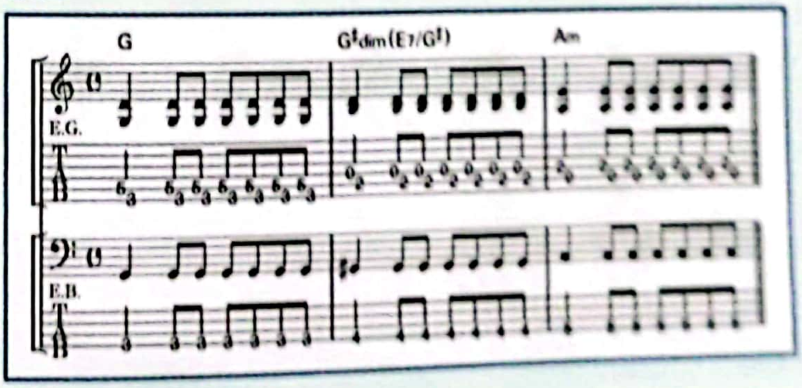
ポイント　ギターとベースのコンビで聴かせるディミニッシュ技

パッシング・ディミニッシュとは、全音間隔のコードを滑らかに結びつけるディミニッシュのこと。移動先（ここではAm）の5度上のセブンス・コード（ここではE7）と共通のトライトーンを持ったコードで、このコードに入れ替えることによって、ルートが半音進行するため、コードの流れがスムーズになっている（譜例①、②）。譜例③はそのディミニッシュをアンサンブルで聴かせた「DREAMIN'」の例。ベースとギターで音域を分担させながら、G♯dim（E7/G♯）を作り出している。

譜例①



譜例②

譜例③



CamScannerでスキャン

045 オーギュメント

アン・ドゥ・トロワ

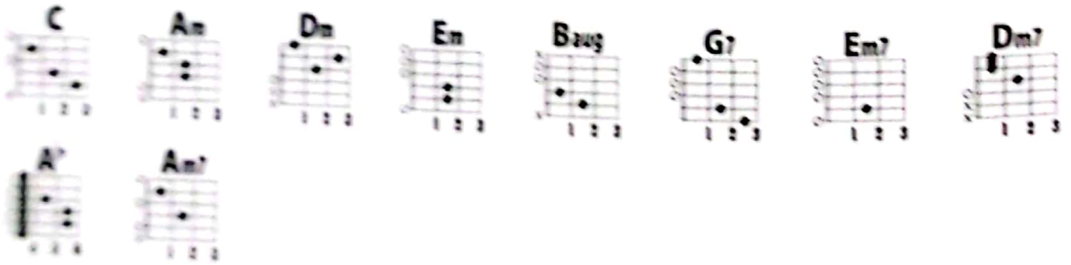
キャンディーズ 1970s

作詞：喜多條忠　作曲：吉田拓郎　編曲：馬飼野康二

楽曲メモ

「アン・ドゥ・トロワ」は1977年9月21日にリリースされたキャンディーズの15thシングル。作曲した吉田拓郎は同年11月の「大いなる人」でセルフカバーしており、そちらでは「アン・ドゥ・トロワ（ばいばいキャンディーズ）」と副題を付け、さらにエンディングの歌詞に"さよならキャンディーズ"と加えて、キャンディーズの解散を惜しんでいる。

```
C      Am       C      Am
あなたの胸に　耳をあてれば
Dm   Em   Am C   Em  Am
それは真夜中の　時計のひびき
Em      Dm        Baug  G7 C
こきざみに　ときめく　こ　ころ
  Am     Em7 Dm7 G7    C
時のたつのも　忘れなさいと
   Am    Em7   Dm7   G7
さむい国から　かけてきた
C  Dm        A♭    G7  C
恋という名の　ピエロが踊る
Am7             Em7
アン･ドゥ･トロワ　踊りましょうか
Am7             Em7
アン･ドゥ･トロワ　炎のように
Dm7   G7      C     Am  Dm7     G7       C     Am
ひとは誰でも　一度だけ　すべてを燃やす　夜がくる
Em7             Dm7        G7        C
アン･ドゥ･トロワ　今がそのとき　ためらわないで
Em7             Dm7        G7        C
アン･ドゥ･トロワ　今がそのとき　ためらわないで
```



ところどころに拓郎節がありますよね。

吉田拓郎のポイントは音楽性と大衆性の両立がうまいこと。

マキスジトーク

スージー：1977年7月、キャンディーズが突如解散を宣言して日本中に衝撃が走ります。その発表直後にリリースされたのがこの曲。何と言っても、この曲のポイントは作曲が吉田拓郎ということですね。

マキタ：ところどころに拓郎節がありますよね。

スージー：吉田拓郎っぽいハイカラなコード進行があるんですよ。……ここです！"こころ〜♪"のBオーギュメント。こんなメロディ、アイドルに歌わせますかね。これには背景がありまして、その前にリリースされた「やさしい悪魔」（1977年）も吉田拓郎の作曲ですが、当時、新たに出てきたピンク・レディーは、どちらかと言うと、小学生や子どもを狙っていたので、キャンディーズは大学生を巻き込むんですね。そこでキャンディーズの所属事務所、渡辺プロダクションの渡辺晋社長は吉田拓郎という当時のフォーク界のプリンスを呼んで、「キャンディーズを大人にしてやってくれ」って言ったらしいです。

マキタ：すごいですね。俺がもしその依頼を受けたら、ちょっと生唾飲みますけどね（笑）。

スージー：この時期、吉田拓郎は「襟裳岬」（1974年）を森進一に書いてレコード大賞を獲得し、歌謡界に乗り出すわけですよ。

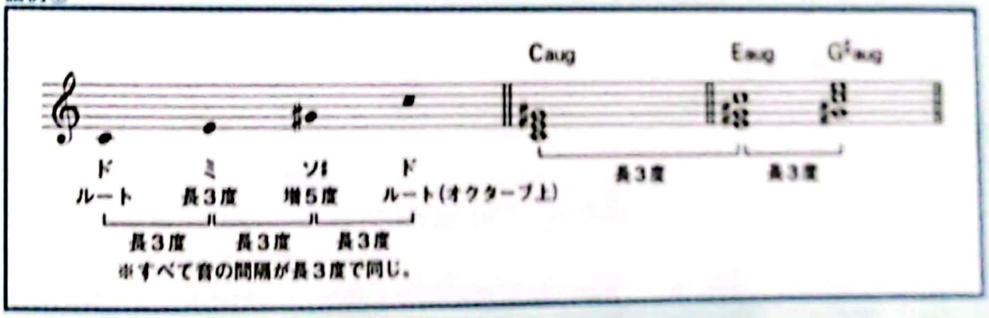
マキタ：一般の歌謡番組とは違う、深夜ラジオとフォークシンガーたちが密接につながったところで展開してきた一群があったわけですもんね。その代表格が吉田拓郎さんで、その拓郎さんが芸能界の本丸の人たちと手を組むということはけっこうなことですよね。

スージー：彼のポイントは音楽性と大衆性の両立がうまいこと。もっと言えば、メジャー好きなんですよ。自分の才能をマニアックに閉じるんじゃなく、ポップの世界で展開していくのが好きという。アイドルとニューミュージックの戦いが続いてきたわけですけど、ここで風穴が開くんですね。

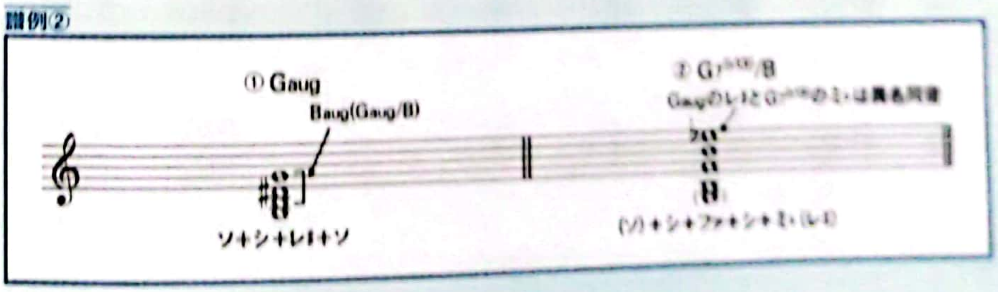
ポイント　大人へと成長していく3人に吉田拓郎が贈った切ない響き

aug（オーギュメント）はルートから長3度ずつ音を積み重ねたコードで、どのコード・トーンから積み重ねていっても、すべて同じ構成音になるという構造を持っている（譜例①）。#5th音が♭13th音とオクターブ違いということもあって、7(♭13)のように使われることも多く、このBaugはG7(♭13)(onB)と解釈してもいいかもしれない（譜例②）。

譜例①



譜例②



CamScannerでスキャン

aug オーギュメント

エイリアンズ

キリンジ 2000年

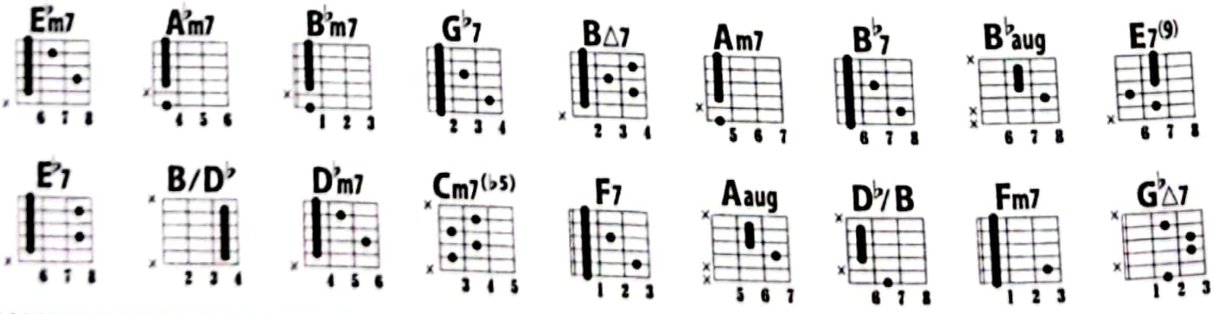
作詞・作曲：堀込泰行　編曲：キリンジ、冨田恵一

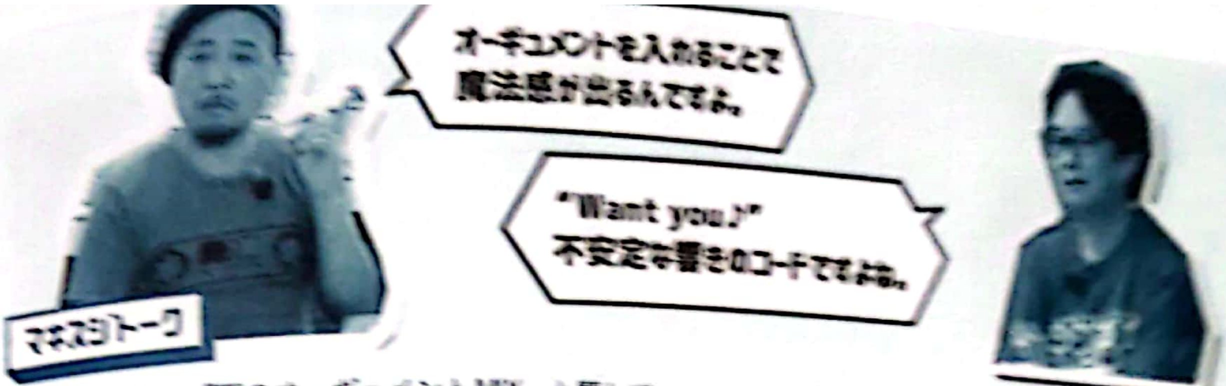
第67回 2020年7月5日放送分
『ふたりの夏物語』

楽曲メモ

「エイリアンズ」は2000年10月12日にリリースされたキリンジの6thシングル。秦基博や鈴木康博、のん、鈴木雅之など、若手からベテラン勢まで、幅広いアーティストにカバーされている人気曲で、オリジナル・アルバムでは『3』に収録されている。気怠さの漂う柔らかなボーカルを軸に、ジャジィでオシャレな音作りで仕上げたメロウなナンバー。

```
E♭m7        A♭m7     B♭m7    E♭m7       G♭7
遥か空に旅客機　音もなく　Ah
B△7     B♭m7  Am7 A♭m7 B♭7 B♭aug    E♭m7  E7(9)
公団の屋根の　上　どこ　へ行く
E♭m7           A♭m7 B♭m7        E♭m7  G♭7
誰かの不機嫌も　寝静まる夜　さ
B△7             B♭m7  Am7   A♭m7 B♭7 B♭aug E♭m7  E♭7
バイパスの澄んだ空気と　僕　　の町
    A♭m7                     B♭aug  B/D♭
泣かないでくれ　ダーリン
    B♭m7          D♭m7  E♭m7  Cm7(♭5)
ほら　月明かりが
    F7      B♭m7          Aaug  A♭m7   B♭aug
長い夜に　寝つけない　二人の額を撫でて
B△7    D♭/B
まるで　僕らはエイリアンズ
B♭m7          E♭m7       Fm7      B♭aug  B♭7 E♭m7  G♭7
禁断の実　ほおばっては　月の裏を　夢 みて
B△7    D♭/B
キミが好きだよ　エイリアン
  B♭m7        E♭m7      Fm7      B♭aug       B△7      G♭△7
この星の　この僻地で　魔法をかけて　みせるさ　いいかい
```





マキスジトーク

マキタ：今回は『夏のオーギュメントMIX』と題して、「スローなブギにしてくれ (I want you)」(南佳孝)、「どんなときも。」(槇原敬之)、「カルアミルク」(岡村靖幸)、「イズント・シー・ラブリー (可愛いアイシャ)」(スティーヴィー・ワンダー) というオーギュメント・コードが入ったMIXテープを作ってまいりました。スージーさん、オーギュメントをちょっと弾いていただけますかね。

スージー："Want you～♪" (譜例①) 不安定な響きのコードですよね。

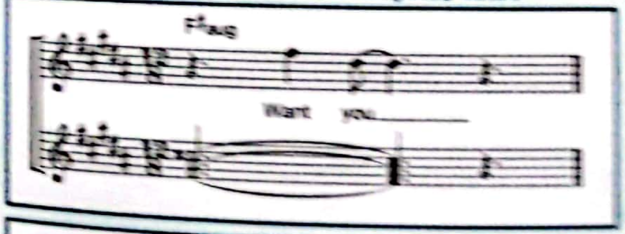
うめ子：なんか怖い……弾いている顔も含めて (笑)。

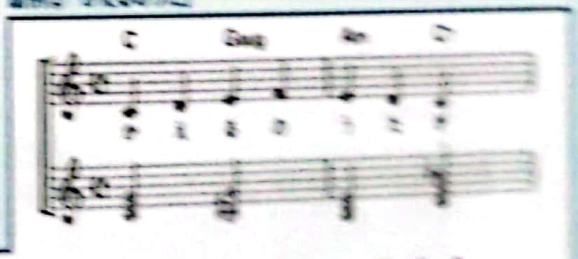
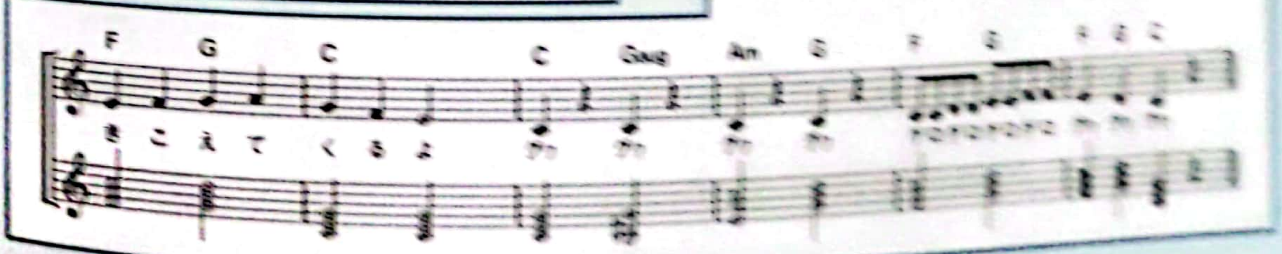
マキタ：怖い感じがします？　僕は異次元感みたいな感じがするんですよ。よく教育テレビとかで「よし、じゃあ考えてみよう！」とか「あれ？　ここはどこ？」みたいな時に流れる音。コードの構造で言うと、増三和音と言って、長3度がふたつ重なってるから、ちょっと異様なんです。耳に残りすぎるというか、浮きすぎちゃってる感じ。普通の状態ではない感じがするんですよね。おもに経過的に使われることが多いんですけど、Iコードで伸ばす箇所でも、オーギュメントを入れることで、より面白く豊かに感じられる。ある意味、そこだけ魔法感が出るかなと。この番組は当初予想通りですけど、平成の曲にオーギュメントたちの楽曲があって。この曲、大好きなんです。昭和歌謡にもいろいろとオーギュメントは使われてきたわけですけど、これだけオーギュメントを多用しながらも、最高に名曲の風合いに仕上げているあたり、オーギュメントの使い方を進化させた最新型だと思っているんですね。"魔法をかけて～♪"のところがオーギュメントなんですけど、まさにそこで魔法がかかっているんですよ。

ポイント 「かえるのうた」に魔法をかけてみよう!

オーギュメントは「スローなブギにしてくれ (I want you)」の冒頭部 (譜例①) のようにドミナントのセブンス・コードのように使われたり、上昇クリシェ (126ページ) で出てきたりすることが多い。譜例②はマキタが番組内でうめ子の歌に合わせて弾いた「かえるのうた」のオーギュメント・アレンジ。原曲のメロディはそのままに、動かすコードを変えるだけで、ユモくなるという例を示したもの。その魔法感が感じられるだろうか。

譜例①「スローなブギにしてくれ (I want you)」南佳孝



譜例②「かえるのうた」



「スローなブギにしてくれ (I want you)」作詞：松本隆　作曲：南佳孝
「かえるのうた」

on chord 分数コード

卒業写真

荒井由実 1975年

作詞・作曲：荒井由実

楽曲メモ

1975年6月20日リリースのアルバム『COBALT HOUR』に収録された荒井由実時代の代表曲「卒業写真」。卒業ソングの大定番で、カバーされることの多い曲としても知られている。もともとはハイ・ファイ・セットのデビュー・シングルとして書き下ろされた楽曲で、1975年にそのデビュー・アルバム『卒業写真』と同時発売されている（1975年2月5日）。

F△7　F/G　C△7　Am7　D7　G7
悲しいことがあると　開く皮の表紙

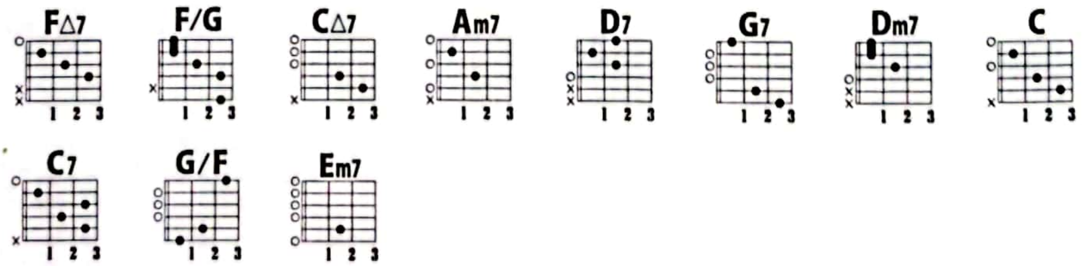
Dm7　G7　Am7　Dm7　G7　C　C7
卒業写真のあの人は　やさしい目をしてる

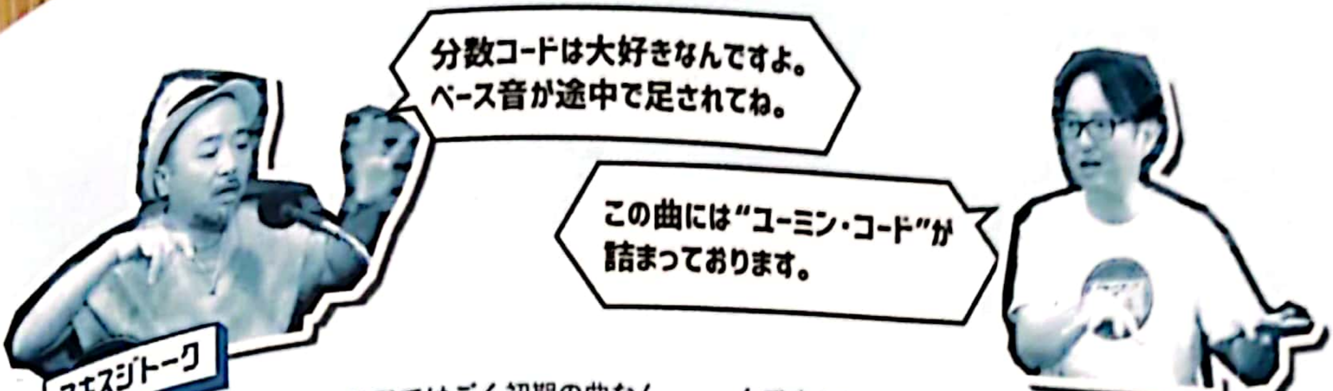
F△7　F/G　C△7　Am7　D7　G7
町でみかけたとき　何も言えなかった

Dm7　G7　Am7　Dm7　G7　C　C7
卒業写真の面影が　そのままだったから

F△7　G/F　Em7　Am7　F△7　G/F　Em7　Am7
人ごみに流されて　変わってゆく私を

Dm7　G7　C△7　Am7　Dm7　G7　C　C7
あなたは　ときどき　遠くで　しかって





マキスジトーク

スージー：ユーミンのキャリアではごく初期の曲なんですが、この曲には"ユーミン・コード"が詰まっております。"悲しいことが～ある～と～♪"という箇所を普通のコードで弾くとこんな感じですが（**譜例①**）、ユーミン・コードを使うと（**譜例②**）。

マキタ：めっちゃいい。良い包装紙にくるまれた感じ。

スージー：この曲にはもうひとつユーミン・コードが入ってるんです。サビです（**譜例③**）。最初に弾いたのがF/G（**譜例②**）なんですが、ここはG/Fなんです（**譜例③**）。

マキタ：僕も大好き。分数コードってやつですよね。ベース音が途中で足されてね。

スージー：コード進行にはルールみたいなものがあって、それを活用することで曲はできるんですが、ユーミンは「コードから曲を作ったことはない」って言うんですよね。先にメロディを作って、そこに自由にいろんな音を当てはめて、新しいコードを作っていった人なんですよ。

マキタ：ユーミンの歩くところにキラキラとした金粉みたいなものが舞ってるような、そんな自由なメロディに聴こえますね。

スージー：曲から受ける印象がすごく複雑で、絵画的なんですよね。

マキタ：そう。絵的な奥行きとかを感じさせるんですよ。実際にユーミンさんも「私と正隆さんがやっているのは、そういう絵を見せること」みたいなことを言ってました。

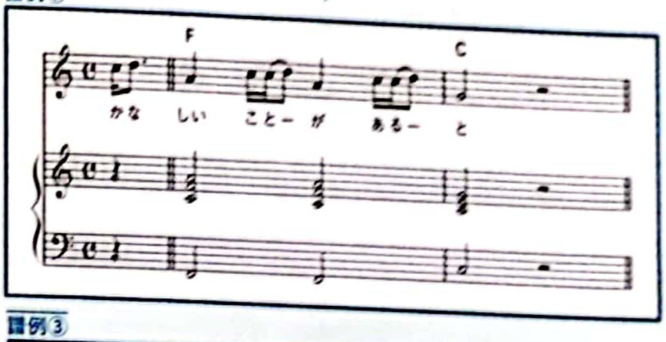
スージー：え～、ユーミンがですか？

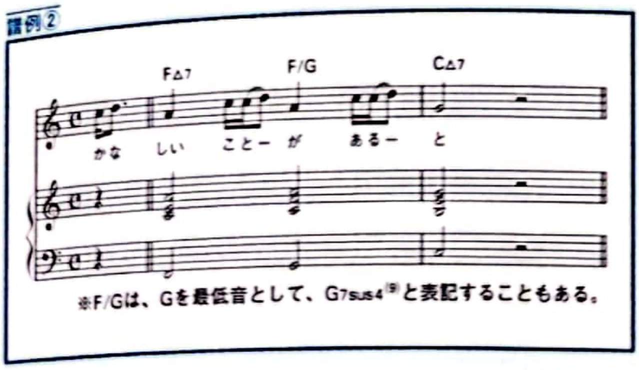
マキタ：「マキタスポーツには、不気味な謙虚さがある」って言われましたけどね（笑）。

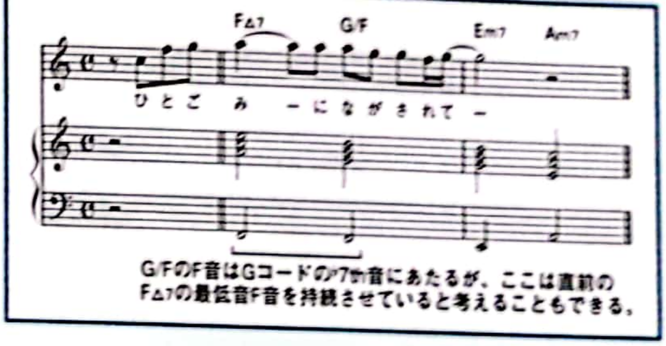
ポイント　算数のように分子と分母で表記する分数コード

コードのルート音以外の音をベース音に指定する場合、算数の分数のように分母をベース音、分子をその上部コードとして表記したものを分数コードと呼ぶ。C（on G）のような表記とほぼ同義で、本書ではC/Gのような表記を用いている。譜例②のF/GはFコードの9th（G音）が分母に来たパターン。最低音をGとすることで、次のCに向かいやすくしているとも言える。譜例③のG/FはG7のセブンスが最低音に来た転回形。

譜例①



譜例②

※F/Gは、Gを最低音として、G7sus4(9)と表記することもある。

譜例③

G/FのF音はGコードのP7th音にあたるが、ここは直前のF△7の最低音F音を持続させていると考えることもできる。

CamScannerでスキャン

書籍化スペシャル・トーク

ザ・カセットテープ・ミュージック 進化論

マキタスポーツ × スージー鈴木

CamScannerでスキャン

2017年10月6日の深夜2時。のちに狂信的なファンを集めることになる音楽バラエティ番組が、ひっそりと産声を上げた。1年後には日曜夜9時の1時間番組としてパワーアップ。いまや豪華ゲストを呼び、ライブハウスやホールでイベントを行なえばチケットが即完売するなど、BS12トゥエルビの看板番組として、その存在を確かなものにしている。本書で書籍化も第二弾ということで、改めてマキタスポーツ、スージー鈴木の両氏に登場願い、ここまでの番組の歴史と進化について語ってもらった。

聞き手：藤井徹（リットーミュージック） 撮影：菊地英二

コンセプトやテーマの進化・変化

——ここまでの番組の歴史を振り返っていただくと、少なからず内容に進化、変化があったと思います。そのあたりの感想から聞かせてください。

スージー 初めはテーマが"アーティスト"だったんですよね。サザンオールスターズ(以下、サザン)からスタートして……。それで、"早晩これだと、たぶんシンドイだろうな"とかっていうのがあって、途中からコード進行だ、メジャー・セブンス特集とかになっていき、最近は何かのテレビ番組のパロディみたいな感じ(笑)。でも、それで逆に間口は広くなっているんじゃないかなと思うんですけどね。

マキタ そうですね。初期はアーティスト特集だった。なんでこうなったんだろう（笑）？

スージー 本来は硬派な番組だったんですよ（笑）。ただ、なんとなく私も歌い出したり楽器弾き出したりとか、ちょっと演芸系のトーンが出てきて。

マキタ うん。スージーさんが、思いのほかそういうノリの理解力が高すぎるというかね（笑）。やっぱり自分のミュージシャン系の仲間とかとも、こういう音楽の専門的な話はしないし、ましてや芸人仲間と話すこともない。"スージーさんだったら聞いてもらえる"という気持ちもあったんですね。加えて周りのスタッフのおかげもあって、"濃い話をすればするほど(みんなが)喜ぶ"っていう状態もあったので。それで先鋭化していったんじゃないかなっていうところも、ややありますけど(笑)。

——とはいえ、マニアックになっていくことに対して、不安はありませんでした？

スージー 不安はあったんですよ。少なくともメジャー・セブンスの話とかって、マキタさんがおっしゃったように、リットーミュージックの雑誌では当然あるかもしれないけれども、いわゆる音楽メディア以外では誰も語ってなくて。ただ、僕はミュージシャン界にはいないので、既得権益を知っている人たちが、隠し合ってる感じがしたわけですよ。転調とかメジャー・セブンスの話っていうのは、一見ちょっとハードルは高いんですけど、きちんと説明すると絶対わかってもらえるもんだという確信はありました。もしくは、理屈の細かいところはわかってもらえなくても、"コード進行にはこういうルールがあるんだ"とか、"メジャー・セブンスというのは、こういう響きなんだ"っていう、感覚的な部分はわかってもらえるんじゃないかなっていうことで、気持ち的には"開かずの間"をパッと開けた（笑）。それがオッケーになって、この番組っていうのが延命したと言いましょうか。「これがアリなんだ」っていうのがあって。僕的には非常にそれは喜ばしい、今までやりたいことだったんでね。

マキタ 例えば僕がミュージシャン仲間に"コードとか、こういうパターン多いよね？"と言っても、けっこうキョトンとされるんですよ。実は、意外とそういう意識で作ってる人たちではないという……。

スージー そうかもしれないですね。

マキタ 普通ミュージシャンはコードのことは言っても、メロディの音型のパターンを話すことはないです。普通のミュージシャンは"ここはミファミレド使っちゃおう"なんて意識で曲作りしません。スージーさんが革新的だったのは、ミファミレドってパターンひとつから、"過去を遡って、こういう曲があるでしょ？"って引き出すところ。"なるほど、そこまで掘り下げるんだ"と思った。その理論自体をまるでキャラクタライズするように、"面白い"ってところまで行けるんだったら、僕もとことん行ってやろうと勇気付けられました。あと、それをおじさんたちがキャッキャ言いながら喜んでいる

CamScannerでスキャン

内容はすごい
インタレストなんだけど、
状態はファニーに見える。

状態が、けっこう滑稽っていうか面白く見えたりね。内容はすごいインタレストなんだけど、状態はファニーに見えるというか（笑）。

スージー　確かに僕らはキャラクタライズしているんですよね、「ナントカ進行」とか言って。だから、さっき"開かずの間"と言ったのは、たぶん、この本で取り上げているような理論自体は、プロのミュージシャンなら、ほとんど知ってることだろうと思います。ただ、マキタさんがおっしゃったように、例えば勾玉進行とかミファミレドとかっていうのを、感覚的にはわかっていても、あれをひとつのフォーマットとして頭の中で整理しているプロ・ミュージシャンは少ないのかもしれませんね。

マキタ　うん。あんまりいないと思いますね。

スージー　ずっと興味があって、いつか本人に会ったら聞いてみたいのは、あれだけ独創的なメロディを作っているユーミンが、どうやって作曲しているか。おそらく、あんまり手口とかなんとかを引き出しに入れて分類してない感じがするんですね。もっと感覚的にやってるんじゃないかなと。だから、もしかしたらこの本っていうのは、そういう意味で、世界初かもしれないっていう（笑）。

——すごく詳しい音楽理論の知識がなくても、ちょっとギターを弾いたとかバンドをかじったくらいの人には絶対に面白いというレベル。そこの際(キワ)の部分を行っているのかなという気がしています。

スージー　この番組には暗黙の了解があって、理論の話はするんだけど、理論の話をして終わりじゃなくって、それが面白いとか、気持ちいいとか、ワクワクするとかっていう感覚論に翻訳するんです。理論で終わらないところはエンターテインメントにするっていう……。これは我々の演芸的なDNAかもしれませんけど。とにかく、それでこの番組が延命した感じがしますね。

マキタ　うんうん。

J-POP批評という側面

——理論系で行けるという手応えがあった放送回は？

スージー　私はメジャー・セブンスの回ですね（第31回「あけまして、おメジャーセブンス」）。メジャー・セブンスという、音楽業界の中でも、ある独特のポジションのものを、半分笑いながらキャラクタライズしたっていう。あれですごく楽になった感じがします。

マキタ　なるほど。僕の中で"いいな"と思ったのが、スージーさんの"ソ♯（ソシャープ）"ですかね。それはもう、より解像度が上がってることなので。しかも、過去から現在に至るまでのソ♯の例の提示までやる。今、そういう音楽分析系の番組って他にもありますけど、"ソ♯っていうところに触れる人いる？"ということですよ。しかも、それをテレビでやって結果として面白かったんだっていう……。

スージー　特集もやりましたもんね。"ソ♯特集"（笑）。

マキタ　生放送でね。あれはかなり手応えっていうか、"そういうところまで行ったんだ"っていう感じがした。僕もメディアに出る側の人間としては、人が手をつけてないところにいて、"生涯通して何回そういうことにタッチできんのかな？"とか思うんです。ソ♯は僕のネタじゃなかったですけど、スージーさんと一緒に関わった番組で提示したことで、"あっ、そういう触れ方で、これをテレビでやるんだ？"っていう手応えを感じたかな。

スージー　ソ♯は、ちょっと批評性と言いましょうかね。これは番組の中では強調はしてないんですけど、J-POPと言われる平成に隆盛を極めた音楽ジャンルに対して、やや客観的に捉えるっていうのが番組のベースとしてあるわけです。ソ♯っていうものを計算づくで使っているJ-POPの作曲家はどれくらいいるかわかりませんけど、その話がわりと長く使われたのは、「ソ♯、III7からVIのマイナーに行くっていう泣かせのコード進行で、情感を過度に込めているJ-POPって多いよね」っていう話から。実際そういう文脈で紹介はしていませんけどね。たしか一回やりましたけど、Official髭男dismが、ソ♯をすごく早いタイミングで出してて。ソ♯のインフレと

CamScannerでスキャン

かっていう……。

マキタ 「Pretender」ですよね。

スージー そういう「J-POP批評」になっているところがあって。"あれはちょっと芯食ったな"っていう感じ（笑）。

マキタ J-POPの良いところを、より外科的にやり、しかもキャラクタライズされていて面白おかしく見せるものは、かつて絶対になかったものだと思いますね。

マキタノートとスージーファイル

――毎回のテーマはどうやって決まっていくんですか？

スージー 最近はむしろダジャレから始まりますね。例えば、『いいサビ・夢気分』とか。プロデューサーとかディレクターは、そのタイトルだけでもう満足してるわけですよ。昔はわりと合議制と言いましょうか、好きなアーティストだとかメジャー・セブンスとか、どちらかと言うと具体的なコンテンツありきだったんですけど、最近タイトルありきになってきていて（笑）。ただ、そうなってくると余白があるんですよね。『いいサビ・夢気分』から、"どんなサビを使うか？"っていうところで、一回自分の解釈をしなきゃいけなくて。ちょっと大喜利みたいなところがありますね。それはワタシ的には、むしろちょっと心地いいところもあり。とにかく今はテーマがタイトルで決まる（笑）。

マキタ 『ポツンと一曲』特集とかね（笑）。

スージー 『ポツンと一曲』は、あんまり響きもうまくない（笑）。『いいサビ・夢気分』はうまいですよ。『いいサビ・夢気分』があったから『関東甲信越小さなサビ』っていう解釈をしたりできた。『ポツンと一曲』は、ちょっとあからさまかなと思う（笑）。

――テーマ決定後の準備・下調べには、どのくらいの期間を割いていますか？

マキタ ものによりますけど、だいたい「3日くらい考える時間は欲しいな」って、マネージャーには言ってます。

スージー それは、"曲は何を出そうかな？"に対して？

マキタ そう。今はとにかく曲選びに時間かかりますね。その"タイトルありき"の時は、切り口をいろいろ考えた上で、落としどころを見つけてって……。分析自体には、さほど時間はかからないんですけどね。

スージー 例えばソ#だとなると、頭の中でソ#が鳴ってそうな曲を、どんどんサブスクリプションのプレイリストに入れていきます。そこから"これはソ#じゃなくてミの♭だ"とか言って削除して（笑）、頭の中でトーナメントして絞っていくのが大変ですね。それで撮影の直前に、例えば4曲だとしたらA4で3～4枚のテキストを考えてきて……。もう放送作家の分まで自分でやってる気がしますよ(笑)。マキタノートは手書きで、私はワードのA4縦書きなんですけど、それを書くのにも時間がかかりますね。

マキタ もともとマキタノートは自分のために書いてたんだけど、スタッフに「写真を撮らせてください」とか言われて、途中から妙に意識して"見られる前提"で書いてたりして。これちょっと本末転倒だぞ、みたいな(笑)。最初にうっかりキッチリ書いちゃった時があって。今はわりとメモ書きで全部ガーッとアイディアを出したあとで、それを整理して直す程度のものにしてますね。

スージー あと、転調のキーとかで"やっぱりわかんない！"っていう時、最終的にはダウンロード楽譜を買って確認することもありますね。コード検索サイトなどは、けっこう間違いも多いんで。楽譜を見て"なるほど、Dだったんだ！"とか、"#が4つから2つになってるんだ！"とか確認します。今のところ致命的な間違い発言はしてないはずですけど、かなり丹念に準備はしてます。

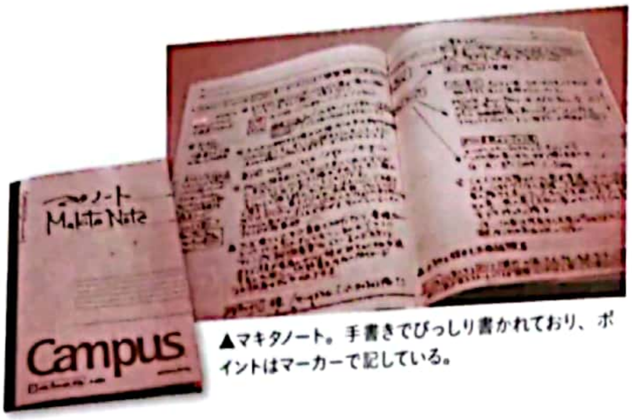
企業訪問ロケとライブ・イベント

――番組はスタジオがベースですけど、時に企業訪問などのロケに行ったりもしています。何か思い出深いエピソードを聞かせてください。

スージー やっぱりナガオカのリスニング・ルームで

理論の話で終わらさずに、エンターテインメントにするという暗黙の了解がある。

CamScannerでスキャン



▲マキタノート。手書きでびっしり書かれており、ポイントはマーカーで記している。

しょうね。そこでレッド・ツェッペリンのアルバム『プレゼンス』を聴いたんです。私の新刊小説『恋するラジオ』(ブックマン社)でも、その話が出てくるんですよ。"良い音で、アナログ・レコードで音楽を聴くっていうのが、こんなに至福の体験なんだ"って、わりと決定的な物事でしたね。

マキタ　あれを味わっちゃったらね。ある意味、世の中で一番不要不急のものだし、最高の贅沢ですよ。本当に"このためにお金儲けしたい"って思いましたもん(笑)。ああいう部屋を持てたら最高だなと思いましたね。

――ゲストで特に印象に残った方は?

スージー　GLAYのTAKUROさんが、あんなに面白い方とは……。

マキタ　TAKUROさん、本番前に控室で僕とスージーさんがいろいろ話してた時に、楽屋からLINEで「そっち行っていいですか?」って来ちゃうんだから(笑)。

スージー　でもあれは、プロのミュージシャンでも、こういうコード進行とか何とかを突っつく話はしてないっていうことの照り返しなんじゃないかと思いましたけどね。

マキタ　まあ、そうですね。でもTAKUROさんは特にミュージシャンの中でも、我々が話してるようなことに、すごく興味が強い方だったんで面白かったですね。

スージー　雪虫の話(P14参照)が最高でしたね(笑)。

マキタ　そうですね。

――ライブやイベントはどうですか?

スージー　大阪(ロフトプラスワンWEST)1回、下北沢でも2回やって……。草月ホールでは、いとうせいこうさんに会えてますし、収録で早見優さんにも会えて、ワタシは何気に夢が叶っていってるというね(笑)。よく使われるフレーズですけど、"早見優と、いとうせいこうと舞台で共演することを、大学時代の私に教えてあげたい"(笑)。

マキタ　北沢タウンホール(下北沢)でやった時に、僕らがテレビとかでやってきたミファミレド(注:音に合わせて手を動かす踊り)や、「異邦人」を口で歌うとか、お客さんがみんな一緒にやってくれてね。いい歳したオジさんオバさんたちと(笑)。あれはかなり壮観でね。なかなかないですよ、ああいうことは。

――ある程度はSNSなどで反響がわかるとはいえ、実際にライブでこういうマニアックなトークに対して、きっちりレスポンスが来るのかっていう不安だってありますよね?

マキタ　ありますよ。もちろん"年齢層は高い"とは思ってましたけど、実際ひとところに、あそこまでオジさん、オバさんが集まるっていうのは、ちょっとギョッとしますね。すごい絵面なんですよ(笑)。

スージー　品のある……(笑)。

マキタ　そうそう。もちろん品があるんですけど、そういう方たちがあんなに目をキラキラさせて、こちらを観ているっていう状況っていうのはね、なかなかですよ。ギョッともするけど、感動的ですよね。

――もともとマキタさんはステージが主戦場なわけですけど、演者としてのスージーさんについては、どうですか?

マキタ　スージーさんはもうね、爆発してますよ(笑)。最初に会ったのはダイノジの大谷ノブ彦君のラジオの現場だったと思うんですけど、当時からスージーさん節でね。楽曲の細かい部分に関しての分析、的確な分析とかはもちろんあったんですけど、こんなにふざけるおじさんだとは思ってなかったんで。それは驚きだったですけど(笑)。

スージー　バス停を1mmずつ自分の家に近づけて、"ここまでオーケーかな? 歌を歌っていいかな? ネタもやってもいいかな?"とか……段々ちょっとね(笑)。

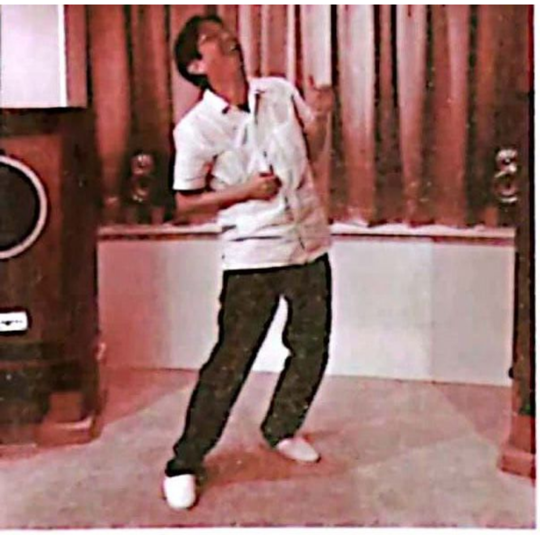
マキタ　スージーさんはね、10年後は大学で教鞭を執ってるんじゃないかなっていうイメージがしますけどね。そういうことをやっててもおかしくないなと思うんです。かつテレビとかにも呼ばれたり、そういうことをやってる絵が想像できますね。

スージー　東京芸大コード進行学科っていう(笑)。

マキタ　(笑)。いや、母校の早稲田大学とかで。

――逆にスージーさんから見るマキタさんの演者としての凄みは?

CamScannerでスキャン



◀ナガオカのリスニング・ルームで悶絶するスージー鈴木。

スージー　僕は人前＝板の上の経験がない分だけ、舞台の上では奇妙な生物として珍重されてると思うんですけど、やっぱりマキタさんは板の上の方ですよね、人前の方。だから私はブッ飛べると言いましょうか、楽チンですね。自分では舌こそ回っている気はするんですけど、やっぱり腰から下が動いてない感じがしますね（笑）。あれはね、もうやっぱり無理です。あの舞台上で欽ちゃん走り、欽ちゃん跳びはできないです。マキタさんは、それができる人だから。

――なるほど（笑）。

スージー　あとはやっぱり大阪でのライブ。最終的にはマキタさんの「キラキラ学園校歌」で締まるっていうのがあって。だから、すごく助かりますね。

――絶対的なリリーフエースがいるわけですね。

スージー　いつか私も"吉田拓郎を歌う"っていうのをやってもいいと思うんですけど、今のところ、"ちょっとまだ早いかな"っていう（笑）。

マキタ＆スージーが選ぶ「番組発理論」優秀賞

――今回の書籍では、番組で取り上げている理論の話を大きく3つの部門に分けています。コード単体ネタ、コード進行ネタ、メロディ系のネタでして。ここで、お二方に現時点での各部門の優秀賞を決めてもらいたいなと思っています。まずは、「一撃必殺コード」部門からお願いします。

スージー　私の放送4年間での一撃必殺コードは、尾崎亜美コード！「パステル・ラヴ」(金井夕子)のセブンス・フラット・ナインス＝7（♭9）です。理屈をこねると、いまシティ・ポップ再評価だなんだと、一部の若者がいろんなテンション・コードを過度にオシャレと言っている気配があり、それを『ギター・マガジン』が、やたらまた推してる気配もあり（笑）。その時に出てくるのは「山下達郎だ、大貫妙子だ、ギターは鈴木茂だ」っていう話になってくるんですけど、いや尾崎亜美（作曲）の、この7（♭9）っていうのが、いわゆるシティ・ポップっていうものをかなり初期に具体的に提示したんじゃないかっていうことで、尾崎亜美コードです。

マキタ　コードですか……。コードはマイナー・セブン・ファイブ＝7（♭5）。小泉今日子「優しい雨」の最後ね。サブスク解禁、キョンキョン。マイナー・セブン・フラット・ファイブ、やっぱり大好きですね。僕。

――これは、曲の最後まで、ずっと出てこないんですよね（笑）。

マキタ　そう、ずっと出てこない。まさに一撃ですからね。

スージー　小泉今日子の「My Sweet Home」っていう曲、ご存知ですか？

マキタ　ありますね。

スージー　エンディングのところね。（歌いながら）"♪愛しくて抱きしめていて"の最後のあそこ、m7（♭5)。小泉今日子って、ここ一番で使うんですよ（笑）。

マキタ　それはノーチェックだったな〜。

――続いてコード進行系です。スージーさんは？

スージー　私は「ミユキ進行」ですね。ビートルズの「アイム・ソー・タイアード」、「セクシー・セディー」という曲で使われていて、昔のテレビ番組『ミユキ野球教室』の御幸毛織の公式ツイッターから反応があったことから、昭和41年7月3日の9時40分にジョン・レノンがヒルトンホテルでチェックアウト前に観て曲が浮かんだんじゃないかっていう仮説が立ち、のちに早見優の「夏色のナンシー」に至るっていうね。おそらく、この番組

▲2019年、大阪ロフトプラスワンWESTでトークライブを開催。

の中で紹介したコード進行の中で、最も汎用性が低いミユキ進行を挙げたいと思います。

マキタ　僕は「ガッチャマン進行」ですかね。よくあるコード進行だけど、とにかく"勝った感"が出る。こうやってキャラクタライズされて名づけられたものも他にないので。最初は「ビクトリー・コード」という形で紹介しましたけど、スージーさんを始め、思いのほか視聴者のみなさんも喜んでくれたので（笑）。自分としては昔からネタにしたいと思っていたけど、ここまで盛り上がるとは。しかもガッチャマン目線でいろいろ見たら、けっこうガッチャマンが出てくるっていう経験も、改めて自分でもしましたしね。

スージー　「ガッチャマン進行」って、それこそJ-POP批評っていうか、ソ#と同じで濫用されてる事実があるじゃないですか。

マキタ　そうですね。初期ミスチルの曲っていうのは、かなりガッチャマンだらけだったっていうこととかも改めて思いますし。でも、"ここ一番でこう使うのか"っていうことや、これはあと付けなんですけど、ダイアトニック・コードとかの知識で考えれば、やっぱりけっこう変な展開というか……。本来は最後のところがCではなくてCマイナーのほうが良い展開なんですよ。それが全部メジャーでⅠ度ずつなるっていう、そのすごい特別感がね。とにかく"道は開けてる、勝ってる感"が出るっていう。こういうことも、あと付けで考えると"これは特別なものだ"っていう感じですね。だから"ここぞという時の必殺技では使えるものなんだな"って、改めて思いました。

——しかも、その展開を使っている曲が実際にヒーローものだったっていう合致が素晴らしかった。

マキタ　そうですね。"ヒーローものやゲームで使われるっていうのは、そういうことだったのか"っていう。そこが合致してるっていうことがわかって面白かったですね。

——メロディ・ラインはどうでしょう？

スージー　私は「Woman "Wの悲劇"より」ですね。本当にユーミンの中だけでなく、80年代、いや、すべての音楽の中の最高傑作だと思います。理由はサビがずっとナインスで浮いている。"沈め！"っていう（笑）。あれ、劇的だと思います。ユーミン本人もすごい好きって言ってたんじゃなかったでしたっけ？

マキタ　「あれは最高によくできているメロディだし、薬師丸ひろ子ちゃんの声に合わせて考えた」って言ってましたよ。

スージー　真面目ですけど、私はこれが一番ですね。

——マキタさんはどうですか？

マキタ　スージーさんのネタだけど、「ミファミレド」かな？

CamScannerでスキャン

スージー　「ミファミレド」の初出はH2O「想い出がいっぱい」ですよね。
マキタ　"♪少女だったと〜　ミファミレド"ですよね。
スージー　それからいろんな「ミファミレド」を開発しましたよね。
——そうですね。そして『輝く！日本カセットテープ大賞』の"最優秀ミファミレド賞"が、テレサ・テンの「時の流れに身をまかせ」と決まりました。
スージー　あれからも、ぎょうさん出てきたんですよね。
——GLAYからも出てきました。
マキタ　そうそう。「BELOVED」で、最後の最後に出てくるんですよね。
スージー　井上陽水「少年時代」の"♪夏が過ぎ〜ミファミレド"（笑）。あと、オフコースのギター・ソロでも……。
マキタ　ありました。やっぱり「ミファミレド」は"ここぞ！"という時に使うものじゃないですか。きっと未来永劫J-POPで使われていくものだろうし、「ミファミレド」の発見っていうのは、すごくこの番組らしいと思いますね。
スージー　AIの「Story」でしたっけ？　もう絵に描いたような「ミファミレド」（笑）。この番組ってJ-POP批評なんですね、やっぱり。
マキタ　J-POP批評じゃないですかね。うん。
スージー　結果として。そういうことを別に声高には言ってないけど（笑）。
マキタ　「小室哲哉のラシドレミ」とか。つい最近言いましたけど、そこまで"必殺技感"があるわけじゃないんですよね。「ミファミレド」には、やっぱり"必殺技感"があるんですよ。
スージー　そうですね。私も「ドシソ」とか「シラミ」とかありましたけど、やっぱり「ミファミレド」には勝てないですね。
マキタ　うん。「ミファミレド」は圧倒的ですね。最近、音ネタのライブ用にJ-POPテクニック全部乗せの「雨ふれば」という曲を作っていて、そこでも「ミファミレド」を使ったんですけど、やっぱりハマるんですよ。使ってよし、歌ってよし！　歌っても、自分の心のエモ度が上がるという……。
スージー　上がりますよね（笑）。
マキタ　そう、上がるんですよ。ネタとしても全然使えるものだし。ただ、それを乱発しても意味なくて、ここぞ！というところで使うものだから。
——必殺技ばかり並べると、結果として効果が薄くなったりしそうですけど……。
スージー　インフレするでしょうね。
マキタ　ところがね、その「雨ふれば」っていう曲では、必殺技だと思えるものを10個以上は使ってて、最初は"やり過ぎだ"ってことになるんじゃないかと思ったんですけど、意外とこれが"やり過ぎ感"が出ないんですよ。だから、逆説的に言うとJ-POPはすべて"やり過ぎてる"っていうことだと思いました（笑）。
スージー　僕はあるところで"感情の水浸し"って書いたんですけど、最近のJ-POPは本当にトゥーマッチですよね。
マキタ　その「雨ふれば」って曲は、小室哲哉のラシドレミから始まり、ヨナ抜き使って、ラップと見せかけてドとソしか使わないってやつとか。あと、音の跳躍で、だいたい6度くらいの跳び方はするんですけど、10度をやってみようと思って（笑）。
スージー　おお、10度はないですね。
マキタ　さすがに"やり過ぎ感が出る"と思ったら、これも意外とハマるんですよね。これでも抜粋ですけど、必殺技でミファミレド、クリシェ、カノン進行、勾玉進行、未練進行を使ってる。楽曲構成で言うと落ちサビとか、サビが転調して戻ってくるとかしてる。あとは胸キュンのソ#ですね。さらに二拍三連をしつこくやって、最後にガッチャマンで終わる。これだけやっても全然トゥーマッチ感が出なかった。しかも僕、そのネタをやるたびに、自分でちょっと感動してるっていう（笑）。ちょっと歌いながら感動して"心が乗る"みたいな。その中でも、ここぞ！っていう時にミファミレドをすると、グッと来るんですよ。
——歴史が証明しているからか、ミファミレドは、やっぱり強いんですね（笑）。
マキタ　どれだけ日本人が、お客様本位のカスタマイズされた、よくできたものをピタピタに与えられてきたかっていうことがわかる。あと、そのネタを自分で作っていて思ったんですけど、法則を無視して全部詰め込んでも気持ちが悪いから、気持ちよくっていうところと擦り合わせつつテクニックを総動員すると、わりと本当に90年代のパワー・ポップになるんですよね。それが面白かった。
——この本を作る時に、スタッフさんから"番組で紹介

CamScannerでスキャン

した技を全部詰めた「サライ」的なオリジナル楽曲を作るのはどうか？"という提案があって。大変そうだからやめたんですけど（笑）。マキタさんがやられたことは、それに近いっていうか……。

マキタ　そうそう。それ聞いて「今、作ってんですよ」って話をしてたくらいです。この番組が、僕にそういう扉を開かせた。だからそういう意味で過激派ですよ、我々は（笑）。どんどん先鋭化してって……。これ、誰が望んでるかわからないけど（笑）。

――でも、本気出して一回やってみたいですね。トップ・ミュージシャンを用意してアレンジもキッチリやって……。でも理論は全部入りみたいな。

スージー　最終回では、最高のメンバーで「雨ふれば」をやりましょう。

マキタ　いいじゃないですか。Chageさんに歌ってもらって（笑）。

スージー　ギターは鈴木茂さんと今剛さんで、村上"ポンタ"秀一さんがドラムで（笑）。全員呼んで「ミファミレド」だけやってもらうっていうね。5秒だけ（笑）。

マキタ　番組で作ったものが普通に街で流行ったりとかするっていう……しらばっくれてさ（笑）。そういうのが社会実験的にできたら面白いけどね。

番組はどこへ向かうのか？

――今後、番組で掘っていきたいこととか、考えている企画とはありますか？

マキタ　う～ん、まだ何かありそうな気がするんですけどね。むしろ僕は周りの人から気づかされたいですよね、ネタを。"仕方なく分析したら、こんな発見があった"くらいのほうがいいかなとか思ったりはしますけど。自前で思って聴いてきたものには限りもあるし（笑）。あと僕は聴く専門というよりも、途中から演じるほうに意識がいって、結局それを叶えてしまっている側の人間じゃないですか。コレクターとかマニアとか、聴く専門の人生を歩んできてるわけでもないので。

スージー　今のダジャレから無理やりひねり出すのが僕は気持ちよくって。いかに大喜利に答えるかっていうほうが刺激になるんじゃないかなと（笑）。あと、わりといくつかスベってまして。その代表がレナード・バーンスタインの「トゥナイト（ウェスト・サイド・ストーリー）」話……。

マキタ　ハハハ。そんなスベってないけどね！　芸人的な視点で言わせてください。スージーさんが勝手にスベった方向に持ってくだけで、普通に音楽的に分析してくれたら全然興味深い（笑）。

スージー　最近、段々と私も高等な芸を学んできまして、"あ、わかりにくいな"っていう時に自分からスベってるって……。昔、せんだみつおから学んだ手法なんですけど。

マキタ　どこから学んじゃったんだよ（笑）。

スージー　クラシック方面ですかね。管楽器とか弦楽器とか好きなんで、いつかまたタイミングを見てやってみたいなって思います。

マキタ　そうですね。あと番組的には新境地でしたけど、"スージー鈴木の精神世界"。あれはエポックだったんじゃないかなと思って。

スージー　あれはポジティブな反響があったんですよ（笑）。

――僕は最近だとマキタさんの「浜田省吾のWow Wow検定」がツボでした。

スージー　あれは私も笑いました。

マキタ　あれこそ完全な大喜利ですけどね。

――では、視聴者、読者にメッセージ的なものをいただけますでしょうか。

スージー　本当に番組でやりたいことは、音楽でみんながブラックボックスにしてることを解剖して、自分が音楽から受けている感情、感動っていうのを、ちょっと紐解きしたいっていうね。僕はミュージシャンじゃないから難しいことはわかりませんけども、ちょっとわかるだけでめっちゃ楽しくなるっていう、自分が浴びてきた快感っていうものを、少しお裾分けする感じでやっていきたいと思いますね。

マキタ　データを見せられて驚愕するんですけど、この番組（の視聴者年齢）は本当に40代、50代が異様な数字を叩き出してるので（笑）。自分とドンピシャの世代の人たちがお客さんだなってことを目の当たりにし、"その人たちと一生添い遂げるんじゃないかな"と思ってますので、よろしくお願いします。

スージー　でも、そうですよね。あの方たち……オッサん、オバさん……。

マキタ　「（顔が）見えるんだから」って思いますよね。

スージー　その方々の経験とかをちゃんと尊重してやってる番組ってないですもんね。

マキタ　そう。僕は一方で、そういうマスで広いところ

CamScannerでスキャン

に出ていくじゃないですか。そこでは、「いかに話が通じない相手に話を届かせるか、理解をさせるか」っていうことを周りからもスタッフからも要求されるんですけど、この番組で行なわれてることは、そういうことはお構いなしというか（笑）。「明らかに話が通じる人たちに向けて、こういう話をしてる」っていう感じがするんで。これ、ビジネスの話にもなっちゃうけど、ここの（層の）人たちとちゃんと付き合っていくっていうことは、実はあんまり取り組んできてないんですよ。だから、そういうことをやってみたいなという欲を持ちます。この番組を通して。

スージー　どっちかになりますもんね。若者向けかBSデジタルの「思い出の昭和歌謡」とかになっちゃってる。真ん中がないんですよね。

マキタ　そうですね、確かに。これは番組ですから、スポンサーの話もありますし、そういうスキームの中で行なわれてることなんだけど。ただ、もし番組が終わった時でもスージーさんとセットで、みうらじゅんさん、いとうせいこうさんのトーク・イベント『ザ・スライドショー』じゃないけど、そんな形でお客さんと関わっていくモデルをね……。こういう人たちが、一方では不満足を抱えてたりするわけでしょ？　だってこれ、抑圧の結果ですよ。こんなデータが見えるって（笑）。だから、「そこと添い遂げるためには？」ってことを考えておかなくちゃなって、改めて思いますけどね。

スージー　もし番組が終わったとしても、たぶんBS-TBSあたりで『ロック名所漫遊記』って番組で……ラチエン通りに行ってドルフィンで酒飲むっていう（笑）。

マキタ　ハハハ。そうか、玉さん（玉袋筋太郎）がやっている『町中華で飲ろうぜ』（BS-TBS）みたいな感じで「ドルフィンで昔の音楽聴こうぜ」と。

スージー　そうです（笑）。

マキタ　今までは、どこか（同世代だけに向けることに）抵抗があったんですよ。だけど、もうここまで来たら"やってやんぞ"って、やっぱり思うんですよね。

スージー　ターゲットとの兼ね合いですよね。

マキタ　そうそう。ターゲットとの兼ね合いっていうのは意識せざるを得なくなった。自分の"オトネタ"っていうライブに関しても、そういう意識がハッキリと出てきてるというか。

スージー　まさか番組が4年も続くと思ってなかったんで（笑）、当初「100回目で大瀧詠一特集」って言ってましたけど200回目に伸ばしましょう。100回目は「鈴木茂特集」で！

CamScannerでスキャン

マキタスポーツ&スージー鈴木

ザ・カセットテープ・ミュージック名場面集

番組開始から4年。これまでの名場面を写真で振り返る。

記念すべき第1回（2017年10月6日放送）収録時の初々しい（?）2ショット。初期はここFMサウンズでの収録が中心となっていた。

第13回&第14回（2018年4月6日&13日放送）では、千葉ロッテマリーンズの本拠地、ZOZOマリンスタジアムでのロケが実現。

2018年6月1日、番組初の書籍『カセットテープ少年時代～80年代歌謡曲解放区』（KADOKAWA）を発売。写真はHMV BOOKS SHIBUYAでのイベントにて。

2018年7月25日放送の特別番組は「鈴鹿8耐スペシャル」と題して、新横浜のバイクショップ、ミスティでのロケを敢行。

CamScannerでスキャン

2018年9月27日、番組の日曜ゴールデン進出を記念したイベント「最新J-POPの源流を探る vol.2 ～日本の音楽シーンを煌めかせた『不良音楽』の歴史」を下北沢の本屋B&Bにて開催した。

2019年3月31日放送の特番「大阪スペシャル」は、スージーの母校前（左）からスタートし、定番の街ロケなどを行なった（右）。ロフトプラスワンWESTでのイベント「大阪ナイト！　大阪の人に知ってもらいたい8つの事」も大盛況！

2019年6月11日、下北沢タウンホールにて『ザ・カセットテープ・ミュージック』CD発売記念トークイベントを開催。収録曲をマキタ&スージーが生解説した。

好評の"企業訪問"シリーズ。レコード針でお馴染みのナガオカ（第50回、51回／左上）では、オーディオルームでアナログレコードを試聴体験した。リットーミュージック（第52回、54回／左下）は『ギター・マガジン』の書庫を堪能。カシオ計算機（第55回、56回／右上）は創業者である樫尾俊雄の記念館を来訪し、カシオ製キーボードの歴史を学んだ。

CamScannerでスキャン

2019年12月10日、草月ホールでトークイベント「カセワングランプリ決定戦」を開催。ゲストにいとうせいこうを迎え、満員のお客さんとともに盛り上がった。

2019年の2時間スペシャル前半「おじさん、楽器を買う」では、池部楽器店リボレ秋葉原を訪れた。マキタはワウペダル、スージーはピグノーズのアンプ内蔵ベースを購入。

本書で紹介したTAKURO（GLAY）以外にも豪華なゲストとの共演が！　第44回（2019年7月14日放送）では、スージー憧れの早見優が登場（左）。第61回（2020年4月5日放送）にはChageが訪れた（右）。

2020年8月4日、番組初の生配信イベント「みんなで飲もう、オンラインパーティ～（飲食持込可）」が行なわれ、1,000人近い視聴者が観覧した。

ザ・カセットテープ・ミュージックの音楽理論

PART 2

コード進行の妙技

パート2は「コード進行の妙技」。
カデンツァ（ケーデンス）と呼ばれる和音進行の一種だが、
番組ではこれをキャラクタライズすることで、
親しみやすい形で表現している。

楽曲解説：関口真一郎

- 3コード進行
- カノン進行
- ドラマティック・マイナー進行
- ビクトリー・コード（ガッチャマン）進行
- 未練（後ろ髪）進行
- センス・オブ・ワンダー進行
- よっこいしょ進行
- 勾玉コード進行
- クリシェ
- 転調

CamScannerでスキャン

I-IV-V 3コード進行

冬のオペラグラス

新田恵利 1986年

作詞：秋元康　作曲・編曲：佐藤準

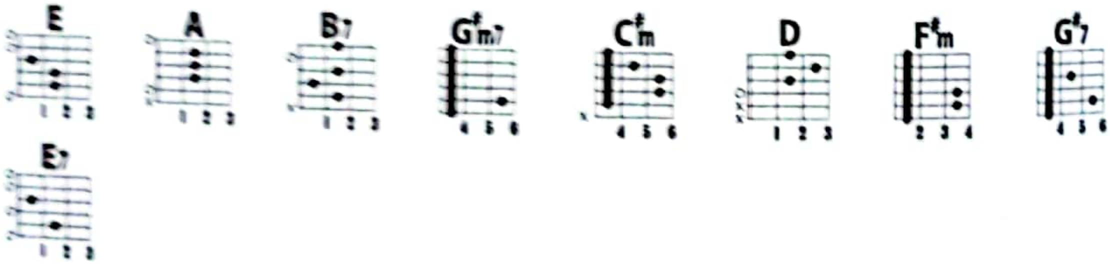
第27回 2018年11月4日放送分
『日本アイドルソング史概論』

楽曲メモ

「冬のオペラグラス」は、1986年1月1日に発売された新田恵利のデビュー・シングル。4週連続のオリコン1位を記録し、これには作詞を手がけた秋元康も驚いたとか。作曲は佐藤準で、この作詞・作曲コンビによるおニャン子関連としては「セーラー服を脱がさないで」、「じゃあね」、国生さゆりの「バレンタイン・キッス」など、数々のヒット曲がある。

E A B7 E A B7

```
E           G#m7          A
白い雪が　ガラス窓に咲くように
     B7
そっと　降り積もる
E             G#m7      A
静かすぎる　こんな夜は眠れずに
     B7          E
あなたが気になるの
C#m        D       F#m      G#7
いつも　逢う度　ケンカばかりして
C#m       D    B7       E7
ただの友達と　想ってた
A                  F#m
冬のオペラグラスで　夜の街をのぞけば
D                E7
恋をしてる　私の顔　映った
A                  F#m
冬のオペラグラスで　胸の奥をのぞけば
D      E7     B7      E7    A
いつもよりも　素直な私がいた
```



いたいけで無垢な感じが、いいんですよね。

歌が幼い感じも逆にいい。僕は熱狂的に聴いてましたね。

マキスジトーク

スージー：私が好きなのはこのイントロですね。E→A→B7。もう魔法のコード進行。ザ・ロネッツの「ビー・マイ・ベイビー」とかも彷彿させる天下のポップス・コード進行なわけです。その上に乗る"ター、ターラーラーラーラー"というメロディはビーチ・ボーイズ「ファン・ファン・ファン」のエンディングのメロディですね。これは一部の好き者――おそらく（作曲の）佐藤準と、そのまわりのポップス人脈が確立したいろんな方程式やイディオムを駆使しながら作り上げたものでしょうね。他にも福永恵規の「風のInvitation」とか「じゃあね」（おニャン子クラブ）とか。80年代後半というのは、松田聖子にしても、ポップス自体がやや難解になってきた時期で、そんな中、おニャン子クラブでポップスの復権みたいなものが起こったんじゃないかと思うんですね。そのトップ・オブ・トップがこの「冬のオペラグラス」。個人的には歌唱力だけゴメンナサイですけど（笑）、それ以外はすべて素晴らしいと思うんです。

マキタ：歌が始まった時のズッコケ感も含めたうえで、そこに着飾ってる音楽的なものとのギャップとかも"可愛らしい"に転じるっていう。それだけ我々はある種、ポップスに対する目線が肥え始めてたと思うんですよ。

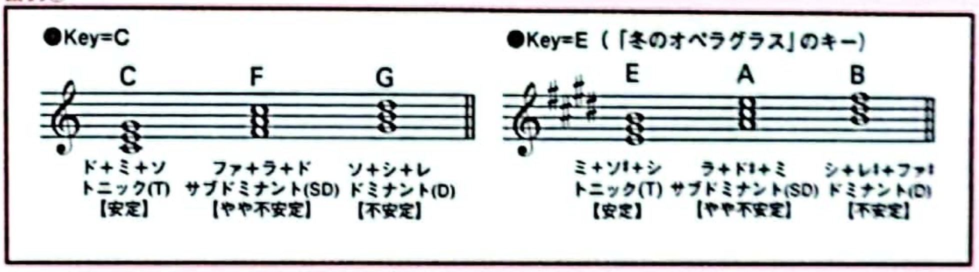
スージー：ちょっと歌が幼い感じとかも、逆にいいんじゃないかと。僕は熱狂してこれを聴いてましたね。

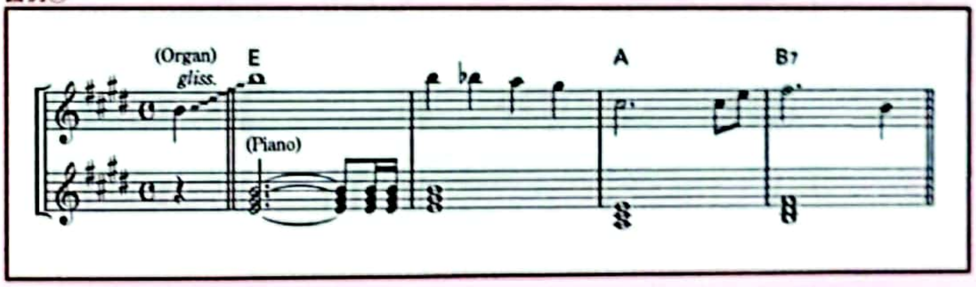
マキタ：いたいけで無垢な感じが、すごくいいんですよね。それだけ安定した世の中だったということですかね。だからこそこういう曲も享受できたわけですね。

ポイント 主要三和音はコード進行の屋台骨

曲のド、ファ、ソから積み上げられたコードは主要三和音、もしくは3コードと呼ばれる（譜例①）。トニック、サブドミナント、ドミナントというコード群の代表でもあり、コード進行の基本軸ともなっている。主要三和音によるコード進行はシンプルなだけに素朴な雰囲気になりがちで、とかく"単純"というレッテルを貼られがちだが、その親しみやすさこそが大きな魅力。「冬のオペラグラス」のイントロもその一例だろう（譜例②）。

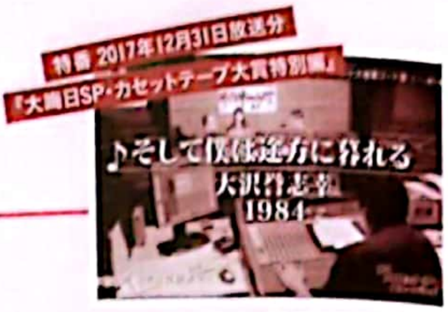
譜例①



譜例②

CamScannerでスキャン

カノン I→V→VIm→IIIm→IV→I→IV→V

そして僕は途方に暮れる



大澤誉志幸 1984年

作詞：銀色夏生　作曲：大沢誉志幸　編曲：大村雅朗

楽曲メモ　「そして僕は途方に暮れる」は3rdアルバム『CONFUSION』からのシングルカットとして、1984年9月21日に発売された大沢誉志幸のヒット曲。作詞は女性詩人で随筆家、写真家、作詞家の銀色夏生。もともとは他アーティストへの提供曲だったが、結局、自分が歌うことになったのだという。ニューウェイブ・サウンド色の強いミディアム・ナンバー。

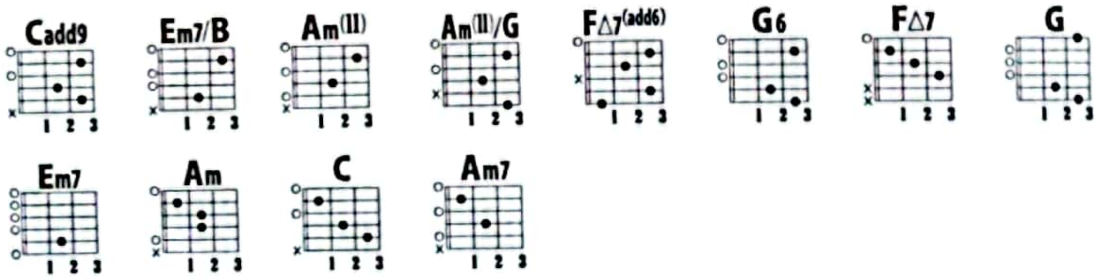
Cadd9　Em7/B　Am(11)　Am(11)/G　F△7(add6)　G6　Cadd9
見慣れない服を着た　君が　今　出ていった

Cadd9　Em7/B　Am(11)　Am(11)/G　F△7(add6)　G6　Cadd9
髪　形を整え　テーブルの上も　そのままに

F△7　G　Em7　Am
ひとつのこらず君を　悲しませないものを

F△7　G　C　Am7
君の世界のすべてに　すればいい

F△7　G　Cadd9
そして僕は　途方に暮れる



CamScannerでスキャン

安心・安定のカノン進行にテンションを加えているのがポイントです。

この曲と「My Revolution」は2大"80年代・大村雅朗ワークス"ですよね。

マキスジトーク

マキタ：この曲のイントロは、ほぼ大循環コードでできています。カノン進行なんて言ったりもしますけど(譜例①)、僕も一時期"カノンの法則"というネタをやっていたぐらい、洋の東西を問わず、このコード進行を使った曲は多いんです。「そして僕は途方に暮れる」もイントロからAメロのところとかは、ほぼカノン進行ですね。カノンというのは、要するにベース・ラインで"ドシラソファミレソド"みたいなメロディをくり返すことで、それによってそこに"安心・安全・安定"感が生まれて、心地よい気分になれるんです。でも、この曲はそうしたコード進行を使いながらも、クセのあるテンション・コードを使っているんですよ。

スージー：イントロからレが鳴りますよ。ナインスが鳴りますね。

マキタ：そのナインスが入ることで、若干の緊張感が生まれているんですよね。安心・安全の中に、こうした音を加えることによって、曲に透明度が出るんです。家庭のお父さんで例えるなら、必ず定時に出社して、定時に帰ってきて、寄り道もせず、家でごはんを食べて、週に一度は妻を抱き……。

スージー：そこは必要ですかね(笑)?

マキタ：いやいや、重要なことですから。そうした素晴らしいお父さんなんですけど、"絶対に入っちゃいけない部屋を1個だけ持ってる"みたいな。

スージー：部屋がありましたか!

マキタ：その部屋に入る時だけ、ものすごく警戒してるんです。テンションというのは、どこかそうした謎めいた感じを作り出してくれるところがあるんですよね。

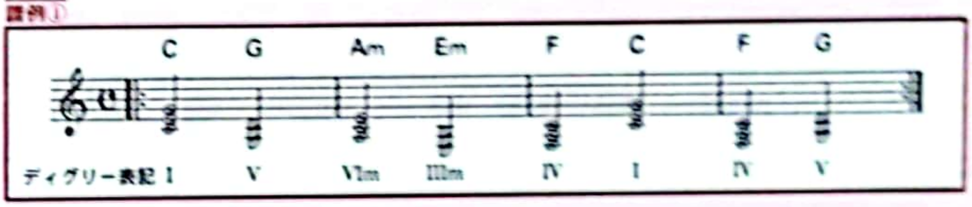
スージー：この曲と渡辺美里「My Revolution」は2大"80年代・大村雅朗ワークス"ですよね。

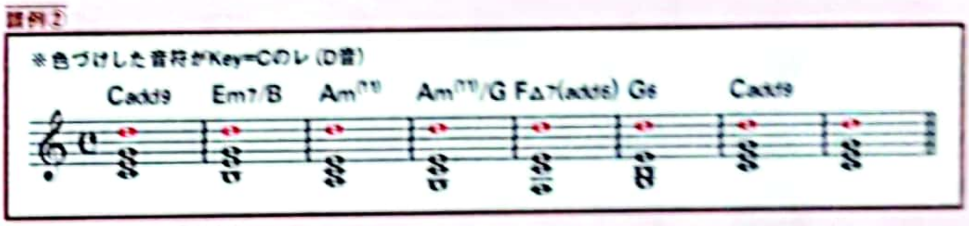
マキタ：ここにナインスを入れようとかしたのは、僕は大村雅朗さんだと思っているんですけど、凡庸なものに終わってしまいがちなタイプの曲も、そうした粋な味付けをすることで、普通の曲ならざるものにしているっていうことですね。

ポイント カノン進行を下敷きに、テンションで透明感を付加

カノンとは複数の声部が同じ旋律をくり返していく輪唱的な様式のこと。しかし、一般にカノン進行と言うと、バロック時代の作曲家、ヨハン・パッヘルベルが作曲した「パッヘルベルのカノン」のコード進行を指す(譜例①)。譜例②は「そして僕は途方に暮れる」のイントロとAメロのコード進行。そのカノン進行を下敷きに、テンションの(曲のキーから見た)レの音を強調したメロディを乗せながら、透明感のある音像に仕立てている。

譜例①



譜例②

CamScannerでスキャン

VIm-IV-V-I ドラマティック・マイナー進行

Runner

爆風スランプ 1988年

作詞：サンプラザ中野　作曲：New ファンキー末吉

楽曲メモ 「Runner」は1988年10月21日に発売された爆風スランプの12枚目のシングル。"走る走る俺たち～♪"というサビが特に有名で、応援歌としても大定番。とある陸上部を舞台に青春の1ページを切り取ったような歌詞になっているが、実際はこのシングルを最後にバンドを抜けることになったベーシスト、江川ほーじんの姿になぞらえて作られている。

D♯m　B　C♯
雨を避けた　ロッカールームで

D♯m　B　C♯
君はすこし　うつむいて

D♯m　B　C♯　D♯m　B　C♯
もう戻れはしないだろうと　いったね

D♯m　B　C♯　D♯m　B　C♯
瞳の中　風を宿した　悲しいほど　誠実な

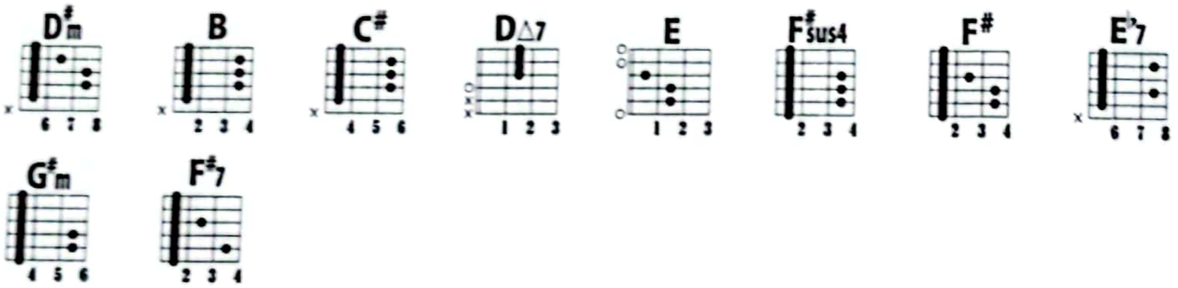
D♯m　B　C♯　D♯m　B　C♯
君に何を　いえばよかったのだろう

D△7　E　D△7　E
かげりのない少年の　季節はすぎさってく

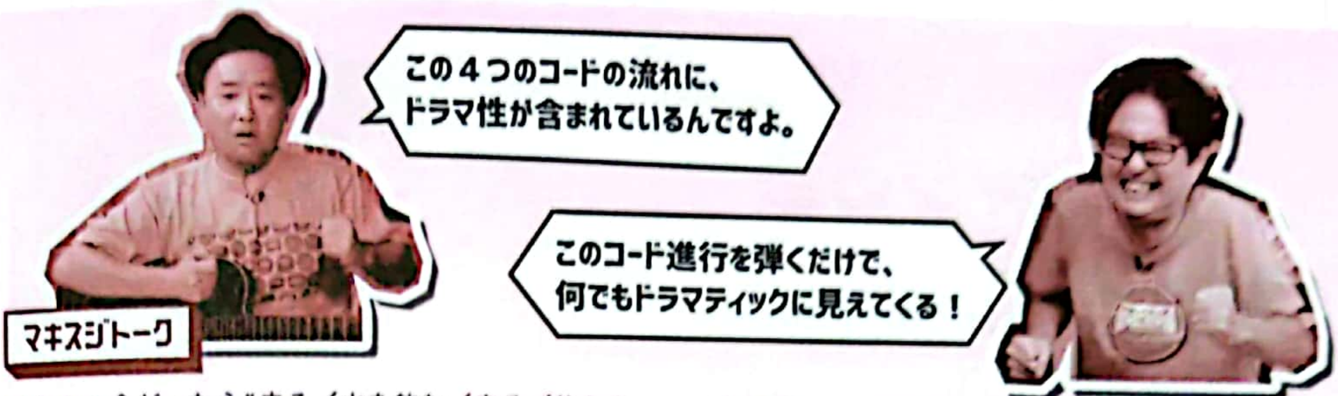
D△7　E　F♯sus4　F♯　D♯7
風はいつも　強く吹いてる

G♯m　E　F♯7　B　G♯m　E　F♯7　B
走る走る　俺たち　流れる汗もそのままに

G♯m　E　F♯7　B　G♯m　E　F♯7　B
いつかたどり着いたら　君にうちあけられるだろ



CamScannerでスキャン



マキタ：今だったら"走る／水を飲む／走る／俺たち／水分補給〜♪"っていう歌詞にしないといけない感じになってきてますね（笑）。

スージー：価値観が大きく変わりましたよね。1988年の曲ですから、もう30年前ですよ。当時は運動する時に水は飲んではいけなかったんですから。

マキタ：信じられないですよね？（笑）で、この曲のサビには"走る走る俺たち／流れる汗もそのままに〜♪"ってあるんですけど、ここには僕もスージーさんも大好きなドラマティック・マイナー進行というコード進行が使われているんです。とにかくこのコード進行を弾くだけで、ドラマティックさがすごいんですよ。このコード進行を弾くと、「水？ いらねぇよ」みたいな気持ちになりがちなんですけど、全国のランナーのみなさん！ 水は飲んでくださいね！（笑）

スージー：このコード進行を弾くと、いろんなものがドラマティックに見えてくるんですよね。例えば、私がスローモーションで走るマネをしてみましょうか（その動きに合わせて、マキタスポーツがギターでドラマティック・マイナー進行を弾く）。

松尾アナウンサー：すごい！ 本当にドラマのワンシーンに見えます。

マキタ：キーがCだとAmという暗くて悲しいコードから始まって、そのあとにFに行ってちょっと明るめになって、そしてGに行くんですけど、そこでは終われないんです。次のCに行って、やっと着地する感じがあるんです。Amの暗い響きには挫折とか失敗という雰囲気があるんですけど、そこから始まって、「立ち上がってさ（F）、前を向いてさ（G）、歩いていくんだよ（C）」みたいな。このコード進行には、そういうドラマ性が含まれているんですよ。

ポイント　辛い時はこのコード進行で乗り越えよう!

このドラマティック・マイナー進行を分析するために、トニックをローマ数字のIとするディグリー表記にしてみるとVIm-IV-V-Iとなる。VImはIの代理和音なので、このコード進行は3コード進行IV-V-Iの冒頭に、トニックの代理和音にあたるマイナー・コードを置いたものであることがわかる（譜例）。このようにすることで、冒頭で一旦気落ちした空気を作り出し、その後のトニックへ向かう上昇感を高めた流れになっているのだ。

ドラマティック・マイナー進行

VIm	IV	V	I
トニック（代理） 挫折しても	サブドミナント 立ち上がって	ドミナント 前を向いて	トニック 歩いて行こう！

Key=Cの主要三和音（3コード）（IV・V・I）

※ローマ数字の読み方：1(I)、2(II)、3(III)、4(IV)、5(V)、6(VI)、7(VII)

CamScannerでスキャン

bVI-bVII-I ビクトリー・コード（ガッチャマン）進行

ガッチャマンの歌

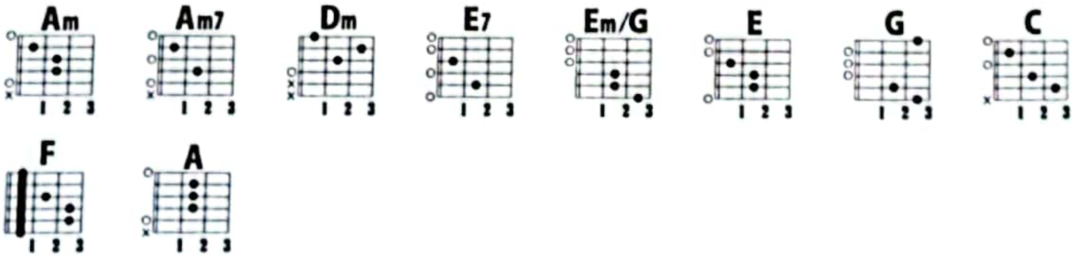
子門真人 1972年

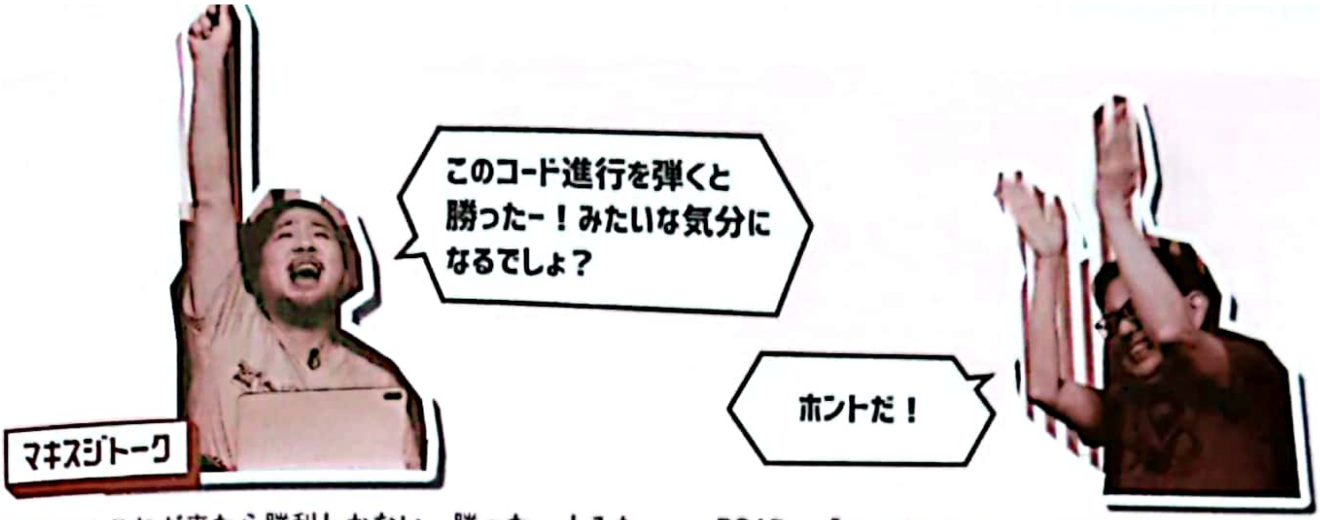
作詞：竜の子プロダクション文芸部　作曲：小林亜星　編曲：ボブ佐久間

楽曲メモ　「ガッチャマンの歌」は1972年10月から74年9月まで放映されたTVアニメ「科学忍者隊ガッチャマン」の主題歌。歌は「およげ!たいやきくん」でも有名な子門真人。番組のオープニングにふさわしい勇壮な曲だが、意外なことに第22話まではエンディング曲だった。しかし、その力強い曲調からか、第23話からはオープニング曲へと変更された。

オリジナル・キー＝Cm　3カポ

```
Am              Am7
誰だ　誰だ　誰だ
Dm              E7
空のかなたに　踊る影
Am          Em/G          Am
白い翼の　ガッチャマン
Dm              E
命をかけて　飛び出せば
Dm          E7
科学忍法　火の鳥だ
Am                      G           Am
飛べ　飛べ　飛べ　ガッチャマン
                        G           Am
行け　行け　行け　ガッチャマン
C           Am          C           Am
地球は一つ　地球は一つ
F           G                   A           E7
おお　ガッチャマン　ガッチャマン
```





マキタ：これが来たら勝利しかない、勝ったー！みたいな気分になるコード進行があって、それを僕はビクトリー・コードと呼んでるんです。ビクトリーというのは英語で勝利という意味ですけど、これぞビクトリー・コードということで、こちらの曲を聴いていただきましょう！

マキタ："おお〜ガッチャマ〜ン〜ガッチャマ〜ン♪" はい！　ビクトリー！

スージー：ホントだ！

マキタ：でしょ？　他にも『宇宙戦艦ヤマト』とかゲーム『スーパーマリオブラザーズ』の面クリアの時の音楽なんかもそう。とにかく勝利感が強いんですけども、これを多用しているアーティストもいて、Mr.Childrenなんかはその代表ですね。「CROSS ROAD」、「everybody goes －秩序のない現代にドロップキック－」、「終わりなき旅」なんかにもあるんですよ。それでこのコード進行で遊びながら、いろいろと考えてみたんですけど、「ドナドナ」っていう曲があるでしょ？　最後の"揺〜れ〜る〜"の部分とか、童謡の「赤い靴」なんかも"赤い靴はいてた女の子〜、異人さんにつれられて行っちゃった〜♪"の"行っちゃった〜"のところとかをビクトリー・コードにすると、暗い曲なのに、急に元気になっちゃう感じになるんですよ。

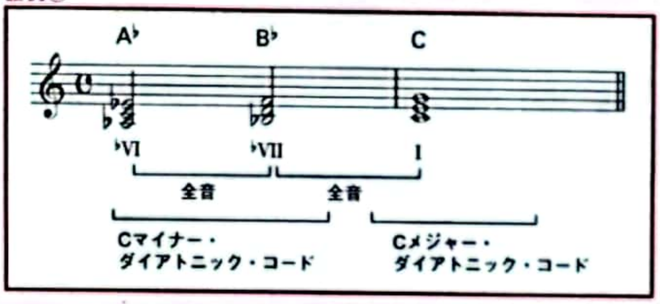
スージー：これは何でもできるのかな？

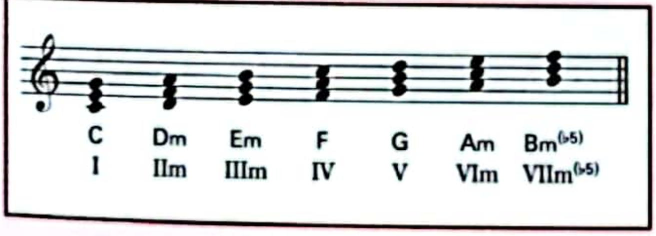
マキタ：何でもできるんじゃないですか？

スージー：さだまさしとかでやってみたいですね(笑)。

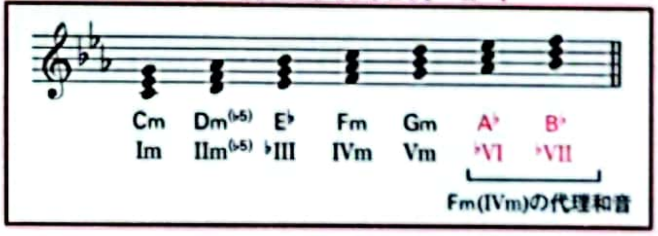
ポイント　「関白宣言」で使えば、勝利宣言に!?

ビクトリー・コード（ガッチャマン）進行は、Iのトニック・コードに向かって全音→全音と上がっていくコード進行として番組では紹介されている。ディグリー表記にすると♭VI-♭VII-I（譜例①）となる。実はこの♭VIと♭VIIは、同主（短）調のIVmの代理和音にあたるコード（譜例②,③）。マイナーのかげりのある世界観から、最後のトニックでメジャーの世界観に移行することで、パッと霧が晴れたような高揚感を生み出しているのだ。

譜例①

譜例② Cメジャー・ダイアトニック・コード



譜例③ C（ナチュラル）マイナー・ダイアトニック・コード



※ディグリー（ローマ数字）に臨時記号を付ける時は、数字の左側に付けるのが通例。

CamScannerでスキャン

IV-V-IIIm-VIm 未練進行(後ろ髪進行)

シーズン・イン・ザ・サン

TUBE 1986年

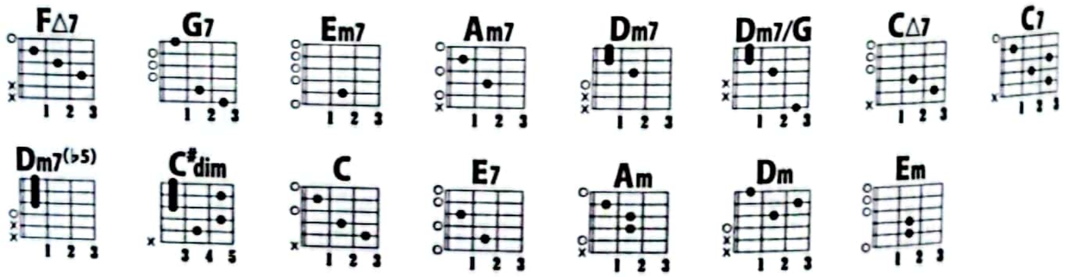
作詞：亜蘭知子　作曲・編曲：織田哲郎

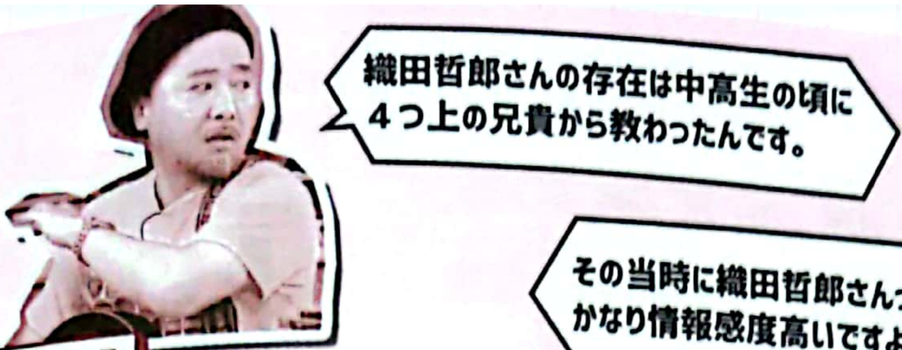
楽曲メモ

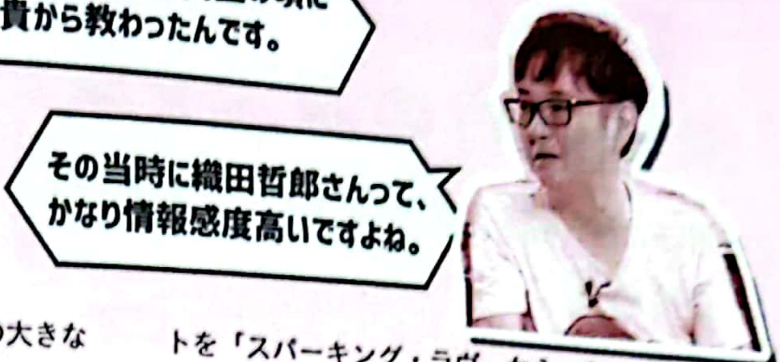
「シーズン・イン・ザ・サン」は1986年4月21日に発売されたTUBEの3枚目のシングル。旧バンド名のThe TUBEからTUBEに改名したあとの第1弾シングルで、作家陣を入れ変えた第1弾でもある。ビールのCMソングにも起用され大ヒットを記録。本作のヒット以降、作詞に亜蘭知子、作曲に織田哲郎というコンビがしばらく続くことになる。

オリジナル・キー＝D　2カポ

```
     F△7            G7        Em7         Am7
Stop the season in the sun  心潤してくれ
     Dm7          Dm7/G         C△7  C7
いつまでも　このままで　いたいのさ
     F△7                       G7          Em7    Am7
Stop the season. You're my dream　過ぎないで南風
     Dm7         Dm7(♭5)  C△7
やるせない想い　feel so blue
 Dm7          Dm7/G          C△7   Am7
陽射しのシャワー　グラス片手に
         Dm7        Dm7/G          C△7  C♯dim
デッキチェアーまどろむ　afternoon
  F△7           C            E7          Am
瞳閉じれば　so lonely　夢が醒めそうで
   Dm          Em          F△7          Dm7/G
プールサイド　光る君に　くぎづけなのさ
     F△7            G7          Em7          Am7
Stop the season in the sun　夏よ　逃げないでくれ
    Dm7            Dm7/G        C△7  C7
もう少し　このままで　いたいのさ
     F△7                       G7          Em7          Am7
Stop the season. You're my dream　時計など気にせずに
     Dm7          Dm7(♭5)  C△7   C7
抱きしめあえたら　feel so nice
```







マキスジトーク

マキタ：僕の人生を振り返ってみると、最初の大きな革命が起きたのが1983年なんですね。倉庫になっていた槙田家の３階に自分の部屋が与えられて、やっと自分のやりたいことが自由にできるようになったわけです。その時に４つ上の兄貴の部屋も隣にできたんですけど、それによって、兄貴からいろんな文化を吸収することになったんですよ。と言うのも、兄貴の部屋にはどんどん友達が集まってきて、楽器を持ち寄ってセッション的なことを始めたりもしたからなんですけど、そんな中、聴こえてきたのが織田哲郎さんの「スパーキング・ラヴ」。

スージー：かなり情報感度高いですね。その当時の織田哲郎さんって。

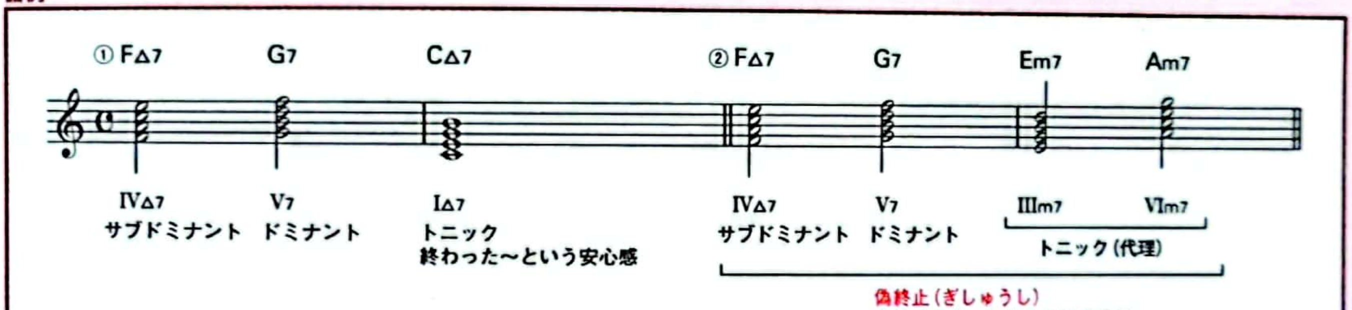
マキタ：その後、TUBEの「シーズン・イン・ザ・サン」を聴いた時に、あれ、歌の人は違うけど、これは織田哲郎じゃん？って思ったんですよ。爽やかな夏感とか、乾いた風がフーッと吹く感じとか。織田哲郎のテイストを「スパーキング・ラヴ」から、なんとなく感じてたんでしょうね。この曲で面白いのは、スージーさんの命名では"後ろ髪進行"ですけど。

スージー：後ろ髪進行を使ってましたか！

マキタ：僕はそれを"未練進行"と呼んでいたんですよ。なぜかと言うと、曲というのはキーがCであれば、Cから始まってCに帰ってくると、安心するわけですけど、この曲はなかなかCに帰ってこないんです。そこから"未練感"と言ってみたと。この曲が持つ不思議な手触りの実態は、そうした仕掛けで日本人の心を掴みながらも、アメリカの乾いた風みたいなものを吹かせたものだったわけですけど、そんないい感じのアレンジを施したのが織田哲郎。俺の大好きだったお兄ちゃんが教えてくれた、あの織田哲郎のアレンジだったんだ！と、わかった時の感動がわかりますか？ みなさん！

ポイント　落ち着くところで落ち着かないモヤモヤ感

サビの"Stop the season 〜♪"のF△7-G7-Em7-Am7をディグリーで表記してみると、Ⅳ-Ⅴ-Ⅲm-Ⅵmとなる。コード進行はドミナントからトニックに向かうことで安定感が生まれるわけだが、そこでトニック以外のコード（トニックの代理和音が多い）に進行することを偽終止（ぎしゅうし）と呼ぶ（譜例）。その独特なモヤモヤ感をマキタは未練感と表現しているが、曲の終盤などで、エンディングを引き延ばすような時にもよく用いられる。

譜例

※譜例のキーはC。「シーズン・イン・ザ・サン」のオリジナル・キーはD。

IV-V-IIIm-VIm 未練進行(後ろ髪進行)

未練進行の源流を求めて

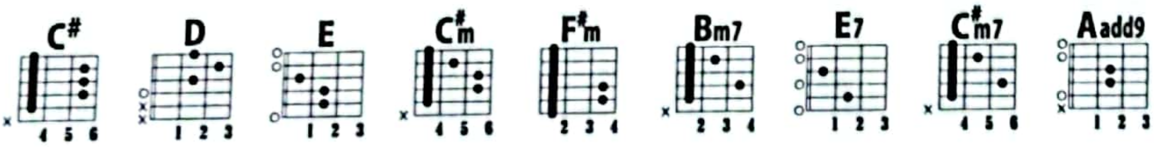
第67回 2020年7月5日放送
『ふたりの夏物語』

「世界でいちばん熱い夏」プリンセス プリンセス 1987年
「あの時君は若かった」ザ・スパイダース 1968年
「サマー・ガール」ザ・スパイダース 1966年

マキスジトーク

スージー：今回は"世界でいちばん古い夏"というテーマで行ってみたいんですが、マキタさん命名の未練コード進行。フランソワ・デュボワという外国人の方が作曲の技法について書いた『作曲の科学』(講談社ブルーバックス)という本があるんですけれども、こちらの204ページに、未練コード進行とは書いていませんが、"日本で人気の王道コード"と紹介されているんです。さらにその一例としてプリンセス プリンセスの「世界でいちばん熱い夏」が取り上げられているんですよ。普通ならこうなんですよね(譜例①)。でも、こうすると切ない(譜例②)。
マキタ：そう。C#mのところなんですよ。そこのマイナー感が何とも言えずいいんですよ。さらにマイナー・コードに行く。
スージー：日本人はその切ない感じが好きなんじゃないかと思うんですが、こうなってくると源流を探りたくてしょうがない。
マキタ："源流おじさん"ですからね。
スージー：まだ研究の途中なんですけど、未練進行&メジャー・セブンスを使ったわりと最初期の曲としてはこの曲。1968年3月発売のザ・スパイダース「あの時君は若かった」。厳密に言うと、未練コード進行よりも、ちょっとオシャレなんですよ(譜例③)。
マキタ：そこのメジャー・セブンスね。
スージー：もちろん作曲は、かまやつひろし。ただ、その2年前にこういう曲があるんです。「サマー・ガール」(曲を流す)。あっ！　奇しくも夏じゃないですか。これが現在の暫定結論。おそらくこれが日本初の未練進行であり、日本初のメジャー・セブンスを使った日本人自作のポップスだと思います。「世界でいちばん熱い夏」の起源である"世界でいちばん古い夏"は、66年の「サマー・ガール」でした！

C#　D　E　C#m
One and only darling　駆けぬけるゼブラのストライプ
F#m　D　E　C#m　F#m
Fly with me darling　舞い上がる砂の　嵐
Bm7　E7　C#m7　F#m　Bm7　E　Aadd9
世界でいちばん熱くひかる夏　もうこのトキメキ止めないで



――「世界でいちばん熱い夏」プリンセス プリンセス
作詞：富田京子　作曲：奥居香　編曲：プリンセス プリンセス、笹路正徳

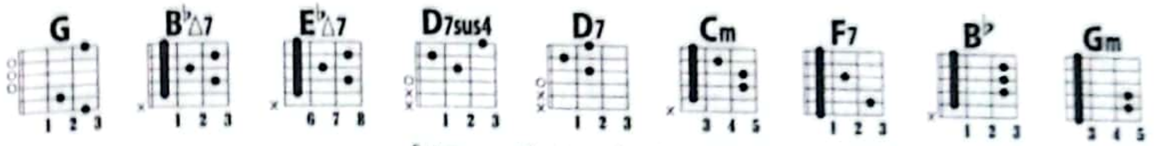
CamScannerでスキャン

G　　　　　　　　B♭△7　　　　　　E♭△7　　　　　　　D7sus4　D7
（サマー・ガール　サマー・ガール）（サマー・ガール　サマー・ガール）

Cm　　F7　B♭　　Gm
なつの太陽　いっぱいあびて

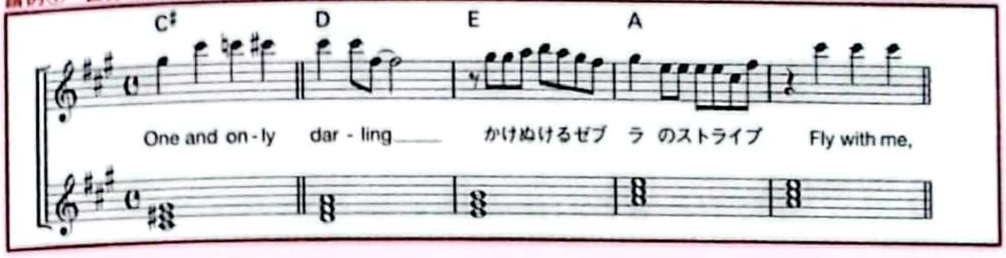
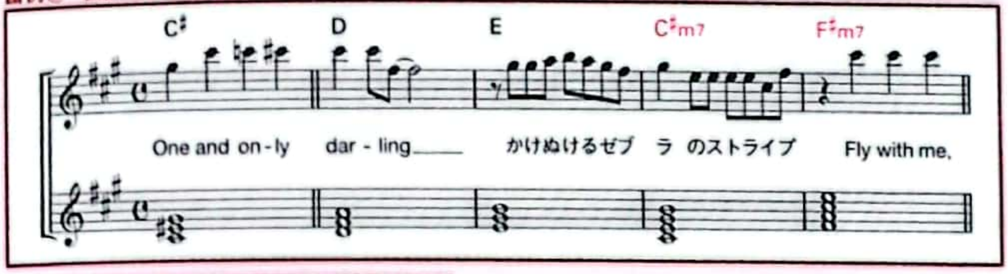
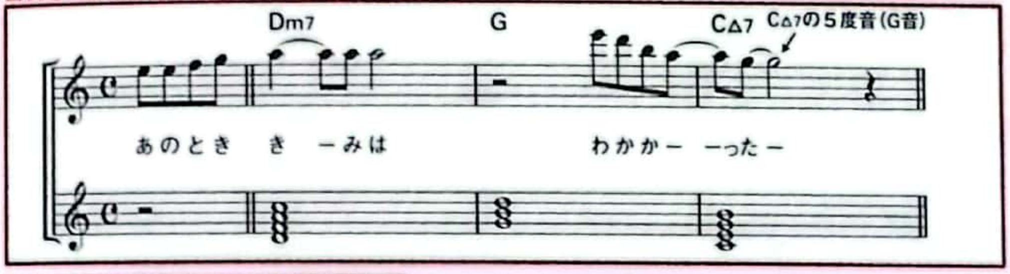
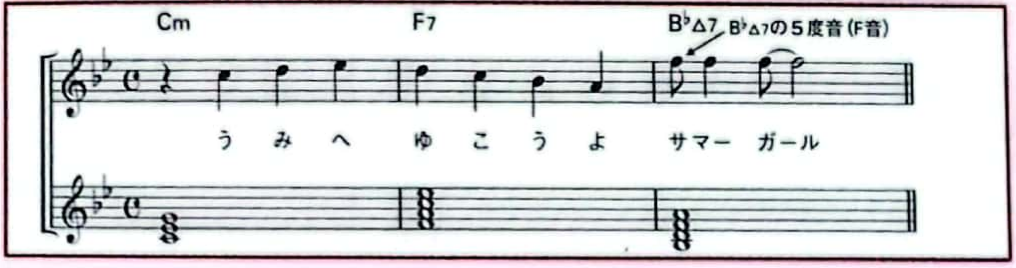
Cm　　F7　　　B♭△7　　　　　D7sus4　　D7
海へゆこうよ　サマー・ガール（サマー・ガール）

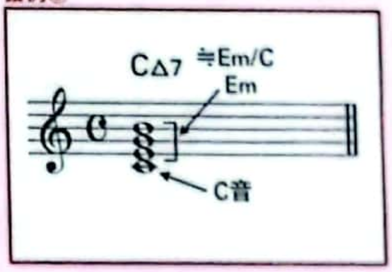
Cm　　F7　　B♭△7　Gm　　Cm　　F7　B♭
青いビーチで　人魚のような　甘い恋の　ゆめ



――「サマー・ガール」ザ・スパイダース　作詞：ささきひろと　作曲：かまやつひろし

ポイント　メジャー・セブンスは未練進行の源流?

譜例①「世界でいちばん熱い夏」プリンセス プリンセス

譜例②「世界でいちばん熱い夏」プリンセス プリンセス

譜例③「あの時君は若かった」ザ・スパイダース

譜例④「サマー・ガール」ザ・スパイダース

譜例⑤



ドミナント（V）からトニック（I）に落ち着く際、Iがドミソのような基本形で、なおかつメロディがルート音に当たっていると、終止感が強いため、完全終止と呼ばれる。しかし、Iが転回形になっていたり、メロディがルート音以外だと終止感が弱いため、不完全終止と呼ばれる。譜例④「サマー・ガール」のC△7はトニックだが、メロディが5度音の不完全終止の形。C△7はEm/Cともとらえられるので（譜例⑤）、ある意味、不完全終止は未練進行（偽終止）の源流と言えるかもしれない。

CamScannerでスキャン

I-Vm センス・オブ・ワンダー進行

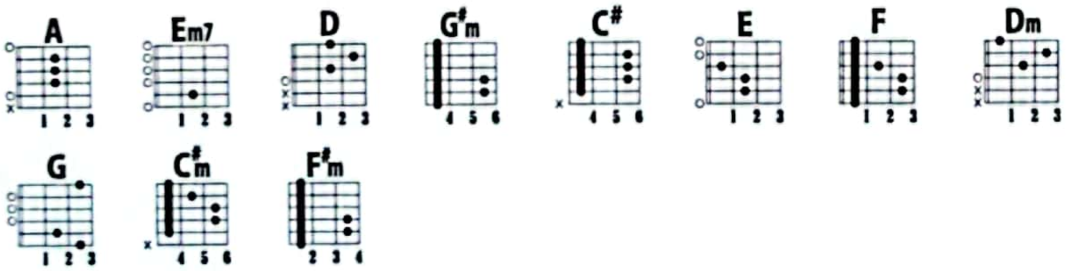
車も電話もないけれど

ユニコーン 1991年

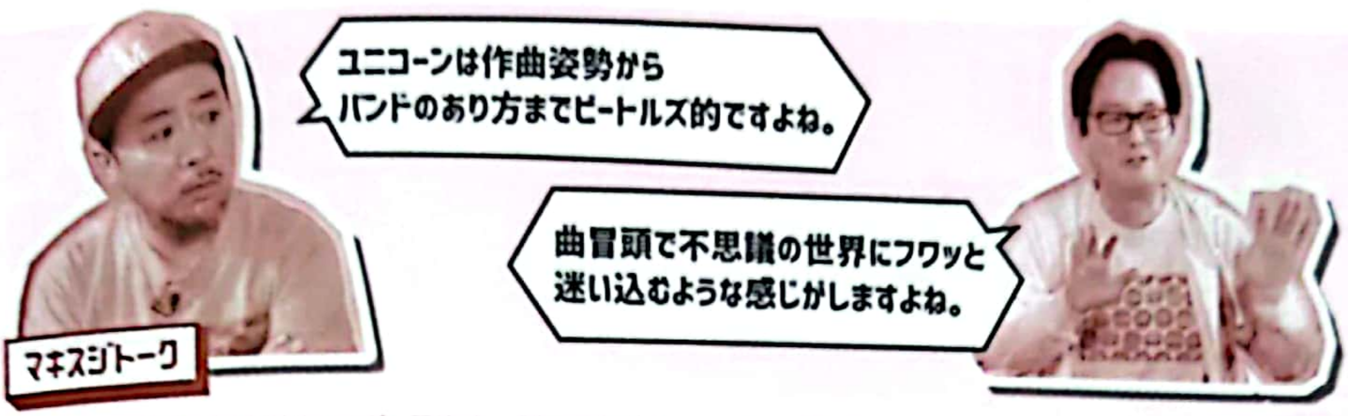
作詞・作曲：奥田民生　編曲：ユニコーン

楽曲メモ　「車も電話もないけれど」は1991年9月30日に発売されたユニコーンの7thアルバム「ヒゲとボイン」の収録曲。日本に嫁いできた外国人女性をテーマにしたラブソングで、シンプルかつ力強いビートが印象的なナンバー。なお本作には、仕事で来日した外国人男性をモチーフにした「ニッポンへ行くの巻」という、この曲と対になるような曲が収録されている。

A　Em7　D
遠い国から　大きな黒船に　のってきた
A　G#m C#　D　E F　A E
便利なものと　あぶない物　と　僕のお嫁さん
A　Em7　D
一目で僕は　その場に釘づけさ　動けない
A　G#m C#　D　E F A
ひとみの色と　髪の毛の　色　見た事ない色
Dm　E　Dm　E　Dm　E　Dm E
どうすればいいの　船の上の彼女に
Dm E Dm　E　Dm　E　F G　A
僕の思いは　僕らの言葉で伝わるの
C#m F#m　C#m
僕に君の話を　聞かせてくれよ　僕のとなりで　全部教えてくれよ
D　E　A　D　E　A D　A　D
世界のいろんな　人たちのKISSのしかたは　どう違うの
A　C#m
みんなはゴタゴタ　あわてているけれど
F#m　C#m
恐がるお人も　中にはいるけれど
D　E　A　D　E　G#m　C#
僕の彼女は　あそこにいる　長いスカートが　風にゆれた



CamScannerでスキャン



マキスジトーク

スージー：(曲を聴き終わって) 最高！　不思議な世界に踏み込むような"センス・オブ・ワンダー進行"。または"不思議ちゃん進行"と呼んでいるんですけど、"遠い国から／大きな黒船に〜♪"の時に、不思議の世界にフワッと迷い込む感じがしませんか？　そのルーツはきっとこの曲ですね。ビートルズの「ストロベリー・フィールズ・フォーエバー」。出だしの歌メロで、スッと不思議の森に迷い込みますよね。(「ストロベリー・フィールズ・フォーエバー」を流したあと、「車も電話もないけれど」を弾き語る) "遠い国から／大きな黒船に〜♪"

うめ子：ホントだ！

スージー：奥田民生の「息子」の出だしもそう。

マキタ：マイナーに行くところですね。

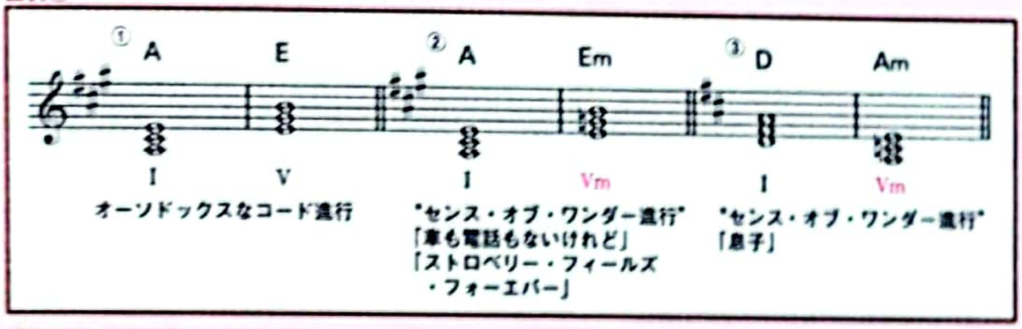
スージー：そうです。「息子」のキーはDで、冒頭にDからAmに行きます。「車も電話もないけれど」はキーがAで、AからEmに行く。この5度上のマイナー・コードに向かう進行が"センス・オブ・ワンダー進行"。ジョン・レノンっぽいコード進行ですよね。ポップス史におけるビートルズの大きな功績のひとつは、コード進行のルールとか束縛から解放されたこと。「ここからこんなコードに行っていいの？　いや、いいんだよ」っていうのがビートルズ。さらにそこから転じて思想的にも「それ、やっちゃダメなんじゃないの？　いや、やっていいんだよ。なぜならば我々はビートルズだもん」っていう束縛から解放された自由な感じ。日本の音楽シーンにおける奥田民生の立ち位置と言いましょうかね。

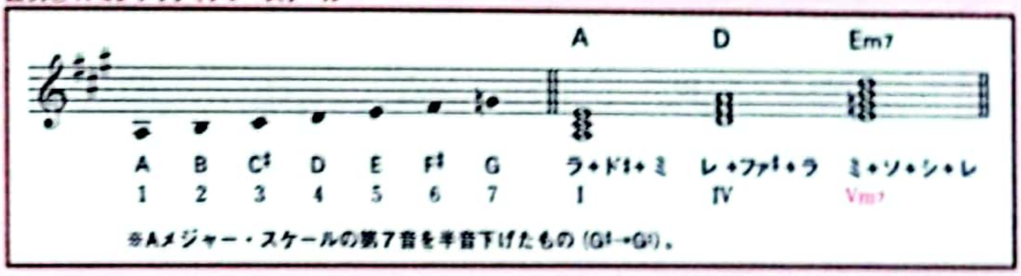
マキタ：才能集団のユニコーンは、それぞれのメンバーが作詞・作曲をして、歌も歌ったり。

スージー：そこもビートリー（ビートルズ的）ですよね。全員がボーカルを取れるっていう。

ポイント　不思議な森に迷い込む独特なコード進行

通常なら"A-E"と行きたいところを、あえて"A-Em"とする"センス・オブ・ワンダー進行"。ビートルズの「ストロベリー・フィールズ・フォーエバー」の冒頭部にも出てくるが、この"I-Vm"の動きは民生節のひとつで、ソロ時代の「息子」にも出てくる（譜例①-③)。調性感の薄いモーダルな響きが特徴で、歌メロ冒頭のA-Em7-Dを、あえて理論解釈するなら、ミクソリディアン・スケール上に現れたコード進行と言えるかもしれない（譜例②)。

譜例①

譜例② Aミクソリディアン・スケール



CamScannerでスキャン

I-VII よっこいしょ進行

東京サリーちゃん

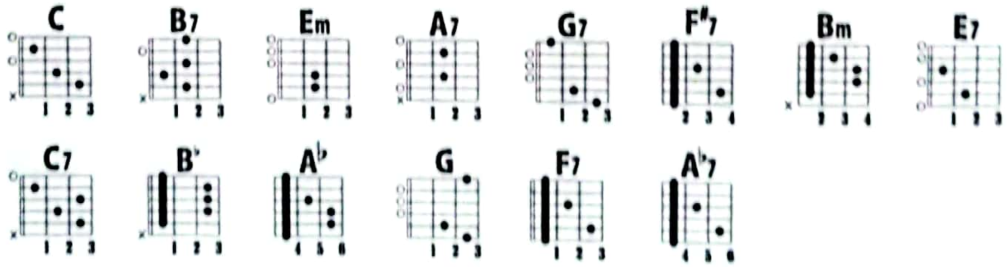
SOUTHERN ALL STARS and ALL STARS 1990年

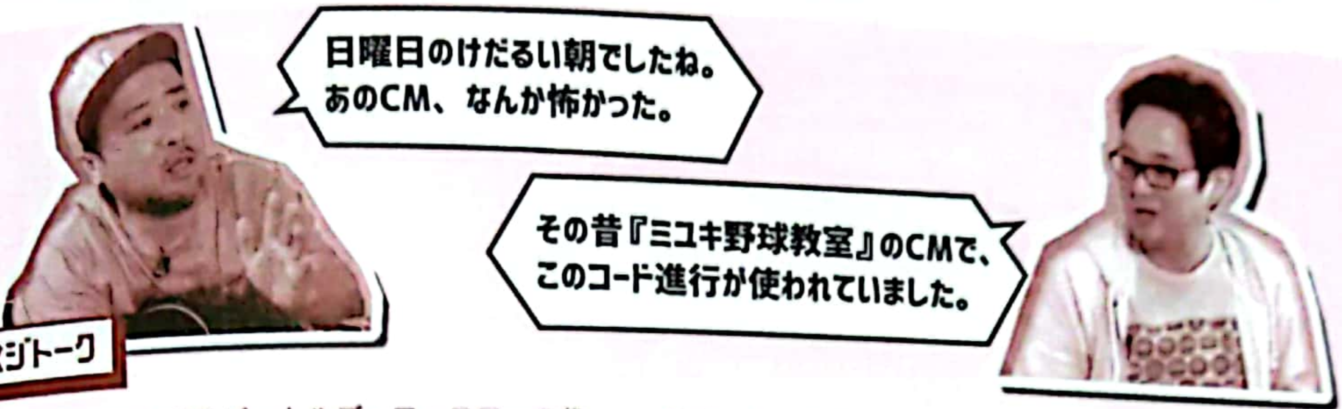
作詞・作曲：桑田佳祐　編曲：桑田佳祐 & 小林武史

第32回 2019年1月13日放送分
「やっぱり、ビートルズ」

楽曲メモ 「東京サリーちゃん」は桑田佳祐が監督した1990年公開の映画「稲村ジェーン」のサウンドトラック（1990年9月1日発売）の収録曲。音楽プロデューサーの小林武史は本作を桑田とともに共同プロデュースし、ほとんどの楽曲を編曲しているが、この曲ではキーボードでも参加している。桑田らしい外国語風日本語が炸裂しているユニークなナンバー。

C　B7
平成の怪人　東京バリー・チャン
Em　A7
有名なテクニック　“梅淋ビードロ・ライト”
G7　F#7　Bm　E7
東洋の　花代　芸能ジャップは　デーモン内藤
C7　B7　Em　G7
黄色い　あくび　君は男装カナリー
C　B7
平成の売人　望郷チャーリー・チェン
Em　A7
新渡来　“五百万円のスパニッシュ・ムーン”
G7　F#7　Bm　E7
胸の　バラ代　ボウリング・シャツの　ジャイアント・マン
C7　B7　Em　G7　C　B7
理由有りな守備　君は雀荘カナリー　夏は静かに　涼は平凡
B♭　C　A♭　G
ESSE-HEIM　O NO REAH,　'BOOZ DAH WE　AH
F7　A♭7
Hippy Yappy Taxi Sexy 60's JAPANESE
D7　D♭7　C
夢の調印　NATO-MUSICAL 9.





マキスジトーク

スージー：日本におけるビートルズ・フォロワーの代表、桑田佳祐による作曲です。"平成の怪人／東京パリー・チャン〜♪"というところだけ聴くと、ちょっと気持ち悪いかもしれませんが、ザ・ビートルズの「アイム・ソー・タイアード」を聴いてみましょう（歌メロ冒頭部）。

マキタ：なるほど〜。同じコード進行ですね。"I'm so tired感"がありますよね。

スージー："I'm so 疲れた、よっこいしょ"というか、いかにも疲れたような歌い方で、コードもCからBに全体に半音下がるという。ある意味センス・オブ・ワンダー進行よりも、ルール違反的なコード進行なわけですけれども、それをジョン・レノンが「OK、OK！」って言いながらやってしまうことで、「まぁ、これもアリか」と徐々に広がっていった一例ですよね。ちょっとこれは50代以上限定になるんですけど、「東京サリーちゃん」が発売されるより前に『ミユキ野球教室』というテレビ番組がありまして、そのCMにこの"よっこいしょ進行"が使われていたんですよ。

マキタ&スージー："みーゆき／ミユキ／みーゆき／ミユキ／服地はミユキ〜♪"

スージー：あれ、マキタさんはOK？

マキタ：僕は知ってますよ。

スージー：日曜の朝、おもに巨人軍の選手が出てくる番組で、スポンサーの御幸（ミユキ）という毛織物、紳士服のメーカーが作っていたCMソング（通称「ミユキの歌」）なんですね。

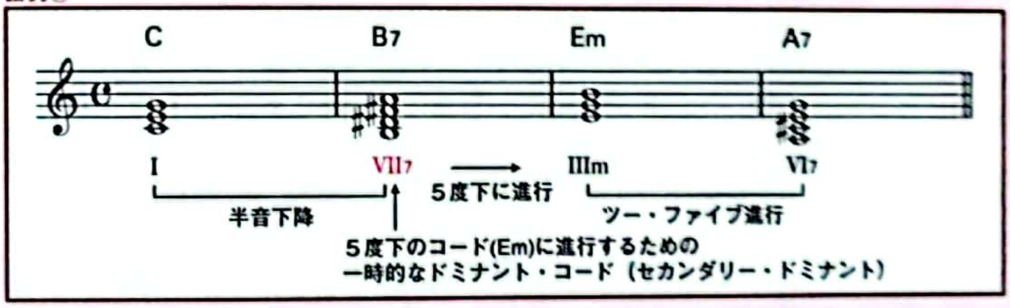
マキタ：日曜日のけだるい朝でしたね。なんか怖かった、あのCM。

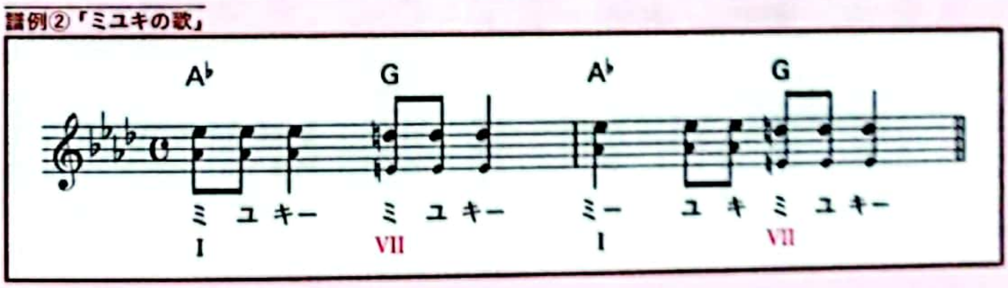
スージー：怖いですよね。僕も子供の頃に、この半音下降のコード進行で泣いてたんですよ。そのたびにうちの母親から「あんたは御幸のCMを聴いたら泣く」って怒られた（笑）。

ポイント　トニックからガクンと半音下がる意表を突く動き

Ⅰのトニックから全体が半音下がる"よっこいしょ進行"。下がった先のⅦの機能は、その後のコード進行によって決まってくる。「東京サリーちゃん」ではB7のあとに5度下のEmへ向かい、Em-A7のツー・ファイブへと流れているため、このB7はEmに向かうつなぎのドミナントとなっている（譜例①）。一方、「ミユキの歌」はⅠからⅦに下がったあと、再びⅠに戻っているため、このⅦはⅠの装飾的な和音と言えるだろう（譜例②）。

譜例①



譜例②「ミユキの歌」

CamScannerでスキャン

I-VII ジョン・レノンのミユキ進行

夏色のナンシー

早見優 1983年

作詞：三浦徳子　作曲：筒美京平　編曲：茂木由多加

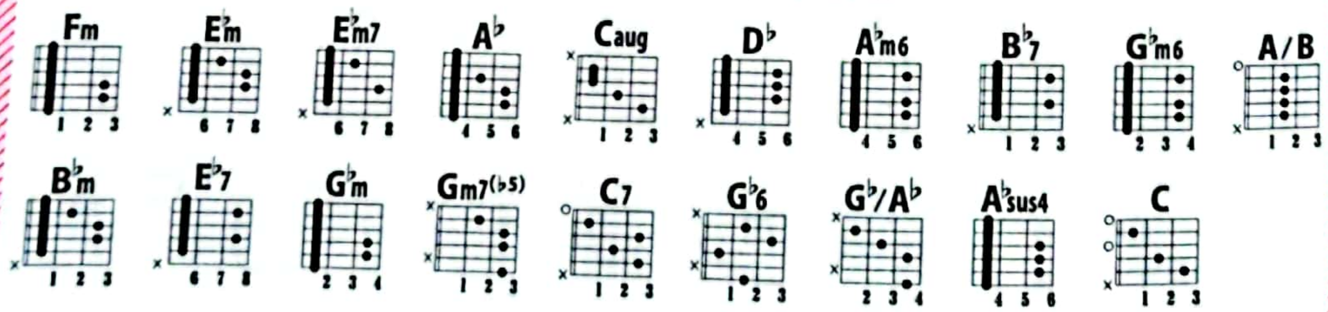
第57回 2020年2月2日放送分

『俺のストーンズ。それでもやっぱり、ビートルズ』

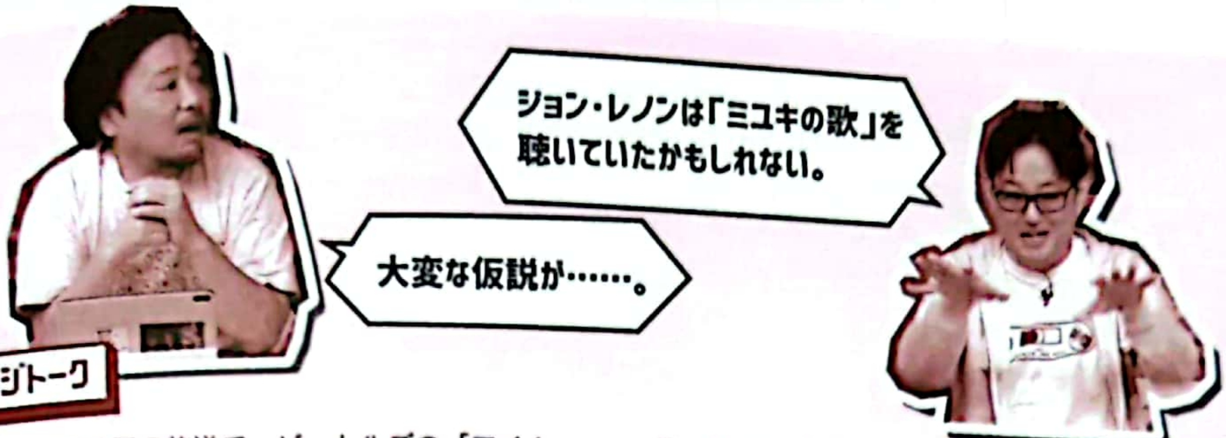
楽曲メモ

「夏色のナンシー」は1983年4月1日にリリースされた早見優の5枚目のシングル。本人出演のCM"コカ・コーラ"のイメージソングで、この曲で初のオリコン週間チャート・トップ10入りを記録。この曲で年末の紅白歌合戦に初出場している。リリース時は16歳。ハワイ育ちの流暢な英語アクセントが印象的な爽やかで元気いっぱいのナンバー。

```
   Fm              E♭m                E♭m7          A♭
恋かな Yes！  恋じゃない Yes！  愛かな Yes！ 愛じゃない
Caug D♭      Fm      A♭m6    B♭7  E♭m   A♭   D♭
風  が吹くたび気分も揺れる  そんな年頃ね
D♭                       G♭m6                 A/B
You & me splashing along the beach Summer time
D♭                   G♭m6                 A/B
Only two of us along the beach Summer time
B♭m                 E♭7      G♭m                  Fm
プールサイドで瞳を閉じる  そんな私をあなた気にしてる
    E♭m      A♭     Fm     B♭m
あなたの後をついてくだけの
  Gm7(♭5) C7    Fm C7 Fm   G♭6 G♭/A♭
女の子  からは卒業したみた い
               D♭        B♭m
If you love me   夏色の恋人
               E♭m       G♭m6          A♭sus4
If you love me   夏色のナンシー（ナンシー）
D♭ C        D♭  C     D♭  C    D♭  C
去 年とは  くちびるが  違ってる
   Fm              E♭m                E♭m7          A♭
恋かな Yes！  恋じゃない Yes！  愛かな Yes！ 愛じゃない
Caug D♭      Fm      A♭m6    B♭7  E♭m   A♭   D♭
風  が吹くたび気分も揺れる  そんな年頃ね
```



CamScannerでスキャン



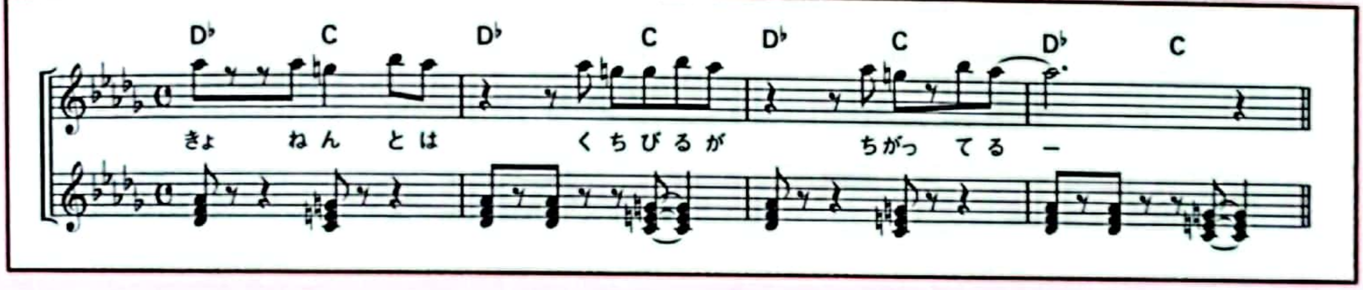
マキスジトーク

スージー：第32回の放送で、ビートルズの「アイム・ソー・タイアード」が「ミユキの歌」に似ているので、「ミユキの歌」はジョン・レノンの影響を受けて作られたのではないかと言いましたが、昨年（2019年）7月9日に御幸毛織の公式ツイッターからツイートがありました。【弊社の『ミユキ野球教室』は、昭和32年3月17日の初回放送から『ミユキの歌』（作曲：山本直純）を使っていたはずです】つまり、ビートルズを聴いて「ミユキの歌」が作られたと思っていたら実は逆で、「ミユキの歌」を聴いてジョン・レノンが曲を作ったかもしれない。

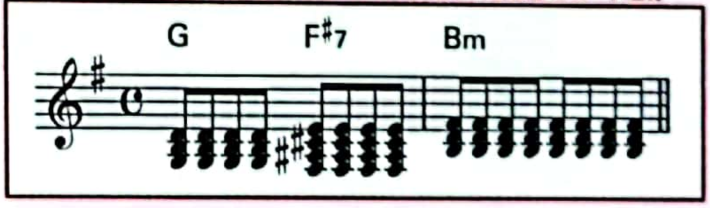
マキタ：大変な仮説が……。

スージー：可能性があるんです！　ビートルズは1966年に来日しております。スケジュールも調べてみました。番組は日曜日の朝9時半から10時にやっていたんですが、ビートルズは66年7月3日の日曜日、朝9時40分にヒルトンホテルをチェックアウトしているんです。ということは、「もう出なアカンな～」という時に、テレビをつけたら「ミユキの歌」が流れていて、「アイム・ソー・タイアード」に至ったかもしれない……。ということで、この番組的には「ミユキの歌」があって、ジョン・レノンの「アイム・ソー・タイアード」があったということにしましょう。で、今日言いたい話は、この気持ちの悪いコード進行がだんだんと浸透して、83年にこのアイドルポップスが発表されたということでございます！（「夏色のナンシー」を流す）“恋かなYes！／ミユキかなYes！♪”ね？　昭和32年に山本直純先生が「ミユキの歌」を作り、それをジョン・レノンが日本公演の際にテレビで見た。これだ！と、その2年後に「アイム・ソー・タイアード」を作り、それを聴いた筒美京平が、これだ！と。ミユキ進行の歴史絵巻がここに解けました！

ポイント　ミユキ進行の壮大な歴史絵巻がここに完結(!?)

譜例①

譜例①は「夏色のナンシー」の曲中間部のサビ直前。115ページの「ミユキの歌」と同じように、トニックから半音下降&戻す動きのくり返しになっている。譜例②はスージーがもうひとつ見つけたというビートルズの“ミユキ進行”。「アイム・ソー・タイアード」と同時期に作られた「セクシー・セディー」（1968年）歌メロ冒頭のコード進行で、トニックのGからF#7に半音下降している。本当にビートルズの曲の源流は「ミユキの歌」にあった!?

譜例②「セクシー・セディー」ザ・ビートルズ／歌メロ冒頭部のコード進行



CamScannerでスキャン

王道コード進行

丸の内サディスティック

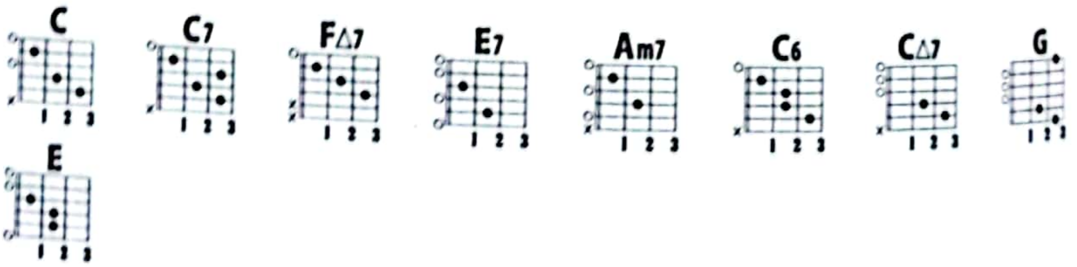
椎名林檎 1999年

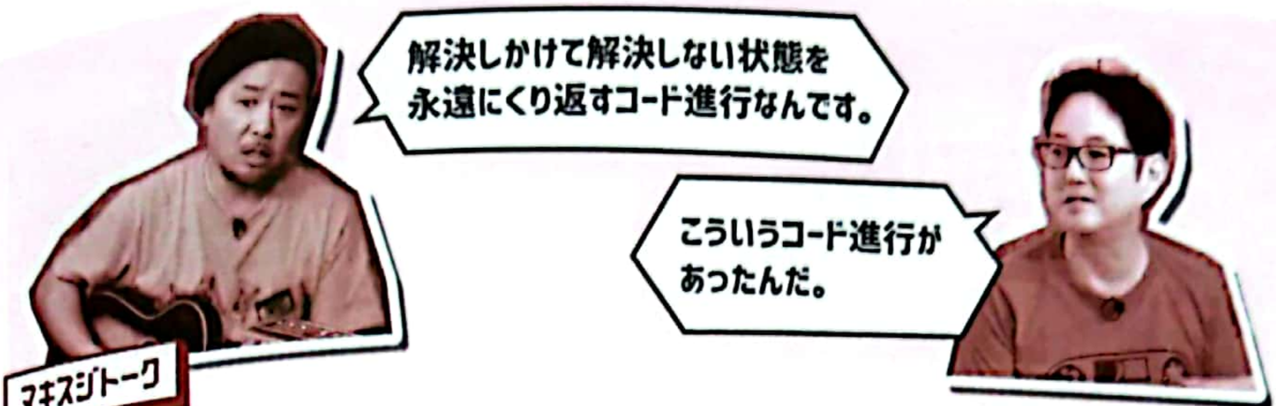
作詞・作曲：椎名林檎

楽曲メモ 「丸の内サディスティック」は1999年2月24日に発売された椎名林檎の1stアルバム「無罪モラトリアム」の曲だが、98年の2ndシングル「歌舞伎町の女王」の弾き語りメドレーで一部が披露されている。デビュー前、椎名がイギリスにホームステイしていた頃に書かれた曲で、当初歌詞は英語だったそうだが、発表にあたって日本語に書き換えられた。

オリジナル・キー＝Cm　3カポ

```
C     C7   F△7      E7   Am7
報酬は入社後　平行線で

C     C7   F△7    E7   Am7
東京は愛せど　何も無い

C6    C△7    F△7 G   C△7
リッケン 620頂戴

C6 C△7 F△7  G         C△7          E
19 万も持って居ない　御茶の水

F△7         E7           Am7    C7
マーシャルの匂いで　飛んじゃって大変さ

F△7      E7      Am7    C7
毎晩絶頂に　達して居るだけ

F△7          E7   Am7          C7
ラット1つを商売道具に　しているさ

    F△7          E7      Am7    C7
そしたらベンジーが　肺に映ってトリップ
```





マキスジトーク

マキタ：今回は僕が"勾玉（まがたま）コード"と呼んでいるコード進行を紹介したいんですけど、この曲の"将来僧に成って結婚して欲しい／毎晩絶頂に達して居るだけ〜♪"のところがそうなんです。

スージー：どこが勾玉？

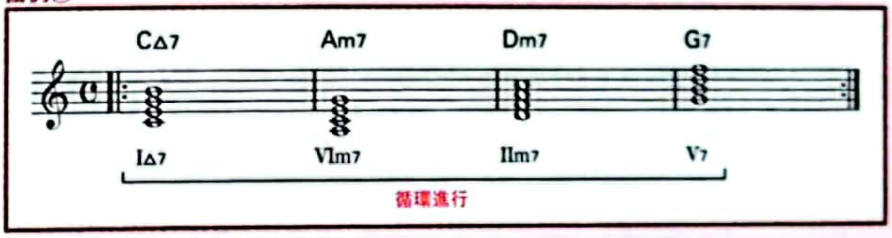
マキタ：音楽業界では"Just the Two of Us進行"とも呼ばれているらしくて、他にもTHE SQUAREの「TAKARAJIMA（宝島）」（1986年）とか、最近だとあいみょんの「愛を伝えたいだとか」にも使われているんですよ。どこが勾玉かと言うと、Fからスタートして E7に来ると、次にAmに行きたくてしょうがなくなるわけです。で、一旦Amに落ち着くんですけど、そのあとすぐにC7に行っちゃうんですね。このように解決しかけて解決しない状態を永遠にくり返してるんですよ（譜例②）。マイナーの解決ポイントであるAmと、メジャーの解決ポイントであるFの間をずっとくり返しているんですけど、明るい調子と暗い調子が陰＆陽という形で組み合わされている。つまり、白黒の勾玉を組み合わせた状況（ここで陰陽を表す太極図を示す：図）をずっとくり返してるという。わんこそばで例えましょうか。そば盛られた、また盛られた……。そば、もういいかなと思ってると、あ、また盛られた。そば盛られてまた食べて、あっ、また盛られた。もうおなかいっぱいだよ、おばちゃん やめてくれよ！ でも、また食べちゃう！ フタをすればようやくおしまいってなるんですけど。フタができないでいると、ずっとくり返すことになって、勾玉のようにその完全体がグルグルグルグルいってる。

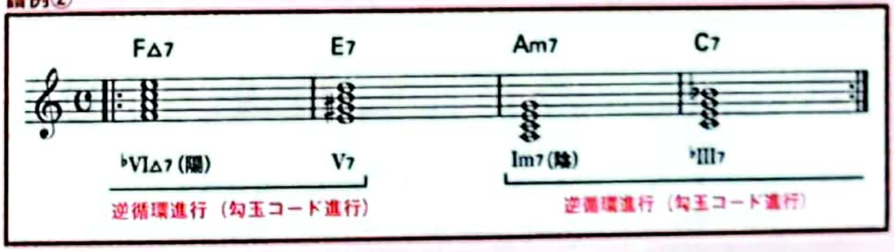
スージー：これは深いですね。こういうコード進行があったんだ。

ポイント 陰と陽の世界が絶え間なく循環

トニックから始まって、トニックに戻る進行を循環コード（譜例①）、トニック以外からスタートして循環していくものを逆循環と言う。この勾玉コード進行は逆循環のパターン（譜例②）。ビル・ウィザースでも有名な、グローバー・ワシントン・ジュニアのヒット曲「クリスタルの恋人たち（Just the Two of Us）」に出てくることから"Just the Two of Us進行"とも呼ばれるようだ。図は太極図と呼ばれる古代中国のシンボルで、陰と陽が絶え間なく回転する周期的な動きを表わしている。

太極図

譜例①

譜例②



CamScannerでスキャン

Cliche ベース・ライン・クリシェ

BABY ACTION

BOØWY 1985年

作詞：氷室京介　作曲・編曲：布袋寅泰

第23回 2018年9月7日放送分

楽曲メモ

「BABY ACTION」はBOØWYの3rdアルバム『BOØWY』（1985年6月21日発売（LP））の収録曲。当初は「もうイヤサBABY」というタイトルだったが、イントロやサビのアレンジが変更され、「BABY ACTION」という曲名になって、本作に収録された。軽快なスカ・ビートのAメロとパワフルな8ビートのサビを組み合わせたノリのいいナンバーだ。

A　F♯m　G　D　A7　G7
心残りはアイツの事だぜ　ピタリきたのは最初で最後サ！　忘れねぇぜ　タ・マ・ラ・ネ・ェ・ぜ！

A　F♯m
軽い気持ちで始めた遊びが　別れの夜は辛くて暗くて

G　D　Dm
タマラネェぜ　もうイヤイヤ　イヤイヤイヤ

A　D　A　D　D△7　D6　D
もうイヤサもうイヤサもうイヤサ　Baby　一夏だけの思い出なんて

F♯m　Faug　A　D♯m7(♭5)　Bm　E　G
マイアサ毎朝　マイアサBaby　起きるたびに　くらくなるぜ

A　F♯m　G　D　A7　G7
又の会う日が楽しみだけれど　会えない夜はどうすりゃイイのサ　タマラネェぜ　タマラネェぜ

A　F♯m
こんな気持ちじゃ何もできネェサ　だけどあくせく仕事に追われて

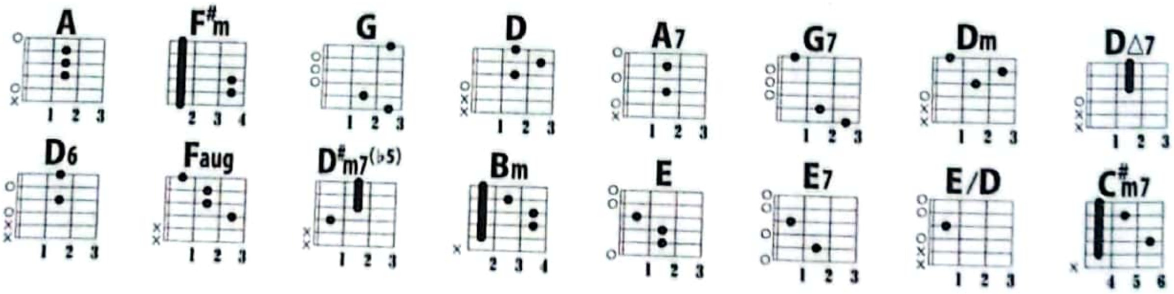
G　D　Dm
仕事労れ？　もうイヤイヤ　イヤイヤイヤ

A　D　A　D　D△7　D6　D
もうイヤサもうイヤサもうイヤサ　Baby　一夏だけの思い出なんて

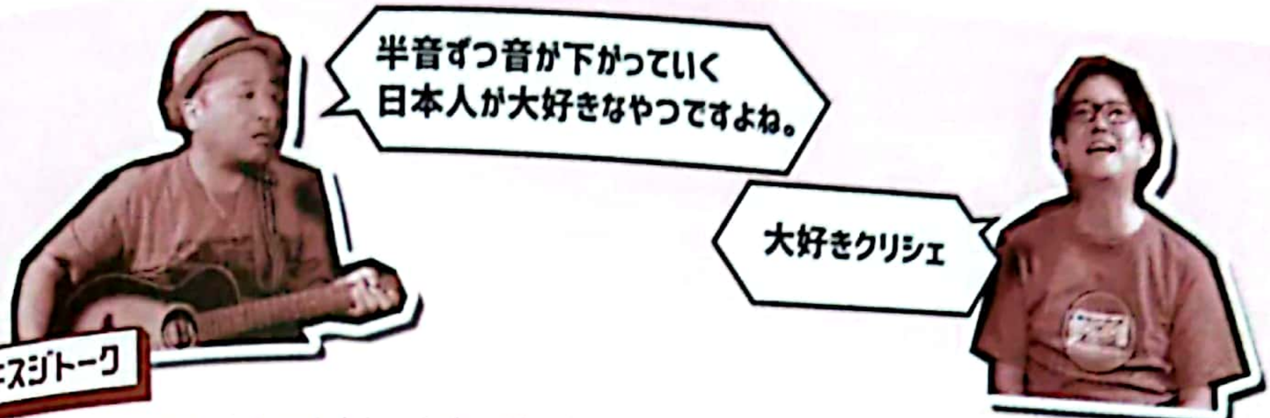
F♯m　Faug　A　D♯m7(♭5)　Bm　E　E7
マイアサ毎朝　マイアサBaby　起きるたびに　くらくなるぜ　つらくなるぜ　くらくなるぜ

D　E/D　C♯m7　F♯m　D　E/D　C♯m7　F♯m
オマエに今も Feel in love tonight　オマエに今も Feel in love tonight

Bm　E　G　A
Feel in love to day so pass



CamScannerでスキャン



マキスジトーク

マキタ：この曲、好きなんですよね。スカ・ビートで始まってるでしょ。スカって楽しくてウキウキする感じがあって、そんなにコードを動かさなくても、そのリズム感だけでノリノリに楽しくなれるんです。ところが途中からBOØWY仕事で湿度が上がってくるわけなんです。そこがクリシェという技法になっていて。

スージー：大好きクリシェ♡

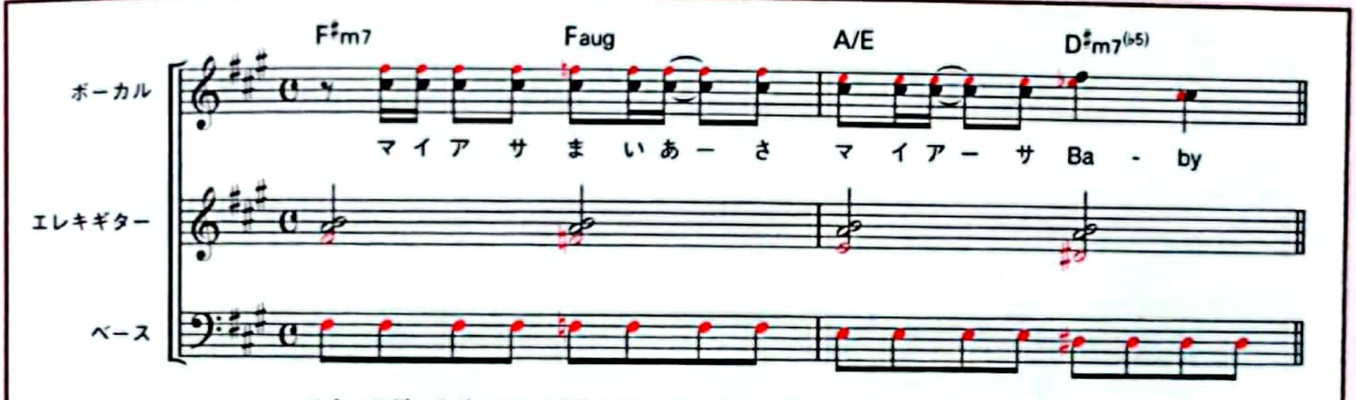
マキタ：ホントに日本人が大好きなやつですよね。半音ずつ音が下がっていくという。こうすることで胸キュンというか、切なくなるんですよ。"もうイヤサもうイヤサもうイヤサもうイヤサBaby／一夏だけの思い出なんて／マイアサ毎朝マイアサBaby～♪"のところ。スカ・ビートで明るく盛り上げながらも、クリシェでグッと湿度を上げることによって、単なるスカ・ビートで乗れるだけの曲に終わらせていないという。クリシェって動かない音がひとつあって、そこをキープしながら、他の音が下がってくことで、不安感や陰鬱な気持ちを表現しているわけですけど、虫のいいコードだと思ってるんですね。安心安全なところはつかんでおきながら、愚痴ってるみたいな。そういった気分を演出しやすいコードでもあると思うんですよ。この曲はある女の人と出会って、その人のことが好きになって、こんな気持ちでいるのはツライよみたいなことを言いながらも、それは口先だけで、そんな男の始末の悪い気持ちとかを歌った曲なんですよ。だからクリシェとかがすごく合うんです。月～金でしっかり働いて、そっちの安定した生活はあるんだけど、お前のためなら仕事も辞めてお前に全がけするぜ、みたいなことまでは言うつもりはないわけですよ。

スージー：あぁ、そこまでのつもりはないんだ（笑）。

ポイント　日本人の琴線をくすぐるベース・ライン・クリシェ

クリシェとは同一のコードが連続している部分で、装飾的かつスムーズなラインを形成する慣用的な技法のひとつ。コードの一部の音を上昇させるパターンや、下降させるパターン、複音で動くものなど、さまざまなタイプがあるが、中でも一般的なのはベース・ラインが動いていくベース・ライン・クリシェ。譜例は「BABY ACTION」のサビの部分。バンド・アンサンブル全体でベース・ライン・クリシェをダイナミックに構築している。

譜例



※主メロディのボーカルはそのままに、コーラス、ギターのベース音、ベースが半音下行している。
小玉はコーラス・パート。

CamScannerでスキャン

Cliche ダブル(複音)クリシェ

カルアミルク

岡村靖幸 1990年

作詞・作曲・編曲：岡村靖幸

楽曲メモ

「カルアミルク」は1990年12月1日にリリースされた岡村靖幸の14thシングル。4thアルバム「家庭教師」（1990年11月16日発売）からのリカット・シングルで、Mr.Childrenの桜井和寿やクラムボンによるカバーがある。歌詞には"ファミコン"や"レンタルビデオ"といった当時を彷彿させる言葉が登場。2011年には映画「モテキ」の劇中曲に採用された。

オリジナル・キー＝B♭　3カポ

G　D　Em　D
あともう一回あなたから　またもう一回の電話で　僕らは　でなおせる

G　D　Em
でもこういったことばっかり続けたら　あの思い出がだめになってゆく No…

C　Am7(♭5)
がんばってみるよ　優勝できなかった　スポーツマンみたいに

G　C
ちっちゃな根性　身につけたい Hai…

G　D　Em　D
ここ最近の僕だったら　だいたい午前8時か9時まで　遊んでる

G
ファミコンやって　ディスコに行って

D　Em
知らない女の子とレンタルのビデオ見てる

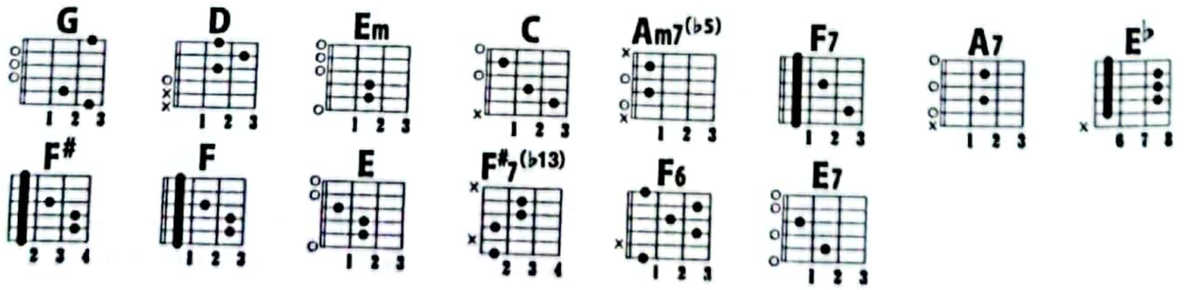
C　Am7(♭5)　G　C
こんなんでいいのか解らないけれど　どんなものでも君にかないやしない

D　F7　Em　A7
あの頃の僕はカルアミルク飲めば　赤くなってたよね

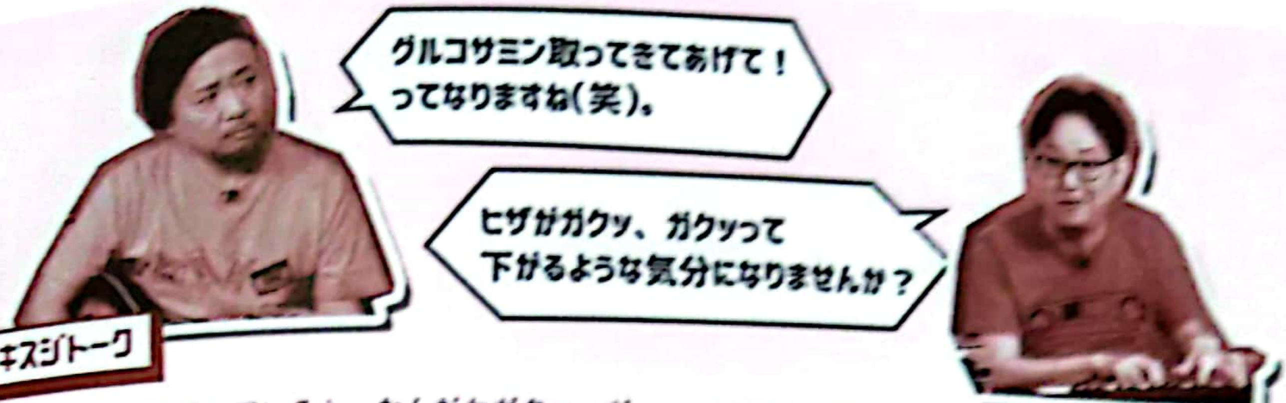
D　F7　Em　E♭　D
今なら仲間とバーボンソーダ飲める　けれど　本当は　おいしいと思えない　Oh…

G　F♯7(♭13)　F6　E7
電話なんかやめてさ　六本木で会お　うよ　いますぐお　いでよ

E♭　D　C　G
仲なおりしたいんだ　もう一度　カルアミルク　で



CamScannerでスキャン



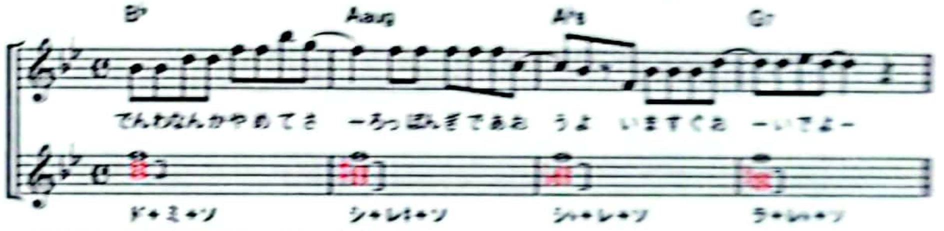
マキスジトーク

スージー：サビを聴いていると、なんだかガクッ、ガクッって下がるような気分になりますよね？
マキタ：グルコサミン取ってきてあげて！ってね(笑)。ヒザが悪い人みたいになる。
スージー：普通のクリシェはドだけが半音下がるんです。でも、この曲はちょっと違いますよね。ソだけはキープで、ドとミが半音下がっていくんです。（キーボードで弾き語る：譜例①）"電話なんかやめてさ／六本木で会おうよ／いますぐおいでよ〜♪" ドミソとあったら、ドとミがガクッ、ガクッって半音ずつ下がっていって、その結果、普通のクリシェよりもグルコサミンが必要な感じになってくるわけですね。一応、私がネーミングしたのは、ふたつの音が下がるので"ダブルクリシェ"！
マキタ：そうか。2音が下がっていくんだ。
スージー：略してダブクリ！
マキタ：ダブクリ（笑）。
スージー：このダブルクリシェは、かなり珍しい感じがするじゃないですか。僕も変わったクリシェだなと思ったんですよ。でも、歴史上、ダブルクリシェってなかったのかな？と考えてみると、1曲あったんですね。このバンドがすでにやっておりました。ザ・ビートルズ「イット・ウォント・ビー・ロング」です（譜例②）。（曲を流す）
マキタ：やっぱりビートルズがやってんだな、こういうこと。
スージー：そうなんですよ。ただ、大事なことは、こういう変態な進行って、大抵は聴いた時も変態な感じがするわけですよ。でも、普通に聴けてしまうという。そこがやっぱりビートルズであり、岡村靖幸のすごさかなと思いますね。

ポイント　グルコサミン必携

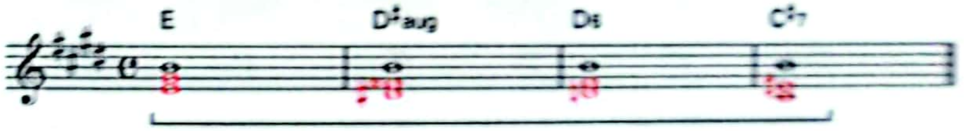
「カルアミルク」のサビに出てくるクリシェは、譜例1冒頭のB♭コードのソ（音名ではF音）はそのままに、ドとミの2音が徐々に下がっていくパターンになっている。これはハーモニック・クリシェと呼ばれるもので、コードのトップ音はそのままに、下側の色がついた2音が半音ずつ下がっている。譜例2はビートルズの「イット・ウォント・ビー・ロング」のブリッジのコード進行。同じく下側の複音が半音ずつ下がる動きとなっている。

譜例①



※トニック音のB♭をドと表記（移動ド表記）。
コード最高音のソ（音名ではF音）はそのままに、下の2音（色づけした音符）が半音ずつ下がっている。

譜例②「イット・ウォント・ビー・ロング」ザ・ビートルズ（ブリッジ部分）



※五線譜の音は実際に鳴っている音とは異なるが、コードの流れをわかりやすく表記。
コード最高音のソ（音名ではB音）はそのままに、下の2音（色づけした音符）が半音ずつ下がっている。

CamScannerでスキャン

Cliché 循環クリシェ

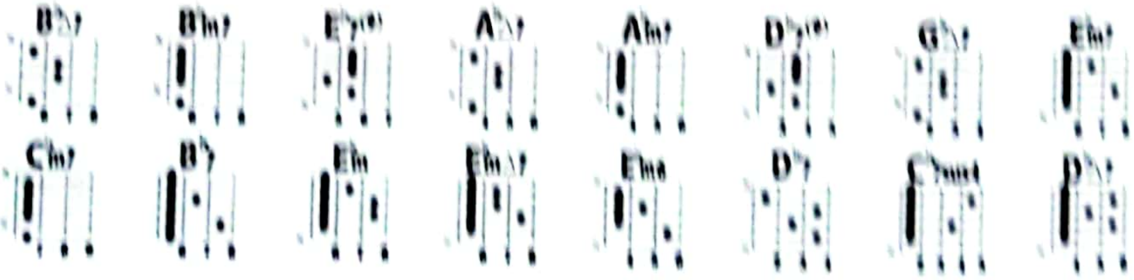
Water Color

大滝詠一 1982

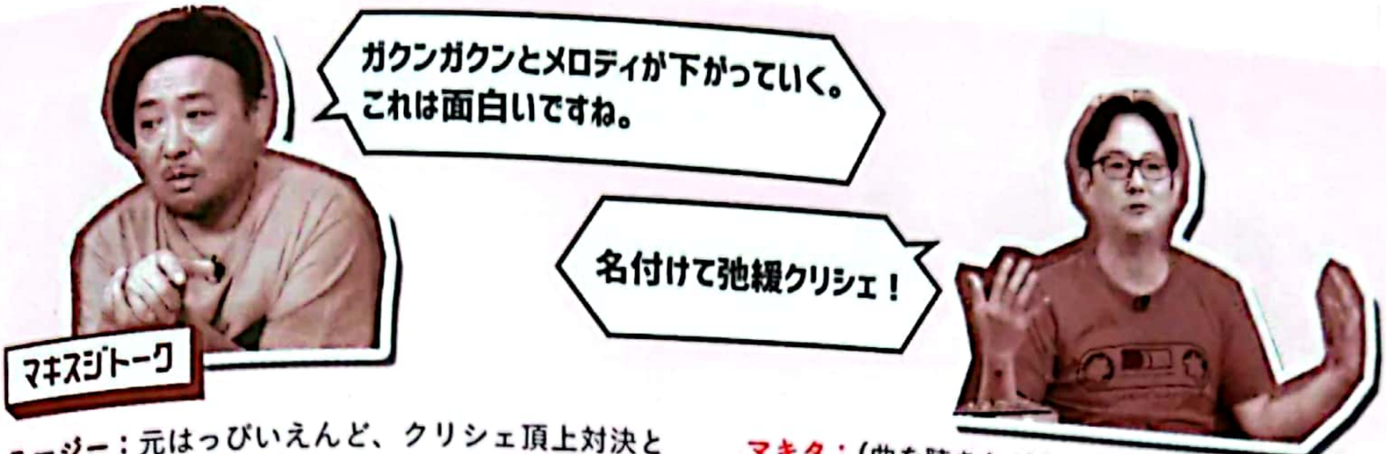
作詞：松本隆　作曲：大滝詠一

「Water Color」は、1982年3月21日にリリースされた、大滝詠一による『NIAGARA TRIANGLE Vol.2』の収録曲。本作は大滝詠一、佐野元春、杉真理3人の共演作であるリバイバル・サウンドをテーマに、各人の持ち味を生かした曲を集めた企画盤で、「Water Color」の作曲者は大滝詠一。ボサノヴァ・テイストのとろけるようなナンバーとなっている。

B♭Δ7　　　　B♭m7　E♭7(9)
Rain　雨が　Rain　好きさ
A♭Δ7　　　　A♭m7　D♭7(9)　G♭Δ7
Rain　濡れた　Rain　髪も　詩う
　　　　　E♭m7
野球帰りの　少年たちが
A♭m7　C♭m7　B♭7　E♭m　E♭mΔ7　E♭m7　E♭m6
街を走りぬけると
A♭m7　D♭7　G♭Δ7　C♭7sus4　D♭Δ7
もうじき夏さ
B♭Δ7　　　　B♭m7　E♭7(9)
Rain　君を　Rain　待つよ
A♭Δ7　　　　A♭m7　D♭7(9)　G♭Δ7
Rain　他に　Rain　何もないしね
　　　　　E♭m7
こうもり傘で　顔をかくした
A♭m7　C♭m7　B♭7　E♭m　E♭mΔ7　E♭m7　E♭m6
通りすぎるパレードの　影に
A♭m7　D♭7　G♭Δ7　C♭7sus4　D♭Δ7
そっぽを向くよ



CamScannerでスキャン



マキスジトーク

スージー：元はっぴいえんど、クリシェ頂上対決と行きましょう！　イエイ！　この曲でございます。（「Water Color」を流す）

マキタ：これはちょっと面白いですね。

スージー：この曲はメロディが凝っております。

マキタ：（曲を聴きながら）あ、半音下がった……ここは同じ……あ、また下がった。

スージー：わかります？　同じ4度音程のメロディのユニットが、"Rain／雨が／Rain／好きさ／Rain～♪"のところで、4回下がってるんです。コードも下がってるんですけど、この曲の妙味はメロディ自体も半音ずつガクンガクンと下がっているところなんですね。もう1回聴きながら、その下がり方を体験してみましょう。

マキタ：（曲を聴きながら、電車でガクンガクンと寝入る人を演じ、ハッと起きて）あ！　中央林間じゃん！

スージー：田園都市線（の終着駅）（笑）。

マキタ：（笑）。これは何クリシェって言うんですかね？

スージー：どんどんサウンドが緩んでいって、最後は中央林間で、スッポンポンで寝てるみたいな感じなので、弛緩クリシェ（笑）。

マキタ：ハハハ（笑）！　弛緩クリシェ！

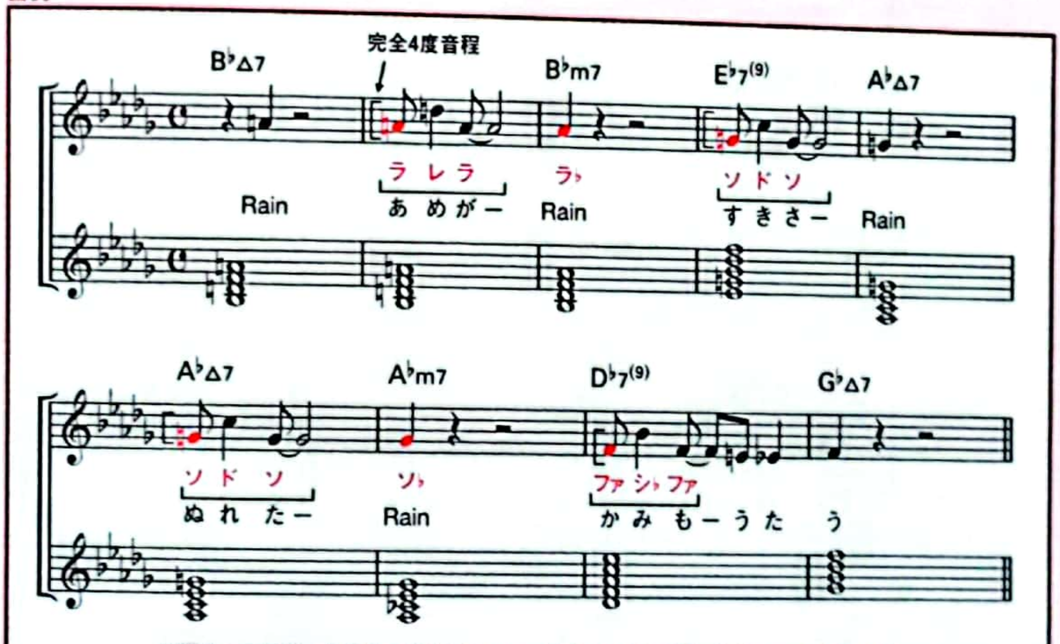
スージー：（東海道線の）電車で寝過ごして、エッ、熱海!?　ここから深夜タクシーで帰ったら何万円？みたいな（笑）。

マキタ：おまけに"あれ？ 財布は？"みたいな（笑）。どんだけ飲んでんだ、お前！ってね（笑）。

ポイント　曲を聴きながら寝過ごさないように

譜例は「Water Color」の歌メロ冒頭部。凝ったメロディ・ラインになっており、4度音程の同型メロディが半音で下降スライドしていく形。この部分のコード進行は、B♭△7からB♭m7-E♭7(9)のツー・ファイブを経由してA♭△7に行き、再びツー・ファイブでG♭△7に向かうというもの。曲のキーはD♭だが、トニック・コードのD♭△7がなかなか出てこないのも、このとろけるような雰囲気を醸し出す要素となっている。

譜例



※下カッコで括った完全4度音程のユニットとメロディが半音単位で下行している。
五線譜はすべて基本形で表記。

Cliche 上昇クリシェ

第49回 2019年10月6日放送分
『コード進行まとめました』

レモネードの夏

松田聖子 1982年

作詞：松本 隆　作曲：呉田軽穂

楽曲メモ 「レモネードの夏」は松田聖子の9枚目のシングルとして1982年4月21日にリリースされた「渚のバルコニー」のB面曲。A面に収録された「渚のバルコニー」とともに、作詞は松本隆、作曲は呉田軽穂こと松任谷由実。ユーミンが松田聖子に楽曲を提供し始めた頃の作品で、夏に向かうリリース時期にピッタリの爽快でトロピカルなナンバー。

オリジナル・キー＝E♭　3カポ

C　Caug　Am　C7
冷えたレモネード　白いカフェーから

F　Faug　Dm
揺れる木洩れ陽を見たの

F/G　Em　Am　Dm　G　C△7
あとあなたに逢えれば　もうひと足早い夏

Dm　G7　C△7　Dm　G7　C△7
樹にもたれた　貸自転車

E　Am　C　Dm　F/G
コテージから　光を縫って来た

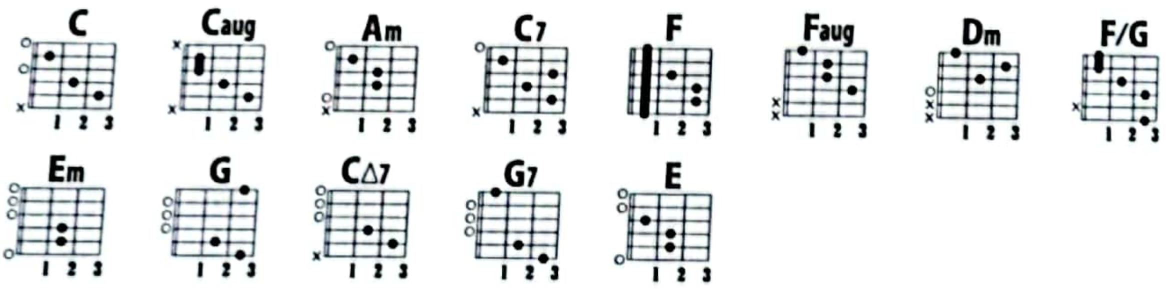
Dm　G7　C△7　Dm　G7　C△7
想い出には　縛られない

E　Am　C　Dm　G　C　F/G
もう恋などする気も無い私

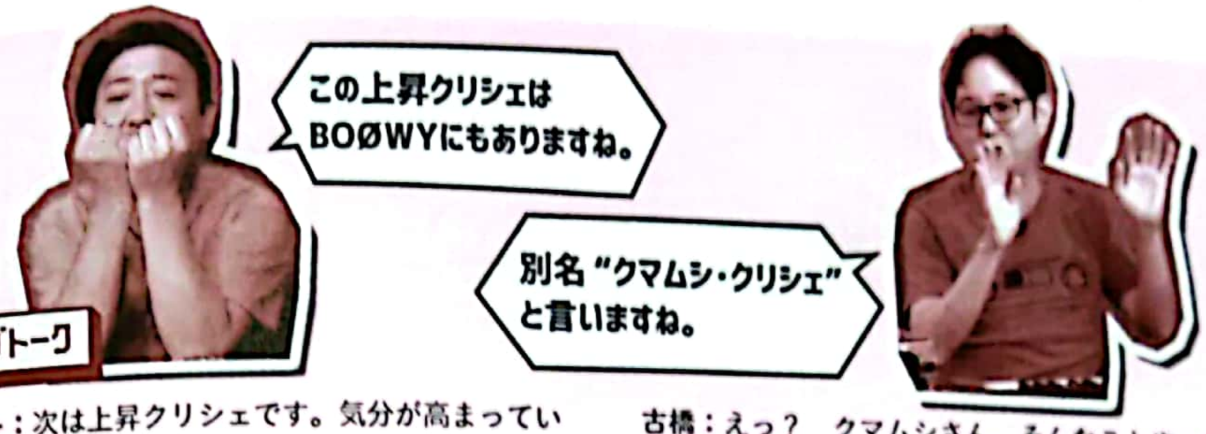
C　Caug　Am　C7
少し淋しげな　深い青空が

F　Faug　Dm
肩に降り注ぐ　避暑地

F/G　Em　Am　Dm　G　C△7
あとあなたに逢えれば　もうひと足早い夏



CamScannerでスキャン

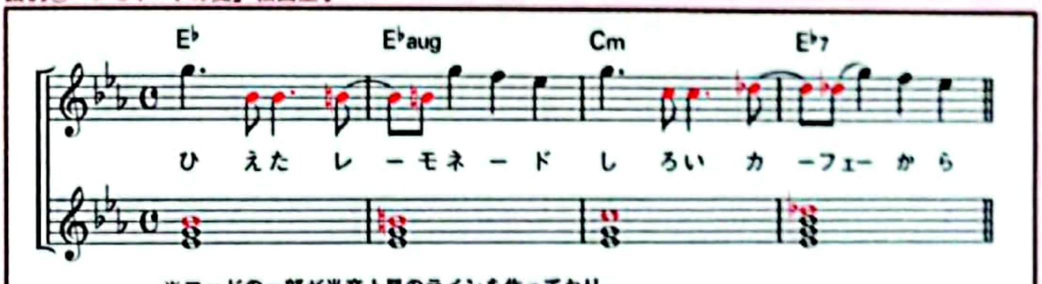


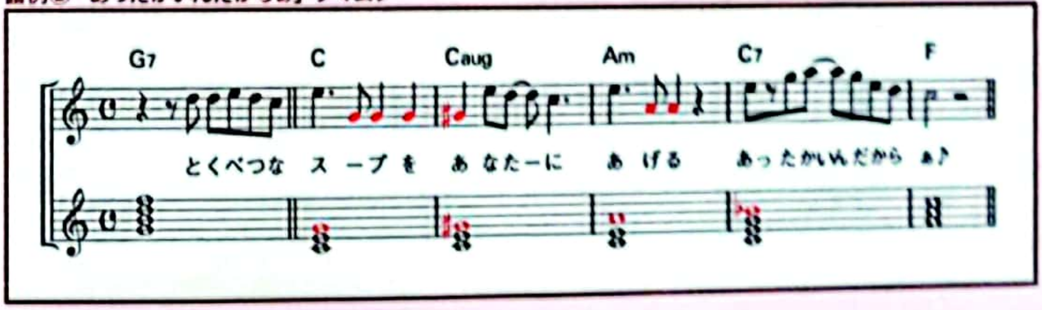
マキスジトーク

スージー：次は上昇クリシェです。気分が高まっていく感じがありますね。歌い出しから半音ずつ上がっていきます。岡村靖幸の「カルアミルク」は切ない感じがしましたが、こっちはテンションのメートルが上がっていく感じがしますね。
マキタ：メートルって（笑）！
スージー：メートルって言いません？
マキタ：完全におじさん用語ですよ。「メートル上がってるね、君！」って（笑）。
スージー："ドミソ"の"ソ"だけが上がっていくんですよ。（キーボードで歌メロ冒頭を弾きながら）"ターララ〜、ラララーララ〜、ターララ〜♪"ハイ！
古橋舞悠（アシスタント）："あったかいんだからぁ〜♪"……あっ、つい言いたくなっちゃう！（笑）
スージー：ねっ？　これは上昇クリシェ。別名"クマムシ・クリシェ"とも言いますね。
古橋：えっ？　クマムシさん、そんなことやってたんですか？
スージー：これは別にクマムシさんがパクったというわけではなく（笑）、ポップスでは常道の進行として大昔からありまして、私が知るかぎり、この"あったかいんだからぁ〜♪"の源流はデイヴ・クラーク・ファイヴの「ビコーズ」（1964年）でしょう。ビートルズのダブルクリシェと同じ時期ですね。アメリカの音楽に影響を受けた若者たち──おそらくジョン・レノンとポール・マッカートニーにもけしかけられたと思いますが、そうしたイギリスの若者たちの間で、普通の3コードだけじゃなく、面白いコード進行を作ろうじゃないかという機運が高まる中で、編み出されたものだと思うんですけども。
マキタ：この上昇クリシェはBOØWYにもありますよね。「B・BLUE」とかね。

ポイント　気持ちのメートルも上がるんだからぁ♪

譜例①は「レモネードの夏」の歌メロ冒頭部。コードの一部が半音上昇のラインを作っている上昇クリシェの箇所で、音の動きに合わせてメロディ・ラインも上昇しているのがわかる。譜例②はクマムシの「あったかいんだからぁ♪」の歌メロ冒頭部。こちらもコードの一部が上昇し、それに合わせてメロディ・ラインも上昇している。それぞれの曲のキーは異なるものの、コード、メロディともに、どちらも同じような動き方をしている。

譜例①「レモネードの夏」松田聖子

※コードの一部が半音上昇のラインを作っており、それに合わせてメロディ・ラインも上昇している（色づけした音符）。

譜例②「あったかいんだからぁ」クマムシ

Cliche ベース下降クリシェ

ガラスの林檎

松田聖子 1983

作詞：松本隆　作曲：細野晴臣　編曲：細野晴臣、大村雅朗

楽曲メモ

「ガラスの林檎」は1983年8月1日にリリースされた松田聖子の14枚目のシングル。この曲の制作にあたって細野晴臣はサイモン&ガーファンクルの「明日に架ける橋」のような曲を作ってほしいとディレクターから依頼されたとか。壮厳な雰囲気のバラード曲で、日本歌謡大賞・最優秀放送音楽賞を受賞。年末の紅白歌合戦にはこの曲で出場している。

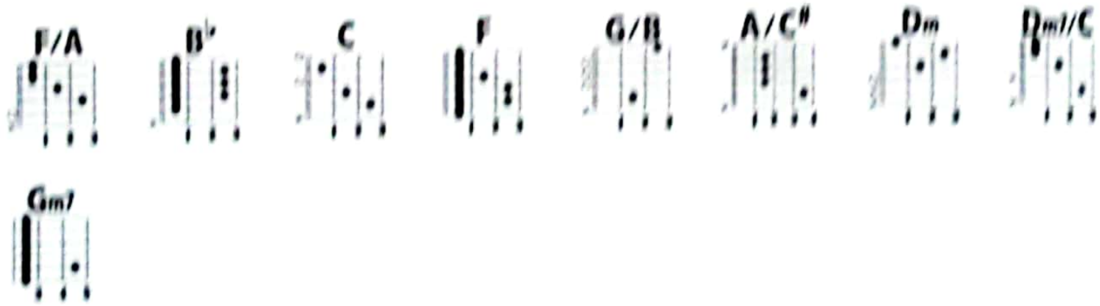
F/A Bb C F Bb C
蒼ざめた月が　東からのぼるわ

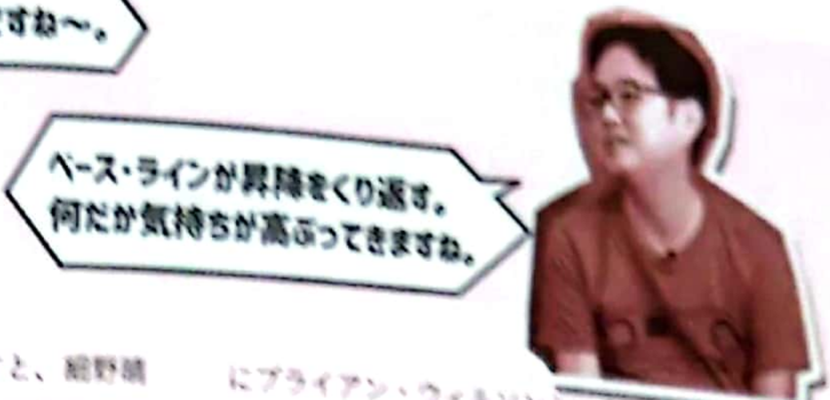
F/A Bb C F Bb C
丘の斜面には　コスモスが揺れてる

Bb G/B C A/C# Dm Dm7/C Bb
眼を閉じて　あなたの腕　の中

Bb G/B C A/C# Dm Dm7/C Bb
気をつけて　こわれそうな　心

F Dm Gm7 F
ガラスの林檎たち





マキスジトーク

スージー：大瀧詠一のライバルと言いますと、細野晴臣でございますね。この「ガラスの林檎」にあるクリシェ・パターンはベースが半音ずつ上がってから下がる"ベース昇降クリシェ"になっております（譜例①）。丘の上をゆっくりゆっくり登り切ったところに海が見えて、その先に朝日が昇っているような感じがしませんか？　この曲を聴いていると、そんな風景を見下ろしているような感じがするんですよ。この"ベース昇降クリシェ"の源流のひとつはおそらくビーチ・ボーイズの「神のみぞ知る（God Only Knows）」（1966年）でしょう。この曲ではベースが半音上がってから、徐々に下がっていくんです（譜例②）。何だか気持ちが高ぶってきますね（曲を流す）。

マキタ：いい感じですね〜。

スージー：アメリカの細野晴臣——ビーチ・ボーイズにブライアン・ウィルソンという天才ミュージシャン／ベーシストがおりますが、そのブライアンが作曲した「神のみぞ知る」を聴いたポール・マッカートニーいわく、「今まで聴いた中で最高の曲だ」と言ったそうですね。それでポール・マッカートニーがめっちゃジェラシーを燃やして、『リボルバー』以降のアルバムでは、独特なベースの使い方をしたわけです。そしてそのベース・プレイが日本に飛び火して、細野晴臣も同じように影響を受けて、この曲を作ったという。これはもう"ベース・クリシェ世界一周の旅"ですね。

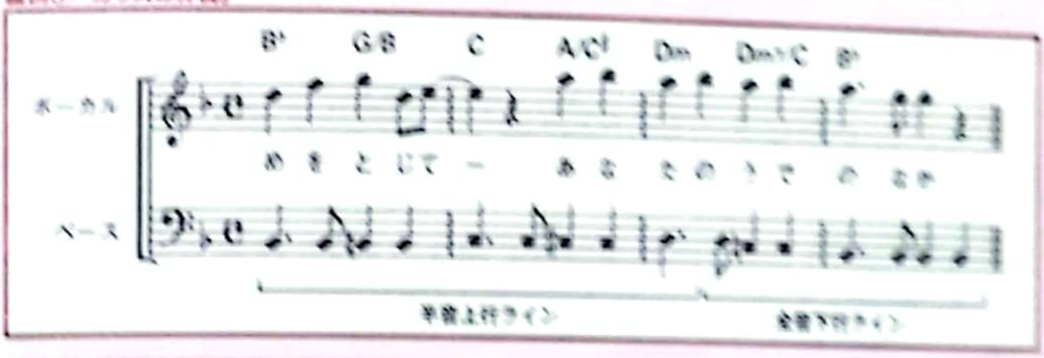
マキタ：なるほど。そうか。

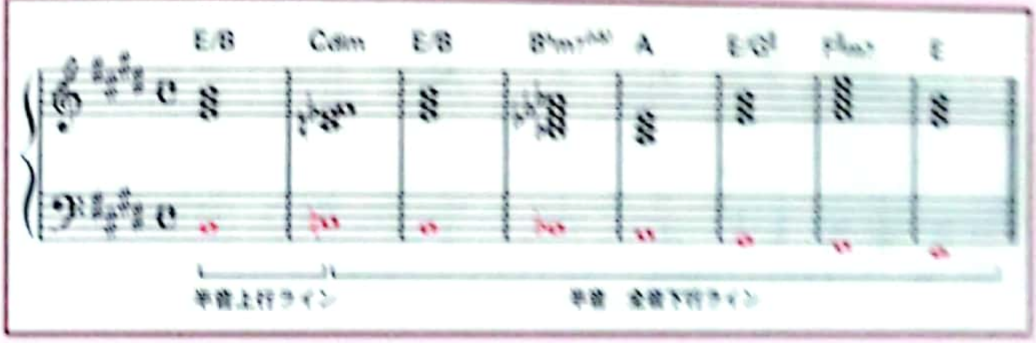
スージー：ことほど左様にクリシェというのは奥が深い！　ポール・マッカートニー、細野晴臣、ブライアン・ウィルソン……クマムシ！

ポイント　コード・トーンの中を縫うようにしてベース・ラインが昇降

譜例①は「ガラスの林檎」のサビの部分。コードの中を縫うようにして、ベース・ラインが徐々に高度を上げ、途中からその山を降りるようにして下がっていく。気持ちの高まりをベースで押し上げているような、そんな雰囲気が感じられる場面だ。譜例②はビーチ・ボーイズの「神のみぞ知る」のAメロの一部。最初のE/BからCdimにかけてベース・ラインが半音上昇し、そのあとはゆっくりとベース・ラインが半音or全音で下がっている。

譜例①「ガラスの林檎」



譜例②「神のみぞ知る」ビーチ・ボーイズ（Aメロ）

CamScannerでスキャン

Modulation 転調

My Revolution

渡辺美里 1986年

作詞：川村真澄　作曲：小室哲哉　編曲：大村雅朗

楽曲メモ
1986年1月22日に発売された渡辺美里の4thシングル。デビュー以来、今ひとつレコードセールスが伸び悩んでいた彼女のため、レコード会社は新しい才能に声をかけようと、まだ知名度の低かったTM NETWORKの小室哲哉に作曲を依頼。作詞も若手の川村真澄を起用。ドラマの主題歌に採用されたこともあり大ヒットを記録。3人のキャリアにとっても大きな1曲となった。

EΔ7 F#/E D#m7
さよならSweet Pain

G#m7 EΔ7 D#m7 C#m7 C#m7/F#
頬づえついていた　夜は昨日で終わるよ

EΔ7 F#/E D#m7
確かめたい

G#m7 EΔ7 D#m7 C# C#sus4 C#
君に逢えた意味を　暗闇の中　目を　開いて

E F#/E D#m7 G#m7
非常階段　急ぐくつ音　眠る世界に　響かせたい

E F#/E D#m7 G#m7
空地のすみに　倒れたバイク　壁の落書き　見上げてるよ

C#m7 D#m7
きっと本当の　悲しみなんて

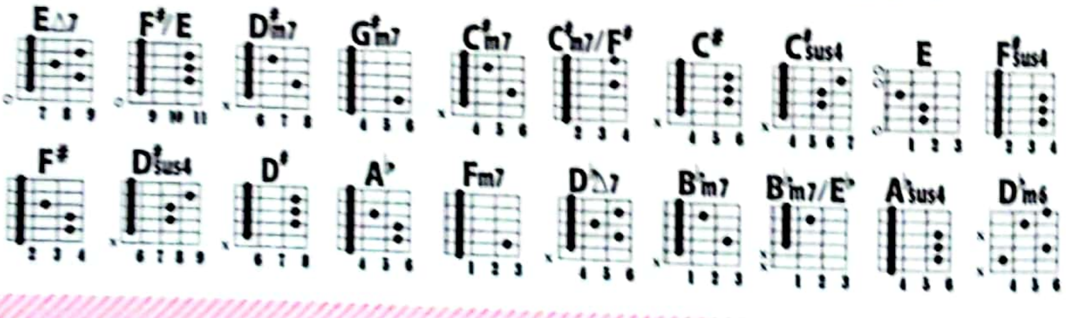
EΔ7 F#sus4 F# D#sus4 D#
自分ひとりで癒すものさ

A♭ Fm7 D♭Δ7 B♭m7 B♭m7/E♭
わかり始めたMy Revolution　明日を乱すことさ

A♭ Fm7 D♭Δ7 B♭m7 B♭m7/E♭
誰かに伝えたいよ　My Tears My Dreams　今すぐ

A♭ Fm7 D♭Δ7 B♭m7 B♭m7/E♭
夢を追いかけるなら　たやすく泣いちゃだめさ

A♭ Fm7 D♭Δ7 B♭m7 A♭sus4 A♭ D♭m6 A♭
君が教えてくれた　My Tears My Dreams　走り　出せる



CamScannerでスキャン

"1986年＝転調元年"と言いたいですね。

この転調で小室哲哉という才能が世に出たと思うんですよね。

マキスジトーク

マキタ：それでは『輝く！カセットテープ大賞 最優秀転調賞』の発表です！

スージー：今回は私が選ばせていただきました。この曲は『最優秀イントロ賞』でもあります。80年代最強イントロですね。『最優秀転調賞』は渡辺美里の「My Revolution」です！

マキタ：おめでとうございます！

スージー：転調でキーがBからA♭になってます（譜例①）。転調というのはわかりやすく言うと、カラオケボックスでキーのチェンジとかをした時に、歌の光景と言うか、世界観がガラッと変わることがありますよね。そのことです。この曲にもし転調がなかったら、なんか屁みたいでしょ？（譜例②）

マキタ：何の抑揚も感じないですね。

スージー：この曲で小室哲哉という才能が世に出るわけですけど、言い換えると、この転調で小室哲哉という才能が世に出たと思うんですよね。

マキタ：僕みたいな青少年にとっても「あっ、曲が変わっちゃった」みたいなことを思ったんで、"転調元年"と言いたいぐらい。

スージー：1986年、転調元年！

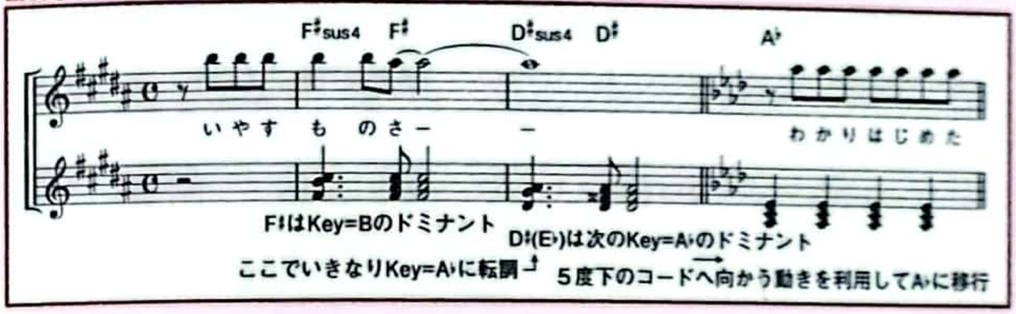
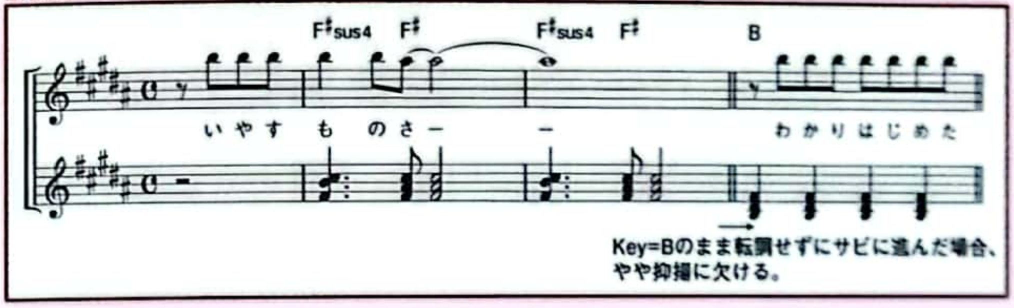
マキタ：転調は昔からあるものですけど、この曲を聴いた時に転調というものがあるんだと、我々ははっきりと認識したわけですから。

スージー：急にガンッ！と曲が変わっちゃう感じがするんですけど、この人工的な感じが非常に小室哲哉っぽいという。

マキタ：そうなんですよ。昧な転調って、それまでにも歌謡界の中にあったと思うんです。だけどそれはわからないようにやってるんですよね。それがガッ！と変わるわけじゃないですか。当時、この曲を聴いた多くの人にとって衝撃的だったと思うんですよね。

ポイント 小室哲哉らしい人工的で派手な転調

譜例①は「My Revolution」のサビ直前。サビに向かって、一気にギアを入れる感じの転調部分だ。AメロとBメロはKey＝B（トニックのBコードが出てこない）で、"自分ひとりで癒すものさ～"のところで、F♯コードから突如D♯コードに進行。そして5度下のコードで あるA♭への流れを伴いながら、Key＝A♭へと転調している。BからA♭という、関係性の薄いキーにいきなり転調するので、非常にインパクトのある仕掛けになっている。

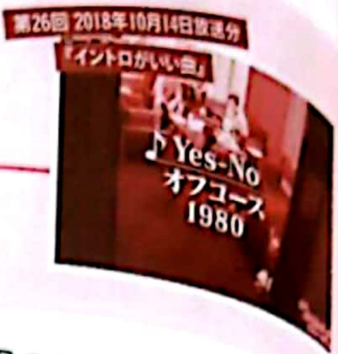
譜例①

譜例②

CamScannerでスキャン

Modulation 転調

Yes-No

オフコース 1980年

作詞・作曲：小田和正　編曲：オフコース



楽曲メモ

「Yes-No」は1980年6月21日に発売されたオフコース通算19枚目のシングル。サビの"君を抱いていいの／好きになってもいいの"という歌詞が特に印象的。小田和正の代表曲「ラブ・ストーリーは突然に」は、ドラマのプロデューサーが"「Yes-No」のような曲を"と依頼してできた曲だとか。柏原芳恵や稲垣潤一、荻野目洋子らの多くのカバーがある。

E△7 F♯/E D♯m7 G♯m E△7 F♯/E D♯m7 G♯m
E△7 F♯/E D♯m7 G♯m E△7 F♯/E D♯m7 G♯m

F△7 Dm7 Em7 Am G6 F△7
今なんていったの？　他のこと考えて

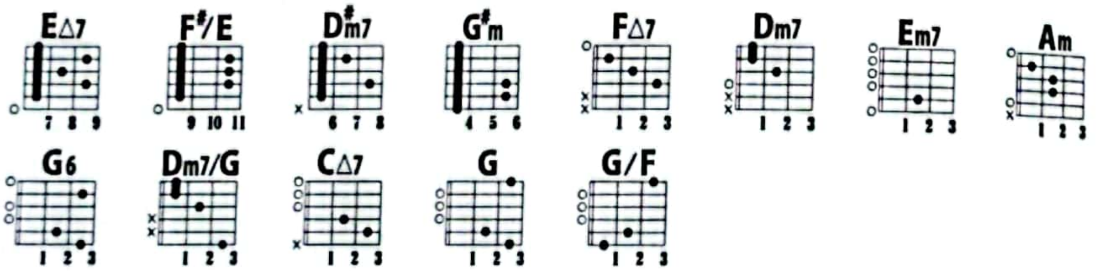
Dm7 Dm7/G C△7 Dm7 Dm7/G
君のこと　ぼんやり見てた

F△7 Dm7 Em7 Am G6 F△7
好きな人はいるの？　こたえたくないなら

Dm7 Dm7/G Em7 G
きこえない　ふりをすればいい

F△7 G/F Em7 Am
君を抱いていいの　好きになってもいいの

F△7 G/F Em7 Am
君を抱いていいの　心は今　何処にあるの



CamScannerでスキャン

ハッ！とする感じは、
すごいですよね。

"今なんていったの感"史上、
最高到達点にある曲ですね。

マキスジトーク

スージー：この曲のイントロはマキタさんのお好きな未練コード進行なんですけど、今回のポイントは、イントロから歌メロに入る時に、「あれ？　何が起こったんだ？」というような工夫がなされていることなんです。イントロから歌に入る時に何か事件が起きます。そのあたりを聴いてほしいと思います（「Yes-No」を流す）。はい。わかりましたか？　Key＝BからKey＝Cに半音上に転調するんですね（**譜例①**）。冒頭の歌詞が「今なんていったの？」なんですけど、この歌詞のシチュエーションとしては男性と女性がいて、男は相手の話を聞いてなかった。ずっと何か別のことを考えていて、転調した瞬間に「あれっ、（君）今なんていったの？」っていう風に、相手に意識が戻るんです。「今なんてったの？」という歌詞と、半音上がる転調の動きとの見事な調和。私は"今なんていったの転調"と呼んでますけど、"今なんていったの感"史上、最高到達点にある曲ですね。

マキタ：たしかにハッ！とする感じは、すごいですよね。この演出効果。

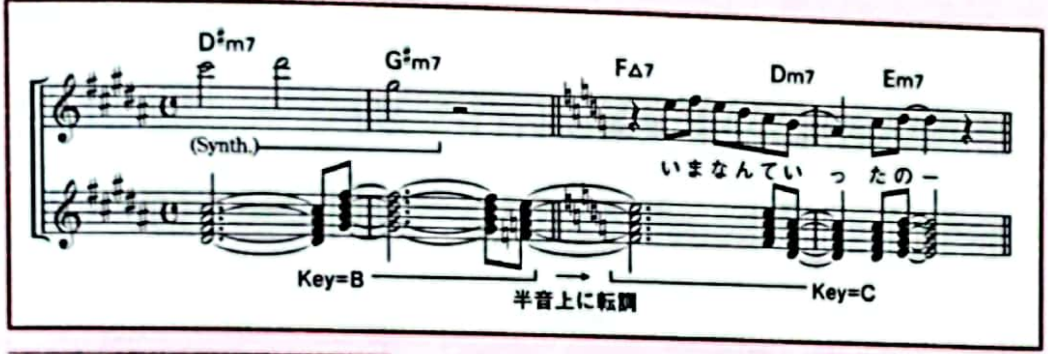
スージー：イントロから歌メロに入る時に、転調する曲にはいくつかあって、最も変態的なのはデレク・アンド・ザ・ドミノスの「いとしのレイラ」ですね。歌メロに入る時に半音下がる。オフコースは半音上がるんです。オフコースの同時期の曲に、ギター・ソロに入る時に１音上がる曲がありまして、これもなかなかエエ感じなんです。「愛を止めないで」（1979年）の間奏ですね（曲を流す）（**譜例②**）。

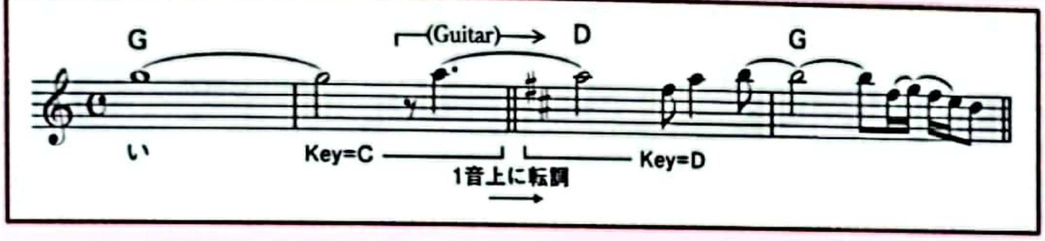
マキタ：ギター・ソロに入るところで、フワーッと景色が変わりますよね。ちょっとしたことなんですが、オフコースはそうした場面転換の工夫をしていますよね。

ポイント　男の意識が相手にパッと移る時の心の動きを転調で表現

譜例①は歌メロ冒頭の"今なんていったの♪"への導入部分。その歌い出しで、Key＝Bから半音上のCに転調している。130ページの「My Revolution」はD#コードを挟みながら、5度下に向かう形でA♭に転調していたが、こちらは間にコードを挟まない分、さらに唐突な感じがある。譜例②は「愛を止めないで」のギター・ソロに入る場面。歌メロのKey＝Cから1音上のDに転調することで、一段階視界が開けたような演出効果がなされている。

譜例①「Yes-No」歌メロ導入部分



譜例②「愛を止めないで」ギター・ソロ

「愛を止めないで」オフコース　作詞・作曲：小田和正

CamScannerでスキャン

Modulation 転調

中央フリーウェイ

荒井由実 1976年

作詞・作曲：荒井由実　編曲：松任谷正隆

第15回 2018年5月4日放送分

楽曲メモ

「中央フリーウェイ」は1976年11月20日に発売された荒井由実の4thオリジナル・アルバム「14番目の月」の収録曲。曲名は"中央自動車道"が由来になっており、歌詞にはその中央道から見える調布基地やビール工場、東京競馬場など、府中市近辺の風景が登場する。心地よいドライブ感覚と開放的な気分が味わえるラテン・フィールのナンバー。

B♭/C　F△7
中央フリーウェイ

G♭dim　D7　Gm7　Edim　C7　Fm
調布基地を追い越し　山にむかって行けば

B♭m7　E♭7　A♭　Gm7(♭5)　B♭/C
黄昏がフロント・グラスを　染めて広がる

F△7
中央フリーウェイ

G♭dim　D7　Gm7　Edim　C7　Fm
片手で持つハンドル　片手で肩を抱いて

B♭m7　E♭7　A♭　B♭m7　B♭m/E♭　A♭　Cm7
愛してるって　言ってもきこえない　風　が強くて

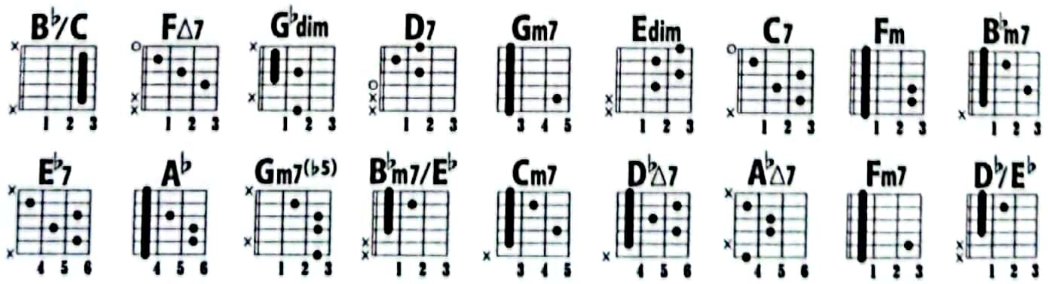
D♭△7　A♭△7
町の灯が　やがてまたたきだす

D♭△7　B♭m7　E♭7
二人して　流星になったみたい

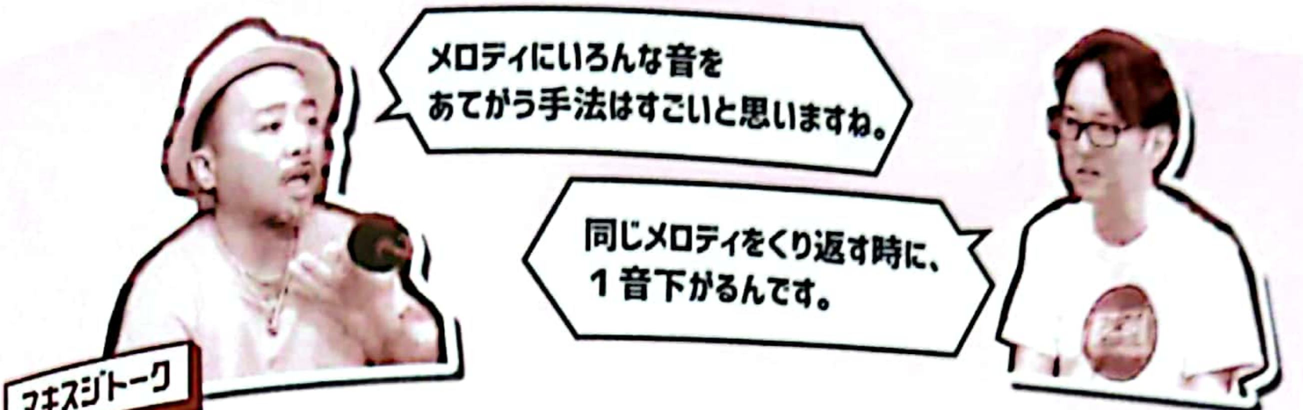
B♭/C　F△7
中央フリーウェイ

G♭dim　D7　Gm7　Edim　C7　Fm7
右に見える競馬場　左はビール工場

B♭m7　D♭/E♭　A♭　B♭m7　B♭m/E♭　A♭
この道は　まるで滑走路　夜　空に続く



CamScannerでスキャン



マキスジトーク

スージー：私は"プチ転調"と呼んでるんですけど、転調とはまでいかないまでも、一瞬、キーが変わったかな？と思わせる技法の出てくる曲を紹介したいと思います。"調布基地を追い越し／山にむかって〜♪"というところで、同じメロディをくり返す時に、全体が1音（全音）下がるんですね（譜例）。これはおそらくユーミンが初めに作った段階で、メロディがたまさか1音下がっていたんでしょう。そこにコードを当てはめていったら、ああいう曲になったということだと思います。普通、作曲する時はメロディとコードは一緒に作ると思うんですが、おそらく他の人とは作曲のステップが違うと思うんですよね。

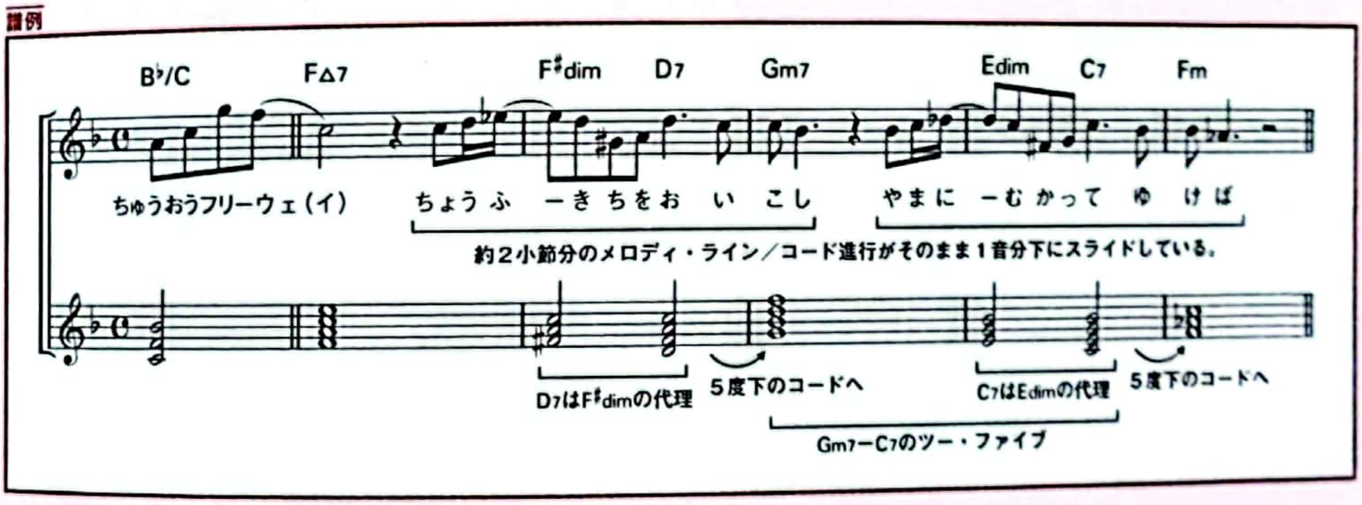
マキタ：素っ裸のメロディがあるとしたら、そこにいろんな服を着せ替え的にあてがっていくようなやり方は、本当にすごいと思いますね。ユーミンさんに「どうやって、ああいう転調感とかが生まれるんですか？」とか、いろいろと伺ったことがあるんですけど、最終的には「私は頭蓋骨を鳴らして歌わないとさぁ」っておっしゃるわけ。身体＝フィジカルな部分を大事にしているって。だから和声だけで面白おかしくやっているっていうよりも、「自分が歌って気持ちいいかどうかとか、そういうことをすごく気にしてる」って。

スージー：もしかしたら音楽理論とか、分数コードがどうした、テンションがどうしたとか、あんまり興味がないかもしれないですよね。ただ、本当に気持ちいいコードを探しているうちに、それを横で見ている松任谷正隆氏が「これはA♭m7なんとか」って言ってるんじゃないかなという気さえしますね。

ポイント　メロディ・ラインがそのまま1音分下へスライド

譜例は歌メロ冒頭の"調布基地を追い越し／山にむかって〜♪"という部分。約2小節分のメロディ・ラインがそのまま1音分下がっているのがわかる。コードからは曲を作らないというユーミンだが、松任谷正隆の仕事なのか、コード進行は構築性の高いものになっており、F♯dimとD7は代理和音の関係。大きな流れとしてはF△7-D7-Gm7-C7-Fmで、5度下のコードに向かう動きと、ツー・ファイブの動きを織り混ぜながらFmへと進んでいる。

譜例



CamScannerでスキャン

ザ・カセットテープ・ミュージックの音楽理論

PART 3

珠玉のメロディ・ライン

番組の音楽理論、最後は「珠玉のメロディ・ライン」として、
歌メロに使用される音に注目してまとめた。
エモさを引き立てる「ソ♯」や「ミファミレド」など、必殺技が満載！

楽曲解説：関口真一郎

- ソ♯（ソシャープ）
- ミファミレド
- 大澤誉志幸のラ
- フィリップスのシ♭
- ミ♭の歴史
- 五音音階（ペンタトニック）
- 小室哲哉の五音音階に割り込むシ
- 狭い音階のサビ
- 1音サビ
- ユーミンの跳躍メロディ
- 半音メロディ
- 夏のドシソ

CamScannerでスキャン

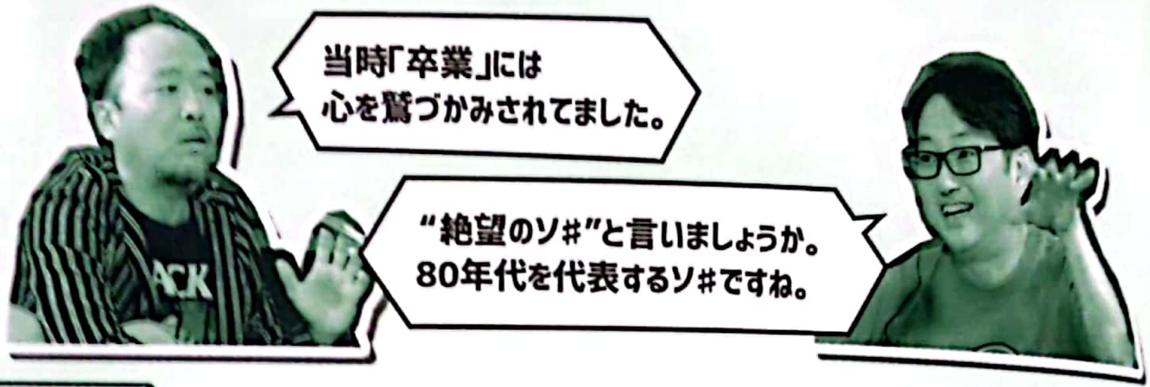
メロディ　ソ♯(ソシャープ)

卒業

尾崎豊 1985年

作詞・作曲：尾崎豊　編曲：西本明

楽曲メモ　「卒業」は1985年1月21日に発売された尾崎豊の4枚目のシングル。2ndオリジナル・アルバム「回帰線」の先行シングルとして、12インチ・レコードでリリースされた。ライブにおける定番曲で、尾崎はこの曲ではピアノを弾いていた。まわりの大人や学校への疑問や怒り、反支配の思いを叩きつけた過激な歌詞表現は当時大きな話題となった。



マキスジトーク

マキタ：ソの#（シャープ）というのが大好きな音なんですよね。ドレミファソのソの#。それでは『最優秀"ソ#"賞』の発表です。

スージー：今回はこの曲をみなさんに聴かせたかったということで選びました。本当に当時の青少年の心を鷲づかみにした曲です。

マキタ：はい、鷲づかみされてました〜。

スージー：尾崎豊の「卒業」です！　すごく長い曲なんですけど、このクライマックス部分があるからこそ、最後まで聴いていられると言うか、"絶望のソ#"と言いましょうか。80年代を代表するソ#です。70年代にはソ#の名曲がいくつかありまして、「なごり雪」（イルカ）や「時の過ぎゆくままに」（沢田研二）とかがありますね。一方、80年代は"ソ#不遇の時代"なんですよ。そんな中、この曲が燦然と輝くソ#の名曲です。この「卒業」が発売されたのが1985年1月。85年の1〜3月は尾崎豊の「卒業」、斉藤由貴の「卒業」、菊池桃子の「卒業 -GRADUATION-」と、まさに"「卒業」戦争"。大半の男の子が菊池桃子か斉藤由貴に行くところを、何割かが尾崎豊に行くという。

マキタ：たしかにみんなこのソの#にやられていたのかもしれない。

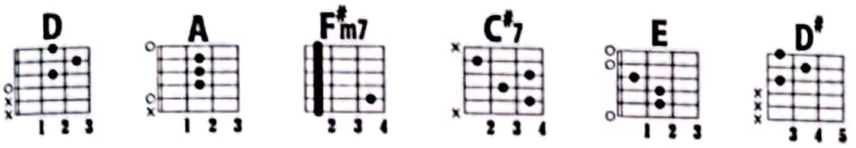
スージー：「卒業」の"そ"には#が付いてますので、"「そ#」つぎょう"ですね。

マキタ：早く卒業しちゃったみたいな。

スージー：それ、中退のことですよ（笑）。

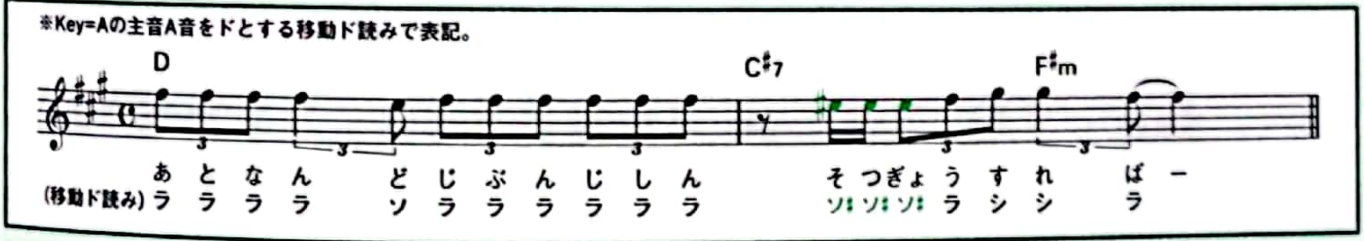
CamScannerでスキャン

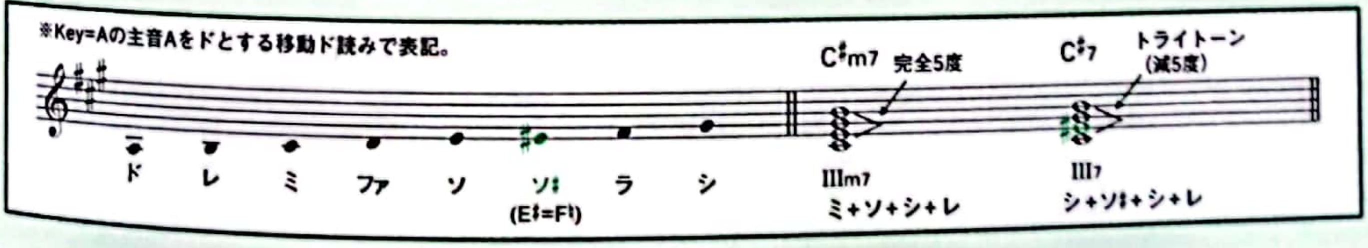
D　　　　　　　　　　A　　　　F#m7
卒業して　いったい何　解ると言うのか
D　　　　　　　　A　　　　F#m7
想い出のほかに　何が残るというのか
D　　　　　　　　A　　　　F#m7
人は誰も縛られた　かよわき小羊ならば
D　　　　　　　　　　　　A　　　　F#m7
先生あなたは　かよわき大人の　代弁者なのか
D　　　　　　A　　　　F#m7
俺達の怒り　どこへ向かうべきなのか
D　　　　　　　　A　　　　F#m7
これからは　何が俺を縛りつけるだろう
D　　　　　　C#7　　F#m7
あと何度自分自身　卒業すれば
D　　　　C#7　　　　F#m7　　D A D A
本当の自分に　たどりつけるだろう
D　　　　　A　　D　　　A　　　D　　　　　　E
仕組まれた自由に　誰も気づかずに　あがいた日々も終る
D　　D#E　A　　D　　　E　A
この支配からの卒業　闘いからの卒業



ポイント　ソ#不遇の80年代に心の叫びとともに響きわたったソ#

番組でふたりが"ソ#"と言う場合、基本的に曲のキーから見たソ#を指し、さらにその音が3度のセブンス・コード（III7）の長3度として鳴る時にエモいと表現している。このソ#がエモく聴こえるのはそのソ#が（キーから見た）レと不協和なトライトーン（減5度音程）を形成するため（譜例②）。譜例①は「卒業」のクライマックス場面。D-A-F#mの進行がくり返される中、ここではAをその代理和音のC#m7にし、さらにそのソの音を半音上げたC#7にすることによって、より切実な響きに仕立てている。

譜例①

譜例②



CamScannerでスキャン

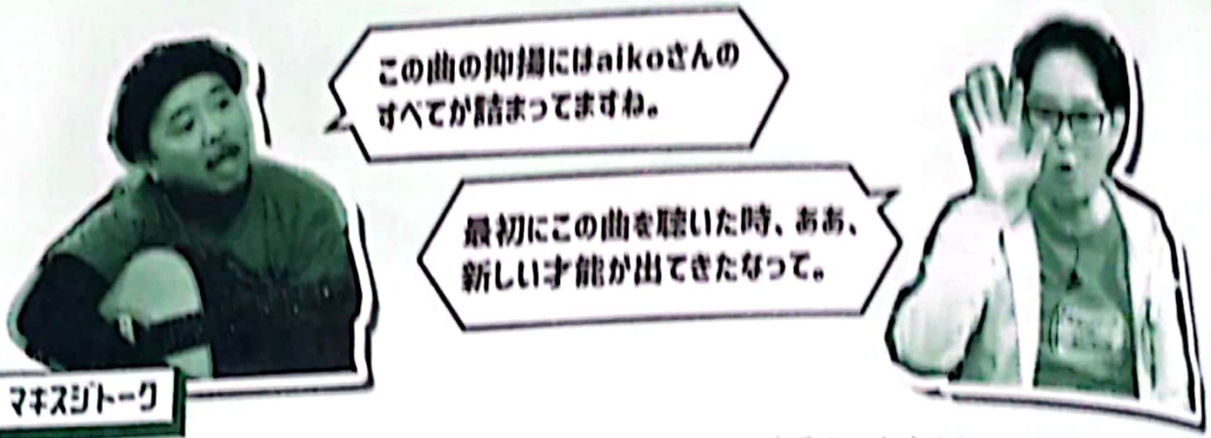
メロディ ソ#(ソシャープ)

カブトムシ

aiko 1999年

作詞・作曲：AIKO　編曲：島田昌典

楽曲メモ
「カブトムシ」は1999年11月17日に発売されたaikoのメジャー通算4作目のシングル。硬い甲羅をまとっているカブトムシも、一旦その甲羅を剥がしてしまえば、柔らかくて脆い存在。そのような発想から、虚勢を張りながら恋する自分をそのカブトムシにたとえて歌ったバラード・ナンバー。桑田佳祐が2013年にイベントでカバーしている。



マキスジトーク

スージー：尾崎豊の「卒業」のクライマックスに、ソ#がピンと光る部分があるとご紹介しましたが、90年代にはこのソ#を連打するミュージシャンが出まして、今日はそれを持って参りました。どうぞ！（「カブトムシ」を流す）

マキタ：あぁ〜、大好き。

スージー：さぁ、みなさん、5連打行きます。

マキタ：来たー！

スージー：去年（2018年）の『紅白歌合戦』で号泣してらっしゃった、aikoさん。

マキタ：号泣してましたよ。ユーミンさんが登場してね。

スージー：音で言いますと、胸がキュンとする3度のセブンス・コードの音です。この曲で一番好きなところは"琥珀の弓張月〜♪"って歌詞があるんですけど。

マキタ：あそこ、たまらないっすね。

スージー：胸がキュンとしますね。

マキタ：この曲の抑揚にはaikoさんのすべてが詰まってますね。aikoの5連打は、意味あるソの#の連打だと思うんですよ。歌唱法としてはベンドって言うんですけど、aiko風にやるならば髪の毛をいじりながら、"ウ〜ン"って唸るやつですよ。はっきりと音に当てていくんじゃなくて、グ〜ンっと持ち上げたり、フーッと沈めたりとか。メロディが基本的にすごい陰鬱なんですよね。メランコリックなところから、トントントントン！ってソの#に当てるところとかで、心の締めつけが急にグーッと上がるんですよ。

スージー：初めて「カブトムシ」を聴いた時、ソ#の使い方も含めて、あぁ、新しい才能が出てきたなって感じがしましたね。

C　Dm　Em　E7　Am　D/F#　G　　　　オリジナル・キー＝E♭　3カポ

C　G/B　Am　Gm　C7　F△7
悩んでる体が熱くて　指先は凍える程冷たい

Em　A7　F　Fm
「どうした　はやく言ってしまえ」　そう　言われてもあたしは弱い

G　C　G/B　Am　Gm　C7　F△7
あなたが死んでしまって　あたしもどんどん年老いて

Em　A7　F　Fm
想像つかないくらいよ　そう　今が何より大切で

G　Am　G
スピード落としたメリーゴーランド

F　Em　Dm　Dm7/G
白馬のたてがみが揺れる

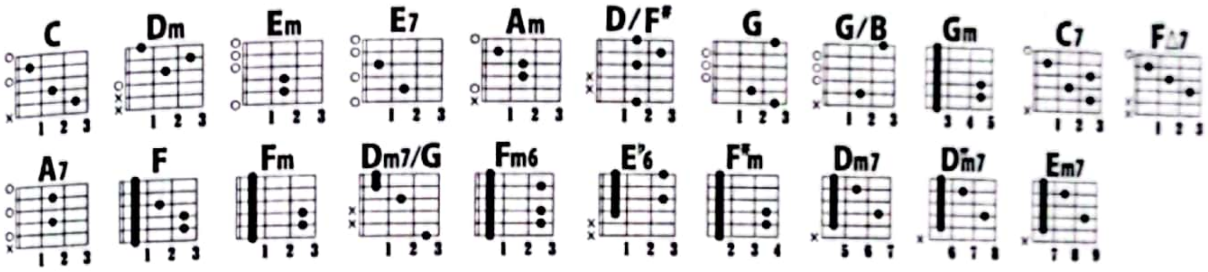
C　Dm　Em　E7　Am　G
少し背の高い　あなたの耳によせたおでこ

F　Fm6　Em　E♭6　Dm　G
甘い　匂いに　誘われた　あたしはかぶとむし

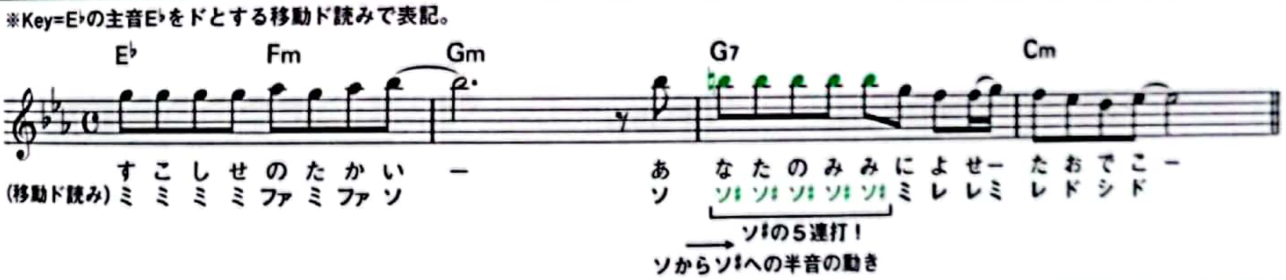
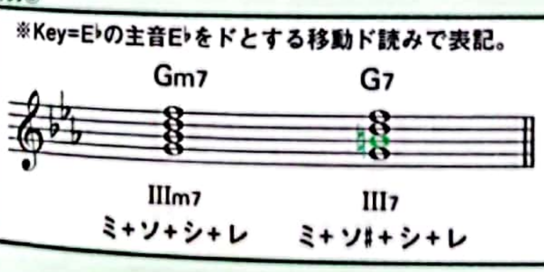
C　Dm　Em　E7　Am　G
流れ星ながれる　苦しうれし胸の痛み

F#m　F6　Em　E♭6　Dm　G　Am　G
生涯　忘れることはないでしょう

F#m　F6　Em　E♭6　Dm　G　C　Dm7　D#m7　Em7
生涯　忘れることはないでしょう



ポイント　心がギュッと締め付けられるソ#の5連打

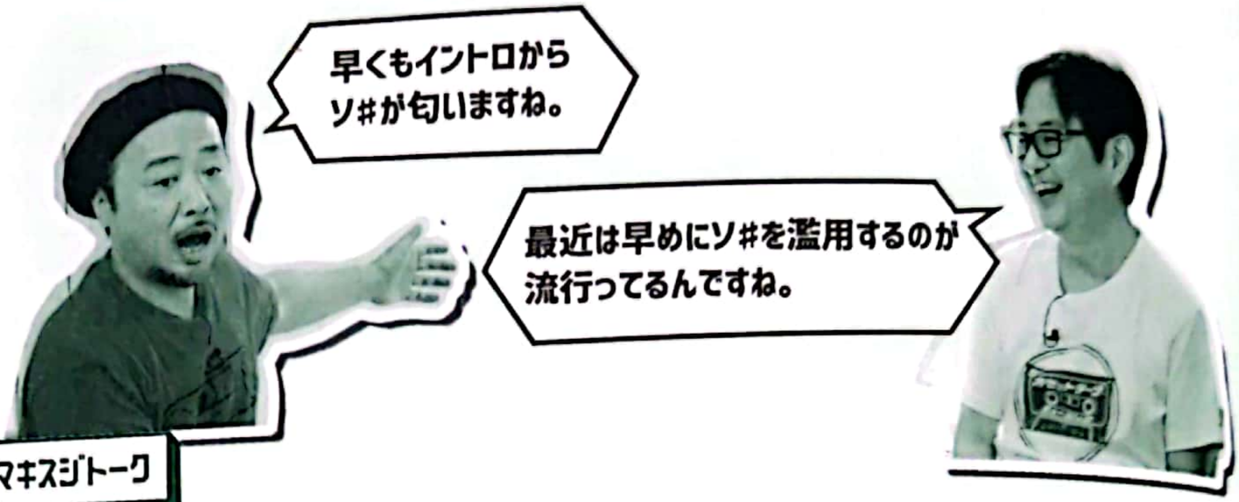
譜例①

譜例②

譜例①は、ソ#が5連打される「カブトムシ」のサビ。このソ#（B♮音）もKey＝E♭のIII7(G7)の長3度に当たっている（譜例②）。尾崎豊の「卒業」は代理和音C#m7のソをソ#にした形だったが、ここは直前のGmのソ（B♭音）をG7でソ#（B♮音）に上げた形。ある意味、クリシェの動きに近いと言える。このサビでは徐々にメロディ・ラインが上がっていくが、その頂点にソ#を持ってくることで、よりソ#の効果が強まっている。

CamScannerでスキャン

メロディ　ソ#(ソシャープ)

「早すぎるソ♯」大賞

「Pretender」Official 髭男 dism 2019年
「イエスタデイ」ザ・ビートルズ 1965年



マキスジトーク

スージー：それでは『最優秀早すぎるソ♯大賞』の発表です！　ソ♯は歌の「ここぞ」というところでバーンと使うのが正統派なんですけども、最近は早めにソ♯を濫用するのが流行ってるんですね。では、このバンドの曲を聴いてみてください。今年（2019年）、流行った曲でございます。(「Pretender」を流す)

マキタ：イントロから匂いますね。

スージー：“それは予想通り〜♪”（譜例）歌メロ冒頭から来ました。早い！

マキタ：ああっ、早ぇ！

スージー：Official髭男dismはセンチメンタリズムと言いましょうか、エモい曲を作るんですけれども。それを無意識でやってるのか、もしくはこの番組を観て、ソ♯の効用に気付いたのかもしれませんけどね。

マキタ：その説で行きましょう（笑）！

スージー：と、分析結果を終えようと思ったんですけども、意外な事実が判明しました。世界で最も有名なソ♯を使った曲は、かなり早すぎたソ♯だったという。世界中のみんなが知ってるあの曲です。『早すぎるソ♯大賞』から転じて、『世界で最も有名なソ♯大賞』を、この曲に授与したいと思います。ザ・ビートルズの「イエスタデイ」(1965年）です。

マキタ：なるほど〜。今のアーティストは昔に“必殺技”として使われていたソ♯をどんどん前倒して使っていると思ったら。

スージー：ビートルズ「イエスタデイ」は超有名曲ですし、それも冒頭ですから、みんな無意識にソ♯がインストールされた形で作曲を始めるわけですよ。それならやっぱり「イエスタデイ」がソ♯の源流だと言っても過言ではないだろうと。

CamScannerでスキャン

G　　　　　　D/F#　　　　　B7(♭9) Em7
君とのラブストーリー　それは予想通り

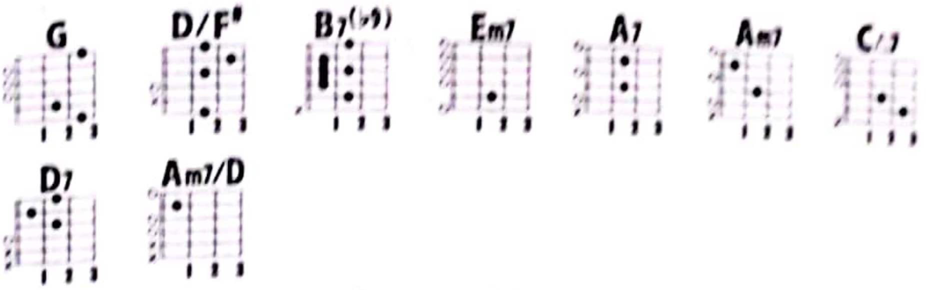
　　　　　A7
いざ始まれば　ひとり芝居だ

Am7　　　　　　　　C7　　D7
ずっとそばにいたって　結局ただの観客だ

G　　　　　　　　D/F#　　　　　B7(♭9) Em7
感情のないアイムソーリー　それはいつも通り

　　　　　A7
慣れてしまえば　悪くはないけど

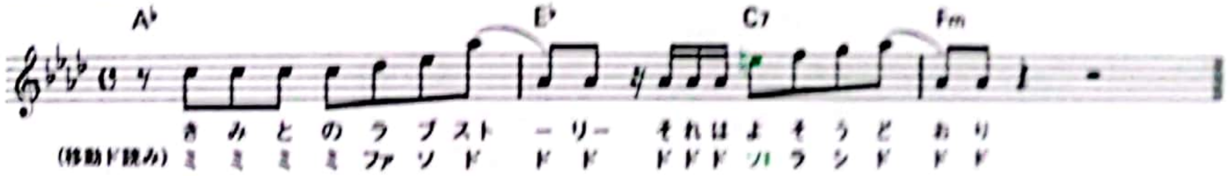
Am7　　　　　　　　Am7/D　　　　　G
君とのロマンスは人生柄　続きはしないことを知った



――「Pretender」Official髭男dism　作詞・作曲：藤原聡　編曲：Official髭男dism

ポイント　現代的なさりげないソ#の使い方

譜例「Pretender」Official髭男dism



譜例①は「Pretender」の歌メロ冒頭部。Key＝A♭のIII7にあたるC7で、ソ#（E♮音）が使われている。「卒業」や「カブトムシ」に比べると、さりげないスパイスのような使い方だ。

CamScannerでスキャン

メロディ ミファミレド

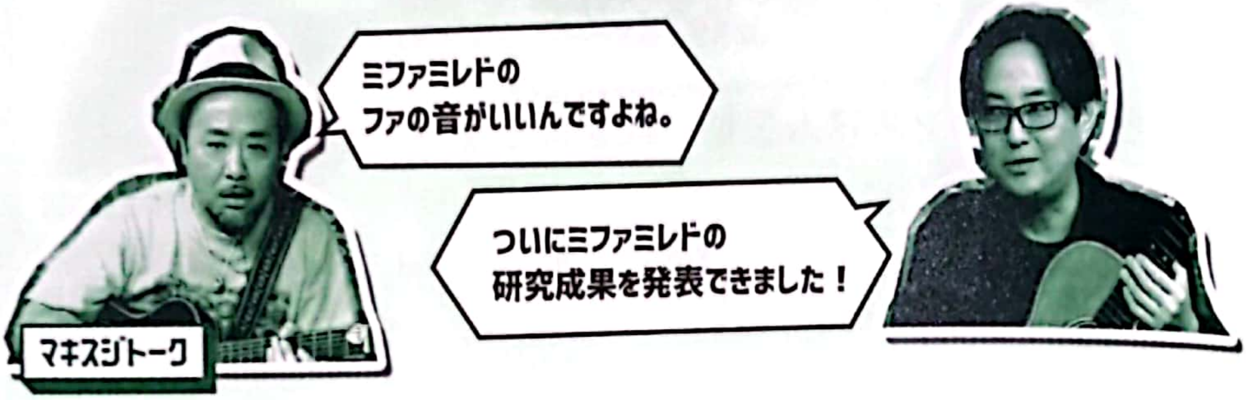
想い出がいっぱい

H2O 1983年

作詞：阿木燿子　作曲：鈴木キサブロー　編曲：萩田光雄

楽曲メモ

「想い出がいっぱい」は1983年3月25日にリリースされたデュオ・グループH2Oの5枚目のシングル。なかなか大きなヒットに恵まれなかったことから、作詞作曲を大作家に依頼。テレビアニメ「みゆき」の主題歌に起用されたことも手伝い、大ヒットを記録したが、このヒットが逆にかせとなり、H2Oの活動終焉を早めてしまった面もあったようだ。



マキスジトーク

スージー：(「想い出がいっぱい」を流して) この曲はご存じですか？

松尾アナウンサー：私、中学校の文化祭の時にみんなで合唱しました。

マキタ：学校行事の歌に合いますよね。

スージー：歌われたということは、あのミファミレドをご存じですね？　あのエモいメロディを。"少女だったと～ミファミレド～♪" (譜例①) なんか胸がキュンとしません？　他にもありまして、THE ALFEEの「恋人達のペイヴメント」だったり、テレサ・テンの「時の流れに身をまかせ」(譜例②) だったり。90年代や2000年代もありますよ。YUKIの「長い夢」とか。みんなミファミレドが好きなんですよ。

松尾：これはメモですね。"ミファミレド"。

マキタ：あんまり日常生活では使わないと思いますよ (笑)。

スージー：今回、そのミファミレドの源流を発見したんです。それはビートルズでした。「フール・オン・ザ・ヒル」です。後半の"He knows～" (2分22秒あたり)。

マキタ：そうか～。ファがいいんですよね。曲とかを作ってると、ミファミレドを使いたくなるんですよ。「想い出がいっぱい」はカノン進行で、みんなが安らぐ曲で、だから先生たちもそれを見て安心してるみたいな。ただ、ミファミレドのところだけ、ちょっとエモいんですよね。そこだけ校則を破っちゃってる感じがあって。

スージー：ミファミレドの研究を50年してきて、やっと発表できてよかったです (笑)！

C　G/B　Am　Am7/G　F　C/E　Dm　G
古いアルバムの中に　隠れて　想い出がいっぱい

C　G/B　Am　Am7/G　F　F/G　C　G/C
無邪気な笑顔の下の　日付けは　はるかなメモリー

C　G/B　Am　Am7/G　F　C/E　Dm　G
時は無限のつながりで　終わりを　思いもしないね

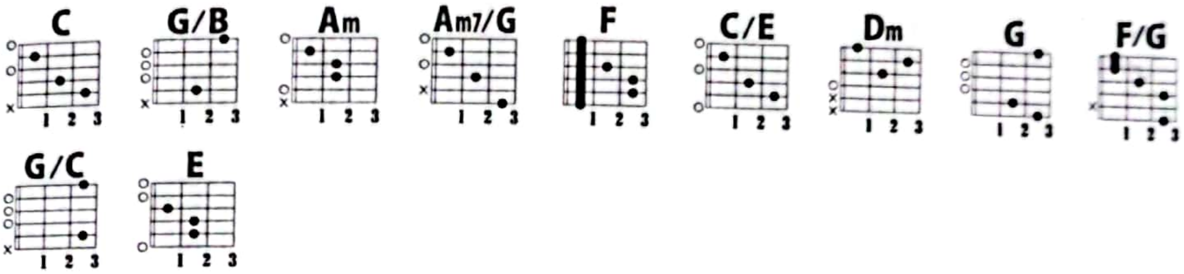
C　G/B　Am　Am7/G
手に届く宇宙は　限りなく澄んで

F　F/G　G/C　F/G
君を包んでいた

C　G/B　Am　F　G
大人の階段昇る　君はまだシンデレラさ

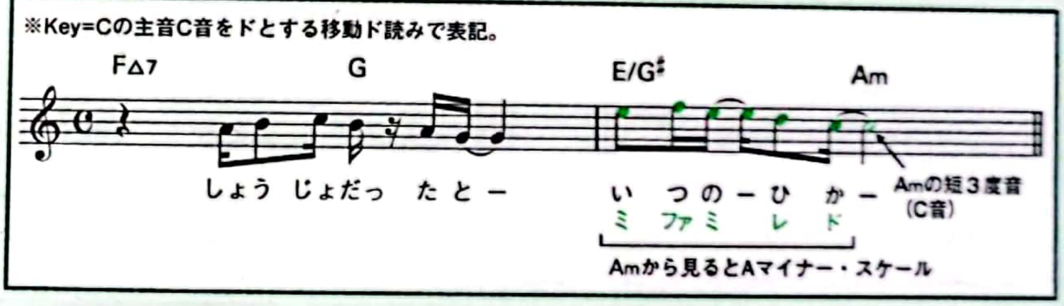
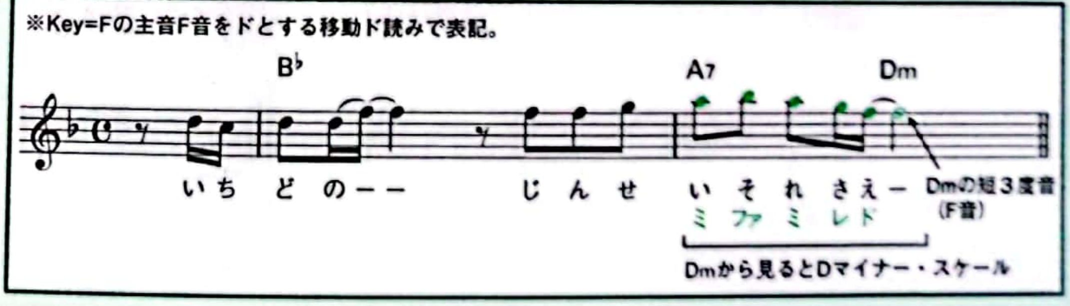
C　G/B　Am　F　G
しあわせは誰かがきっと　運んでくれると　信じてるね

F　G　E　Am　F　F/G　C
少女だったといつの日か　想う時がくるのさ



ポイント　胸がキュンとするミファミレド～♪のメロディ

ふたりが番組でミファミレドと言う場合、ソ#と同様に、曲のキーから見たミファミレドを指している。ミファミレドが胸キュンに感じられるのは、ざっくり言うと、それが落ち着く先のマイナー・コードのマイナー・スケールによる下降フレーズになっていて、なおかつその落ち着く音がそのマイナー・コードを特徴づける短3度の音にあたっているため。譜例①の「想い出がいっぱい」はAmから見たAマイナー・スケールになっている。

譜例①「想い出がいっぱい」H2O

譜例②「時の流れに身をまかせ」テレサ・テン

メロディ ミファミレド

大阪の人に知ってもらいたいミファミレド

第37回 2019年4月7日放送分
『大阪の人に知ってもらいたい8つのこと』

「FACES PLACES」globe 1997年
「Story」 AI 2005年
「これが私の生きる道」 PUFFY 1996年

スージーさん！
今、50年間の研究成果が報われてるよ！

ミファミレドばかり研究してるから、
他にも山ほどあるんです。

マキスジトーク

スージー：私から大阪の人に知ってもらいたいことのひとつは"ミファミレド"。では、ここでミファミレド・メドレーを爆音でお願いします！　ミファミレド〜♪の時は、ぜひ私と一緒に空にミファミレドの音を掴むような動きをしてください。まずは1967年のザ・ビートルズ「フール・オン・ザ・ヒル」から。そしてニューヨーク東海岸ミファミレドの「明日に架ける橋」（サイモン&ガーファンクル）。そして、いきなりミファミレド〜が来ますよ！　ボズ・スキャッグスで「ウィ・アー・オール・アローン」（次々と曲が流れる）。

マキタ：会場のみなさん、いいよ！　こっちから見てると、いい動きよ（笑）！

スージー：そして日本です。1983年のH2O「想い出がいっぱい」。今度は台湾に行きましょう。「時の流れに身をまかせ」（テレサ・テン）。そして高音ミファミレドです。globeの「FACES PLACES」（譜例①）。さぁ、ラストですよ！　21世紀の曲に入りましょう。AIの「Story」！（譜例②）以上！　イェーイ！（会場拍手）

マキタ：いや〜、俺、泣きそう。

スージー：なんで泣いてまんの？

マキタ：だって、みんなスージーさんの動きに合わせて、会場のみんなが"ミファミレド・ダンス"やってんだよ。50年間研究してきた成果が、今、報われてんだよ！

スージー：（笑）。実はエモいミファミレドとエモくないミファミレドがありまして、平行調の6度のマイナーに行かないと全然エモくないんです。日本で最もエモくないミファミレドをかけましょう。この曲でございます（「これが私の生きる道」を流す：譜例③）。

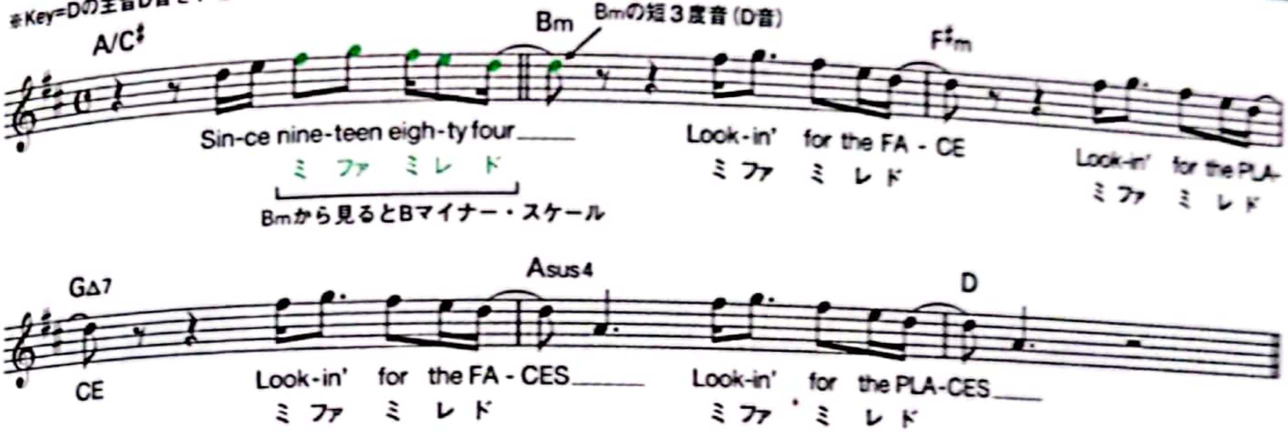
マキタ：ホントだ、エモさゼロ。

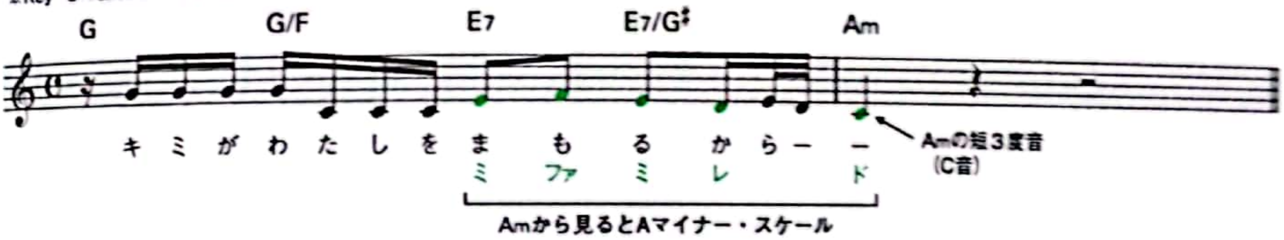
スージー：これはコード進行が4度のサブドミナントに行っていますから、全然エモくない。「OH MY LITTLE GIRL」（尾崎豊）とかもそうですね。他にもミファミレドはYUKIの「長い夢」とか、山下達郎「蒼氓」とかにもありますね。ミファミレドばかり研究してるから、山ほどあるんです（笑）。

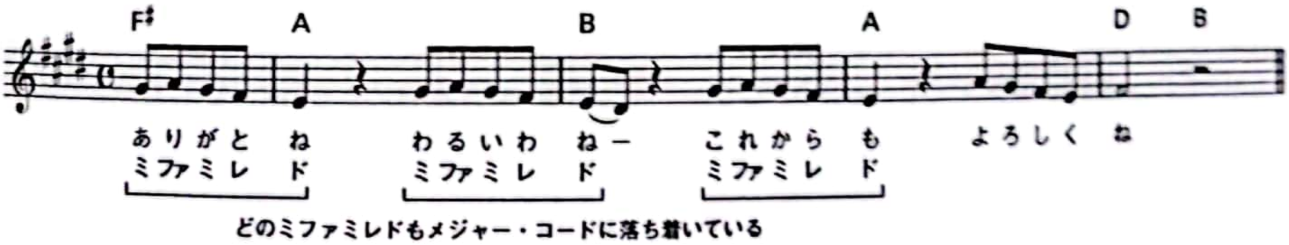
ポイント 全国の人にも知ってもらいたい、いろんなタイプのミファミレド

譜例①はglobeの「FACES PLACES」の高音サビ。"Since 1984～♪"のミファミレドだけ145ページで解説したように、落ち着く先のマイナー・スケールになっているが、以降はコードが動いていくので当てはまらない。ただ、その最初のフレーズをくり返すことで、そのメロディ・ラインの印象が持続し、エモくなっているパターンだと言えるだろう。譜例③の「これが私の生きる道」は落ち着く先がメジャー・コードなので、エモくなっていない。

譜例①「FACES PLACES」globe

※Key=Dの主音D音をドとする移動ド読みで表記。

譜例②「Story」AI

※Key=Cの主音C音をドとする移動ド読みで表記。

譜例③「これが私の生きる道」PUFFY

※Key=Eの主音E音をドとする移動ド読みで表記。

「FACES PLACES」globe 作詞：小室哲哉／マーク 作曲：小室哲哉
「Story」AI 作詞：AI 作曲：2 SOUL
「これが私の生きる道」PUFFY 作詞・作曲：奥田民生

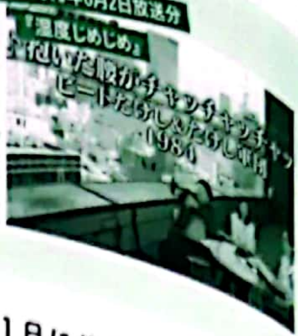
メロディ 大澤誉志幸のラ

抱いた腰がチャッチャッチャッ(CHA CHA CHA)

ビートたけし&たけし軍団 1984年

作詞：大津あきら　作曲：大澤誉志幸

第41回 2019年6月2日放送分



楽曲メモ

「抱いた腰がチャッチャッチャッ（CHA CHA CHA）」は1984年8月21日にリリースされたビートたけし&たけし軍団のシングル。作曲は大澤誉志幸。たけし軍団による"チャッチャッチャッ"というコーラスがお囃子のように聴こえる愉快な曲だ。他アーティストへの楽曲提供の多い大澤だが、ビートたけしの曲は他にも、数多く手がけている。

ホントにラの音が耳に残りますね。

メロディがラから始まるから、すごく印象に残るんですね。

マキスジトーク

スージー：この曲のポイントは、作曲が大澤誉志幸だということ。歌声の湿度は100%ですね。ビートたけしの歌は大澤誉志幸の曲が多いんです。「ハード・レインで愛はズブヌレ」とか。

マキタ：名曲、名曲。

スージー：他にも「哀しい気分でジョーク」、「BIGな気分で唄わせろ」とかですね。インタビューを読みますと、ビートたけしは大澤誉志幸のデモテープを聴いた時に「これ、ビートたけしっていうクレジットで出しゃあいいじゃないか」って言ったぐらい声が似てるらしいですね。で、今回お話ししたいのが"大澤誉志幸のラ"。"玉置浩二のレ"とよく似たバージョンです。キーがAなんですけど、"チャッチャッ チャッ、チャッチャッチャッチャチャ〜♪"っていうメロディ、めっちゃ印象に残りません？（譜例①）

マキタ：残る、残る。

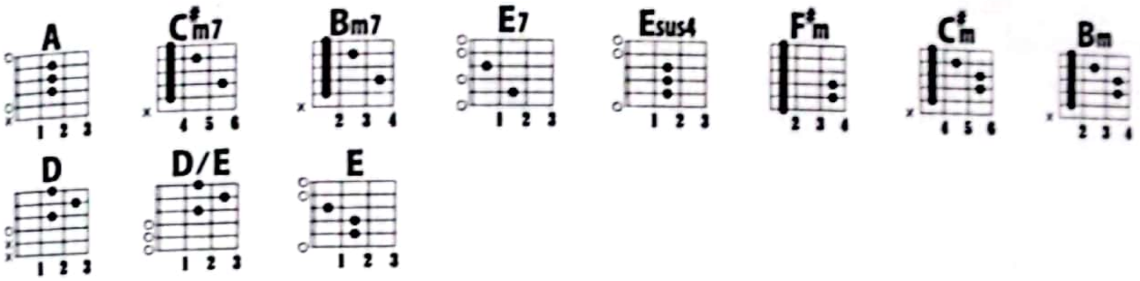
スージー："ララソ、ラララソ"。ドミソの和音ですから、普通は"ソソラソ、ソソラソ"って、ソから始まるのが普通なんです。でも、そうじゃなくって"ララソ、ラララソ"。"チャッチャッチャッ、チャッチャッチャチャ〜♪"、"思いきりろくでなし〜♪"どちらもラから始まるんですよ。だからすごく印象に残るんですね。ラはシックスなんですけど……。

マキタ：そうですね。6度、シックス（譜例②）。

スージー：これが"大澤誉志幸シックス=大澤誉志幸のラ"ですね。

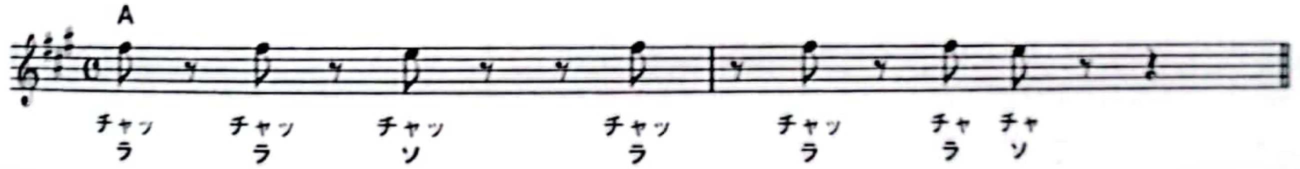
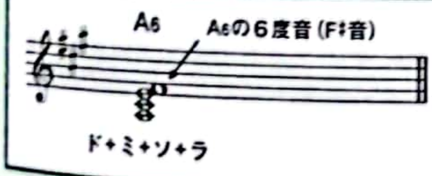
CamScannerでスキャン

A
思いきりろくでなし（CHA CHA CHA CHA）
C#m7
イキがって　ここまでだったよ（CHA CHA CHA CHA）
Bm7
（CHA CHA CHA CHA CHA CHA CHA）
E7
うらむが勝ちさ（CHA CHA CHA CHA CHA CHA CHA）
A
夢を茶化した　あんたと（CHA CHA CHA CHA）
C#m7
愛にオドケた　おいらがよぎる（CHA CHA CHA CHA）
Bm7
（CHA CHA CHA CHA CHA CHA CHA）
E7
あの日の　SAY GOOD-BYE
Esus4 E F#m C#m Bm C#m Bm C#m D D/E D
言　葉だけじゃ　もう戻れない　同じ愛し方じゃ　ガマンできない
A C#m D E
とにかく　シャクのたね（FU）　さそい涙すてて（FU FU）
A C#m D D/E A
ルージュの唾を飲み（FU FU FU）　抱いた腰が　男と女



ポイント 明るく楽しい雰囲気を作り出す“ラ”

譜例①「抱いた腰がチャッチャッチャッ（CHA CHA CHA）」ビートたけし&たけし軍団／サビ・パート

#Key=Aの主音A音をドとする移動ド読みで表記。

譜例2

長6度（ラ、シックス：譜例②）は明るい響きが特徴で、ロックンロールのリフでも、3和音のコードの上でソソラソ、ソソラソ……とフレーズを動かして、ラを強調することが多い。譜例①はビートたけし&たけし軍団による「抱いた腰がチャッチャッチャッ（CHA CHA CHA）」のサビ・パート。ここではラララソ、ラララソと、メロディをラから始めて、さらにラを強調することで、楽しげな雰囲気を作り出している。

CamScannerでスキャン

メロディ フィリップスのシ♭

恋のダイヤル6700

第33回 2019年2月3日放送分
『マキタノート・スージーファイル大公開スペシャル』

フィンガー5 1973年

作詞：阿久悠　作曲・編曲：井上忠夫

楽曲メモ　「恋のダイヤル6700」は1970年代前半に爆発的な人気を誇った男女混合のアイドル・グループ、フィンガー5の大ヒット曲。1973年12月5日にリリースされた4枚目のシングルで、作詞は阿久悠、作曲は井上忠夫。ソウルフルでノリノリなロックンロール・ナンバーだ。電話のダイヤルを回すという表現は、今の若い人たちには伝わらないかも。

シ♭をどのようにお茶の間に流し込むか、みんな相当苦労したんでしょうね。

フィリップスが日本にロックンロールを根づかせたんじゃないかと。

マキスジトーク

スージー：フィリップス・レーベル――オランダ発のクラシックで有名なレーベルですが、その系列の日本のフィリップス・レーベルはシ♭の音を使った音楽をたくさんリリースしたんですね。まずはこの曲を聴いてください。フィンガー5の「恋のダイヤル6700」です。ブルージィというか、ロックンロールな感じがしませんか？　シ♭はブルー・ノートと言いまして、ブラック・ミュージックでよく使われる音ですね。ザ・スパイダース、ザ・テンプターズ、ジャガーズといったグループ・サウンズに始まり、キャロル、フィンガー5と、非常にハイカラでブルージィな日本語によるロックンロールを生み出したレーベルなんですが、さらにヒット曲が多いので、フィリップスが日本にロックンロールを根づかせたんじゃないかと。ただ、当時の70年代の日本人に合うように、味をまろやかに薄口醤油をかけてるんですよ。「恋のダイヤル6700」も前半は普通のロックンロールですけど、それでは味が強すぎるので、“あなたが好き～♪”で、平行調のマイナーに行く。

マキタ：そこで騙されちゃう。

スージー：その瞬間に日本のマーケットにスポッと入るわけですよね。

マキタ：僕は当時4歳くらいの子供だったので、ブルー・ノートも何もわからなかったですけど、ダウン・タウン・ブギウギ・バンドの「スモーキン・ブギ」（1974年）なんかは、妥協なしのストレートなロックンロールですよね。でも、ツナギを着たりして、どこかちょっと笑いをもって迎えられているようなところがありませんでした？

スージー：ダウン・タウン・ブギウギ・バンドは、ざっくり言えば、キャロルのパロディですよね。平行調のマイナーには行きませんが、ヒットチャートを賑わせるために、ややコミカルにしてメジャー・シーンに上り詰めたと。

マキタ：だからどっちかなんですよね。笑いでマイルドにして、だましだまし伝えるか、それとも音階で工夫するのか。そのシ♭をどのようにお茶の間に流し込むか、みんな相当苦労したんじゃないかと思いますね。

CamScannerでスキャン

A
リンリンリリン　リンリンリリンリン

A
リンリンリリン　リンリリリリン

A
リンリンリリン　リンリンリリンリン

A
リンリンリリン　リンリリリリン

A
リンリンリリン　リンリンリリンリン

A　　　　　　　　　　　　　　　A7
リンリンリリン　リンリリリリン

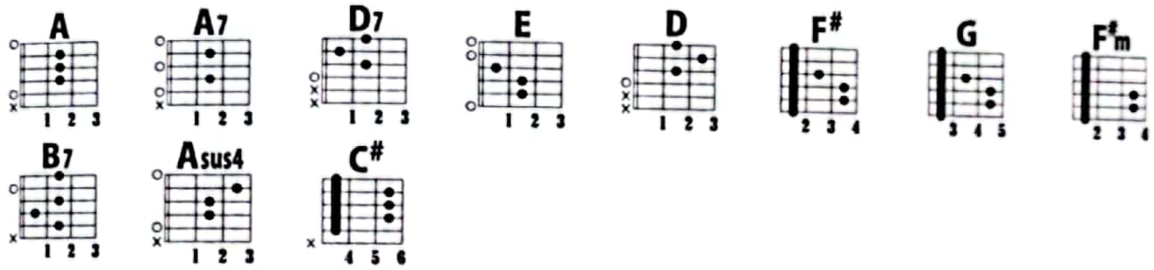
A7
明日は卒業式だから　これが最後のチャンスだよ

D7　　　　　　　　　　　A7
指のふるえを　おさえつつ　僕はダイヤル　まわしたよ

E　　　　　　　　　D　A7 E F♯　G
君のテレフォン・ナンバー6700　ハロー

F♯m　　　　B7　　　　　D　　E　Asus4 A　　C♯
あなたが好き　死ぬほど好き　この愛うけとめて　欲しいよ

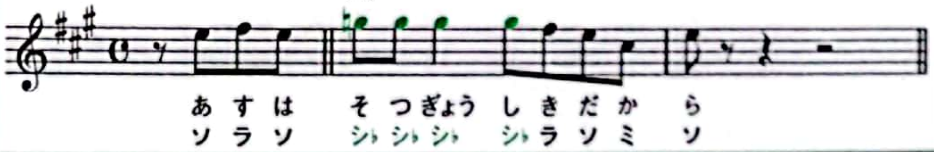
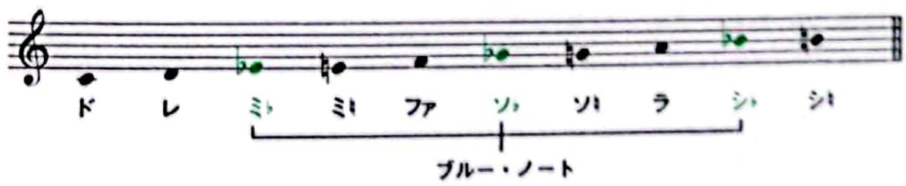
F♯m　　　B7　　　　　D　　　E　Asus4 A　　E
男らしく　言いたいけど　ドキドキ　ときめいて　言えない



ポイント　ロックンロールやブルースでお馴染み

ブルー・ノートとはミとソとシを半音下げたブルージィな響きのする音のこと（譜例②）。厳密に言えば、平均律には当てはまらない微妙なピッチを指すが、一般にはそのように解釈される。譜例①は「恋のダイヤル6700」の歌メロ冒頭部。"卒業式だから♪"の"そつぎょうし"が、シ♭（G♭）のブルー・ノートになっている。通常、セブンス・コードはドミナントになるが、ブルースのコード進行ではI7（この曲ではA7）はトニックとして扱われる。

譜例①「恋のダイヤル 6700」歌メロ冒頭部

※Key=Aの主音A音をドとする移動ド読みで表記。

譜例② Cメジャー・スケール+ブルー・ノート

CamScannerでスキャン

メロディ　ミ♭の歴史

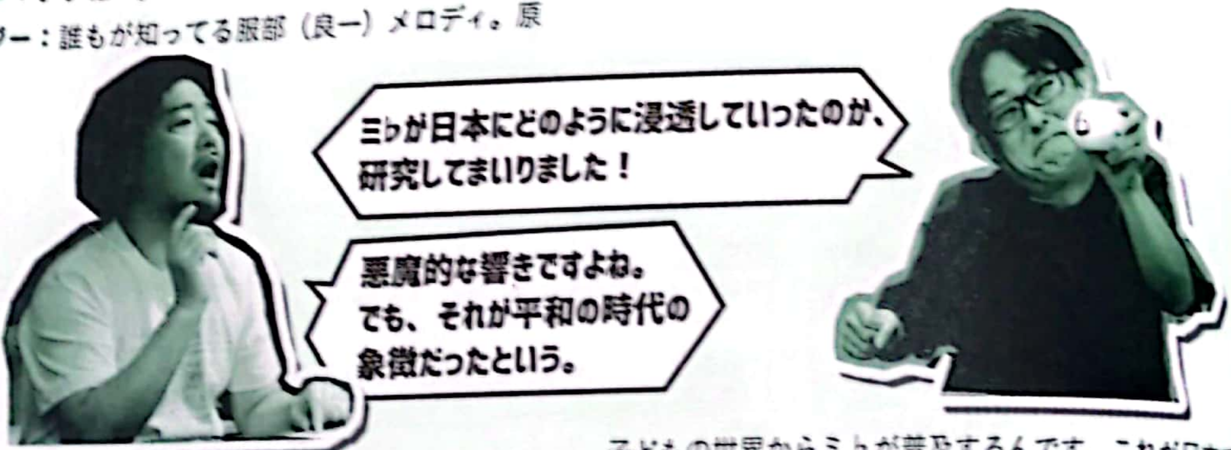
日本ミ♭ヒストリー（前編）

「東京ブギウギ」笠置シヅ子 1948年
「ゲゲゲの鬼太郎」熊倉一雄 1967年
「伊勢佐木町ブルース」青江三奈 1968年

マキスジトーク

【日本ミ♭史チャプター①】

スージー：今回のテーマはミ♭（音を鳴らす）。
うめ子：怖いです。
スージー：おっしゃるように、怖いとか不気味な響きがするじゃないですか。このミ♭が日本にどのように浸透していったのか。今回は戦後から歴史を研究してまいりましたので、発表したいと思います。まずは歴史をさかのぼりましょう。1948年（昭和23年）。あまりにも古いので、ユニコーンのカバーでお届けしますけど、この曲は日本に平和をもたらしたと同時に、ミ♭ももたらしたんですね（「東京ブギウギ」を流す）。
マキタ：いいね〜。
スージー：誰もが知ってる服部（良一）メロディ。原曲は1948年（昭和23年）1月の笠置シヅ子バージョンですね。国内に占領軍は駐留しているんですけれども、戦時中に禁止されていたアメリカの音楽とかが一気に入ってくるんですね。そしてミ♭。専門用語で言うと、ブルー・ノートですが、単体で聴くとちょっと恐ろしい感じ。
マキタ：悪魔的な響きですよね。でも、その音が「これから時代が変わっていくぞ」というシンボルチックな意味合いに変わっていったのも面白いですね。
スージー：日本には戦前からジャズなどの音楽は入っていましたが、これだけ多くの日本人がミ♭を体験したのは、この昭和23年の笠置シヅ子からだと言うんですよね。



【日本ミ♭史チャプター②】

スージー：でも、ミ♭はそこから地下に潜りまして、その後、ジャズ・ブームはあったものの、そこから20年が経ち、昭和43年（1968年）になって突如ミ♭が全国区になるんです。ジャズとかブルースって大人の世界じゃないですか。でも、ちょっと回り道するんですよ。子どもの世界からミ♭が普及するんです。これが日本で最も有名なミ♭ですね（「ゲゲゲの鬼太郎」を流す）。
マキタ：これか！　この初期バージョン好き！
スージー：リリースは1967年みたいなんですけど、番組が始まったのは昭和43年。日本で最も有名なマイナーのミ♭ですね。この曲を作ったのがCMの曲とかも手がけていらした、いずみたくさん。

CamScannerでスキャン

マキタ：さっきミ♭を聴いた時に、何て言ったっけ？

うめ子：怖い。

スージー：いきなりそう結論づけたのは鋭いですよ。他にも「妖怪人間ベム」（1968年）で使われたり。大人の世界でも、この曲が流行るんです。青江三奈の「伊勢佐木町ブルース」（1968年）。1968年はミ♭の当たり年なんですよ。

マキタ：これは重要な指摘だと思うんですけど、笠置さんってコメディエンヌじゃないですか。そういう方向から伝わり、今度は子どもとかから浸透してきているのが面白いですね。

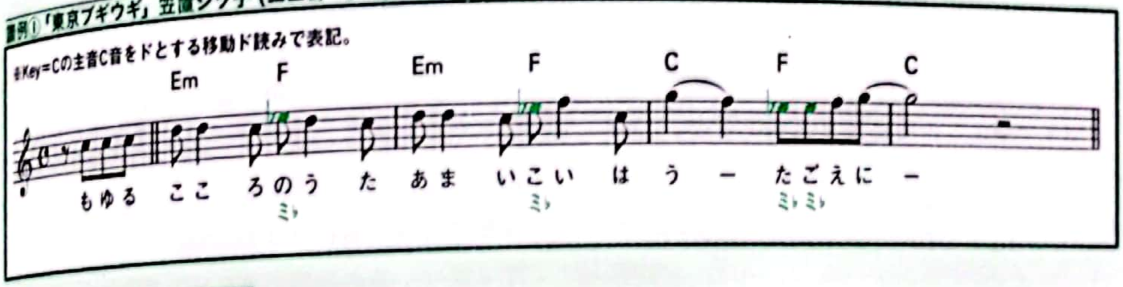
スージー：それは大変重要な指摘ですね。33回の放送でシ♭の話をした時に、フィンガー5、ザ・スパイダース、ダウン・タウン・ブギウギ・バンドとか、ちょっと子どもっぽいとか、おもちゃっぽい、お笑いっぽいところからブルー・ノートが入ってきたのと同じ構造なんですね。キワモノって言うんでしょうか。真面目にブルースとかジャズとかをやっても通じにくいですから、諧謔性という難しい言葉になりますが、そうした要素を持たせたということですね。

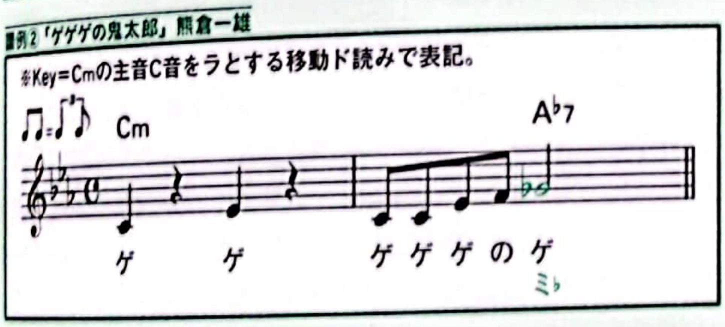
マキタ：青江三奈さんの「アンッ、アンッ」は、子どもたちもマネしましたからね。「妖怪人間ベム」や「ゲゲゲの鬼太郎」なんかもそうだし、正攻法では伝わりづらかったものを、こうやってちょっと角度を付けることによって、浸透させてきたことがうかがえますよね。

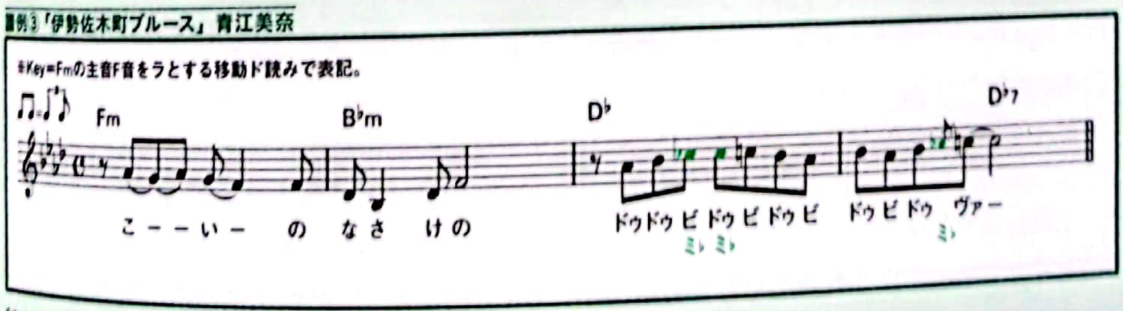
ポイント 怪しげでブルージィな雰囲気を漂わせるミ♭

これまで同様、ふたりが番組でミ♭と言う場合、曲のキーから見たミ♭を指している。譜例①はユニコーンによる「東京ブギウギ」のBメロ。Fコードでミ♭が使われており、Fコードから見ると、ブルージィさを醸し出す♭7th（E♭）にあたっている。譜例②は「ゲゲゲの鬼太郎」の歌メロ冒頭。マイナー・キーは主音をラとしているので、最後のゲの音がミ♭になる。譜例③は「伊勢佐木町ブルース」のサビで、C♭（B♮）音がミ♭になっている。

譜例①「東京ブギウギ」笠置シヅ子（ユニコーン・カバー・バージョン）



譜例②「ゲゲゲの鬼太郎」熊倉一雄

譜例③「伊勢佐木町ブルース」青江美奈



「東京ブギウギ」笠置シヅ子 作詞：鈴木勝 作曲：服部良一
「ゲゲゲの鬼太郎」熊倉一雄 作詞：水木しげる 作曲：いずみたく
「伊勢佐木町ブルース」青江美奈 作詞：川内康範 作曲：鈴木庸一

CamScannerでスキャン

メロディ ミ♭の歴史

日本ミ♭ヒストリー（後編）

「モンスター」ピンク・レディー 1978年

「UFO」ピンク・レディー 1977年

「イケナイコトカイ」岡村靖幸 1988年

マキスジトーク

【日本ミ♭史チャプター③】

スージー：そしてさらに10年経って1978年。国民的ユニットが子どもたちを魅了します。ミ♭を連発して、ヒットチャートの1位を席巻するんですよ。この歌でございます。「モンスター」（ピンク・レディー）**（譜例④）**。調べてみたら1978年6月25日発売で、「勝手にシンドバッド」（サザンオールスターズ）と同じ発売日なんです。偶然と言うか、奇遇な感じがしますね。本当にピンク・レディーはミ♭が多いんです。他にも「ペッパー警部」（1976年）、「カルメン'77」（1977年）、「渚のシンドバッド」（1977年）、「UFO」（1977年）。もうピンク・レディーはミ♭の宝庫。

マキタ：だらけじゃないですか！　でも、ピンク・レディーが活躍していたのって4年ぐらいなんですよね。だからミ♭のドーピングをしすぎたのかもしれない。国民のオモチャたらんと一生懸命にやりすぎて、あっという間に消耗しきってしまった感じがしません？

スージー：それはありますね。1978年ってピンク・レディーの人気が下がっていく時期にもあたるんですよ。78年の大晦日には『紅白歌合戦』を辞退して、そのあたりを境に失速するんです。事務所の思惑とかもあったのかもしれませんが、それとは別にミ♭のドーピングが過ぎて、子どもっぽすぎるように見えてしまったのは、正直ありましたね。

マキタ：文房具とか、マーチャンダイジングは本当に成功して、瞬間風速はすごかったんですけど、飽きられるのも早かったですもんね。

スージー：その消費の速度を速めたのがミ♭のドーピング。1978年4月にはキャンディーズの後楽園球場の解散コンサートがめっちゃ盛り上がるんですね。ピンク・レディーは子ども、キャンディーズは大学生をターゲットにしていて、そこから大学生は山口百恵とか沢田研二とかじゃなくて、ニュー・ミュージックの方に行くわけですよ。奇しくも6月25日に「モンスター」がサザンオールスターズの「勝手にシンドバッド」と同じ日に出ているのは、時代の端境と言いましょうか。新しい大学生路線に乗りきれなかったピンク・レディーの市場は徐々に小さくなっていく。79年はわりと歌謡曲不遇の時代で、山口百恵やピンク・レディー、沢田研二とかが退潮して、サザンオールスターズやアリス、ゴダイゴといったアーティストが飛び出してくる群雄割拠の時代になっていくわけです。

CamScannerでスキャン

【日本ミ♭史チャプター④】

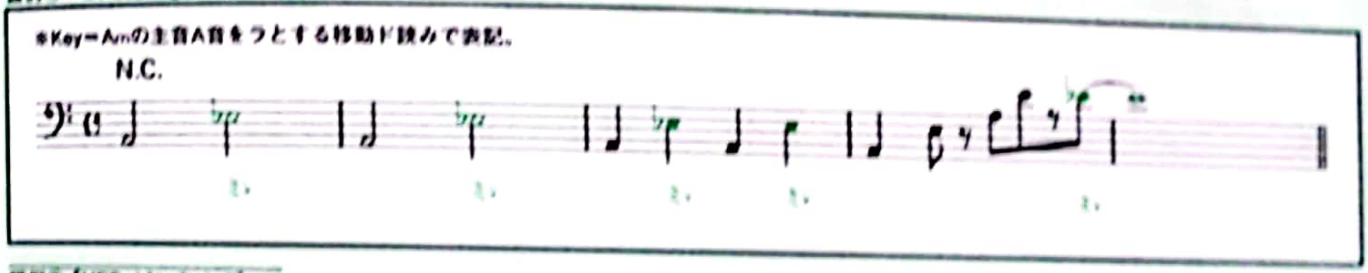
スージー：そしてさらに10年が経って1988年。ミ♭がそれまでの人工的なミ♭ではなく、その感覚を肉体に内蔵した"ミ♭の申し子"のような人が現れます。普通に歌ってもミが♭（フラット）してしまう。要するにブルージィになるということなんですが、この方のこの曲でございます（岡村靖幸「イケナイコトカイ」を流す）。

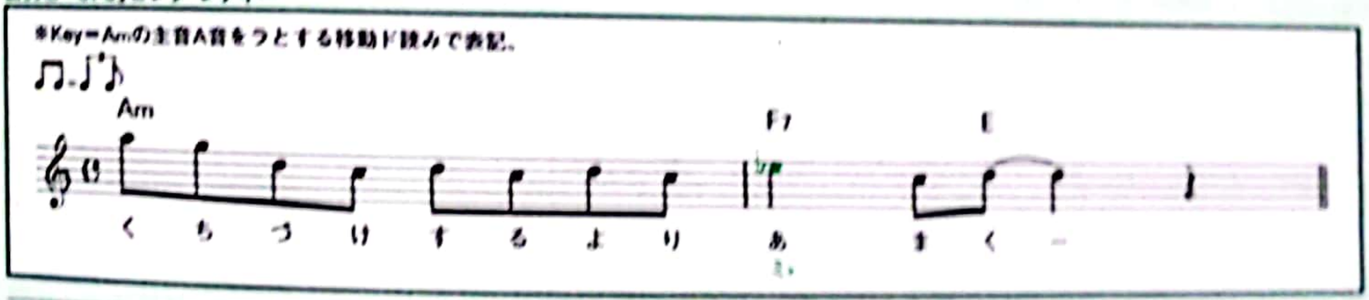
マキタ：素晴らしい。"Baby〜♪"はフェイクですもんね。そもそも岡村さんのメロディって、ある種、不正確なんですよね。

スージー：ミ♭が楽譜に書いてあるわけじゃなく、ざっくり言うと、ブルースっぽい歌い方をしている。ミ♭を人工的な扱い方じゃなく、肉体的に表現できるシンガーが「東京ブギウギ」から40年経って出てきたわけです。というわけで、「東京ブギウギ」から40年。「ゲゲゲの鬼太郎」、「妖怪人間ベム」、ピンク・レディーの「モンスター」があり、やっと40年後に自然とブルースっぽい歌い方をするシンガーが出てきたという"日本ミ♭ヒストリー"ならぬ"ミ♭ストリー"でございました！

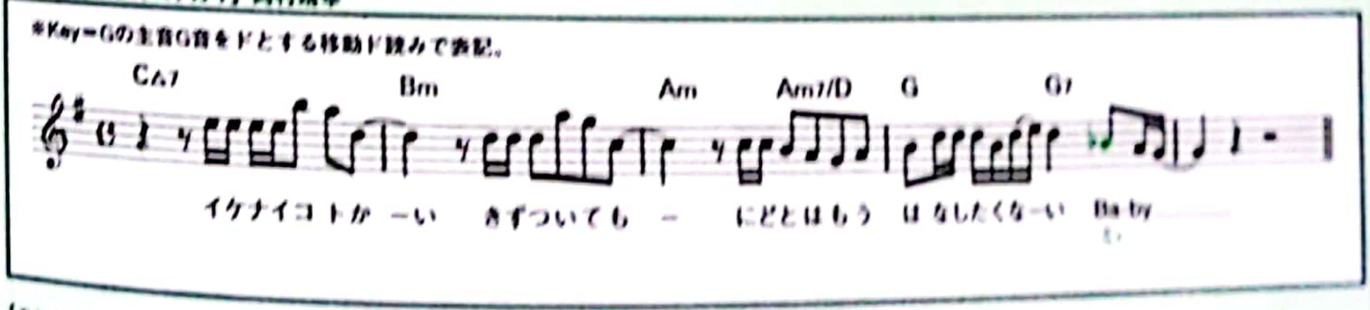
ポイント　ガジェット的な使い方から、よりナチュラルな使い方へ

譜例④はピンク・レディーの「モンスター」のイントロ。女性の悲鳴のあとに流れる悪魔的な重厚メロディ。曲名どおり、これでもか！というくらいに、ミ♭で恐怖感を煽っている。譜例⑤はピンク・レディーの「UFO」のBメロ。ユニコーンの「東京ブギウギ」と同じくFコードに対するミ♭音だが、こちらはマイナー・キー。譜例⑥は岡村靖幸の「イケナイコトカイ」のサビ。"Baby〜♪"というフェイク部分のミ♭音がミ♭になっている。

譜例④「モンスター」ピンク・レディー

譜例⑤「UFO」ピンク・レディー



譜例⑥「イケナイコトカイ」岡村靖幸



「モンスター」ピンク・レディー　作詞：都倉俊一　作曲：阿久悠
「UFO」ピンク・レディー　作詞：都倉俊一　作曲：阿久悠
「イケナイコトカイ」岡村靖幸　作詞・作曲：岡村靖幸

メロディ 五音音階（ペンタトニック）

十人十色

大江千里 1984年

作詞・作曲：大江千里　編曲：清水信之

第41回 2019年6月2日放送分

楽曲メモ　大江千里は1983年、関西学院大学在籍中にデビュー。「十人十色」は大学を卒業した翌84年の11月1日にリリースされた6thシングルで、味覚糖キャンディーのCM曲に採用され、そのCMには本人も出演している。曲はスマッシュヒットし、彼の出世作となった。なお、CM版の編曲はTM NETWORKでデビューしたばかりの小室哲哉が行なっている。

メロディに五音音階が入ると急に親しみやすくなりますね。

星野源の「恋」あたりの源流には大江千里があるんじゃないかと。

マキスジトーク

スージー：大江千里の「十人十色」。音は"ザ・EPICサウンズ"という感じですね。この人は富田林高校から関西学院大学ですから、関西の山の手。

マキタ：（関西学院大学には）お坊ちゃん学校というイメージがありますよね。

スージー：当時も可愛いかったですよ。べっ甲のメガネとかをしてね。一時期、彼は"男ユーミン"と言われた時代もありまして。技巧的なメロディとか転調を操りながら、作曲家としても個性的な作品を残したという風によく言われますね。

マキタ：けっこうミュージシャンの間でも、大江さんのことが好きな人はいますよね。

スージー：私はやっぱり星野源の「恋」あたりのポップソングの源流には大江千里があるんじゃないかと。音楽的に分析すると、五音音階という共通項があるんです。ドレミソラ。

マキタ：ペンタトニックですよね。

スージー：そうです。ファとシが入っていません。「恋」は凝っているから、ファが2回だけ入ってきますけど、どちらにせよ「十人十色」はちょっと「恋」っぽいじゃないですか。偶然の一致だとは思うんですけど、星野源はかなり意識的に五音音階を使いますよね。大江千里がどこまで意識していたのかは定かではないですけど、奇妙な符合がありますよね。

マキタ：確かに星野源さんの声質も大江千里さんとちょっと似ている感じはしますよね。それに日本人の大好きなメロディ・ラインの中にその五音音階が入ると、急に親しみやすくなる。大江さんもすごく音楽理論に詳しい方だと思うんですけど、やっぱりポップスを作るにあたっては、"大衆と手をつなぐためには？"ってことを意識しながら作っていたんじゃないですかね。

CamScannerでスキャン

A　　　　　　　　　　E F#m7
ラッシュの波に押されて　少し遅れた夜には

D　　　A/C#　　　　　Bm7　　Bm7/E
改札口で　おどけたように　大きく手を振るよ

A　　　　　　　　　　E F#m7
タイをゆるめるふりして　ひじに視線おとして

D　　　　A/C#　　　　Bm7　　　Bm7/E　F#m7
言いたいことの　半分さえも　言えずに君を抱きしめた

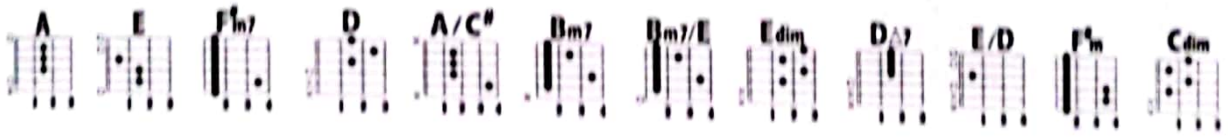
F#m7　Edim　　D△7　　D A D
遠くで聞こえるサイレン

E　　　E/D　　A/C# F#m
たまにしか逢えないけ　ど

A/C#　Cdim　Bm7　A/C#　Bm7/E
100年分も抱きしめる

A　　A/C#　　D△7　　A/C#　Bm7　Bm7/E
十人十色　ぼくを選んだこと後悔させない

A　　A/C#　　D△7　A/C#　Bm7　Bm7/E　D A
十人十色　きっと世界一の幸せにさせる

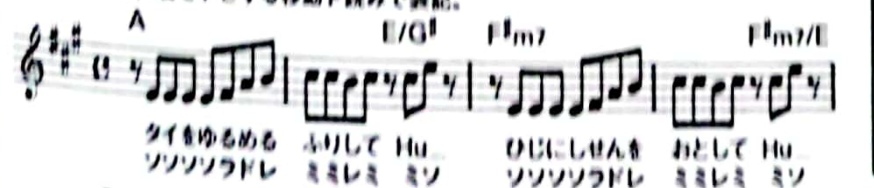


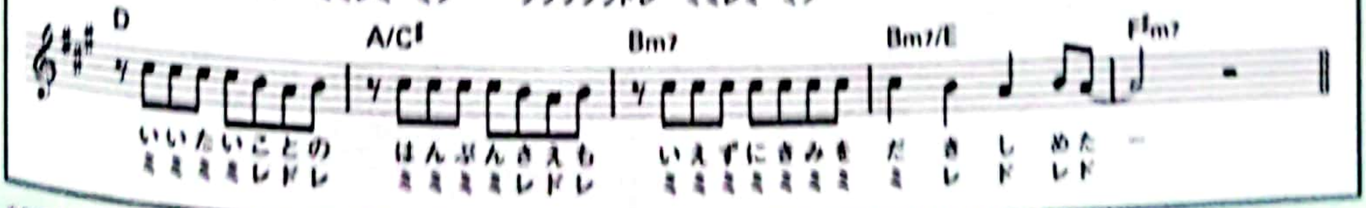
ポイント 明るく親しみやすさが特徴のメジャー・ペンタトニック

五音音階はペンタトニック・スケールとも言い、文字どおり5つの音で構成された音階のこと。ドレミソラで構成されたものはメジャー・ペンタトニック・スケール（譜例②）と呼ばれ、不安定な響きを持つサブドミナント、ドミナントに抱合されるファとシが入っていないため、このスケールによるメロディには親しみやすさが感じられる。譜例①は「十人十色」1番のふた回し目のメロディを移動ドで拾ったもの。ドレミソラだけで構成されている。

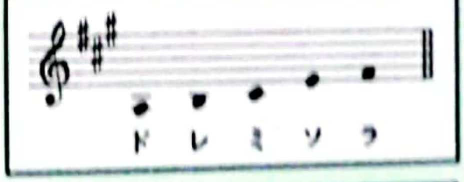
譜例①

※Key＝Aの主音A音をドとする移動ド読みで表記。





譜例② A メジャー・ペンタトニック・スケール



※E/G#とF#m7/Eは弾きづらいため、上の弾き語りコードには反映していません。

CamScannerでスキャン

メロディ 小室哲哉の五音音階に割り込むシ

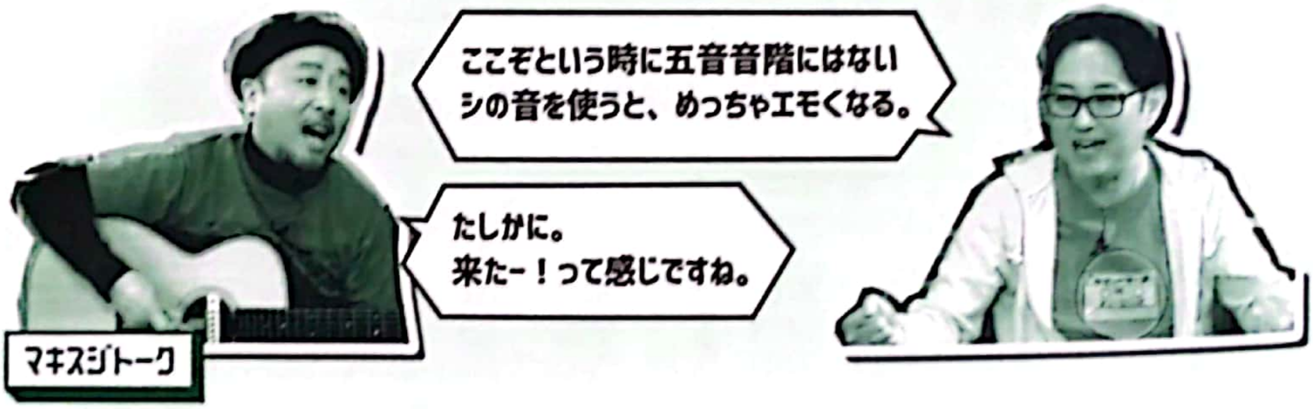
WOW WAR TONIGHT ~時には起こせよムーヴメント

第33回 2019年2月3日放送分
『マキタノート・スージーファイル大公開スペシャル』

H Jungle with t 1995年

作詞・作曲：小室哲哉　編曲：小室哲哉、久保こーじ

楽曲メモ
「WOW WAR TONIGHT ~時には起こせよムーヴメント」はダウンタウンの浜田雅功と小室哲哉のコラボレーションによって生まれた音楽ユニット、H Jungle with tの1stシングル（1995年3月15日発売）。テレビ番組で浜田が半ば冗談で小室に「僕にも曲を作ってくださいよ」と頼んだことから話がスタート。見事200万枚超えのメガヒットとなった。



マキスジトーク

スージー：大江千里の「十人十色」に続いて、ドレミソラの五音音階の話をしたいと思いますが、代表的な曲がWhiteberryの「夏祭り」（JITTERIN'JINNのカバー）。盆踊りっぽいと言うか、この曲はマイナーの五音音階ですから、ラドレミソ以外は使っていない。すると、ああいう感じのベタで土着的なメロディになります。ただし、今回紹介したいのは、ここぞという時にドレミソラではないシの音を使ってめっちゃエモくなる技法。題しまして"小室哲哉の五音音階に割り込むシ"。このヒット曲でございます。

マキタ：歌いやすい感じがしますね、キーは何ですか？

スージー：B♭です。メロディはドレミソラばかりで、ファとシは一切出てこないんですが、ここぞというところでシを使って、めっちゃエモくしている箇所が後半にあります。はい、ここです。Key＝Dに転調したあとの"だ～から～♪"のところ。クーッ！って来ません？

マキタ：わかります。来た～！っていう感じ。

スージー：厳密には2回出ていまして、その前の"素敵で楽しい／いつもの俺らを捨てるよ"の"捨てるよ～♪"のところですね。このシをどこまで意識しながら小室哲哉が使ったのかはわかんないですけど、少なくとも上り調子のガンガン行っていた頃の小室哲哉ですからね。やはりここで大衆をいてこまそうと思って、ここぞという感じでシを割り込ませて、大衆がキューン！と応えて大ヒット！みたいな図式だったと思うんですよね。

CamScannerでスキャン

D　　　　　　　A/C#　　Bm　　　　　Bm/A
流れる景色を　必ず毎晩みている

G　　　　　　　D/F#　　　　E　　　F#
家に帰ったら　ひたすら眠るだけだから

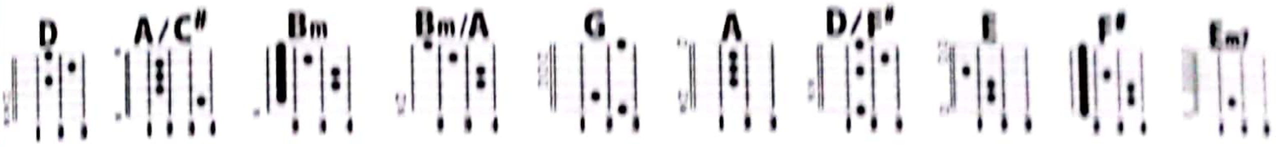
G　　　　　　　A　　　　　D　　　　　G
ほんの　ひとときでも　自分がどれだけやったか

Em7　　　　　　A　　　D　A/C#
窓に映ってる　素顔を誉めろ

Bm　　　　　G　　　　　A　　D　　A/C#
Wow　Wow　War　Wow　War tonight

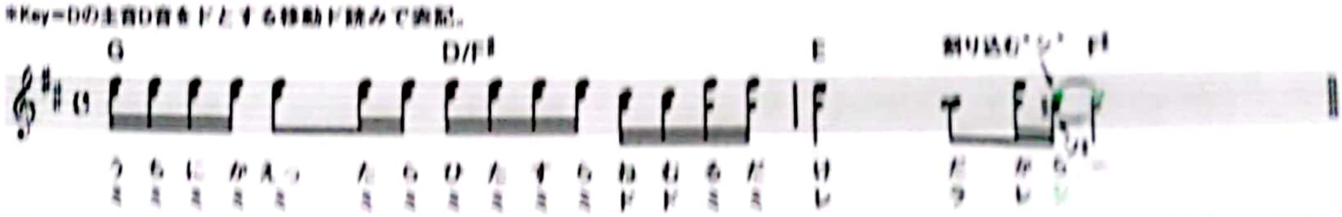
Bm　　　　　G　　　　　A　　D　　A/C#
Wow　Wow　War　Wow　War forever

Bm　　　　　G　　　　　A　　D　　A/C#
Wow　Wow　War　Wow　War tonight

Bm　　　　　G　　　　　A　　D
Wow　Wow　War　Wow　War forever

ポイント　曲中で歌詞とコード感を浮き立たせるシの用法

譜例1)

*Key=Dの主音D音をドとする移動ド読みで表記。



五音音階は親しみやすさが特徴だが、サブドミナント、ドミナントに抱合されるファとシが入っていない分、コード感やコード進行の起伏は少なくなる。譜例1)は「WOW WAR TONIGHT ～」のクライマックス部分。このようにシンプルなメロディの中にシを織り込むと、そこだけグッとコード感が際立ち、その部分の歌詞も強調されることになる。ちなみにこの部分のコーラス・パートはソ#になっており、さらにエモさが高まっている。

譜例2)Dメジャー・ペンタトニック・スケール+シ

メロディ 1音サビ　関東甲信越もっと小さなサビ

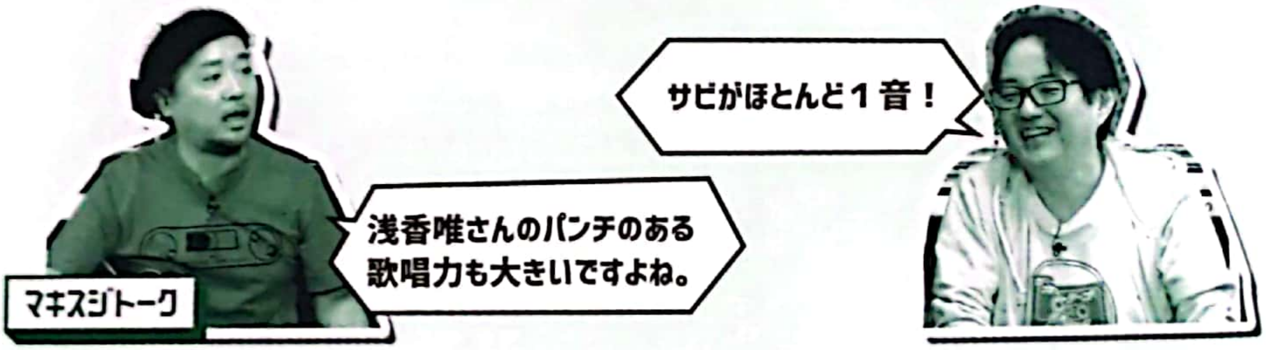
恋のロックンロール・サーカス

第56回 2020年1月12日放送分
『いいサビ・夢気分』

浅香唯 1989年

作詞：売野雅勇　作曲：NOBODY　編曲：井上鑑

楽曲メモ 「恋のロックンロール・サーカス」は1989年7月5日にリリースされた浅香唯の15thシングル。AXIAのCMソングに起用され、そこには本人も出演している。浅香はテレビドラマ「スケバン刑事」シリーズでブレイク。その後は歌でも「虹のDreamer」や「セシル」など、オリコン1位を連発。その当時の勢いを感じさせるパワフルなロック・ナンバー。



スージー：この曲はビックリしますよ。サビがほとんど1音！（「恋のロックンロール・サーカス」を流す）

マキタ：ホントだ！　それにすごくロックじゃないですか。

スージー：ロックですよ。ボーカルの声がいいでしょ？

マキタ：歌がうまいですね。

スージー：五線譜を頭の中で思い浮かべてください。"C・I・R・C・U・S,C・I・R・C・U・S～♪"全部ミで同じ1音！ "C・I・R・C・U・S！♪"飯田橋、飯田橋、飯田橋という感じ。バックのコードは進行するんですけど、メロディの音は1音。

マキタ：でも、これは浅香唯さんのパンチのある歌唱力も大きいですよね。

スージー："ミミミ、ミミーミ"という1音だけのメロディですから、普通のボーカリストなら、こんな退屈な曲はないんですよ。でも、本当に声量ですよね。面白い曲で、NOBODYによる機転の利いた作曲だと思います。これは意図的にやってますよね。1音だけで曲ができるのかという。「恋のロックンロール・サーカス」の1音話をこうやって披露できる日が来るとは！

マキタ：他ではないですよ。この番組だけです（笑）。

スージー：この曲が発売されて31年経つんですけど、やっとこの話を披露できました！

CamScannerでスキャン

F#7 A
C・I・R・C・U・S, C・I・R・C・U・S, C・I・R・C・U・S
E

B7
恋のロックンロール・サーカス

B7
Come on, Come on, 生き方がいいネ
E

E
Come on, Come on, 男っぽくて
B7

B7
Come on, Come on, 夢見る人って
E

E
でもA・Ah…危ない魅力ね

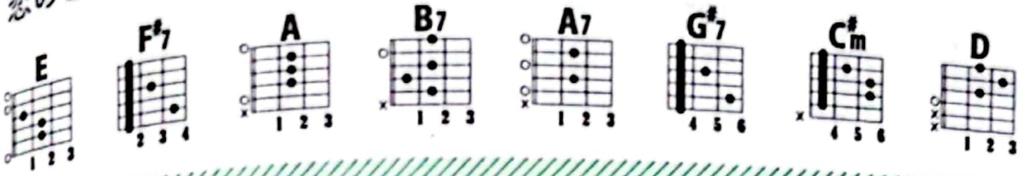
B7 E A7 B7
ジェラシーのナイフを 咬えて綱渡り

A7 C#m
落ち込む時ほどまぶしい

G#7 D B7
君は私の勇気よ!

F#7 F#7 A
C・I・R・C・U・S, C・I・R・C・U・S, C・I・R・C・U・S
E

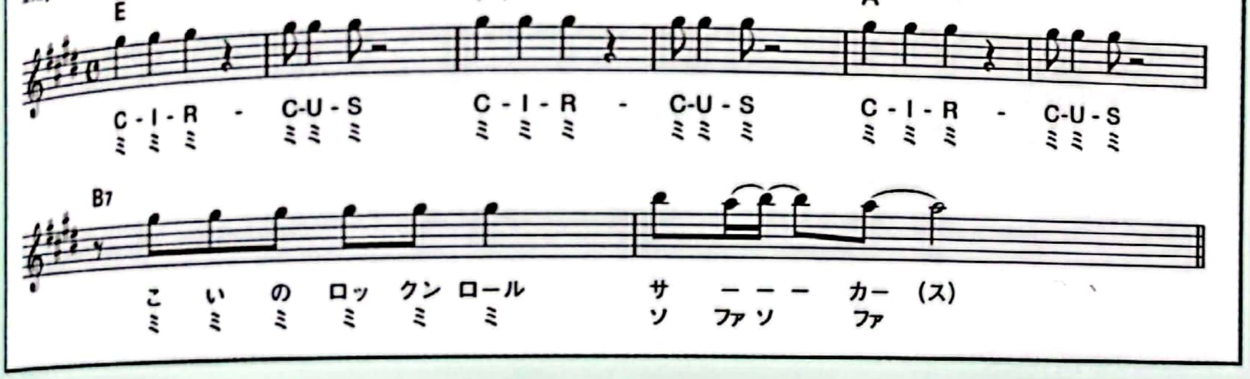
B7
恋のロックンロール・サーカス



ポイント 力強いボーカルでグイグイと引っ張る1音サビ

譜例は「恋のロックンロール・サーカス」の力強いサビ・パート。サーカスの英語の綴り"CIRCUS"を"C-I-R-C-U-S"と歌っていく場面だ。バックのコードは2小節ごとに切り替わっていくが、サビはほぼミの連呼でできている。ただし、こうしたフレーズはシンプルで歌いやすいとは言っても、歌い方によっては単調になってしまうもの。パンチのあるサビに仕上がっているのは、マキタスポーツが指摘するように、浅香唯の歌唱力も大きい。

譜例

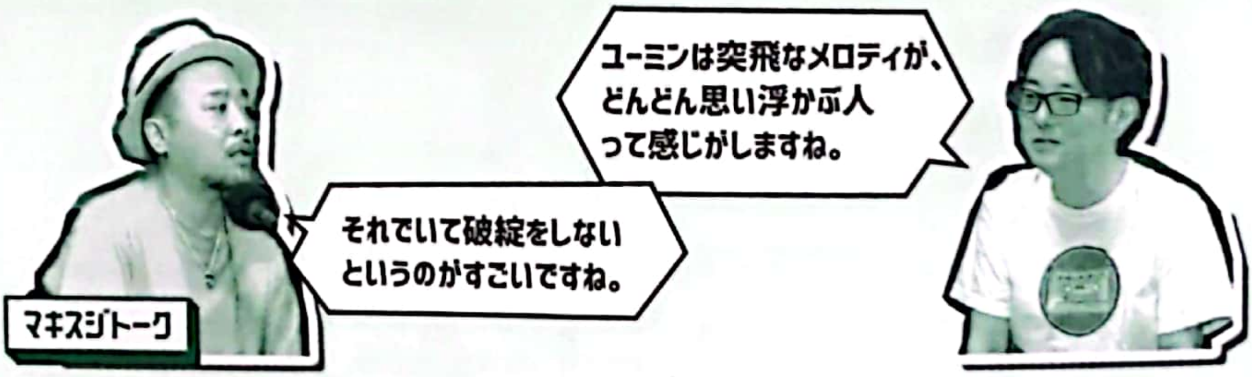
※Key=Eの主音E音をドとする移動ド読みで表記。

メロディ　ユーミンの跳躍メロディ

ロッヂで待つクリスマス

松任谷由実 1978年

作詞・作曲：松任谷由実　編曲：松任谷正隆

楽曲メモ　「ロッヂで待つクリスマス」は1978年11月5日にリリースされた松任谷由実の6thアルバム『流線形'80』の1曲目。ユーミンが書いたクリスマス曲では「恋人がサンタクロース」（1980年）が有名だが、本曲はそれに先駆けるナンバー。ユーミンが主題歌と挿入歌を手がけた1987年の映画『私をスキーに連れてって』ではこの曲のメロディが使われている。



スージー：今回はユーミンのメロディ・ラインの分析をしたいと思います。飛んだり跳ねたり、引っ張ったりと、かつて日本人が聴いたことのなかったようなメロディ・ラインを作ってきたユーミンですが、まずはこの曲のサビのメロディを聴いてみてください。こんなメロディ、今でも作れる人いませんよ、という感じの曲でございますね（「ロッヂで待つクリスマス」を流す）。"ドシソ、ドシソ、ドシソ、ラララララレレ〜♪"すごいでしょ、このメロディ。どうやったら、こんなメロディが書けるのか。奇想天外と言いましょうか、突飛なメロディが、どんどん思い浮かぶ人って感じがしますね。

マキタ：それでいて破綻をしないというのがすごいですね。

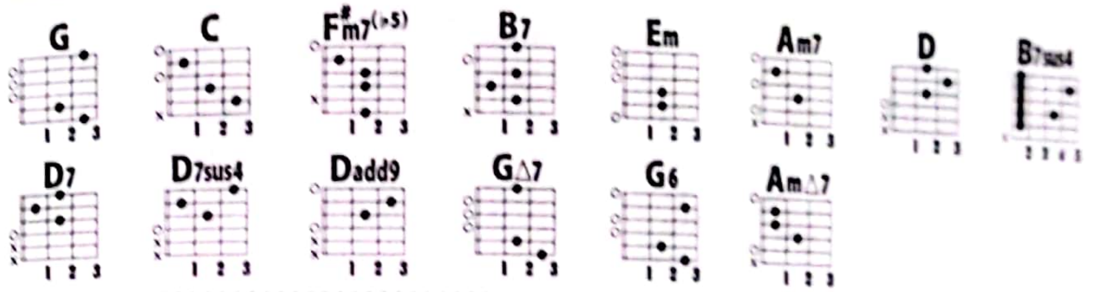
スージー：ひとつには松任谷正隆が、アレンジまでは冒険しないということもあるかもしれないですね。メロディとかコードは突飛なんだけれども、そのアレンジとのバランスをうまく保っている感じもありますね。「メトロポリスの片隅で」（1985年）なんかも、そうした例ですよね。

うめ子：でも、今はこういう風にメロディが高かったり低かったりってけっこう主流ですよね。

スージー：そうですね。J-POPは世界の音楽の中でも跳躍したメロディが多い音楽だとは思います。ただ、跳躍の大きな曲には「どうだ、俺は歌うまいんだ」っていうアピールを感じるところもあるじゃないですか。ところがユーミンにはそうしたカタルシスがないんですよね。むしろメロディとしての作品を突き詰めていくうちに、とんでもないメロディができちゃって、自分がそこに合わせているというか。ユーミンがたまに使う言葉の中に、「私の才能は自分の能力を超えてる」という言葉があるんですけど、自分が歌えるメロディを超えたメロディができてしまっているんですよね。

CamScannerでスキャン

G C F#m7(♭5) B7 Em
小さなつむじ風が　尾根をかけ降りるたびに
C Am7 D B7sus4 B7
縞模様　広がる
Em Am7 D7 G B7
月のゲレンデ　夢を見るように
Em Am7 D7sus4 Dadd9
私はガラスに　ほほよせる
G C F#m7(♭5) B7 Em
ゲームにはしゃぐ人も　炎　を見てた人も
C Am7 D B7sus4 B7
いつか　おもてに出て
Em Am7 D7 G B7
熱のある日は　部屋に残された
Em Am7 D7sus4 D7
子供の私が　よみがえり　すわってる
G G△7 G6 D Am7
きみの　きみの　声の　こだま追いかけ
Am△7 Am7 D7 G△7 D7
窓もドアも越えて　心は滑る
G G△7 G6 D
やがて　響きわたる　花火の音を
Am7 D7 B7sus4 B7
ロッヂで待つクリスマス

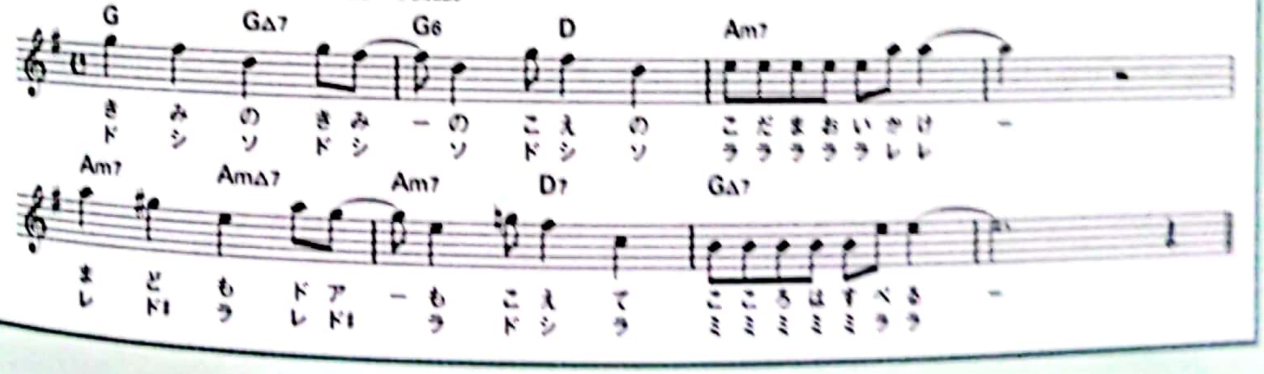


ポイント　跳躍の幅が広いながらも構築性のあるメロディ・ライン

譜例は「ロッヂで待つクリスマス」のサビのメロディ・ライン。143ページに掲載したOfficial髭男dismの「Pretender」に比べると、メロディの跳躍幅は狭いが、それでもソ→ド、ラ→レ、ミ→ラといった4度音程の跳躍が目立つ。ちなみに、135ページの「中央フリーウェイ」で取り上げた"プチ転調"に似ているが、1～2小節目のメロディ・ラインが、5～6小節目ではそのまま1音分上にスライドしている。

譜例

※Key=Gの主音G音をドとする移動ド読みで表記。



メロディ　半音メロディ

飾りじゃないのよ涙は

第4回 2017年11月10日放送分
『深淵なる井上陽水の名曲』

中森明菜 1984年

作詞・作曲：井上陽水　編曲：萩田光雄

楽曲メモ 「飾りじゃないのよ涙は」は1985年4月発売のスタジオ・アルバム「BITTER AND SWEET」からの先行シングルとして、1984年11月14日にリリースされたナンバー。中森明菜にとってはアイドルからシンガーへの転機となった曲でもある。作詞・作曲を手がけた井上陽水は、同年 12月21日発売のセルフカバー・アルバム「9.5カラット」で発表している。

半音で不安感を増幅させながら、
サビのストレートに向かう時の気持ちよさ！

井上陽水第二次ブームの
名曲のひとつですね。

マキスジトーク

マキタ：この曲はたまりませんね。特に半音の"私泣いたりするのは～♪"ところとか。それも何回も多投するんですよね。

スージー：そこに拍車をかける萩田光雄の"タラララララ、タラララララ～♪"。"なにが出るかな、なにが出るかな～♪"みたいな、あのアレンジね（笑）。

マキタ：車で走ってると、うしろから"パララララ、パララララ"って、暴走族に追いかけられてるみたいな感じ（笑）。そういうスリルとサスペンス感で、不安を増幅させながら、その後のサビのストレートに向かう気持ちよさ。それまで画が狭かったのが、そこでフワッと広がる感じがするんですよね。きりきり舞いのコーナリングを曲がり切ったあとに、"飾りじゃないのよ涙はHA HAN～♪"で、うわ～、ストレート、来た！っていう感じ。また、当時の明菜さんというのがね。だんだんと松田聖子さんの人気が落ち着いてくる中で。

スージー：松田聖子で言えば「ハートのイアリング」の頃ですからね。

マキタ：そういう戦国絵巻もあるわけですよ。聖子さんと明菜さんのデッドヒートがくり広げられる中で、明菜さんがグッと前に出てくる。

スージー：ちょうど"井上陽水第二次ブーム"が来るところで、翌年（1985年）1月10日の『ザ・ベストテン』では「飾りじゃないのよ涙は」と「恋の予感」（安全地帯）と「いっそセレナーデ」と、井上陽水の曲が2位・3位・4位を独占する井上陽水時代が来るんですよね。

マキタ：半音だの9th、11thだの、そんなポピュラリティのあるコード進行じゃなかったりするんですけどね。

CamScannerでスキャン

F#m　　　　　　　　　　　　　　　　E/F#
私は泣いたことがない　灯の消えた街角で

D　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　F#m
速い車にのっけられても　急にスピンかけられても　恐くなかった

　　C#
赤いスカーフがゆれるのを　不思議な気持ちで見てたけど

　D　　　　　　　　　　　　E　C#
私泣いたりするのは　違うと感じてた

F#m　　　　　　　　　　　　　　　　E/F#
私は泣いたことがない　つめたい夜の真ん中で

D　　　　　　　　　　　　　　　　　　　F#m
いろんな人とすれ違ったり　投げKiss受け止めたり投げ返したり

　　C#
そして友達が変わるたび　想いでばかりがふえたけど

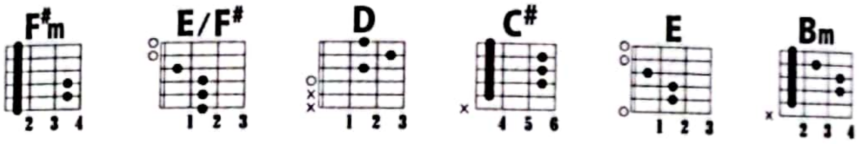
　D　　　　　　　　　　　　E　C#
私泣いたりするのは　違うと感じてた

Bm　　　　　　　　　　　　F#m
飾りじゃないのよ涙はHA HAN　好きだと言ってるじゃないのHO HO

Bm
真珠じゃないのよ涙はHA HAN

C#
きれいなだけならいいけど　ちょっと悲しすぎるのよ涙は

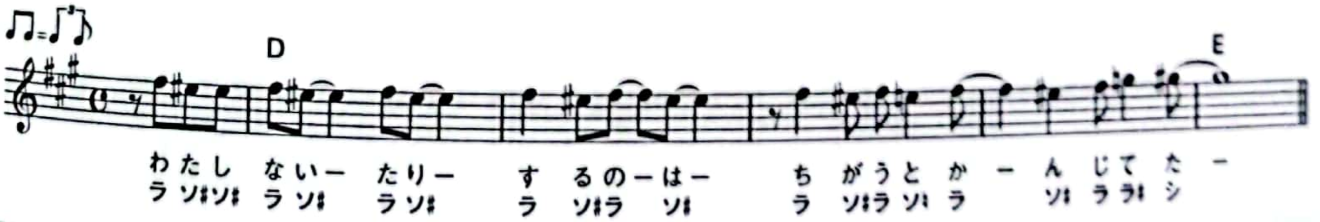
　　　　　　F#m
HO HO HO……



ポイント　半音メロディによるサビ直前のスリリングな仕掛け

譜例は「飾りじゃないのよ涙は」のサビ直前メロディ。ほぼF#音とE#（F♮）音の半音によるメロディ・ラインで、曲のキーから見るとソ#とラ（Key＝F#m）、バックで鳴っているDコードから見ると、ミ♭とミ♮になっている。半音というスリリングな音程感、シンコペーションによるクイのりズム、スピーディなビート感、さらにリズムがハネていることによって、サビに向けて徐々に盛り上げていくような仕上がりになっている。

譜例

※Key＝F♯mの主音F♯音をラとする移動ド読みで表記。

メロディ 夏のドシソ

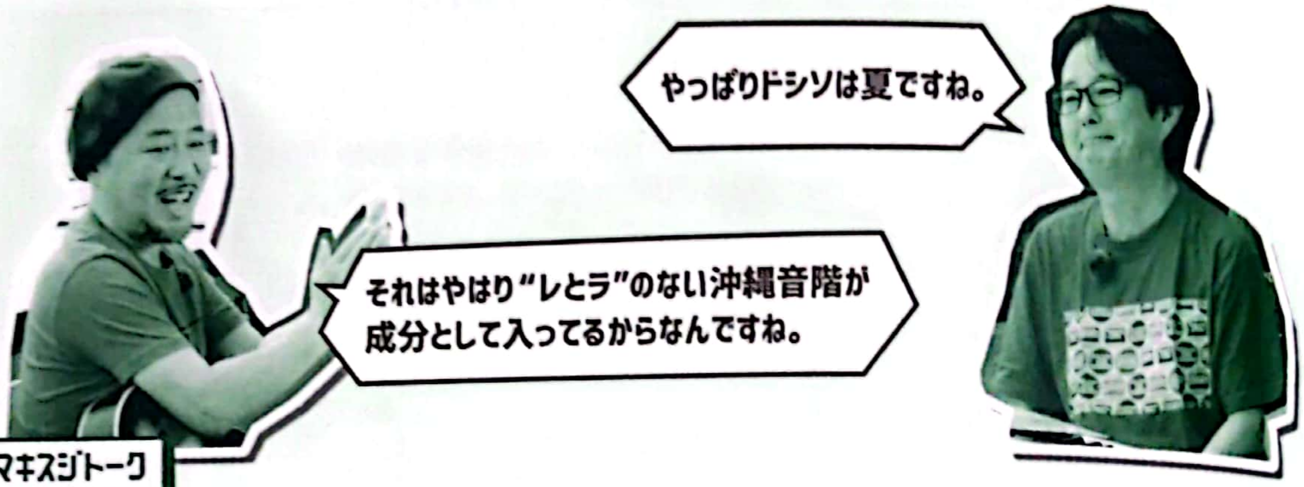
夏のドシソ

「夏の終りのハーモニー」井上陽水・安全地帯 1986年

「君のハートはマリンブルー」杉山清貴＆オメガトライブ 1984年

「ふたりの夏物語 NEVER ENDING SUMMER」杉山清貴＆オメガトライブ 1985年

「島唄」THE BOOM 1992年



マキスジトーク

スージー：第63回の放送で、安全地帯と井上陽水の「夏の終りのハーモニー」（譜例①）やヴァン・ヘイレンの「パナマ」を例にとって、ドシソドシソとやると夏の空気がすると、ドシソの研究を発表しましたが、今回はそのパートⅡでございます。この曲もイントロからドシソが炸裂します。「君のハートはマリンブルー」（杉山清貴＆オメガトライブ）（譜例②）です。「夏の終りのハーモニー」と違うのは「夏の終りのハーモニー」のバックはメジャー・コードだったんですけど、こちらはマイナー・コードでドシソという。

マキタ：なるほど。だからちょっと湿ってるんですね。

スージー：さらにもっとありましたよ。杉山清貴＆オメガトライブの“シドソ”。

マキタ：あっ、配列が変わりましたね。

スージー：今回はドとシとソの順列組み合わせをやります。「ふたりの夏物語　NEVER ENDING SUMMER」（譜例③）です。第63回の放送で、ドシソは沖縄音階から派生して来ているという話をしましたが、そうなるとやはりこの曲ですね。「島唄」（THE BOOM）（譜例④）“島唄よ／風に乗り～ソシド／ドレドシソシド～♪”ソシドが2回、ダブル・ソシド。第63回の放送では「ロッヂで待つクリスマス」（松任谷由実）の冬ドシソもあるとかってややこしい話になりましたけど、やっぱりドシソは夏ですね。

マキタ：やはり“レとラ”のない沖縄音階が成分として入ってるから。

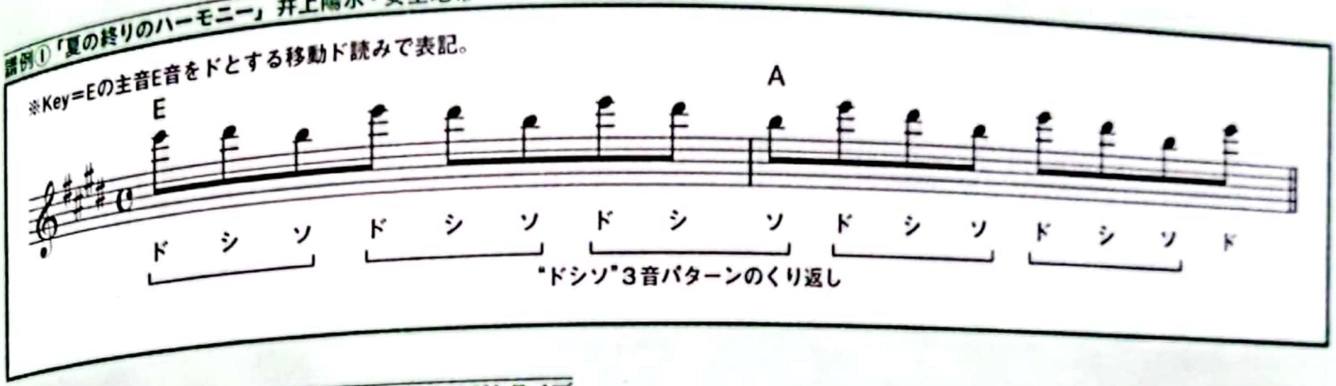
スージー：ただ、面白かったのは「島唄」は“レ”に行くんですよ。沖縄音階だけでなく、“レ”が入ることによって、日本全国にヒットしたんじゃないかって感じもあります。

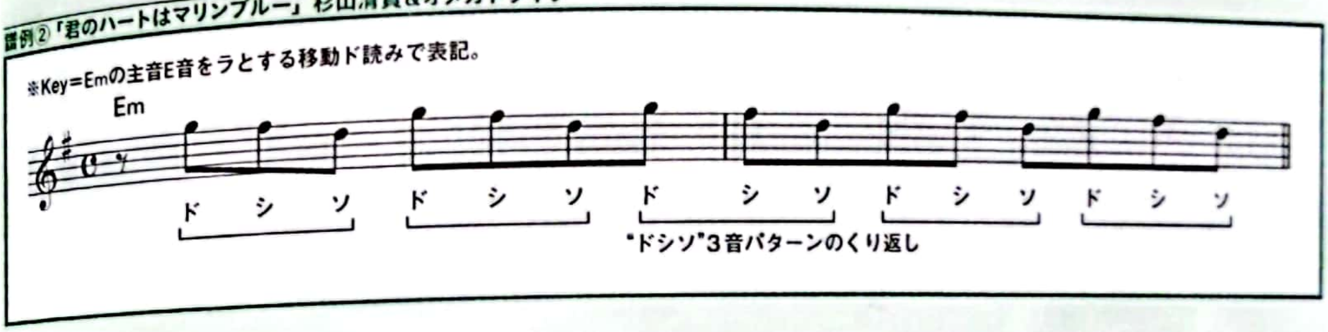
マキタ：ポップス感が“レ”で担保されてね。

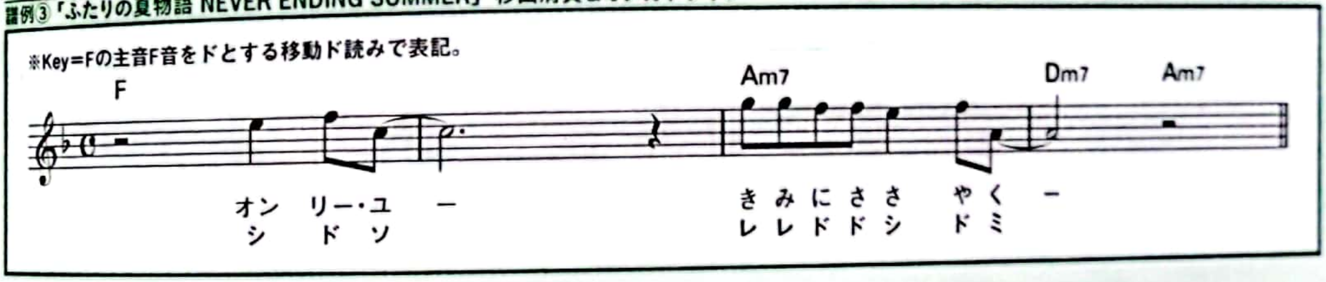
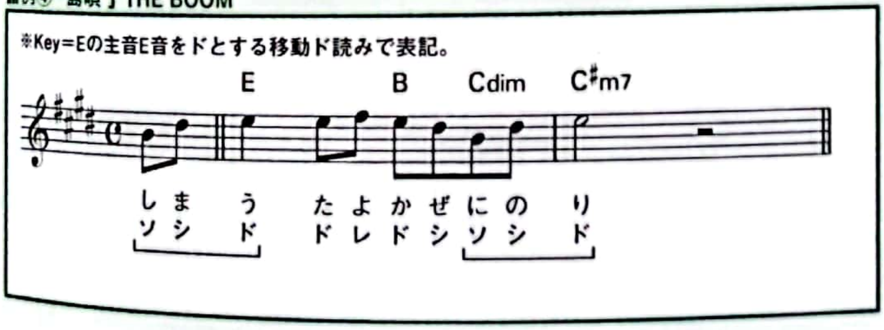
CamScannerでスキャン

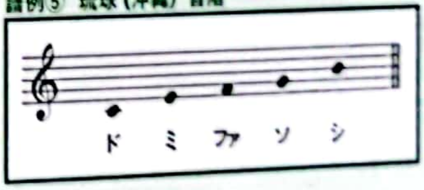
ポイント ドシソと弾けば夏気分

譜例①は「夏の終りのハーモニー」のギター・イントロで、ドシソの3音パターン。譜例②は「君のハートはマリンブルー」のギター・イントロで、で、こちらも同じくドシソの3音パターンだが、バックがマイナー・コード。譜例③は「ふたりの夏物語～」のサビで、こちらはシドソ。譜例④は「島唄」のサビで、ソシド、ドシソの中にレが入っている。譜例⑤は琉球音楽で多用される沖縄（琉球）音階。レとラが含まれていないのが特徴だ。

譜例①「夏の終りのハーモニー」井上陽水・安全地帯

譜例②「君のハートはマリンブルー」杉山清貴&オメガトライブ



譜例③「ふたりの夏物語 NEVER ENDING SUMMER」杉山清貴&オメガトライブ

譜例④「島唄」THE BOOM

譜例⑤ 琉球（沖縄）音階



「夏の終りのハーモニー」井上陽水／安全地帯　作詞：井上陽水　作曲：玉置浩二
「君のハートはマリンブルー」杉山清貴&オメガトライブ　作詞：康珍化　作曲：林哲司
「ふたりの夏物語 NEVER ENDING SUMMER」杉山清貴&オメガトライブ　作詞：康珍化　作曲：林哲司
「島唄」THE BOOM　作詞・作曲：宮沢和史

CamScannerでスキャン

CamScannerでスキャン

外岡えりか（とんちゃん）

カセットガールズ座談会

Casette Grls Talk Session

ラジカセの“スイッチを押す係”カセガ3人による“ぶっちゃけ”放談！

ラジカセの“スイッチを押す係”として、第3回放送分より起用された番組アシスタント、それがカセットガールだ。3代目の倉田瑠夏の登場以降は、おもに元アイドリング!!!勢が務めており、現在は河村唯、外岡えりか、酒井瞳の3名がレギュラーとして活躍中だ。ここではその3人に、カセットガールの目線から番組の魅力、MC 2人とのやり取りなど、さまざまな話題について存分に語り合ってもらった。

聞き手：藤井 徹（リットーミュージック） 撮影：菊池英二

最初は頑張って笑顔を作っていたけど、途中から素直な自分が出るようになりました。——うめ子

第11回「春の名曲フェア〜スージーの春」（2018年3月2日放送）にて初登場。

カセットガールとしての初仕事

——カセットガールの仕事については、どんな内容で初めに説明があったのでしょうか？

さかっち　それ、気になる〜。私は、うめ子から「おじさんたちが"（スイッチを）押して"と言ったら押せばいい番組だよ」と、シンプルにそれだけを教わりました。「あとは何もすることないよ」って（笑）。これ、うめ子がそのまま言ったんですよ！

うめ子　本当に？　それも覚えてない……。

さかっち　でも「音楽について知ることができる楽しい番組だよ」って。うめ子はなんて聞いてたの？

うめ子　なんだったかな〜。

とんちゃん　うめ子が一番、（カセガ）歴長いよね？

さかっち　そうなんだ。逆になんでうめ子はオファーされたの？

うめ子　最初は（橘）ゆりかちゃんですよね？

スタッフ　違う。もともと、るかぴーや（倉田瑠夏）だったの。

うめ子　そう。最初るかちゃんがいて、ゆりかちゃんがいて。ゆりかちゃんが番組の最後で「うめ子、待ってるよ〜」って感じで言ってて。

さかっち　そうなの!?　なにそのバトン回しみたいな……。

スタッフ　もともと『夕刊フジ』で番組を宣伝してくれてた。その隣にるかぴーやの「写真集出します」っていう記事が出てて。「じゃあ、この子、次呼ぼう」みたいな。

さかっち　適当……（笑）。

スタッフ　それなら元アイドリング!!!ということで、本当は数珠つなぎで全員いきたかったんだけど、途中でちょっと面倒臭くなっちゃって……。

さかっち　意志弱っ（笑）。

とんちゃん　私もそんな感じでした。リレーで回ってきましたね。

さかっち　うめ子が止めたんだ？　そのバトンを。

うめ子　いや、やめてよ。一応つないだよ。薄くつなぎました、薄く。

——仕事の内容としては、要は再生スイッチをポチっとする仕事だと……？

とんちゃん　私、最初が『アイドルソング史概論』（第27回）っていう、ホワイトボードに書く回だった

第68回「今度こそ弾けるギター教室」(2020年7月12日放送) でギターをプレイ。

んですよ。それで「ホワイトボードに書くから、頭が良くて字が書けて」っていう文面をマネージャーさんからもらいました。一応大卒っていうことで、「この子、大学を出てるから大丈夫だろう」って感じで選ばれたのかな。だから、最初はスイッチを押すとかじゃなくて、「ホワイトボードにキレイに書く」という要員で呼ばれました (笑)。

——書記ですね。

とんちゃん　そう、書記。

さかっち　とんちゃん、書記要員だったんだ。

——収録現場での最初の感想は？

うめ子　(スタッフを見回しながら) いいですかね……。「この人たち、何しゃべってるんだろう？」って、ずっと思ってました。

一同　(笑)。

うめ子　ハッハッハッ。すいません。最初はついていかなきゃと頑張って笑顔とか作っていたんですけど、途中から素直な自分が出るようになって、素直

第64回「ディスコ/ダンスミュージック特集」(2020年5月10日放送) で踊る3人。

に生きようと (笑)。本当にわかんない時はわかんないって言うし、わかる時はわかるって言う、みたいになりました。最初はとにかく「どうしよう……」って感じでしたけど、カセットデッキの再生ボタンを押すっていう仕事だけだと、本当に映んないなと思って。呼ばれてる意味……給料泥棒みたいな感じになっても嫌じゃないですか (笑)。

さかっち　それはやっぱりアイドリング!!!の時に培ったもの (笑)。どっかで「何か自分の爪痕を残さなきゃ」っていう闘志が燃えてくるから。わかんないなりに、いろいろ質問したり、リアクションを大きくして、ちょっとでもカメラに映るように意識したりとかね。マジで私も (MCの) 2人が言ってることが深すぎて本当に知らないことだらけだけど、ありがたいことに私は、うめ子というクッションがあったので (笑)。「うめ子よりはできる」っていう……。

うめ子　そうだねえ。

さかっち　ありがたいことに、そういう立ち位置を、うめ子のおかげでもらえました (笑)。

とんちゃん　私は書記の回はアイドルのことだったので、自分たちがカバーしていた曲とかがいっぱいあって、知っている曲ばかりで……。

さかっち　すごい、当たりの回 (笑)。

とんちゃん　そう。アシスタントにとっての当たりの回 (笑)。だから本当に「あ、楽しいな」って。1本目の収録は一緒に歌えるような曲ばかりだったんですけど、2本目の曲名を見たら「あれ、知らない曲ばっかりだぞ……」って (笑)。それで、ちゃんと勉強して行かないとダメだと思って曲を聴いたり調べたりしてから行ったんですよ。で、初日の収録が終わったら「それは必要ない」って気づいて……。

一同　(笑)。

——必要ないって、誰かに言われたわけではなく？

とんちゃん　はい。自分で気づいて、次からまったく「ノー勉強」で行くようになりました。

さかっち　私も最初は多少勉強して行ったけど、「やっぱ、いらないんだ」って初日に気づいた (笑)。

とんちゃん　でも、一回悩んで、スタッフさんに聞いたことがあるんですよ。「これは、ちゃんと（内容が）わかった感じで行ったほうがいいのか？　どういう風な立ち位置でいればいいでしょうか？」と。そうしたら、「あ、そんなにやらなくていいよ。わかんなければ、わかんないって言って」みたいな（笑）。

スージーの危険な無茶ぶり

――基本的に台本にセリフはないんですよね？

さかっち　ないですね。だから私は、1本目の収録以降は台本を現場に持ち出さないことにしました。もう置いてない（笑）。

――コメントを入れるタイミングは自由ですか？

うめ子　うん、ないですね……。

とんちゃん　しゃべらなさ過ぎて、「マズい……」って思ってるんですけど、あまりにもマニアック過ぎて「何がわからないかもわからないから聞けない」みたいな時は、本当にマズいと思う（笑）。そういう回が一回だけあって。最後に必ず「今日どうでした？」って聞いてくれるじゃない？　そのひと言だけ……（笑）。その時は松尾英里子さんもいらっしゃったんですよ。普段やっている「ちょっとまとめ」とかも、松尾さんがやってくださるから。「え～、これどうしたらいいの……」ってなって。その日はすっごい反省しました。

さかっち　私、「ほかのみんなどうしてるんだろう？」と思ってスタッフさんに聞いたら、「とんちゃんは、いるだけでいい」って言ってました。

とんちゃん　なんで！？

さかっち　「いるだけで可愛いから、いるだけでいい」って。「じゃあ、私とうめ子は何かしなきゃいけないんだ！」って（笑）。

とんちゃん　でも、わからない時は本当にわからないよね？

さかっち　私は後半15分くらいから、「最後の締め、何を言おう」って総括を考えてる（笑）。でも、本当にまれにスージーさんが、めちゃくちゃ変なアドリブを振ってくることがあって！

とんちゃん　ハハハ！　わかる！

さかっち　そう。そのせいで考えてた最後の感想、

さかっち

第70回「スージー鈴木の精神世界」（2020年8月9日放送）にてキーボードに挑戦。

CamScannerでスキャン

第55回「第2回　イントロがいい曲」(2020年1月5日放送）にて初登場。

全部飛んじゃうんですよ。「勘弁してくれよ〜」って(笑)。

――(笑)。やっぱりスージーさんのほうが危険？

さかっち　危険、危険！　スージーさんは何が飛んで来るかわかんない(笑)。最後の最後で急に「ラップしてください」って言われた時は、「ええっ！」って。スージーさん、楽器をいっぱい持ってるんで、曲が始まったらやんなきゃいけないから……。「なにこれ、鬼っ！」って(笑)。

とんちゃん　確かに。それでスージーさん、回収してくれない時がある(笑)。どうしようもなくなって「もう本当に助けて！」ってマキタさんを見るとフォローしてくれる……(笑)。

――なるほど。そんな無茶ぶりも、うめ子さんクラスになると、「ここは来るな」と？

うめ子　いや、わかんないですよ(笑)。その日のスージーさんのコンディション次第だから(笑)。ノッてたらめちゃくちゃ来るし。

とんちゃん　コンディションあるよね(笑)。

うめ子　なので、予測不能です、まだまだ。

――ヘタに合わせて「わかる」フリよりも、「わからない」と言っていたほうが、観てる側も気持ちいいですしね。

うめ子　素直に生きてますね。わからない時はわからないから……。

さかっち　でも、うめ子の場合「わからない」の度合いがすごいよね。ビートルズの曲……「Yesterday」がわからなかったんでしょ？　一応音楽が好きで自分でもやってるのに、「そりゃいかんだろう！」っていうのは思ったよ(笑)。

うめ子　けっこう偏った知識で育ったんだなって、この番組で気づきました。

スタッフ　でも、ディープ・パープルは好きだもんね？

うめ子　ディープ・パープル大好きです！

とんちゃん　わからない(笑)。

――とんちゃんは企業訪問ロケが多いですよね？

とんちゃん　やっぱ……対外的にちゃんとしてるので。

一同　(笑)。

とんちゃん　この3人だったら一番ちゃんとできるから、はい(笑)。

印象に残っている放送回

――今まで出演された中で、印象に残っている放送回は？

さかっち　私は「いいフレーズコレクション」(第63回)かな？　浜田省吾さんの「Wow Wow試験」？　あれがめっちゃ面白くて。

――あれは最高でした。

さかっち　あの回はずっと笑ってた。(ふたりに説明する)浜田省吾さんの曲って、「Wow Wow」っていうフレーズがめっちゃ多いの。だけどそれが、「Wow Wow」なのか「Oh Oh」なのかっていう試験があるのよ、マキタさんが出してくるんだけど。「これはどっちでしょう？」っていう。

うめ子　ええ〜？　ムズいじゃん。

第63回「いいフレーズコレクション」(2020年5月3日放送）にて浜田省吾の「Wow Wow試験」を受ける。

さかっち　めちゃくちゃ多くて……。しかも「そこ注目する？」って（笑）。でも、そこを気づけるマキタさんは「音楽の変態だな」って改めて思った。あれは素人からしても、めちゃ面白かったです。

第53回「第3回輝く！カセットテープ大賞」（2019年12月1日放送）前半でイケベ楽器にてドラムを叩く。

第51回「世界の中心で愛を叫ぶおじさん特集」（2019年11月3日放送）でナガオカのオーディオルームを訪問。

とんちゃん　私はロケでレストランに行かせてもらって……。

さかっち　あれ？　レストラン行けるの？

とんちゃん　そう。「アラスカ」というお店だったんだけど、すごく眺めも良くて、超高級な普段行けなさそうなところでコース料理をいただいて……。

さかっち　いや、音楽しなさいよ（笑）。

とんちゃん　料理が美味しすぎて……。その回が一番楽しかった（笑）。ほかには、レコード針のナガオカさんに行った時（第51回「世界の中心で愛を叫ぶおじさん特集」）に、何百万円もするオーディオルームでレコードを聴かせてもらったんですが、本当に音質が全然違って。音が波打って自分に降り掛かってくるのを浴びられたのが、一番印象的でしたね。今までライブとかさせてもらっていたけど、ああいう経験は初めてでしたね。

——これは現場にいないと実感できないですから、貴重な経験ですよね。早見優さんがゲストの回（第44回「早見優さんと日本アイドル史概論II」）もありました。

とんちゃん　スージーさんが早見さんを大好きだと言っていたのは知ってたんですけど、まさか本人がいらっしゃるとは思ってなかったので。緊張もしたし、スージーさんとマキタさんのテンションも異様でした（笑）。あとは、楽器屋さんにロケで行って、その下のスタジオで、お昼の時間にドラムを叩いていたら、マキタさんがチョロっと教えてくれたんです。そうしたら人生初でドラムが少し叩けるように

CamScannerでスキャン

なりまして。
うめ子&さかっち　おお、すごい。
とんちゃん　少しだけね。収録の時に3人で演奏して。それが楽しかったです。
——けっこう皆さん、楽器を演奏しているイメージもありますよね。
うめ子　私も「今度こそ弾けるギター教室」(第68回)が最近では一番楽しかったな。
とんちゃん　うめ子、もともと弾けるんじゃなかったっけ?
うめ子　ジャラ～ンってやつは弾けたんですけど、ピンってやって、トゥルントゥルンって弾くやつ……なんて言うんだっけ?　1音だけを弾くっていうのができなくて。でも、「絶対に弾ける」というので教えてもらったら本当にできて。
とんちゃん&さかっち　あ、すご～い。
うめ子　けっこう「心で弾いたらいいんだよ」みたいな感じで楽しく教えてくれたから。「巷のギター教室よりも全然いいな」って思った回でした(笑)。
——マキタさん、スージーさん、教え方が独特でしたよね。まず「指は1本で弾ける!」みたいな。
うめ子　そう。「粒が付いているところへ行けばいいんだよ」とか。
さかっち　粒?
——ポジション・マークのことですかね(笑)?
うめ子　はい。すごくわかりやすくて感動しました。
さかっち　私はこの間、ピアノを教えてもらいました。
うめ子　バンドできる!
さかっち　そう。みんなそれぞれ楽器ができるから、売れないバンドが結成できるかなと(笑)。私もちゃんとピアノを教わったのが初めてだったけど、めちゃくちゃわかりやすくて。もう、「押すだけでいい」って。押すだけで人はピアノが弾けるんだよ。
とんちゃん　うん……まあ、たしかに。
さかっち　すごくわかりやすかったんですけど、「もうちょっと時間をもらって練習したかったな」という反省点はありました。その前に、とんちゃんとうめ子の話をスタッフさんから聞いていたんです。とんちゃんは「ちゃんと上手に叩けるようになってた」って。うめ子は……「うめ子らしいホームランを打った」って。
とんちゃん　なにそれ(笑)。
さかっち　それでプレッシャーを感じて、すごく真面目にやり過ぎちゃって。マジで……バント。
——バント(笑)!
さかっち　目の前にボールが落ちるくらいの、無難で何も起こらないっていうやつをやっちゃったから、もう一回リベンジしたいですね。

マキタ&スージーとのエピソード

——マキタさん、スージーさんについて、思い出深いエピソードはありますか?
さかっち　収録以外の昼食タイムでも、二人でずっと音楽の話をしてるんですよ。その輪に入りたいんですけど、あまりに専門的な音楽の話をずっとしてるから、入りたくても入れない(笑)。でも、知識がないのに入ったところで、会話も私からでは生まれないから未だに迷っていて。この間、初めて一緒にご飯を食べたんですけど、ひと言も発さずに終わりましたね……(笑)。
とんちゃん　ええ、さかっちが?　意外じゃない!?
さかっち　あまりにも音楽に関しては深すぎて。私は(フィジカル)トレーニングが好きなんですけど、ちょろっとその話をマキタさんとして帰りまし

第27回「アイドル史概論」(2018年11月4日放送)にて初登場。

た（笑）。
とんちゃん　ジャンル違う（笑）。
さかっち　そう。自分とはどういう人間かっていうのを少しだけ提示して（笑）。
とんちゃん　音楽の話は、あんまりしないですね。休憩中、マキタさんがずっとギターを弾いていて、「ああ、心地いいメロディが流れてるなあ」というくらい。
うめ子　昼食は？
とんちゃん　自分の楽屋で食べてるんだけど……。うめ子は？
うめ子　いや、（みんなと）一緒よ。
さかっち　そう。うめ子、一緒に食べてるんだって！
とんちゃん　ええ！　そうなの？　今さ、二人の話を聞いてて「自分だけ楽屋なのかなあ」って……。
さかっち　私はうめ子の話を聞いてたから、混ざったほうがいいのかなって。
うめ子　私も最初は楽屋で食べてたんだけど、「うめ子〜！」って呼ばれたから。「お弁当食べるよ！」って言われて……そういう感じです。私の出演回では、ダンスの回（第64回「ディスコ／ダンスミュージック特集」）が印象的でした。収録はこの部屋（会議室）だったんですけど、踊りだした時にヒートアップして。
さかっち　二人とも？
うめ子　そう。中央に踊れるスペースがあったんだけど、テンションが上がって、お立ち台みたいに机の上で乗り出して（笑）。そんなおじさん見たことないから、面白いっていうかリスペクトですね。そこまで熱いものがあるんだって（笑）。
さかっち　リスペクトじゃないでしょ、今の言い方、絶対（笑）！
うめ子　……物事をそうやって、しっかり見たいなと思いました（笑）。
とんちゃん　私はさっきも話しましたけど、マキタさんが休憩時間なのにドラムを教えてくれたのが思い出ですね。あと、私はみんなが「えっ、そこ？」みたいなことや、「何言ってるか、よくわかんない」みたいなコメントを言いがちなんですけど、ピーターさんは理解してくれていて、「あ、わかってますね」みたいなことを言ってくれるのが、けっこう嬉しかったりします。
さかっち　すごーい。私、一回もない（笑）。え、ある？
うめ子　うん。ピーターさんは歌詞を歌ってくれるなと思う。
とんちゃん　そう。けっこう私、ちょろっと言ったことも、ちゃんと理解してくれてる感じ。
さかっち　うそ？　私、ピーターさんに刺さったことないかもしんないじゃん……。この間も番組の最後で自分なりにまとめて「今後、こういう『女性の気持ちを歌った曲』みたいな特集をしてほしいです」って感想を述べたんですけど、ピーターさんは「ああ、じゃあやっぱり女性に向けた[illegible]を選んでやったほうがいいよね」みたいな……。会話になってないの（笑）！　「ええっ、刺さんねぇ〜」と思って。
とんちゃん　おもしろーい。でも、さかっちが番組はじめた時に、マキタさんから「今、ピーターさんの中で、さかっちのポイントがすごいから、とんちゃんとうめ子も頑張って！」みたいに言われたよ。
さかっち　じゃあ、ピーターさん、ツンデレなのかな（笑）？
とんちゃん　違うと思う（笑）。
うめ子　（笑）。これ、本に載るんですよね？
さかっち　やばい、困る（笑）。

番組で知って聴き始めたアーティスト

——番組で取り上げるもので、初めて聴いて好きになった曲やアーティストはいますか？
うめ子　これもダンスの回ですけど、ザ・ドリフターズの「ノッてる音頭」。すぐに収録帰りにサブスクでベスト盤を聴きました。中くらいの知名度の曲っていうのかな。あんまり私、知らなかったんですけど、音楽的にはめっちゃ70年代、80年代って感じなんだけど、やってることはロックなの。

さかっち&とんちゃん　ふ〜〜ん。
うめ子　めっちゃカッコよくて！　お笑いのイメージしかなかったのに、「ラッパーじゃん！」と思ったんですよ。いろいろ聴いていて、やっぱりすごいんだなあと。
——ファンキーなナンバーもありますからね。
うめ子　バンドだったことも知らなくて。
——ビートルズの前座を務めたことも知りませんか？
うめ子　えっ！　知らないですよ!!!
さかっち　武道館公演のですよね。
とんちゃん　私は松田聖子さんの「SWEET MEMORIES」とか。なんとなく知っていたけど別に歌えたりしないという曲を、番組で取り上げてから聴くようになって覚えたりということはありました。あとは、お二人がいろんな作詞家さん、作曲家さんの名前をバンバン出すので、覚えるところまではいかないんですけど、ふと名前を聞いた時に、「あっ、この人だ！」みたいに気になるようになりました。
さかっち　確かに知識はいろいろ植え付けられてるよね。
とんちゃん　なんかふとした時に「はっ！」みたいな。
さかっち　それはあるよね。私は田原俊彦さんの曲で、「久保田利伸さんがまだ売れる前に曲を書いてたんだよ」って教えてもらったりして、勉強になります。まあ、披露する場はないんですけど（笑）。
——盆暮れに親戚のおじさんたちに話すと喜ばれると思いますよ。
さかっち　そうですね。多少会話は生まれるかもしれない（笑）。
とんちゃん　番組表でエリック・クラプトンの映画みたいなものを見かけた時も、この番組に出る前なら絶対スルーしてたはずですけど、やっぱり目が行くようになりましたね。あとは、マキタさんが尾崎豊さんの「15の夜」のアンサーソングで、“バイクを盗まれた側の人の気持ち”を歌ってくれたことがあって、それから曲の聴き方が変わるようになりました。失恋とか恋の話とか、だいたいは片側の意見ばっかりの曲なんですけど、「じゃあ、この対象相手はどう思うんだろう？」とか、曲を聴く時にそういう風に考えるようになりました。
さかっち　盗まれた側の曲、聴きたい。
とんちゃん　なんか、すごく感動するの。あ〜〜ってなる。いいよ（笑）。
さかっち　私は伊藤敏博さんの「サヨナラ模様」です。この曲の衝撃が強すぎて（笑）。放送された時に母と一緒に観てたんです。母が「あ〜、この曲ね〜」って言いながら聴いていたから、思い出には残った曲になりましたね。今じゃ絶対にないくらい、（主人公の女性の）執着がすごいというか執念の籠もった歌というか……。
とんちゃん　えっ、こわいよ……。
さかっち　でも、その時代にはすごく合ってるんだって。その時代の女性像……それこそ、私がさっき言った「時代ごとの女性像を歌った曲を聴きたい」って言った回で。この「サヨナラ模様」が出された時の女性像は、本当に「あなたに着いていきます。あなたがいなきゃ」みたいな感じの……。
とんちゃん　こ、怖い。
さかっち　そう。今だったら西野カナさんとかの「私をわかってよ」みたいな感じの曲だけど、全然時代によって違うのが面白くて。

カセガで大変なこと、良かったこと

——カセットガールをやっていて大変だったこと、良かったことを聞かせてください。
うめ子　大変だと思うのは……再生ボタンを押すのが本業なのに、それを忘れちゃうんですよ（笑）。しかも何回もやってしまってて、本当に申し訳なかったですね。
さかっち　ウソでしょ、押すだけなのに忘れるの？
うめ子　二人の話に「あ〜、なるほど」ってずっと考えてると、もう次に行ってんのよ。
一同　（笑）。

さかっち　二人、（曲紹介の）出し方のタイミングが違うじゃん。だから、私は前もってずっとスイッチに指を添えて二人にアプローチを先にする。「私、いつでも押すよ」って。でも、たまにスージーさんは、「もうそろそろかな？」と思ったところで、さらに説明が入る時があるから。
とんちゃん　あるある！
さかっち　「あ、違った」と思うんだけど、私は添え続けながら「いつでも行けますよ」ってアプローチをしてるから、それにスージーさんが気づいて「この曲です」って（笑）。
とんちゃん　私は手を引っ込めて準備してる。「あっ、来るぞ」と思って手を出すと、もう一回しゃべるから、また引っ込める（笑）。でも、そのあとはわからないから、押すのがちょっと遅れる。
うめ子　難しいよね、あのタイミング。
とんちゃん　あと、なんとなく二人のタイミングにパターンがあるかなと思ってて。マキタさんは「どうぞ！」とか「この曲です」とか言ってくれるんですけど、それに慣れてきたら急に振らない時があったり。スージーさんも逆のこともあって……。「ああ、今日は逆なんだ」って（笑）。
――あの瞬間に、みなさんいろんなことを考えてるんですね（笑）。
さかっち　本業だから、それは（笑）！　すごい大事な仕事を任されているから。そこ、しくじれないから（笑）！
とんちゃん　曲の途中の「何分何秒から」みたいにかける時、（スタッフの）「音、準備できてるかなあ」って心配になる（笑）。
さかっち　実はマキタさん、スージーさん以外に3人目がいるんですよ、音出しするスタッフさんが！そのタイミングも計らなきゃいけないから（笑）。
とんちゃん　あと、停止スイッチを忘れてて、次に再生しようと思ったら「押しっぱなしだ！　どうしよう！」ってなって、さりげなくササッと……（笑）。今日もやってしまいました……（笑）。
――じゃあ、話を戻しますと、うめ子さんがカセットガールをやって良かったことは？
うめ子　焼き鳥屋さんに行った時に、お客さんのおじさんから「うめ子さんですか？　ザ・カセットテープ・ミュージック観てます」って声かけられました。
一同　（拍手）すご～い。
うめ子　今までだったらアイドルだし、焼き鳥屋さんで声かけられたりとかしなかったんですよ。すごい番組だなと思って。これまでになかったコミュニケーションが生まれました（笑）。
――Twitter やInstagramのフォロワーも変わりましたか？
うめ子　変わりました。
さかっち　放送されたあとは、おじさまが着実に2～3人増えます。私の大変なことは、さんざん話してますけど、内容がマニアック過ぎて、収録中とは思えないくらい頭の中が真っ白になることが本当によくある。特にマキタさんはマシンガントークのスイッチが入っちゃったら、理解するのに一杯いっぱいで……。聞くだけじゃ理解しきれないから私はマキタさんを見るよりも、マキタノートを見始めるんですよ。「ここに書いてあることを今言ってるんだな」とか。この前放送を観た時に、ちょうど私が映る時、毎回マキタノートを見てるんです。「なんでそこ！」って（笑）。
――そこばかり抜かれてるんですね（笑）。
さかっち　「今じゃない！」って。でも、それぐらい常に私はマキタノートを見てる。自分なりに理解できた時は、「今日はちゃんと頭に入った。この曲こうだったんだ」みたいな喜びがありますね。例えば「チェルシー」のCMソングは、いろんなアーティストさんが歌い続けてきた曲で、作曲された小林亜星さんは、実は私が大好きな「この木なんの木」も書いていらしたとか。そうして知らなかったことがつながっていく。それくらい自分の引き出しを埋めてくれることは多いので、そこはすごい感謝ですね。
とんちゃん　大変なことは、私もほぼ一緒です。理解したいからずっと考えてると止まっちゃう……。なんか、停止。

さかっち　一人だけ静止画（笑）？
とんちゃん　しゃべってる人をずっと見ながら復唱して考えてるから、絵的に「すごく真顔の本当に真剣な子が映ってる」みたいな感じ。私、本当にそういう時があります。頭を回してもたどり着けないんですよね。そういう時は「あ、置いてけぼりだな」って（笑）。
さかっち　音楽ジョークを二人が言いだした時は、本当に置いてけぼりだよね。
とんちゃん　音楽とか関係なくてお二人の世代のギャグとか……本当にわからないから、両隣で立って盛り上がってると「え〜、どうしたらいいの……？」っていう時はあります（笑）。わかってるフリするのも違うし。
——良かったことは？
とんちゃん　これも同じになっちゃうけど、自分が知らないことを二人はたくさん知っているので、例えば「この音を入れると、ちょっと哀しい音色になる」とか、「このコードを使うと曲の印象がこうなるよ」とか……。専門知識だけどわかりやすく教えてくれるのは本当に嬉しいなと思って。音楽をやりたくても知識とか全然ないけど、ちょっとずつ蓄積されてる感はあります。街なかで流れてきた曲に「これ、番組でやった！」と思ったり。
——うめ子さん、無言ですけど、貯まってないですか（笑）？
うめ子　ああ、まあ……。
さかっち　貯まってないね！
うめ子　いや、頑張ってはいるんですけど……。そうですね、リセットされることが多いので。
一同　（笑）。
さかっち　毎回新鮮ってことね（笑）。一生うめ子のままだ（笑）。私、最近自分のものにしたなと思うのは「移動ド」です。わかんないでしょ？
うめ子　うん……そうね（笑）。わかんない、ごめんなさい。移動するド？
さかっち　そうそう。でもね、本当に披露する場はない（笑）。

とんちゃん　知識がマニアック過ぎるから、同世代の友達とかに会って、しゃべらない……。こういう話を（笑）。
さかっち　移動ドの話、したことないなあ、友達と。
とんちゃん　ないよね。こういう話にならないから、披露する場はないけど、でも確実に"知らない何か"は貯まってる（笑）。
うめ子　そうね、なんかインプットばかりしてる。
とんちゃん　なんとなくね。日常生活では忘れてるんですよ。ただ、収録で言われたとか、何かで目にしたら「はっ！」ってなるから。
——では、最後に読者・視聴者の方へ、今後のカセットガールとしての意気込みとメッセージをください。
さかっち　私たちにもカセットガールとしてのプライドがありますので（笑）、どのタイミングでボタンに手を添えているか？　また二人の話をどれくらい一所懸命に咀嚼して理解しようとしているか？とか、曲のことはもちろんだけど、そういう細かい点にも注目してほしいなと思います。
とんちゃん　楽しい曲の時は全力で楽しむし、わからない時は全力でわからないと言いますし。120%学ぶ姿勢なので、みなさんとそれを共有できたらと思います。
うめ子　私は……ありのままで行きたいと思います。
一同　（笑）。

ザ・カセットテープ・ミュージック

the cassette tape music

DATA 第1回〜第72回

‌36日放送

ッサザンの名曲

-鈴木
羽心」サザンオールスターズ
ルスターズ
のうち」サザンオールスターズ
dy)」サザンオールスターズ
ッド」サザンオールスターズ

13日放送

サザンのツウな名曲

鈴木
ド(Instrumental)」サザンオールスターズ
(Yes, I am)」サザンオールスターズ
て舞え」サザンオールスターズ
けて」サザンオールスターズ
イ!リュード!)」サザンオールスターズ

日放送

代名曲

木
沙

聖子
」松田聖子
聖子

カラオケ)」松田聖子
て」松田聖子
」松田聖子

放送

の名曲

ツ
ト

」井上陽水
上陽水

」中森明菜
地帯
志郎&井上陽水

送

ープ大賞

スージー鈴木

①「My Revolution」渡辺美里【最優秀転調賞】
②「なんてったってアイドル」小泉今日子【最優秀メタアイドル賞】
③「Kissin' Christmas」桑田佳祐 & His Friends【最優秀12月の歌詞賞】
④「SOMEDAY」佐野元春【日本カセットテープ大賞】

第6回:2017年12月8日放送

80年代カセットテープ紅白歌合戦

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:春川桃菜
①「にくまれそうなNEWフェイス」吉川晃司
②「セシル」浅香唯
③「歌謡曲」とんねるず
④「Maybe Tomorrow」レベッカ
⑤「We Are The World」U.S.A For Africa
⑥「Woman"Wの悲劇"より」薬師丸ひろ子

特番:2017年12月31日放送

大晦日SP・カセットテープ大賞特別編

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:春川桃菜
①「My Revolution」渡辺美里【最優秀転調賞】
②「卒業」尾崎豊【ソ#賞】
③「なんてったってアイドル」小泉今日子【最優秀メタアイドル賞】
④「Kissin' Christmas(クリスマスだからじゃない)」桑田佳祐 & His Friends【最優秀12月の歌詞賞】
⑤「そして僕は途方に暮れる」大沢誉志幸【最優秀その年のベスト大循環コード賞(カノン進行賞)】
⑥「SOMEDAY」佐野元春【日本カセットテープ大賞】

第7回:2018年1月5日放送

新春・佐野元春スペシャル

選曲担当:マキタスポーツ
カセットガール:倉田瑠夏

A面
①「アンジェリーナ」佐野元春
②「COMPLICATION SHAKEDOWN」佐野元春
③「Rock&Roll Night」佐野元春

B面
①「スターダスト・キッズ」佐野元春
②「Individualists」佐野元春
③「NIGHT LIFE」佐野元春

第8回:2018年1月12日放送

チェッカーズ

選曲担当:スージー鈴木
カセットガール:倉田瑠夏

A面
①「ギザギザハートの子守唄」チェッカーズ

CamScannerでスキャン

②「ジュリアに傷心」チェッカーズ
③「OH!! POPSTAR」チェッカーズ
B面
①「TOKYO CONNECTION」チェッカーズ
②「Jim&Janeの伝説」チェッカーズ
③「Cherie」チェッカーズ

第9回:2018年2月2日放送

沢田研二

選曲担当:スージー鈴木
カセットガール:橘ゆりか
A面
①「TOKIO」沢田研二
②「晴れのちBLUE BOY」沢田研二
③「渚のラブレター」沢田研二
B面
①「THE VANITY FACTORY」沢田研二
②「ジャストフィット」沢田研二
③「いくつかの場面」沢田研二

第10回:2018年2月9日放送

YMO

選曲担当:スージー鈴木
カセットガール:橘ゆりか
A面
①「RYDEEN」YMO
②「TIGHTEN UP (Japanese Gentlemen Stand Up Please!)」YMO
③「体操」YMO
B面
①「You May Dream」シーナ&ザ・ロケッツ
②「BEAT THE RAP」Super Eccentric Theater
③「DAY TRIPPER」YMO

第11回:2018年3月2日放送

春の名曲フェア〜スージーの春〜

選曲担当:スージー鈴木
カセットガール:河村唯
A面
①「君よ、熱く君を語れ」渡辺真知子
②「不思議なピーチパイ」竹内まりや
③「君は薔薇より美しい」布施明
B面
①「う、ふ、ふ、ふ、」EPO
②「浮気な、パレット・キャット」ハウンド・ドッグ
③「マイピュアレディ」尾崎亜美

第12回:2018年3月9日放送

春の名曲フェア〜マキタの春〜

選曲担当:マキタスポーツ
カセットガール:河村唯
A面
①「悲しみよこんにちは」斉藤由貴
②「時には娼婦のように」黒沢年男
③「純のテーマ」『北の国から』
B面
①「春のからっ風」泉谷しげる
②「パープルモンスーン」上田知華+KARYOBIN
③「僕等のダイアリー」H2O

第13回:2018年4月6日放送

野球にちなんだ名曲

選曲担当:スージー鈴木
カセットガール:古橋舞悠
ロケ地:ZOZOマリンスタジアム
A面
①「ベースボール・ブギー」リー・ブラザース
②「まぶしい草野球」松任谷由実
③「デーゲーム」ユニコーン
B面
①「BASEBALL KID'S ROCK」浜田省吾
②「恋のナックルボール」大滝詠一

第14回:2018年4月13日放送

名曲に野球タイトル賞を勝手に授与

選曲担当:マキタスポーツ
カセットガール:古橋舞悠
ロケ地:ZOZOマリンスタジアム
①「DARLIN' DARLIN'」NOBODY【最優秀バッテリー賞】
②「長い夜」松山千春(ギター:松原正樹)【スタジオミュージシャン出塁率賞】
③「HABANA EXPRESS」寺尾聰(編曲:井上鑑)【最優秀アレンジ猛打賞】
④「目を閉じておいでよ」BARBEE BOYS【最優秀内角攻め賞】
⑤「朝焼け ASAYAKE」カシオペア【首位BGM賞】
⑥「にくまれそうなNEWフェイス」吉川晃司(ベース:後藤次利)【お前は高橋慶彦か!!賞】

第15回:2018年5月4日放送

松任谷由実

選曲担当:スージー鈴木
カセットガール:河村唯
A面
①「卒業写真」荒井由実
②「中央フリーウェイ」荒井由実
③「A HAPPY NEW YEAR」松任谷由実
B面
①「ロッヂで待つクリスマス」松任谷由実
②「メトロポリスの片隅で」松任谷由実
③「瞳を閉じて」荒井由実

第16回:2018年5月11日放送

ユニコーン

選曲担当:マキタスポーツ
カセットガール:河村唯
A面
①「大迷惑」ユニコーン
②「抱けないあの娘 -Great Hip in Japan-」ユニコーン
③「雪が降る町」ユニコーン
B面
①「ジゴロ」ユニコーン
②「PTA 〜光のネットワーク〜」ユニコーン
③「自転車泥棒」ユニコーン

CamScannerでスキャン

第17回:2018年6月1日放送

80年代山下達郎

選曲担当:スージー鈴木
カセットガール:古橋舞悠

A面

①「RIDE ON TIME」山下達郎
②「BOMBER」山下達郎
③「ゲット・バック・イン・ラブ」山下達郎

B面

①「マーマレイド・グッドバイ」山下達郎
②「夏の陽」山下達郎
③「GOD ONLY KNOWS」山下達郎

第18回:2018年6月8日放送

再びの初期サザン

選曲担当:マキタスポーツ
カセットガール:古橋舞悠

A面

①「夕方 Hold On Me」サザンオールスターズ
②「女呼んでブギ」サザンオールスターズ
③「ミス・ブランニュー・デイ(MISS BRAND-NEW DAY)」サザンオールスターズ

B面

①「旅姿六人衆」サザンオールスターズ
②「恋は、ご多忙申し上げます」原由子
③「我らパーブー仲間」サザンオールスターズ

第19回:2018年7月6日放送

ワン・ヒット・ワンダー

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
キャスター:松尾英里子
カセットガール:河村唯
①「想い出がいっぱい」H2O
②「白いページの中に」柴田まゆみ
③「オーバーナイト・サクセス」テリー・デザリオ
④「男と女」サンタクララ
⑤「シャイニン・オン 君が哀しい」ルック
⑥「テル・ミー」小柴大造&エレファント

第20回:2018年7月13日放送

声に出して読みたい歌詞

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
キャスター:松尾英里子
カセットガール:河村唯
①「Happy Man」佐野元春
②「フレンズ」レベッカ
③「ホンキー・トンキー・クレイジー」BOØWY
④「1985」THE BLUE HEARTS
⑤「卒業」尾崎豊

特番:2018年7月29日放送

鈴鹿8耐スペシャル

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:古橋舞悠
ロケ地:新横浜ミスティ
①「ハイティーン・ブギ」近藤真彦
②「男達のメロディー」SHŌGUN
③「紫のハイウェイ」クールス
④「ヘイ・タクシー」キャロル
⑤「羯徒毘璽 [illegible]」横浜銀蝿

第21回:2018年8月3日放送

スージーの夏~1989 夏の名曲クリアランス~

選曲担当:スージー鈴木
カセットガール:古橋舞悠

A面

①「おかしな二人」ユニコーン
②「Vegetable」岡村靖幸
③「Happy Like a Honeybee -ピクニックには早すぎる-」フリッパーズ・ギター

B面

①「噂だけの世紀末」いとうせいこう
②「夜の煙突」森高千里
③「青空」THE BLUE HEARTS

第22回:2018年8月10日放送

マキタの夏~山梨グラフィティ~

選曲担当:マキタスポーツ
カセットガール:古橋舞悠

A面

①「シーズン・イン・ザ・サン」TUBE
②「未来は僕等の手の中」THE BLUE HEARTS
③「ギヴ・ユー・アップ」リック・アストリー

B面

①「太陽にPUMP!PUMP!」EPO
②「夏のクラクション」稲垣潤一
③「抱かれたい、もう一度(LOVE THAT WAS LOST)」矢沢永吉

第23回:2018年9月7日放送

BOØWY

選曲担当:マキタスポーツ
カセットガール:河村唯

A面

①「IMAGE DOWN」BOØWY
②「DREAMIN'」BOØWY
③「BAD FEELING」BOØWY

B面

①「NO.NEW YORK」BOØWY
②「BABY ACTION」BOØWY
③「CLOUDY HEART」BOØWY

第24回:2018年9月14日放送

お別れソング

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:河村唯
①「さよなら」オフコース
②「海を見ていた午後」荒井由実
③「六本木純情派」荻野目洋子
④「あの娘ぼくがロングシュート決めたらどんな顔するだろう」岡村靖幸

CamScannerでスキャン

⑧「別れの予感」テレサ・テン
⑨「冷たい雨」ハイ・ファイ・セット

第25回:2018年10月7日放送

もっと声に出して読みたい歌詞

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
キャスター:松尾英里子
カセットガール:古橋舞悠
①「よそゆきの顔で」松任谷由実
②「Runner」爆風スランプ
③「赤いスイートピー」松田聖子
④「花束を君に」宇多田ヒカル
⑤「トランジスタ・ラジオ」RCサクセション
⑥「BAD FEELING」BOØWY
⑦「ロックの好きなベイビー抱いて」シーナ&ザ・ロケッツ
⑧「RAMBLING MAN」COMPLEX
⑨「I love you」長渕剛

第26回:2018年10月14日放送

イントロがいい曲

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:河村唯
ロケ地:文藝春秋社
①「抱きしめて TONIGHT」田原俊彦
②「魅せられて」ジュディ・オング
③「Yes-No」オフコース
④「ルビーの指環」寺尾聰
⑤「恋の弱味」郷ひろみ
⑥「異邦人-シルクロードのテーマ-」久保田早紀
⑦「強い気持ち・強い愛」小沢健二
⑧「ドラマティック・レイン」稲垣潤一

第27回:2018年11月4日放送

日本アイドルソング史概論

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
①「17歳」南沙織
②「アン・ドゥ・トロワ」キャンディーズ
③「裸足の季節」松田聖子
④「夏色のナンシー」早見優
⑤「セーラー服を脱がさないで」おニャン子クラブ
⑥「冬のオペラグラス」新田恵利
⑦「GOOD MORNING-CALL」小泉今日子
⑧「17才」森高千里
⑨「PARADISE TRAIN」安室奈美恵 with SUPER MONKEY'S

第28回:2018年11月11日放送

秋の名曲大感謝祭

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
①「思秋期」岩崎宏美
②「甲州街道はもう秋なのさ」RCサクセション
③「YES-YES-YES」オフコース
④「I LOVE YOU」オフコース
⑤「秋の気配」オフコース
⑥「落ち葉のコンチェルト」アルバート・ハモンド
⑦「黄昏のビギン」ちあきなおみ

第29回:2018年12月2日放送

年忘れ!後世に歌い継ぎたい日本のうた

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:寺嶋由芙
①「上を向いて歩こう」RCサクセション
②「ダンシング・ヒーロー（Eat You Up）」荻野目洋子
③「翳りゆく部屋」椎名林檎
④「乾杯」長渕剛
⑤「すべてはこの夜に」吉川晃司
⑥「YELLOW MAGIC CARNIVAL」MANNA
⑦「恋の弱味」近田春夫&ハルヲフォン
⑧「恋のハッピー・デート」石野真子

第30回:2018年12月9日放送

第二回 輝く!日本カセットテープ大賞

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:寺嶋由芙
①「Diamonds」プリンセス プリンセス【最優秀リズムセクション賞】
②「真夜中のドア～Stay With Me」松原みき【最優秀アウトロ賞】
③「唇をかみしめて」吉田拓郎【R&R甲子園 優勝校】
④「ラブ・ストーリーは突然に」小田和正【最優秀ギタープレイ賞】
⑤「時の流れに身をまかせ」テレサ・テン【日本ミファミレド大賞】
⑥「ハリウッド・スキャンダル」郷ひろみ【最優秀 古の価値観賞】
⑦「12月」SION【最優秀12月の歌詞賞】
⑧「戦士の休息」町田義人【最優秀ワンヒット賞】
⑨「BAD FEELING」BOØWY【日本カセットテープ大賞】

第31回:2019年1月6日放送

あけまして、おメジャーセブンス

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:河村唯
①「あの時君は若かった」ザ・スパイダース
②「きっと言える」荒井由実
③「初恋」村下孝蔵
④「愛はかげろう」雅夢
⑤「素顔で踊らせて」サザンオールスターズ
⑥「SUMMER SUSPICION」杉山清貴&オメガトライブ
⑦「You're My Only Shinin' Star」中山美穂
⑧「夏をあきらめて」研ナオコ

第32回:2019年1月13日放送

やっぱり、ビートルズ

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:河村唯
①「車も電話もないけれど」ユニコーン
②「東京サリーちゃん」サザンオールスターズ
③「Temptation Girl」BOX
④「愛しのロージー」松尾清憲
⑤「ビートルズが教えてくれた」吉田拓郎
⑥「憎いあの娘」キャロル
⑦「OUR SONG」原田真二
⑧「太陽の破片」尾崎豊

CamScannerでスキャン

第33回:2019年2月3日放送

マキタノート・スージーファイル大公開スペシャル

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
ロケ地:Under the mat（中目黒）
①「カブトムシ」aiko
②「恋のダイヤル6700」フィンガー5
③「WOW WAR TONIGHT 〜時には起こせよムーヴメント」H Jungle with t
④「Everything」Mr.Children（Mr.Children風トイレ／マキタスポーツ）
⑤「いとしのエリー」サザンオールスターズ、「乾杯」長渕剛(いとしのエリーに乾杯／マキタスポーツ)
⑥「15の夜」、「卒業」尾崎豊(59の夜／マキタスポーツ)
⑦「トリセツ」西野カナ(トリセツおじさん／マキタスポーツ)

第34回:2019年2月10日放送

冬の名曲

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
ロケ地:Under the mat（中目黒）
①「ドアをノックするのは誰だ?」小沢健二
②「木枯らしのダイアリー」松任谷由実
③「かんらん車」松任谷由実
④「なごり雪」かぐや姫
⑤「星空のディスタンス」THE ALFEE
⑥「白い冬」ふきのとう
⑦「組曲　冬の情景」所ジョージ
⑧「CHRISTMAS TIME IN BLUE —聖なる夜に口笛吹いて—」佐野元春

第35回:2019年3月3日放送

そのとき歴史が動いた!
激動の平成史!

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
キャスター:松尾英里子
カセットガール:古橋舞悠
①「うれしい!楽しい!大好き!」DREAMS COME TRUE
②「CROSS ROAD」Mr.Children
③「月の爆撃機」THE BLUE HEARTS
④「俺たちに明日はある」SMAP
⑤「LOVEマシーン」モーニング娘。
⑥「天体観測」BUMP OF CHICKEN
⑦「長い夢」YUKI
⑧「道」宇多田ヒカル

第36回:2019年3月10日放送

カセットエイド!ライブ音楽

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
キャスター:松尾英里子
カセットガール:古橋舞悠
①「12月の雨の日／はっぴいえんど(『The HAPPYEND』)
②「土曜の夜はHighway Danceで」Johnny（『銀蝿一家祭 Live 1983』）
③「LIVE AT Mounkberys TOKYO BRONX」いとうせいこう(『BODY BLOW』)
④「ROCKIN' MY HEART」矢沢永吉(『1982 P.M.9 LIVE』)
⑤「ラスト・ステップ」山下達郎(『JOY TATSURO YAMASHITA LIVE』)
⑥「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」桜田淳子(『ビバ!セブンティーン 桜田淳子リサイタル2』)
⑦「塀までひとっとび」サディスティック・ミカ・バンド(『ライヴ・イン・ロンドン』)
⑧「明日への讃歌」アリス(『アリス・ファースト・ライヴ!』)

特番:2019年3月31日放送

大阪出張スペシャル

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:河村唯
ロケ地:大阪
①「RADIO MAGIC」EARTHSHAKER
②「時のK-City」チェッカーズ
③「大阪ストラット」ウルフルズ
④「BOMBER」山下達郎
⑤「卒業」斉藤由貴
⑥「ガンダーラ」ゴダイゴ

第37回:2019年4月7日放送

大阪の人に知ってもらいたい8つのこと

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:河村唯
ロケ地:ロフトプラスワンウエスト(大阪)
①ミファミレドメドレー
②史上最強の二拍三連
③玉置浩二ナインス
④史上最高に希望のあるコード進行
⑤うめ子のこと
⑥シラミの法則
⑦史上最高のメジャーセブンス頂上決戦
⑧キラキラ学園校歌

第38回:2019年4月14日放送

男はハードロック

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
ロケ地:毎日新聞社9階アラスカ
①「Separate ways（Worlds Apart)」Journey
②「Armed And Ready」Michael Schenker Group
③「Spotlight Kid」RAINBOW
④「MONEY」浜田省吾
⑤「青年の主張(New Version)」とんねるず
⑥「六本木心中」アン・ルイス

第39回:2019年5月5日放送

オトナのピンク

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
ロケ地:毎日新聞社9階アラスカ
①「Peach Time」岡村靖幸
②「パレード」シュガー・ベイブ
③「波乗りパイレーツ(USA吹込盤)」ピンク・レディー
④「Rock'n Rouge」松田聖子
⑤「チェリーブラッサム」松田聖子

CamScannerでスキャン

⑥「卒業－GRADUATION－」菊池桃子
⑦「恋は桃色」細野晴臣
⑧「桃色吐息」高橋真梨子

第40回：2019年5月12日放送

異端児

選曲担当：マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール：河村唯
①「せつなさを殺せない」吉川晃司
②「Shake Hip!」米米CLUB
③「CRAZY NIGHTS」本田美奈子
④「紅」X
⑤「あしたこそ、あなた」矢野顕子
⑥「Raspberry Beret」Prince and The Revolution
⑦「激しい雨」忌野清志郎
⑧「夜につまずき」ビートたけし

第41回：2019年6月2日放送

湿度じめじめ

選曲担当：マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール：河村唯
①「抱いた腰がチャッチャッチャッ」ビートたけし&たけし軍団
②「十人十色」大江千里
③「かりそめのスウィング」甲斐バンド
④「おそうじオバチャン」憂歌団
⑤「あなた」小坂明子
⑥「CLOUDY HEART」BOØWY
⑦「恋人も濡れる街角」中村雅俊
⑧「Alone Again (Naturally)」Gilbert O'Sullivan
⑨「優しい雨」小泉今日子

第42回：2019年6月9日放送

この曲聴くとギターとか弾きたくなっちゃうよね

選曲担当：マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール：古橋舞悠
①「SOPPO」ツイスト
②「SOMEDAY」佐野元春
③「恋する護」クック・ダ・ブックス
④「Monkey Magic」ゴダイゴ
⑤「宇宙戦艦ヤマト」ささきいさお
⑥「愛を止めないで」オフコース
⑦「Born to Run」Bruce Springsteen
⑧「September」Earth,Wind&Fire

第43回：2019年7月7日放送

たのしいプログレの聴き方講座

選曲担当：マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール：古橋舞悠
①「サザン・ウインド」中森明菜
②「高木ブー伝説」筋肉少女帯
③「6番目のユ・ウ・ウ・ツ」沢田研二
④「さよなら人類」たま
⑤「古戦場で濡れん坊は昭和のHero」サザンオールスターズ
⑥「SAVE THE LOVE」オフコース
⑦「空飛ぶ円盤に弟が乗ったよ」四人囃子
⑧「Epitaph」西城秀樹

第44回：2019年7月14日放送

早見優さんと日本アイドル史概論II

選曲担当：マキタスポーツ&スージー鈴木
ゲスト：早見優
カセットガール：外岡えりか
①「Newsにならない恋」早見優
②「春の予感」南沙織
③「アゲイン」アグネス・チャン
④「六本木心中」アン・ルイス
⑤「春色のエアメール」松本典子
⑥「秘密のオルゴール」川田あつ子
⑦「話しかけたかった」南野陽子
⑧「HORIZON」香坂みゆき

第45回：2019年8月4日放送

暑中お見舞い申し上げナインス

選曲担当：マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール：外岡えりか
①「いとしのエリー」サザンオールスターズ
②「You Were Mine」久保田利伸
③「ケダモノの嵐」ユニコーン
④「パステル ラヴ」金井夕子
⑤「Every Breath You Take」The Police
⑥「Woman "Wの悲劇"より」薬師丸ひろ子
⑦「SEPTEMBER」竹内まりや
⑧「(9 to 5) Morning Train」Sheena Easton

第46回：2019年8月11日放送

夏だ！祭りだ！踊っちゃおう

選曲担当：マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール：河村唯
ロケ地：REN（大森）
①「Highway Star」Deep Purple
②「め組のひと」ラッツ&スター
③「ジョニー・B．グッド」ザ・スパイダース
④「WON'T BE LONG」バブルガム・ブラザーズ
⑤「きりきり舞い」近田春夫&ハルヲフォン
⑥「恋をしようよ」ザ・ルースターズ
⑦「ザ・ハイロウズのテーマ」THE HIGH-LOWS
⑧「幸せであるように」FLYING KIDS

第47回：2019年9月1日放送

いい声

選曲担当：マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール：河村唯
ロケ地：REN（大森）
①「もう一度」竹内まりや
②「帰らんちゃよか」島津亜矢
③「Amazing Grace」夏川りみ
④「接吻 kiss」ORIGINAL LOVE
⑤「David」矢野顕子
⑥「キ・ツ・イ」玉置浩二
⑦「Me and Bobby McGee」Janis Joplin
⑧「NAI・NAI 16」シブがき隊

CamScannerでスキャン

第48回:2019年9月8日放送

ポツンと一曲

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:古橋舞悠
①「三ツ矢フルーツソーダ '74」山下達郎
②「Why do fools fall in love?」山下達郎
③「ジャンクビート東京」 Real Fish featuring 桑田佳祐・いとうせいこう
④「Reggae Man」嘉門雄三
⑤「行かないで」浜田省吾
⑥「BYE BYE HANDY LOVE」沢田研二
⑦「See you again」村田和人
⑧「傷つけた人々へ」尾崎豊

特番:2019年9月29日放送

生放送スペシャル

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:古橋舞悠、外岡えりか、河村唯
キャスター:松尾英里子
①「なごり雪」(カセットガールズ歌唱)
②「翼の折れたエンジェル」中村あゆみ
③「すばらしい日々」ユニコーン
④「大きな玉ねぎの下で〜はるかなる想い〜」爆風スランプ
⑤「SWEET MEMORIES」松田聖子

第49回:2019年10月6日放送

コード進行まとめました

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:古橋舞悠
①「カルアミルク」岡村靖幸
②「レモネードの夏」松田聖子
③「Water color」大滝詠一
④「ガラスの林檎」松田聖子
⑤「ガッチャマンの歌」子門真人
⑥「CROSS ROAD」Mr.Children
⑦「everybody goes 〜秩序のない現代にドロップキック〜」Mr.Children
⑧「終わりなき旅」Mr.Children
⑨「枯葉」越路吹雪
⑩「最初から今まで」Ryu
⑪「ノーサイド」松任谷由実
⑫「希望の轍」サザンオールスターズ
⑬「すばらしい日々」ユニコーン
⑭「丸の内サディスティック」椎名林檎
⑮「TAKARAJIMA」THE SQUARE

第50回:2019年10月13日放送

おじさん、ギターやめるってよ

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
①「Beat It」Michael Jackson
②「哀愁トゥナイト」桑名正博
③「TONG POO (東風)」YMO
④「フレンズ」レベッカ
⑤「踊れポンポン」ぢ・大黒堂
⑥「Crosstown Traffic」The Jimi Hendrix Experience
⑦「Blizlrieg Bop (電撃バップ)」RAMONES

⑧「スチャダラパーのテーマ PT.2」スチャダラパー

第51回:2019年11月3日放送

世界の中心で、愛を叫ぶおじさん

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
ロケ地:ナガオカ
①「リンダリンダ」THE BLUE HEARTS
②「星のラブレター」THE BOOM
③「一緒に暮らそう」松任谷由実
④「Nothing's Gonna Change My Love For You」Glenn Medeiros
⑤「Under Pressure」Queen and David Bowie
⑥「Only You (唯一人)」ばちかぶり

第52回:2019年11月10日放送

バンドやろうよ

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
ロケ地:リットーミュージック
①「THE TSURAI」爆風スランプ
②「立秋」ユニコーン
③「魚ごっご」BO GUMBOS
④「ゴロワーズを吸ったことがあるかい」かまやつひろし
⑤「SMOKEY」Char
⑥「TONG POO (東風)」YMO
⑦「TIMEシャワーに射たれて…」久保田利伸

第53回:2019年12月1日放送

BS12は12歳!ハワ恋カセット 4時間スペシャル

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
ゲスト:TAKURO (GLAY)
カセットガール:外岡えりか(おじさん、楽器を買う)、河村唯(第3回輝く!カセットテープ大賞)
<おじさん、楽器を買う>
①「GOOD OLD ROCK'N' ROLL」キャロル
②「White Room」Cream
<カセ大>
①「Save me」 QUEEN【最優秀歌いたくなるブライアン・メイのギターソロ賞】
②「恋人はワイン色」チャゲ&飛鳥【最優秀ペンタトニック賞】
③「Pretender」Officila髭男dism【最優秀早すぎるソシャープ賞】
④「月曜日はシックシック」三井比左子【最優秀フェアリーソング賞】
⑤「君と歩いた青春」太田裕美【最優秀ウシロガミファミレド賞】
⑥「Tomorrow never knows」Mr.children【最優秀ガッチャマン賞】
⑦「BELOVED」GLAY【日本カセットテープ大賞】
<TAKURO映画祭>
①「蒼いフォトグラフ」松田聖子【昼の部】
②「ロンリー・ジャーニー」山本達彦【夜の部】

第54回:2019年12月8日放送

KOTOSHI NO OWARI

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
ロケ地:RITTOR BASE
①「DiSTANCE」BiSH

②「白日」KingGnu
③「イチリンソウ」山本彩
④「宿命」Official髭男dism
⑤「パーティ☆キング」C&K
⑥「朝顔」折坂悠太
⑦「Kawasaki Drift」BAD HOP
⑧「大丈夫」眉村ちあき

第55回:2020年1月5日放送

第2回 イントロがいい曲

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:酒井瞳
ロケ地:櫻尾軌雄発明記念館
①「Jump」Van Halen
②「Maneater」Daryl Hall & John Oates
③「Some Like It Hot」The Power Station
④「モーニングムーン」チャゲ&飛鳥
⑤「ルパン三世のテーマ」ユー &エクスプロージョン・バンド
⑥「モノクローム・ヴィーナス」池田聡

第56回:2020年1月12日放送

いいサビ・夢気分

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:酒井瞳
ロケ地:櫻尾軌雄発明記念館
①「Get Wild」TM Network
②「恋のロックンロール・サーカス」浅香唯
③「恋ほど素敵なショーはない」岩崎良美
④「Tonight」映画「ウエスト・サイド物語」より
⑤「Don't stop believin'」Journey
⑥「Oneway generation」本田美奈子
⑦「たそがれマイ・ラブ」大橋純子
⑧「We are the world」USA for Africa

第57回:2020年2月2日放送

俺のストーンズ。それでもやっぱり、ビートルズ

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
キャスター:松尾英里子
カセットガール:外岡えりか
①「夏色のナンシー」早見優
②「Boys Jump The Midnight」THE STREET SLIDERS
③「スーパーソニックジェットボーイ」THE HIGH-LOWS
④「RASPBERRY DREAM」レベッカ
⑤「泥んこ道を二人」BO GUMBOS
⑥「風吹けば恋」チャットモンチー
⑦「Ah! Ha!」萩原健一
⑧「月光の聖者達(ミスター・ムーンライト)」桑田佳祐

第58回:2020年2月9日放送

アレンジャーズ インフィニティ・ウォー

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
キャスター:松尾英里子
カセットガール:外岡えりか
①「ビューティフル・ネーム」ゴダイゴ
②「悲しい色やね」上田正樹
③「メディテーション」松田聖子
④「ガラス越しに消えた夏」鈴木雅之
⑤「卒業」斉藤由貴
⑥「Romanticが止まらない」C-C-B
⑦「待つわ」あみん
⑧「男達のメロディー」SHŌGUN

第59回:2020年3月1日放送

マキタノート&スージーファイル大公開SP 2

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:河村唯
①「東京ブギウギ」ユニコーン
②「ゲゲゲの鬼太郎」熊倉一雄
③「妖怪人間ベム」ハニー・ナイツ
④「伊勢佐木町ブルース」青江三奈
⑤「モンスター」ピンクレディー
⑥「イケナイコトカイ」岡村靖幸
<マキタスポーツの「オトネタ」>
⑦「関白マンZ」
⑧「ゲゲゲの浜省 G-BOYブルース」
⑨「夜のサザエオールスターズ」
⑩「オノマトペ」
⑪「山の手サディスティック」
⑫「ウォシュレット」

第60回:2020年3月8日放送

音楽進化論〜ダーウィンが来てた!〜

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:河村唯
①「心もよう」井上陽水
②「Europa」Santana
③「さらば恋人」堺正章
④「It Never Rains In Southern California」Albert Hammond
⑤「センチメンタル」岩崎宏美
⑥「Don't Stop 'Til You Get Enough」Michael Jackson
⑦「お座敷小唄」和田弘とマヒナスターズ・松尾和子
⑧「Help me, Ronda」「Caroline, No」The Beach Boys
⑨「接吻 kiss」ORIGINAL LOVE
⑩「ずっと feat.HAN-KUN&TEE」SPICY CHOCOLATE
⑪「サヨナラ」GAO
⑫「ゆめのはじまりんりん」きゃりーぱみゅぱみゅ
⑬「見つめていたい」ポリス
⑭「チャコの海岸物語」サザンオールスターズ
⑮「歌謡曲」とんねるず

第61回:2020年4月5日放送

ボクの音楽〜Chage編〜

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
ゲスト:Chage
カセットガール:河村唯
①「断絶」井上陽水
②「Alone Again (Naturally)」Gilbert O'Sullivan
③「You never give me your money」The Beatles
④「はじまり」井上陽水
⑤「帰れない二人」井上陽水
⑥「逃避行」麻生よう子
⑦「二人だけ」キャロル

CamScannerでスキャン

⑧「少女」五輪真弓

第62回:2020年4月12日放送

アイドルソングHOMME

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:酒井瞳
①「ジュリアに傷心」チェッカーズ
②「You Gatta Chance ～ダンスで夏を抱きしめて～」吉川晃司
③「涙のtake a chance」風見慎吾
④「寝た子も起きる子守唄」とんねるず
⑤「ブギ浮ぎI LOVE YOU」田原俊彦
⑥「It's BAD」田原俊彦
⑦「Baby Rose」近藤真彦
⑧「デカメロン伝説」少年隊
⑨「WA-KAH!CHICO」サディスティック・ミカ・バンド
⑩「トマト・イッパツ」スペクトラム
⑪「哀愁でいと」田原俊彦
⑫「スニーカーぶる～す」近藤真彦
⑬「Hardにやさしく」田原俊彦
⑭「ギンギラギンにさりげなく」近藤真彦
⑮「キミに決定!」田原俊彦
⑯「ホレたぜ!乾杯」近藤真彦

第63回:2020年5月3日放送

いいフレーズコレクション

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:酒井瞳
①「HELLO,GOODBYE」The Beatles
②「ライフ・イズ・ヴェイン」矢沢永吉
③「あまちゃん オープニングテーマ」大友良英
④「夏の終りのハーモニー」井上陽水・安全地帯
⑤「Panama」Van Halen
⑥「君が好きだと叫びたい」BAAD
⑦「シーサイド・バウンド」ザ・タイガース
⑧「ロッヂで待つクリスマス」松任谷由実
⑨「渚の『・・・・・』」うしろゆびさされ組
⑩「モニカ」吉川晃司
⑪「愛のさざなみ」島倉千代子
⑫「Monday, Monday」The Mamas & the Papas
⑬「ふりむかないで」ザ・ピーナッツ
⑭「風を感じて」浜田省吾
⑮「明日なき世代」浜田省吾
⑯「愛の世代の前に」浜田省吾
⑰「もうひとつの土曜日」浜田省吾
⑱「Anarchy in the U.K.」Sex Pistols
⑲「God Save the Queen」Sex Pistols
⑳「伊勢佐木町ブルース」青江三奈
㉑「冬の稲妻」アリス
㉒「その気××× (mistake)」大沢誉志幸
㉓「COMPLICATION SHAKEDOWN」佐野元春
㉔「チャカ・ポコ・チャ」バラクーダ

第64回:2020年5月10日放送

ディスコ/ダンスミュージック

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:河村唯
①「SOULチョンワ」異邦人
②「Stars On 45」Stars On 45 (OriginalSingleVersion)
③「わかれうた」中島みゆき
④「メモリーグラス」堀江淳
⑤「The Greatest Rock 'n Roll Band in the World」Stars On 45
⑥「9 Minutes Of Tatsuro Yamashita」山下達郎
⑦「19 JAPANESE MIX」PAUL HARDCASTLE
⑧「Private Eyes」Daryl Hall & John Oates
⑨「Tarzan Boy」Baltimora
⑩「Breakout」Swing Out Sister
⑪「ソウルこれっきりですか」マイナー・チューニング・バンド
⑫「ドリフのバイのバイのバイ」ザ・ドリフターズ
⑬「ドリフの早口ことば」ザ・ドリフターズ
⑭「のってる音頭」ザ・ドリフターズ
⑮「I Heard A Rumour」Bananarama
⑯「Turn It into Love」Kylie Minogue
⑰「Together Forever」RICK ASTLEY
⑱「TOY BOY」Sinitta

第65回:2020年6月7日放送

健康エンターテインメント!家庭の音楽

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
①「僕のサラダガール」ゴダイゴ
②「サラダの国から来た娘」イルカ
③「あなたにサラダ」Dreams Come True
④「Vegetables」The Beach Boys
⑤「Oh My Love」John Lennon
⑥「You Make Me Feel Brand New」山下達郎
⑦「ラスト・ステップ」山下達郎
⑧「翼に乗せて」山下達郎
⑨「I'm Not In Love」10cc
⑩「お料理行進曲」YUKA
⑪「ルパン三世'80」You & Explosion Band
⑫「ロックンオムレツ」森高千里
⑬「お家へ帰ろう」山崎まさよし
⑭「北の国から～遥かなる大地より～」さだまさし
⑮「Eye Of The Tiger」Survivor
⑯「Separate Ways (Worlds Apart)」Journey
⑰「Jump」Van Halen
⑱「栄冠は君に輝く」伊藤 久男・コロムビア男声合唱団

第66回:2020年6月14日放送

ドラムだいすき!

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
①「Satisfaction」The Rolling Stones
②「Stop! In the Name of Love」The Supremes
③「Dance to the Music」Sly & The Family Stone
④「Move Over」Janis Joplin
⑤「Gimme Some Lovin'」THE BLUES BROTHERS
⑥「Church Of The Poison Mind」Culture Club
⑦「Rocks」Primal Scream
⑧「SPARKLE」山下達郎
⑨「ブルー・シャトウ」ジャッキー吉川とブルー・コメッツ
⑩「Come Together」The Beatles
⑪「青い瞳」ジャッキー吉川とブルー・コメッツ
⑫「Ticket to Ride」The Beatles
⑬「Rosanna」TOTO

CamScannerでスキャン

⑭「Fool in the Rain」Led Zeppelin
⑮「Home At Last」Steely Dan
⑯「Mona」Bo Diddley

第67回:2020年7月5日放送

ふたりの夏物語

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:河村唯
①「君のハートはマリンブルー」杉山清貴&オメガトライブ
②「ふたりの夏物語 NEVER ENDING SUMMER」杉山清貴&オメガトライブ
③「島唄」THE BOOM
④「世界でいちばん熱い夏」PRINCESS PRINCESS
⑤「あの時君は若かった」ザ・スパイダース
⑥「サマー・ガール」ザ・スパイダース
⑦「ルーレット」真島昌利
<マキタMIXテープ1>
⑧「中央フリーウェイ」荒井由実
⑨「WILD HEARTS—冒険者たち—」佐野元春
⑩「MONEY」浜田省吾
⑪「ゆ・れ・て湘南」石川秀美
⑫「SUMMER SUSPICION」杉山清貴&オメガトライブ
⑬「Darlin' Darlin'」NOBODY
⑭「夏のクラクション」稲垣潤一
<マキタMIXテープ2>
⑮「スローなブギにしてくれ(I want you)」南佳孝
⑯「どんなときも」槇原敬之
⑰「カルアミルク」岡村靖幸
⑱「Isn't She Lovely?」Stevie Wonder
⑲「エイリアンズ」キリンジ

第68回:2020年7月12日放送

今度こそ弾けるギター教室

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:河村唯
①「蛍の光」スコットランド民謡
②「Everyday People」Sly & The Family Stone
③「Let It Be」THE BEATLES
④「I WANT YOU BACK」The Jackson 5
⑤「Magic」Rainbow
⑥「JUSTY」BOØWY

第69回:2020年8月2日放送

夏の忘れがち歌謡祭

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:酒井瞳
①「夜明けのマイウェイ」パル
②「風に乗って」岡崎友紀
③「おくさまは18歳」岡崎友紀
④「ママはライバル」岡崎友紀
⑤「明治チェルシーの唄」シモンズ/南沙織/八神純子/あみん/大貫妙子/PUFFY
⑥「あなたしか見えない」Rita Coolidge
⑦「SACHIKO」ばんばひろふみ
⑧「ゆうこ」村下孝蔵
⑨「…洋子」尾崎和行&コースタルシティ
⑩「サヨナラ模様」伊藤敏博

第70回:2020年8月9日放送

スージー鈴木の精神世界

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:酒井瞳
①「I'll Be Back」The Beatles
②「Let It Be」The Beatles
③「The Fool on the Hill」The Beatles
④「Magical Mystery Tour」The Beatles
⑤「Hey Jude」The Beatles
⑥「Here, There and Everywhere」The Beatles
⑦「I Am the Walrus」The Beatles
⑧「Ob-La-Di, Ob-La-Da」The Beatles
⑨「Rock And Roll Music」The Beatles
⑩「WOW WAR TONIGHT ～時には起こせよムーヴメント」H Jungle with t

第71回:2020年9月6日放送

ビートルズの次、コレ聴いてみたら!?

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
①「Stairway to Heaven」Led Zeppelin
②「Communication Breakdown」Led Zeppelin
③「Whole Lotta Love」Led Zeppelin
④「Immigrant Song」Led Zeppelin
⑤「Dazed and Confused」Led Zeppelin
⑥「Heartbreaker」Led Zeppelin
⑦「Celebration Day」Led Zeppelin
⑧「Black Dog」Led Zeppelin
⑨「Achilles Last Stand」Led Zeppelin
⑩「Mr. Blue Sky」Electric Light Orchestra
⑪「Telephone Line」Electric Light Orchestra
⑫「Livin' Thing」Electric Light Orchestra
⑬「Best Of My Love」The Emotions
⑭「Kung Fu Fighting」Carl Douglas
⑮「Off The Wall」Michael Jackson
⑯「I Built This Garden For Us」Lenny Kravitz

第72回:2020年9月13日放送

これ聴くとギターとか弾きたくなっちゃうよね2

選曲担当:マキタスポーツ&スージー鈴木
カセットガール:外岡えりか
①「My Sharona」The Knack
②「Jailhouse Rock」The Jeff Beck Group
③「Get It On」Chase
④「ロビンソン」スピッツ
⑤「太陽にほえろ!のテーマ」井上堯之バンド
⑥「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」ダウン・タウン・ブギウギ・バンド
⑦「チェリーブラッサム」松田聖子
⑧「少女A」中森明菜

CamScannerでスキャン